
葛飾区
認知症に関する意識・意向調査
報告書

【第 2 稿】 0529

令和 7 年 5 月

目次

I. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 調査票の回収状況	1
(4) 報告書の見方	1
II. 調査結果	2
1. 回答者の属性	3
(1) 年齢、性別、世帯の状況	3
(2) 就業の状況	9
(3) 認知症の診断について	11
2. 認知症の診断をうけている方の状況	13
(1) 生活について	13
(2) 認知症に関する相談窓口について	23
3. 認知症に関する知識と認識について	32
(1) 認知症に対するイメージ、知識について	32
(2) 認知症に関する相談窓口について	47
(3) 認知症の予防について	60
(4) 若年性認知症について	65
4. 認知症の方との関わりについて	75
5. 認知症への不安や生活について	81
6. 認知症の症状がある方の支援について	90
7. 地域や周囲の理解について	101
8. 区の実践について	119

I. 調査概要

(1) 調査目的

葛飾区では、認知症の方の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる社会の実現に向けて、認知症に関する取組みを総合的に推進するため、「(仮称)葛飾区認知症施策推進計画」を策定し、あわせて、認知症への理解促進に向けた条例を制定していくこととしています。

この計画の策定及び条例の制定にあたり、区民から幅広くご意見をうかがうため、「葛飾区認知症に関する意識・意向調査」を実施しました。

(2) 調査の実施について

住民基本台帳から無作為に抽出した満18歳以上の2,900人の方と、認知症の方やそのご家族100の方に、郵送とインターネット上での回答による調査を実施しました。

調査期間
2025年3月25日(火)～2025年4月14日(月)

(3) 調査票の回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
全体	1,395件	46.5%
18歳以上区民	1,325件	45.7%
認知症の方やそのご家族	70件	70.0%

(4) 報告書の見方

- ① 「n」は「number」の略で、比率算出の母数を表します。
- ② 単数回答(○は1つだけ)の場合、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ③ 複数回答の場合、図中にMA(Multiple Answer = ○はいくつでも)と記載しています。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合があります。
- ④ 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしています。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けています。
- ⑤ クロス集計では、分析軸の「無回答」を掲載していないため、分析軸における各項目の合計値と全体の数値とが合わない場合があります。
- ⑥ クロス集計時に、nが小さい数字になる場合は統計的誤差が生じる可能性が高いため注意が必要であり、nが50に満たないものについては、図示するに留め、コメントしていない場合があります。

(5) 圏域について

調査の際の I D から、以下の 7 つの圏域に分類しています。

圏域名	高齢者総合相談センター
水元・水元公園	高齢者総合相談センター水元・高齢者総合相談センター水元公園
新宿・金町	高齢者総合相談センター新宿・高齢者総合相談センター金町
高砂・柴又	高齢者総合相談センター高砂・高齢者総合相談センター柴又
青戸・亀有	高齢者総合相談センター青戸・高齢者総合相談センター亀有
堀切・お花茶屋	高齢者総合相談センター堀切・高齢者総合相談センターお花茶屋
東四つ木・立石	高齢者総合相談センター東四つ木・高齢者総合相談センター立石
奥戸・新小岩	高齢者総合相談センター奥戸・高齢者総合相談センター新小岩

Ⅱ. 調査結果

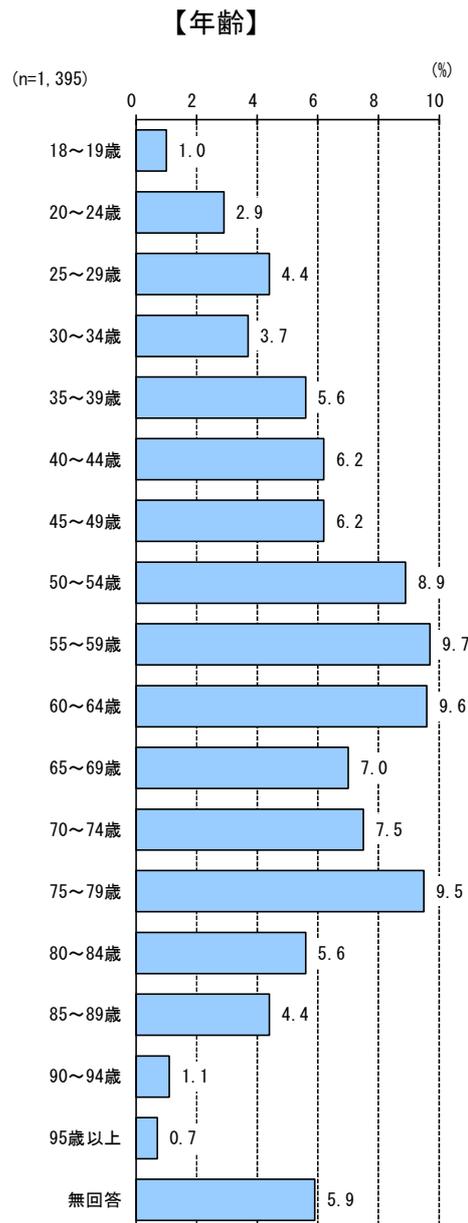
1. 回答者の属性

(1) 年齢、性別、世帯の状況

問1 あなたの年齢を教えてください。(令和7年3月1日現在)

【全体】

- 回答者の年齢は、「55～59歳」が9.7%で最も多く、次いで「60～64歳」が9.6%、「75～79歳」が9.5%となっています。



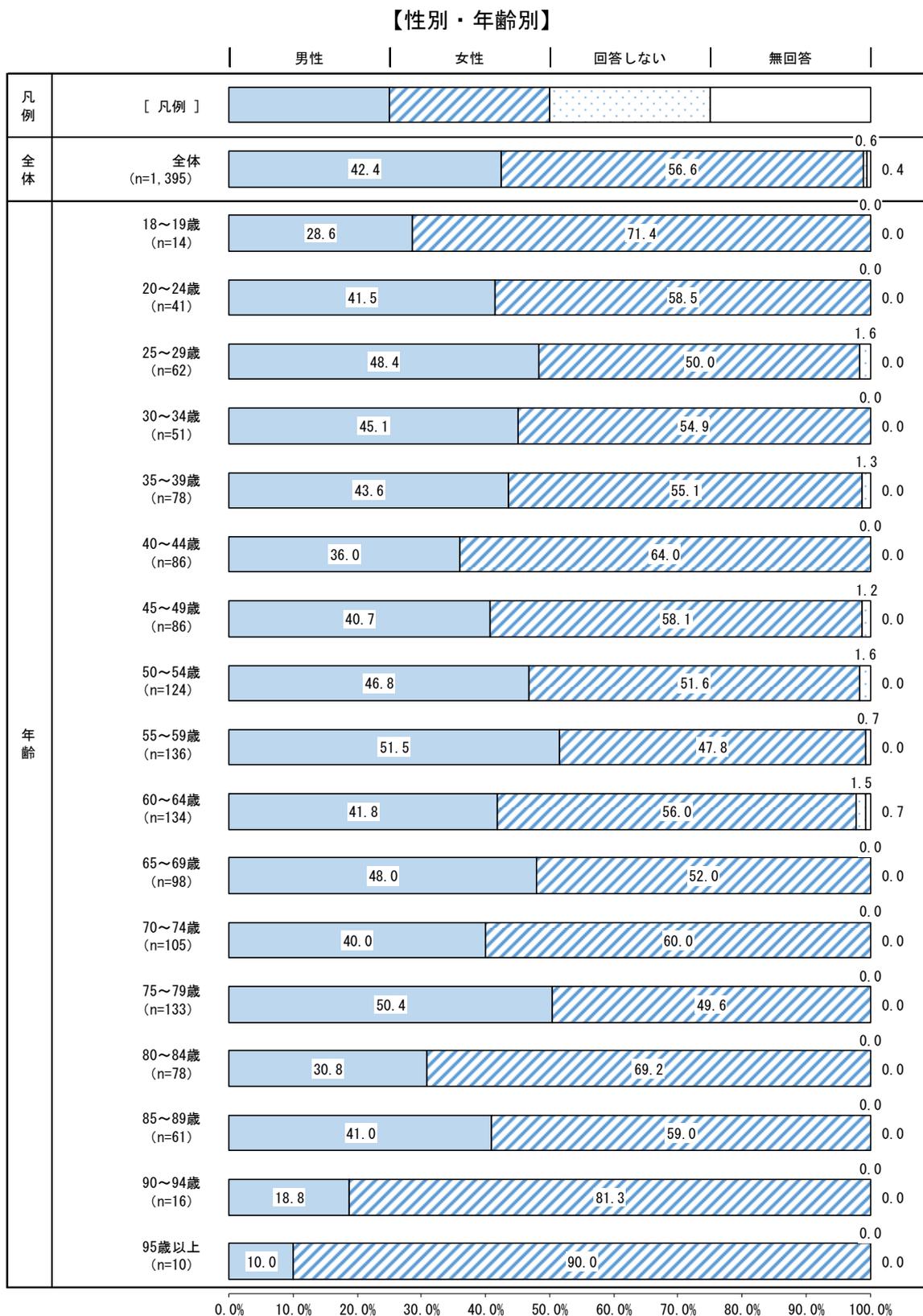
問2 あなたの性別を教えてください。

【全体】

○ 回答者の性別は、「男性」が 42.4%、「女性」が 56.6%、「回答しない」が 0.6%となっています。

【年齢別】

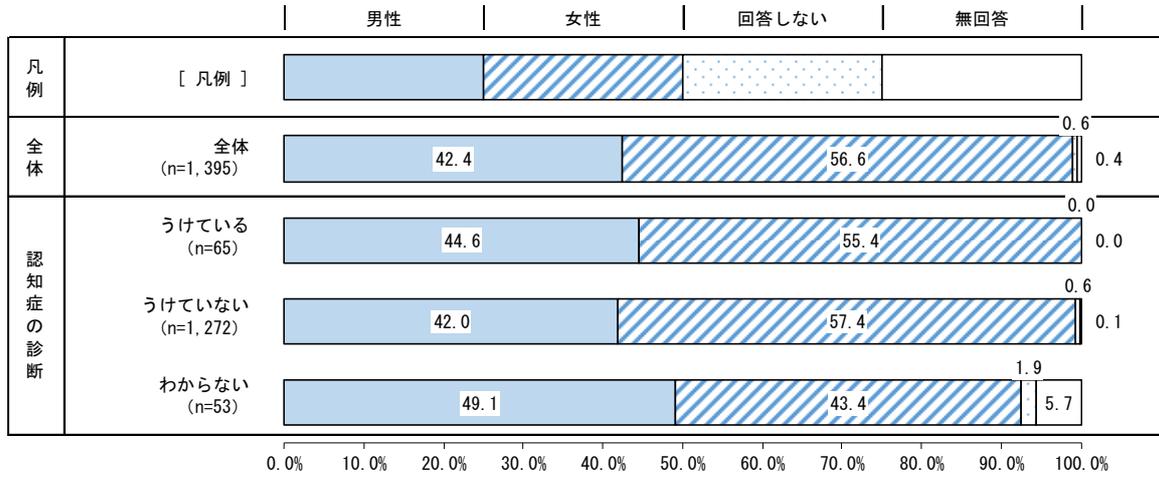
○ 55～59歳、75～79歳を除いて、「女性」のほうが多くなっています。



【認知症の診断別】

○ 認知症の診断を『うけている』方の性別は、「男性」が 44.6% 「女性」が 55.4% となっています。

【性別・認知症の診断別】



問3 あなたの世帯は、あなたを含めて何人ですか。(〇は1つだけ)

【全体】

○ 「2人」が33.6%で最も多く、次いで「3人」が22.7%、「4人以上」が21.9%となっています。

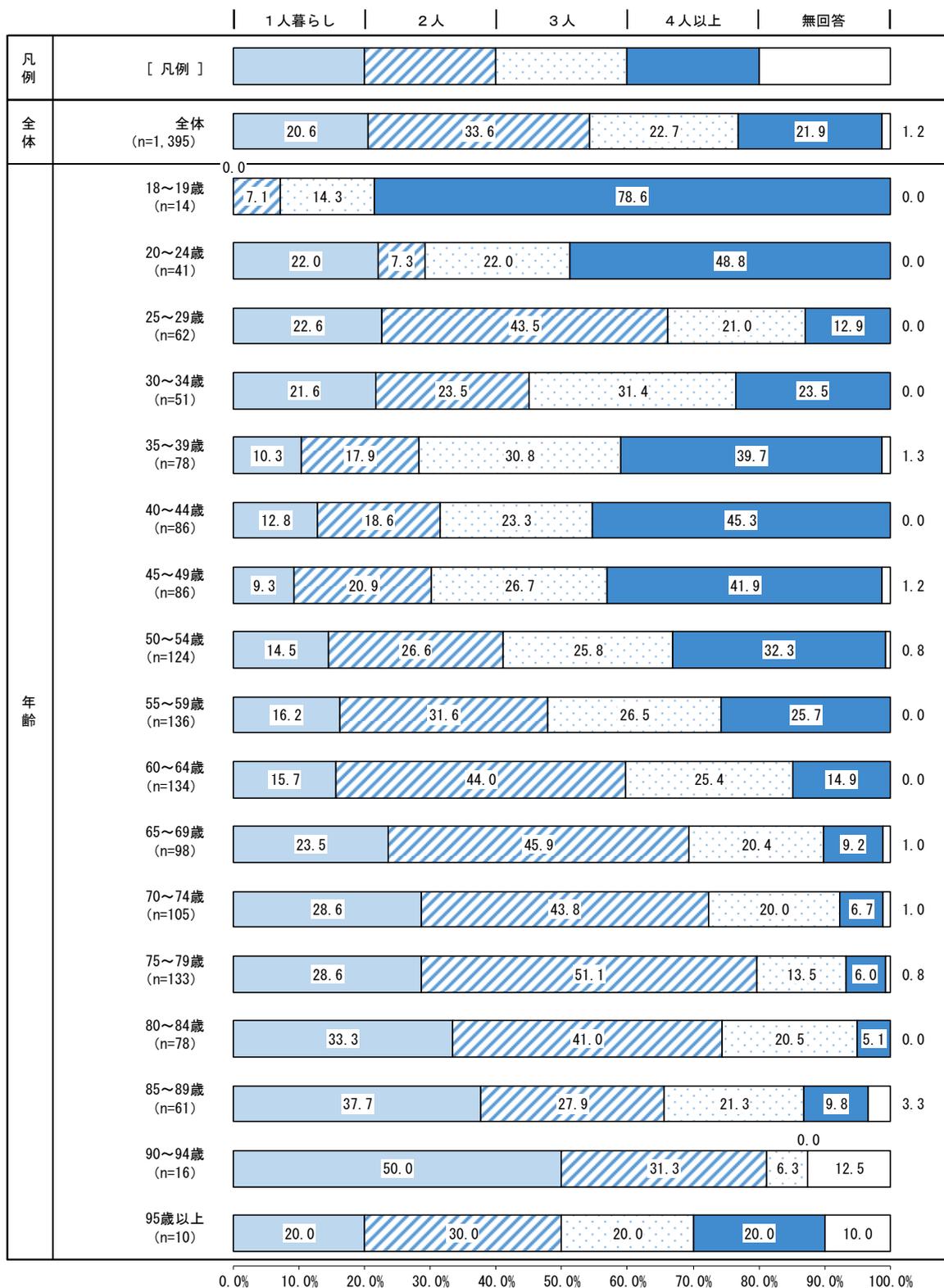
【年齢別】

○ 25～29歳では、「2人」が4割を超えています。

○ 35～39歳、40～44歳、45～49歳では、「4人以上」が、それぞれ39.7%、45.3%、41.9%と最も多くなっています。

○ 「1人暮らし」は、70～74歳、75～79歳、80～84歳で約3割、85～89歳で約4割となっています。

【世帯人数・年齢別】



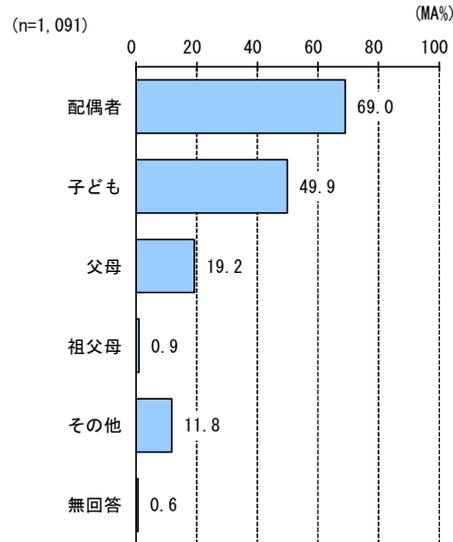
【問3で「2人」「3人」「4人以上」を選択した方のみ】

問4 現在、あなたと同居している人を選んでください。(〇はいくつでも)

【全体】

○ 「配偶者」が69.0%で最も多く、次いで「子ども」が49.9%、「父母」が19.2%となっています。

【同居している人（複数回答）】



【同居している人（複数回答）・年齢別・性別・世帯人数別】

単位：%

	母数 (n)	同居している人 (MA)						
		配偶者	子ども	父母	祖父母	その他	無回答	
全体	1,091	69.0	49.9	19.2	0.9	11.8	0.6	
年齢	18～19歳	14	-	-	△100.0	-	64.3	-
	20～24歳	32	▼12.5	▼6.3	△87.5	△12.5	37.5	-
	25～29歳	48	▼50.0	▼18.8	△39.6	2.1	20.8	-
	30～34歳	40	▼52.5	45.0	△42.5	5.0	10.0	-
	35～39歳	69	71.0	△63.8	24.6	-	7.2	-
	40～44歳	75	△80.0	△72.0	16.0	-	4.0	-
	45～49歳	77	72.7	△66.2	24.7	-	13.0	-
	50～54歳	105	78.1	△64.8	16.2	-	3.8	-
	55～59歳	114	75.4	58.8	19.3	-	13.2	-
	60～64歳	113	75.2	▼39.8	18.6	0.9	10.6	2.7
	65～69歳	74	△81.1	▼37.8	13.5	-	10.8	-
	70～74歳	74	74.3	43.2	▼2.7	1.4	12.2	-
	75～79歳	94	73.4	▼28.7	▼2.1	-	12.8	3.2
	80～84歳	52	61.5	59.6	-	-	11.5	-
85～89歳	36	66.7	△66.7	-	-	11.1	-	
90～94歳	6	▼16.7	△83.3	-	-	16.7	-	
95歳以上	7	-	△85.7	-	-	28.6	14.3	
性別	男性	468	73.1	41.5	21.6	1.1	12.2	0.6
	女性	618	66.0	56.3	17.5	0.8	11.7	0.6
	回答しない	4	▼50.0	50.0	25.0	-	-	-
世帯人数	1人暮らし	-	-	-	-	-	-	-
	2人	469	66.3	▼14.5	10.4	0.2	9.4	0.6
	3人	317	68.5	△73.8	22.1	0.6	7.9	1.3
	4人以上	305	73.8	△79.3	△29.8	2.3	19.7	-

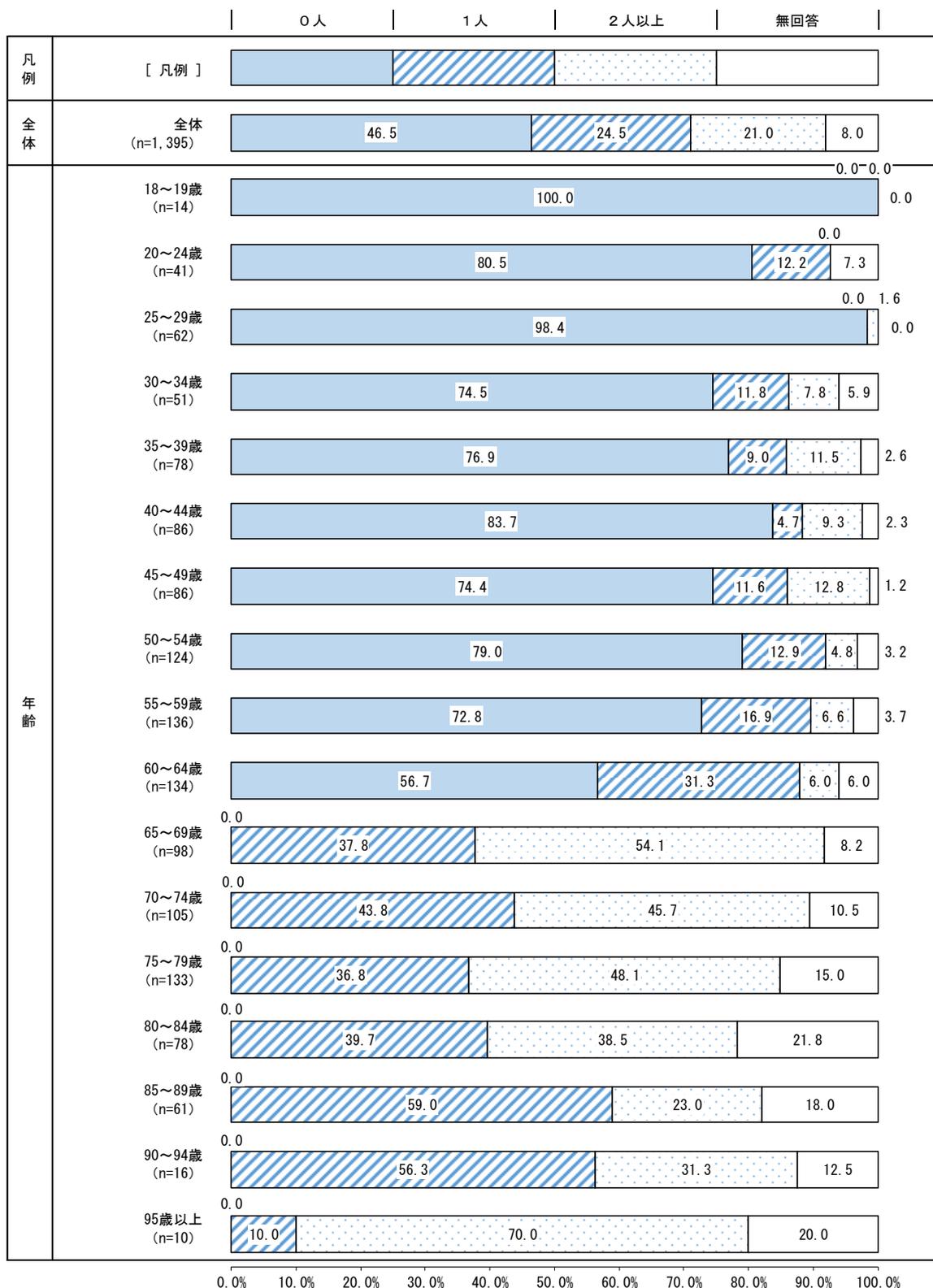
問5 そのうち、あなた自身を含めた65歳以上の人数を教えてください。

(○は1つだけ)

【全体】

○ 「0人」が46.5%で最も多く、次いで「1人」が24.5%、「2人以上」が21.0%となっています。

【世帯の65歳以上の人数・年齢別】



(2) 就業の状況

問6 あなたは現在、仕事をしていますか。

【全体】

○ 「している」が62.4%、「していない」が36.7%となっています。

【年齢別】

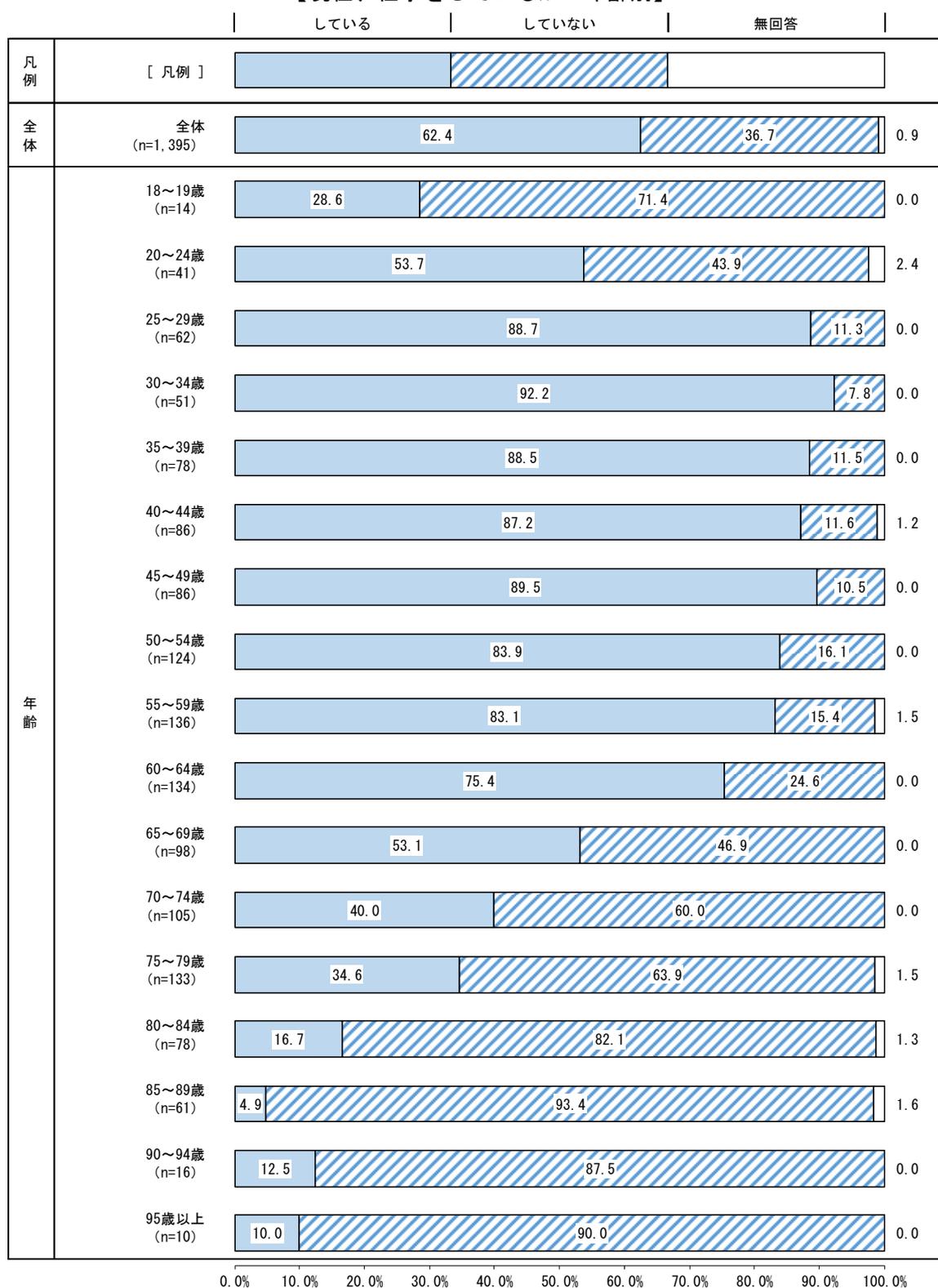
○ 60～64歳では、「している」が75.4%、「していない」が24.6%となっています。

○ 65～69歳では、「している」が53.1%、「していない」が46.9%となっています。

○ 70～74歳では、「している」が40.0%、「していない」が60.0%となっています。

○ 75～79歳では、「している」が34.6%、「していない」が63.9%となっています。

【現在、仕事をしているか・年齢別】



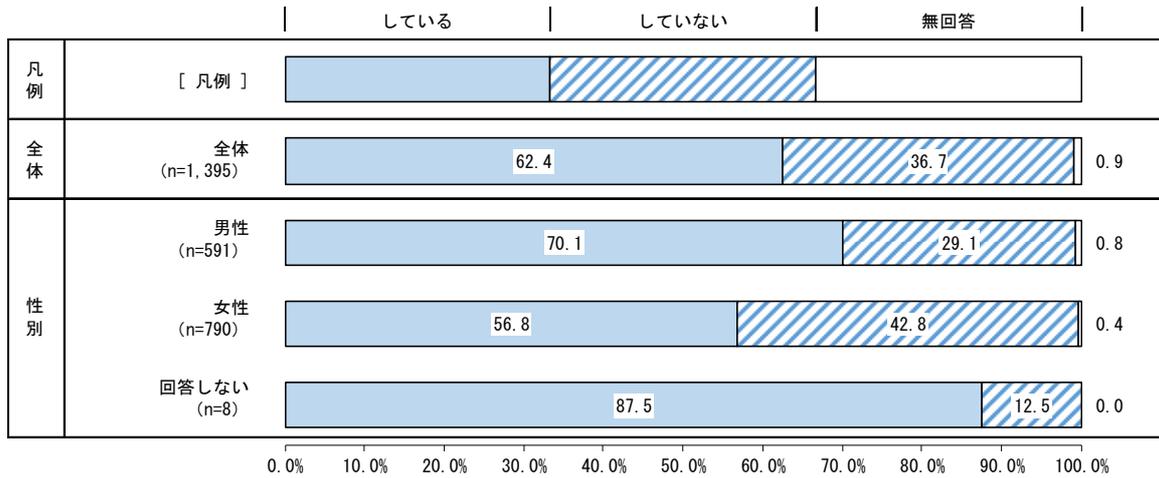
【性別】

- 男性では、「している」が70.1%、「していない」が29.1%となっています。
- 女性では、「している」が56.8%、「していない」が42.8%となっています。

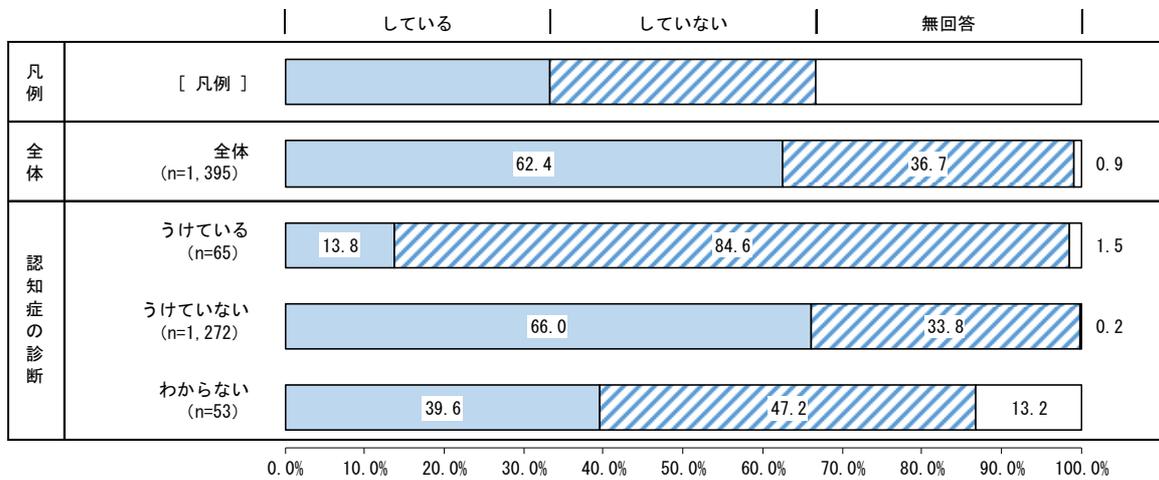
【認知症の診断別】

- 認知症の診断を『うけている』方では、「している」が13.8%、「していない」が84.6%となっています。
- 認知症の診断を『うけていない』方では、「している」が66.0%、「していない」が33.8%となっています。
- 『わからない』方では、「している」が39.6%、「していない」が47.2%となっています。

【現在、仕事をしているか・性別】



【現在、仕事をしているか・認知症の診断別】



(3) 認知症の診断について

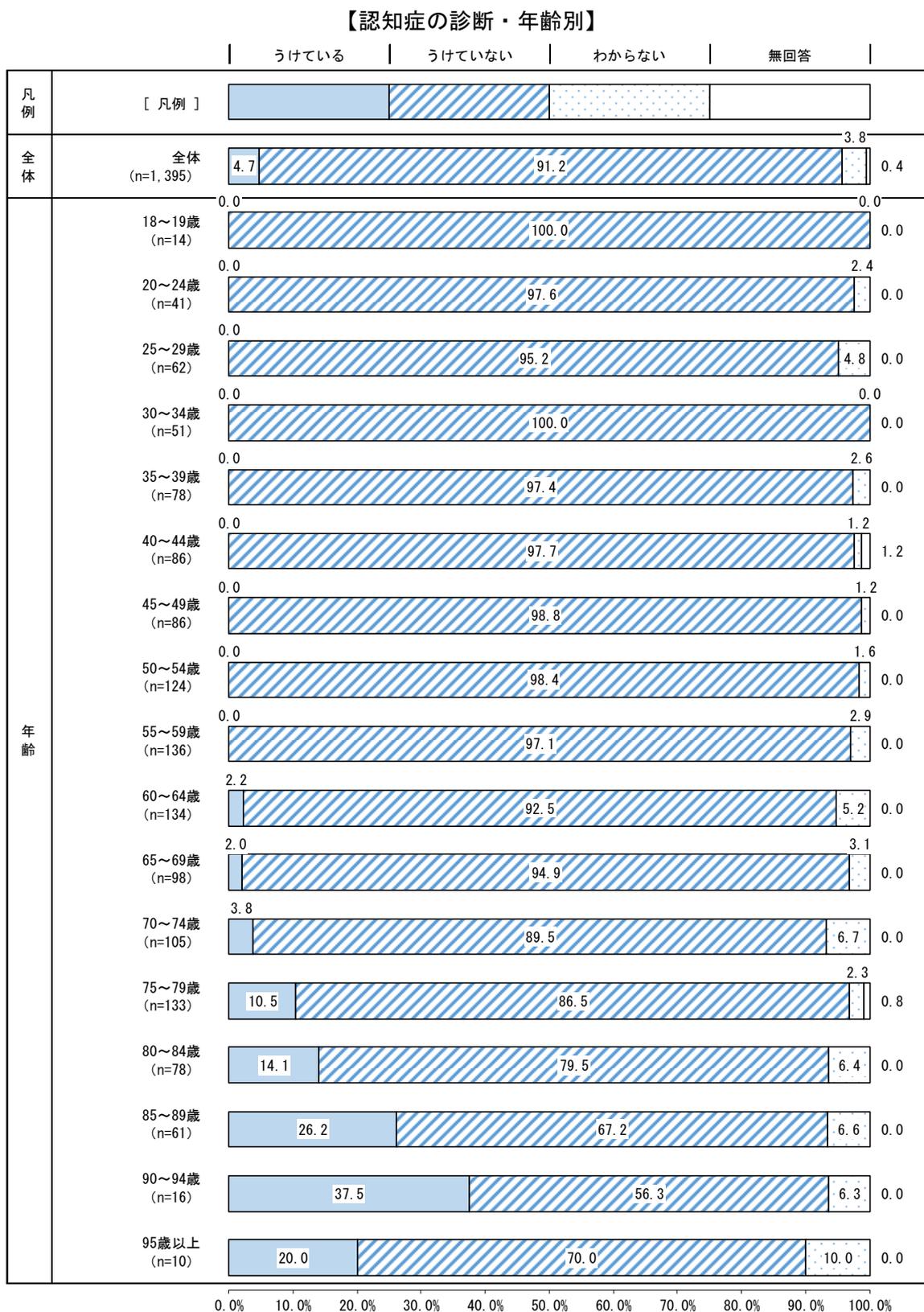
問7 あなたは認知症との診断を受けていますか。(○は1つだけ)

【全体】

○ 認知症の診断を「うけている」が4.7%、「うけていない」が91.2%、「わからない」が3.8%となっています。また、65歳以上では「うけている」が11.0%となっています。

【年齢別】

○ 「うけている」は、85～89歳が26.2%、80～84歳が14.1%、75～79歳が10.5%となっています。

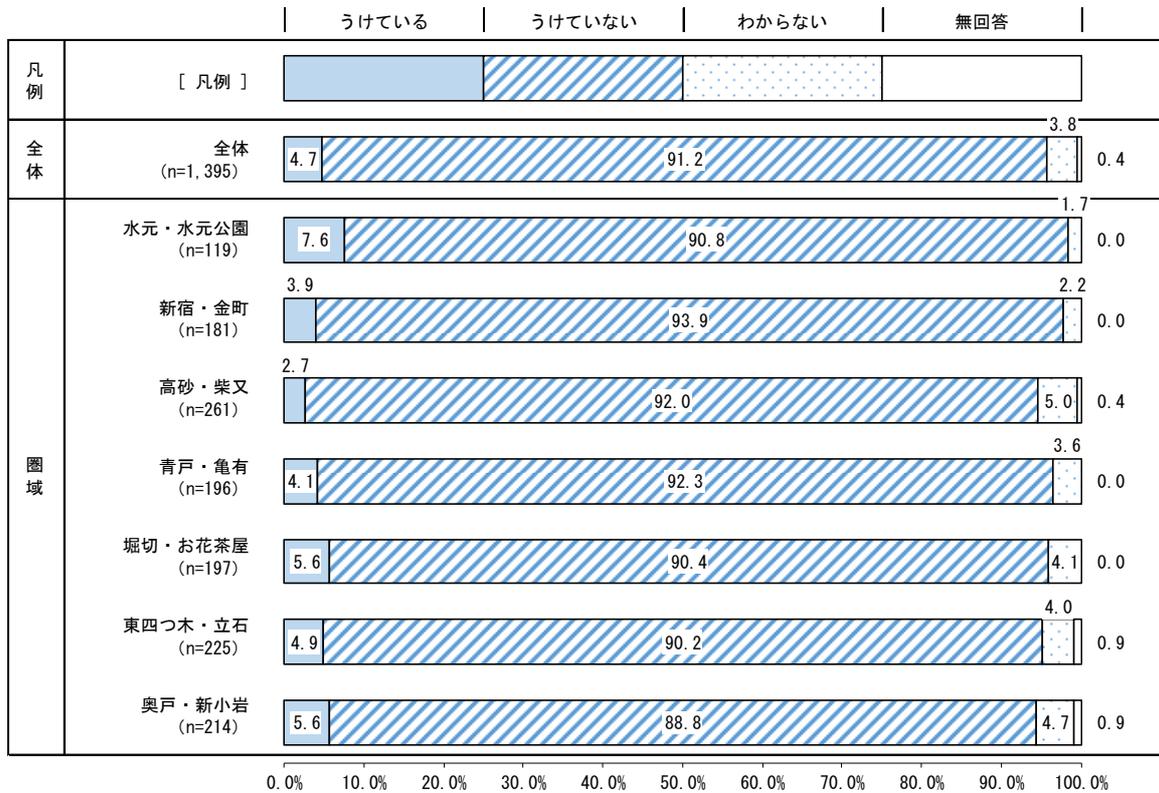


【圏域別】

○ 「うけている」は水元・水元公園が7.6%と最も多くなっています。

○ 「うけていない」は新宿・金町が93.9%と最も多くなっています。

【認知症の診断・圏域別】



2. 認知症の診断を受けている方の状況

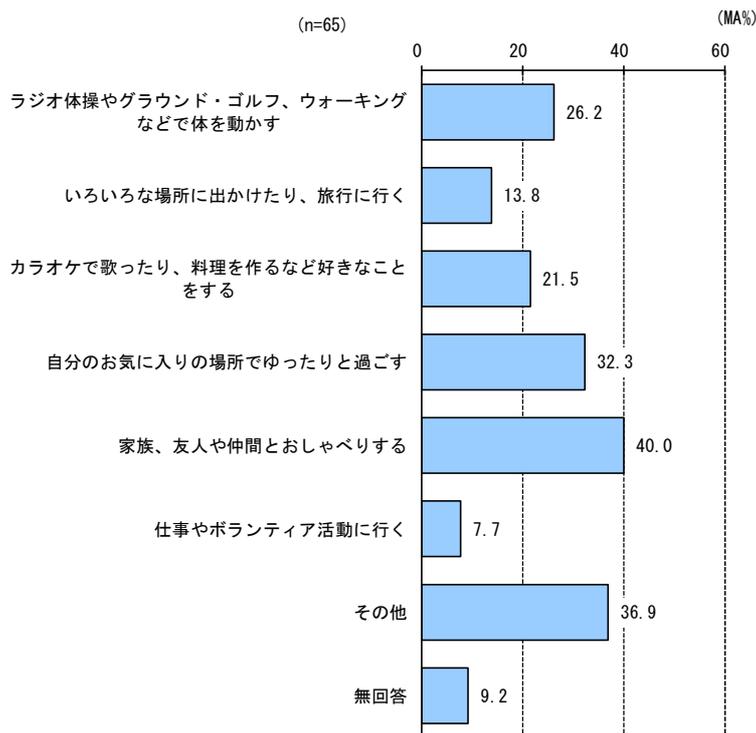
(1) 生活について

問8 現在、あなたが楽しみにしている（続けている）ことを教えてください。
（〇はいくつでも）

【全体】

- 「家族、友人や仲間とおしゃべりする」が40.0%で最も多く、次いで「自分のお気に入りの場所でゆったりと過ごす」が32.3%、「ラジオ体操やグラウンド・ゴルフ、ウォーキングなどで体を動かす」が26.2%となっています。

【現在、楽しみにしていること（複数回答）】



【現在、楽しみにしていること（複数回答）・年齢別・性別・世帯人数別・現在の仕事別】

単位：％

	母数 (n)	現在、楽しみにしていること (MA)							
		ウ ラ ジ オ キ ン グ な ど で 体 を 動 か す	行 く い ろ い ろ な 場 所 に 出 か け た り 、 旅 行 に	好 き な こ と を す る	カ ラ オ ケ で 歌 つ た り 、 料 理 を 作 る な ど	過 ご す 自 分 の お 気 に 入 り の 場 所 で ゆ つ た り と	家 族 、 友 人 や 仲 間 と お し ゃ べ り す る	仕 事 や ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 に 行 く	そ の 他
全体	65	26.2	13.8	21.5	32.3	40.0	7.7	36.9	9.2
年 齢	60～64歳	3	-	△ 33.3	-	33.3	33.3	△ 33.3	33.3
	65～69歳	2	△ 50.0	△ 100.0	-	△ 50.0	-	-	-
	70～74歳	4	25.0	-	25.0	△ 50.0	-	75.0	-
	75～79歳	14	28.6	-	28.6	▼ 14.3	42.9	7.1	57.1
	80～84歳	11	△ 36.4	△ 27.3	27.3	27.3	45.5	△ 27.3	18.2
	85～89歳	16	31.3	6.3	25.0	△ 43.8	43.8	-	37.5
	90～94歳	6	-	16.7	16.7	△ 50.0	△ 50.0	-	33.3
95歳以上	2	-	-	-	△ 100.0	△ 50.0	-	-	
性 別	男性	29	34.5	20.7	20.7	34.5	41.4	10.3	31.0
	女性	36	19.4	8.3	22.2	30.6	38.9	5.6	41.7
世 帯 人 数	1人暮らし	21	33.3	9.5	19.0	38.1	38.1	4.8	38.1
	2人	29	17.2	17.2	24.1	27.6	41.4	10.3	37.9
	3人	8	△ 50.0	12.5	25.0	37.5	△ 62.5	12.5	37.5
	4人以上	5	20.0	20.0	20.0	▼ 20.0	-	-	20.0
仕 事 の 現 在	している	9	22.2	△ 33.3	△ 33.3	33.3	44.4	△ 44.4	22.2
	していない	55	27.3	10.9	20.0	32.7	40.0	1.8	38.2

【現在、楽しみにしていること（複数回答）・圏域別】

単位：％

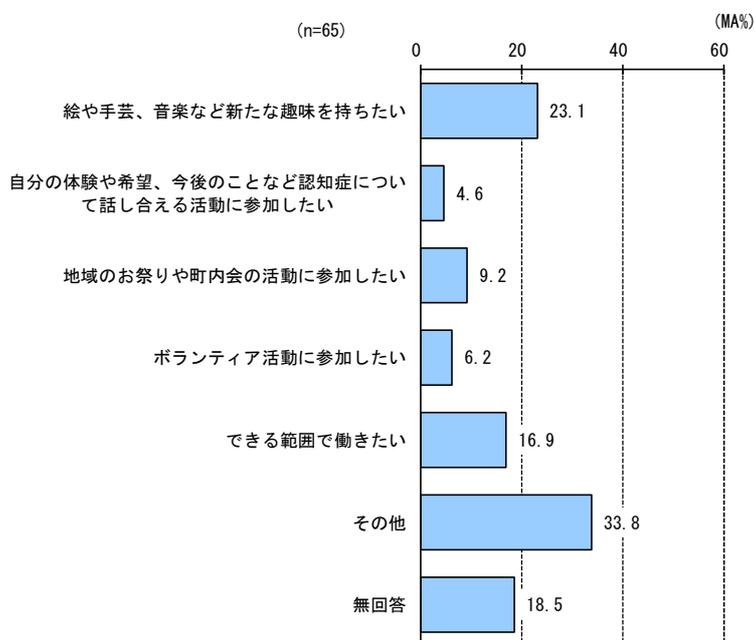
	母数 (n)	現在、楽しみにしていること (MA)							
		ウ ラ ジ オ キ ン グ な ど で 体 を 動 か す	行 く い ろ い ろ な 場 所 に 出 か け た り 、 旅 行 に	好 き な こ と を す る	カ ラ オ ケ で 歌 つ た り 、 料 理 を 作 る な ど	過 ご す 自 分 の お 気 に 入 り の 場 所 で ゆ つ た り と	家 族 、 友 人 や 仲 間 と お し ゃ べ り す る	仕 事 や ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 に 行 く	そ の 他
全体	65	26.2	13.8	21.5	32.3	40.0	7.7	36.9	9.2
圏 域	水元・水元公園	9	22.2	-	-	△ 55.6	△ 55.6	-	22.2
	新宿・金町	7	▼ 14.3	14.3	14.3	28.6	△ 57.1	14.3	57.1
	高砂・柴又	7	▼ 14.3	△ 42.9	△ 57.1	28.6	42.9	14.3	28.6
	青戸・亀有	8	△ 37.5	12.5	25.0	37.5	▼ 25.0	12.5	37.5
	堀切・お花茶屋	11	27.3	18.2	18.2	▼ 9.1	▼ 18.2	-	54.5
	東四つ木・立石	11	△ 36.4	18.2	27.3	27.3	36.4	-	36.4
	奥戸・新小岩	12	25.0	-	16.7	41.7	△ 50.0	16.7	25.0

問9 今後、あなたがやってみたいと思うことを教えてください。(〇はいくつでも)

【全体】

○ 「絵や手芸、音楽など新たな趣味を持ちたい」が23.1%で最も多く、次いで「できる範囲で働きたい」が16.9%、「地域のお祭りや町内会の活動に参加したい」が9.2%となっています。

【今後、やってみたいこと（複数回答）】



【今後、やってみたいこと（複数回答）・年齢別・性別・世帯人数別・現在の仕事別】

単位：％

	母数 (n)	今後、やってみたいこと (MA)							
		た 絵 や 手 芸 、 音 楽 な ど 新 た な 趣 味 を 持 ち	た 知 症 に つ い て 話 し 合 え る 活 動 に 参 加 し	自 分 の 体 験 や 希 望 、 今 後 の こ と な ど 認	た 地 域 の お 祭 り や 町 内 会 の 活 動 に 参 加 し	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 に 参 加 し た い	で き る 範 圍 で 働 き た い	そ の 他	無 回 答
全体	65	23.1	4.6	9.2	6.2	16.9	33.8	18.5	
年 齢	60～64歳	3	△ 33.3	-	-	-	△ 33.3	-	33.3
	65～69歳	2	△ 100.0	-	-	-	-	-	-
	70～74歳	4	△ 50.0	-	-	-	-	50.0	-
	75～79歳	14	21.4	-	14.3	7.1	21.4	42.9	14.3
	80～84歳	11	△ 36.4	-	18.2	△ 18.2	△ 27.3	18.2	9.1
	85～89歳	16	▼ 12.5	△ 18.8	6.3	6.3	12.5	37.5	18.8
	90～94歳	6	-	-	16.7	-	△ 33.3	33.3	16.7
95歳以上	2	-	-	-	-	-	50.0	50.0	
性 別	男性	29	27.6	3.4	10.3	3.4	17.2	27.6	27.6
	女性	36	19.4	5.6	8.3	8.3	16.7	38.9	11.1
世 帯 人 数	1人暮らし	21	19.0	9.5	9.5	4.8	14.3	33.3	14.3
	2人	29	17.2	3.4	10.3	10.3	17.2	37.9	24.1
	3人	8	△ 50.0	-	12.5	-	25.0	25.0	-
	4人以上	5	△ 40.0	-	-	-	20.0	20.0	20.0
仕 事 の 現 在	している	9	△ 33.3	-	△ 22.2	-	△ 55.6	-	11.1
	していない	55	20.0	5.5	7.3	7.3	10.9	40.0	20.0

【今後、やってみたいこと（複数回答）・圏域別】

単位：％

	母数 (n)	今後、やってみたいこと (MA)							
		た 絵 や 手 芸 、 音 楽 な ど 新 た な 趣 味 を 持 ち	た 知 症 に つ い て 話 し 合 え る 活 動 に 参 加 し	自 分 の 体 験 や 希 望 、 今 後 の こ と な ど 認	た 地 域 の お 祭 り や 町 内 会 の 活 動 に 参 加 し	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 に 参 加 し た い	で き る 範 圍 で 働 き た い	そ の 他	無 回 答
全体	65	23.1	4.6	9.2	6.2	16.9	33.8	18.5	
圏 域	水元・水元公園	9	▼ 11.1	11.1	-	-	22.2	22.2	33.3
	新宿・金町	7	28.6	-	△ 28.6	-	14.3	28.6	-
	高砂・柴又	7	14.3	-	14.3	14.3	△ 28.6	42.9	14.3
	青戸・亀有	8	▼ 12.5	-	12.5	12.5	12.5	50.0	12.5
	堀切・お花茶屋	11	27.3	9.1	9.1	-	9.1	54.5	18.2
	東四つ木・立石	11	△ 45.5	-	-	-	9.1	27.3	18.2
	奥戸・新小岩	12	16.7	8.3	8.3	△ 16.7	25.0	16.7	25.0

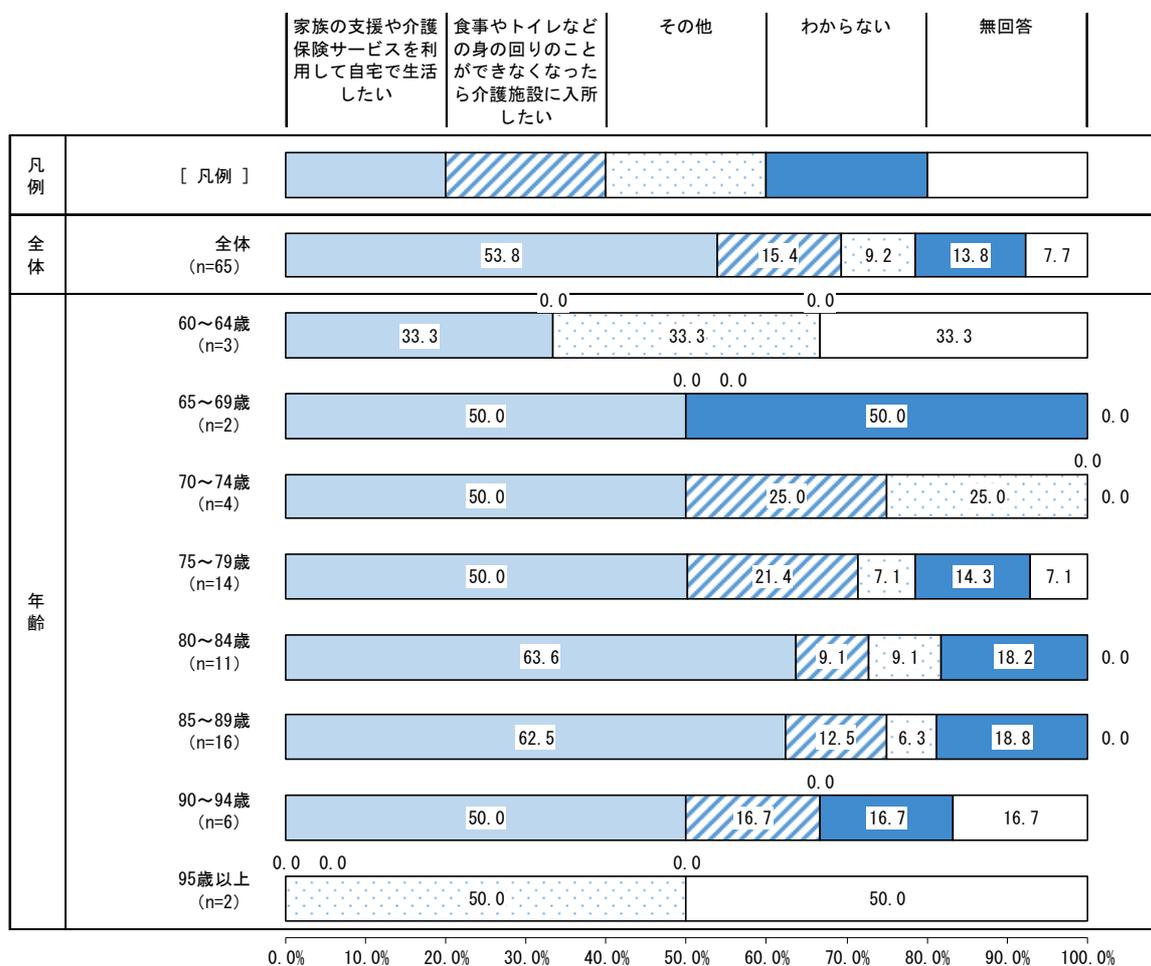
問10 あなたの今後の生活についてお考えに近いものをお選びください。

(○は1つだけ)

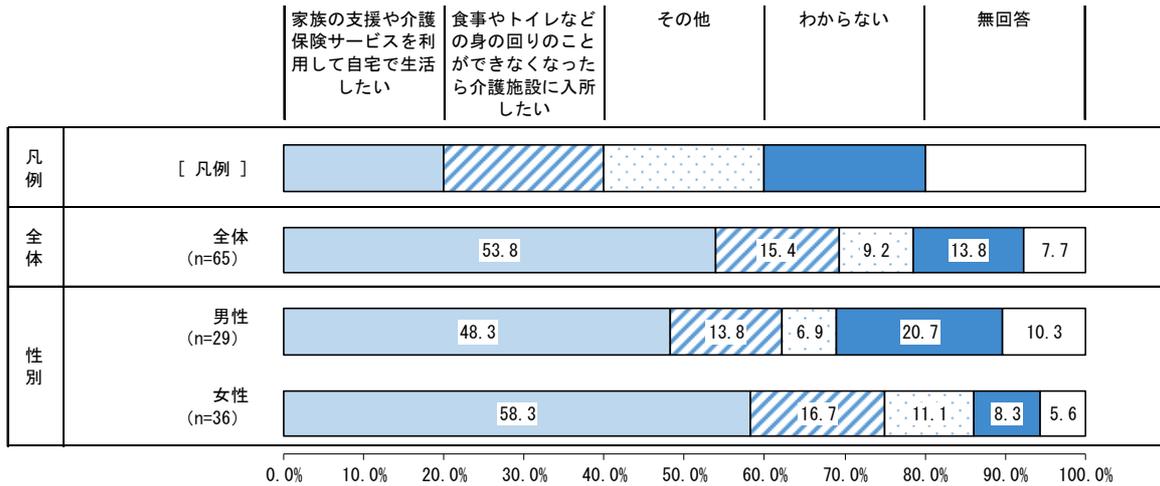
【全体】

○ 「家族の支援や介護保険サービスを利用して自宅で生活したい」が 53.8%で最も多く、次いで「食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら介護施設に入所したい」が 15.4%、「わからない」が 13.8%となっています。

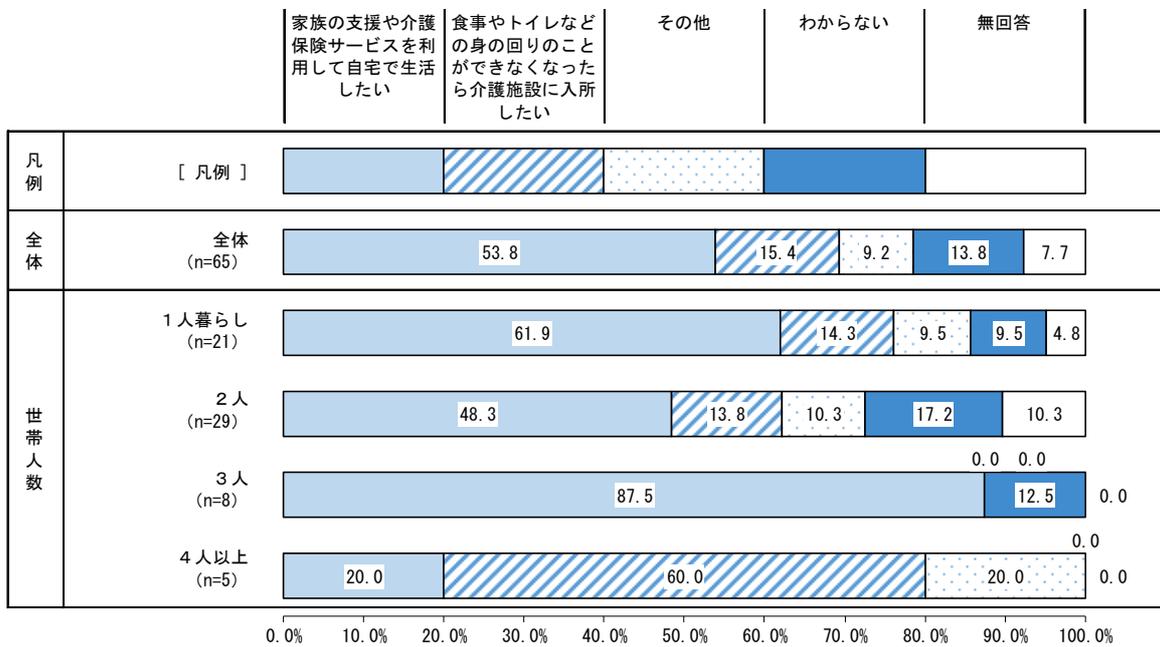
【今後の生活についての考え・年齢別】



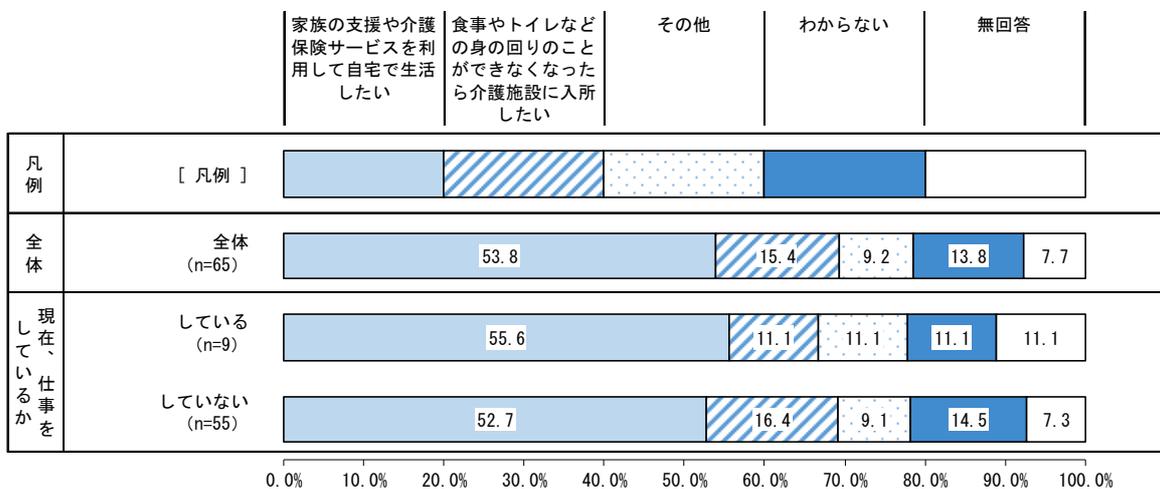
【今後の生活についての考え・性別】



【今後の生活についての考え・世帯人数別】



【今後の生活についての考え・現在の仕事別】

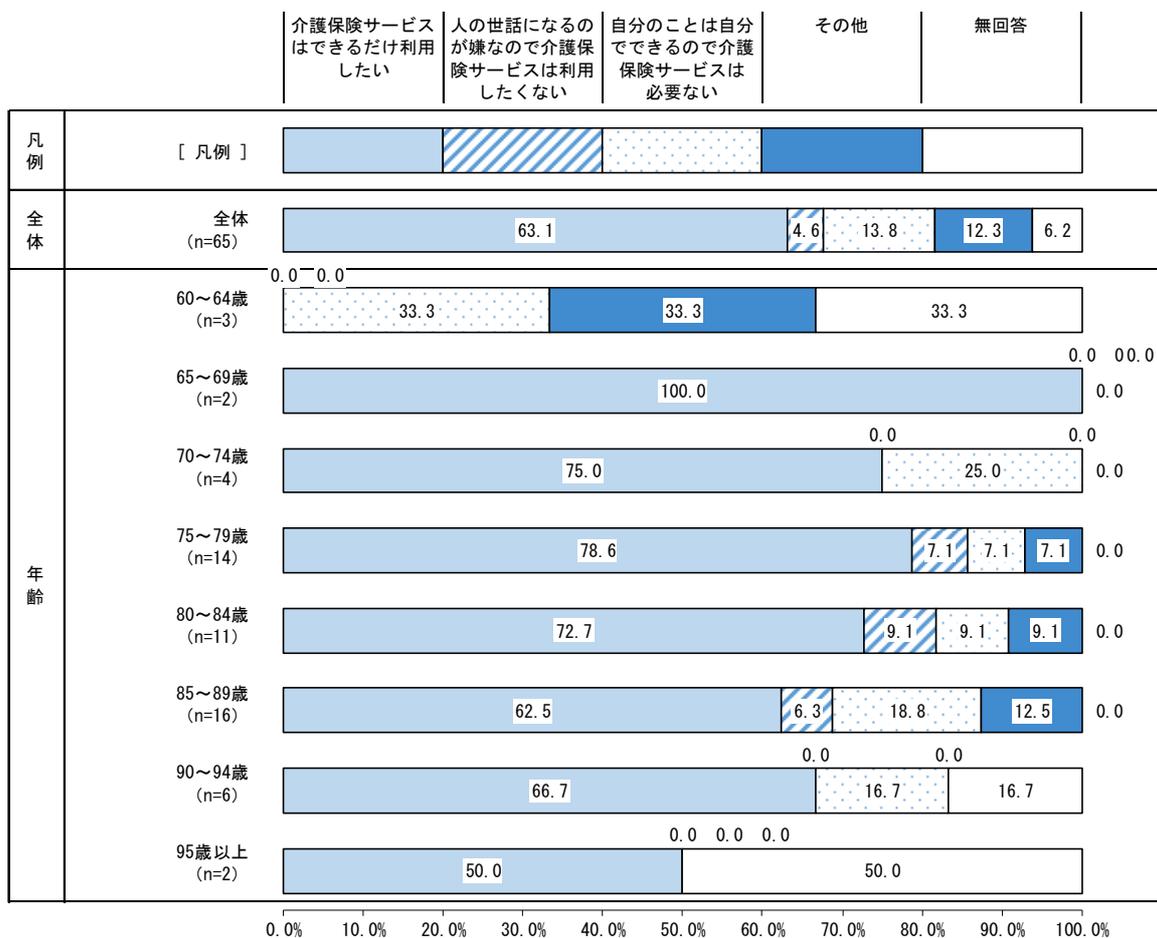


問11 介護保険サービスの利用について、あなたのお考えに近いものはどちらですか。
 (○は1つだけ)

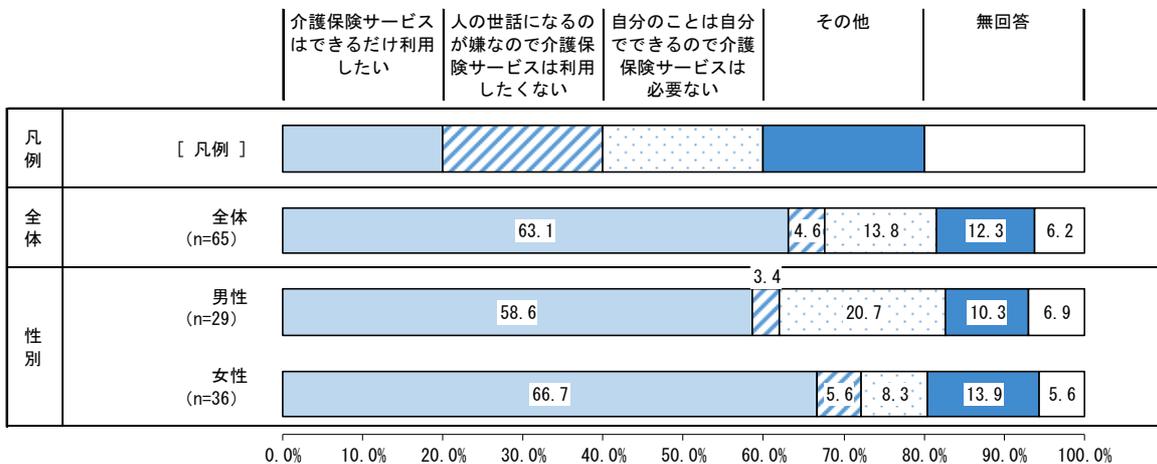
【全体】

○ 「介護保険サービスはできるだけ利用したい」が63.1%で最も多く、次いで「自分のことは自分でできるので介護保険サービスは必要ない」が13.8%、「人の世話になるのが嫌なので介護保険サービスは利用したくない」が4.6%となっています。

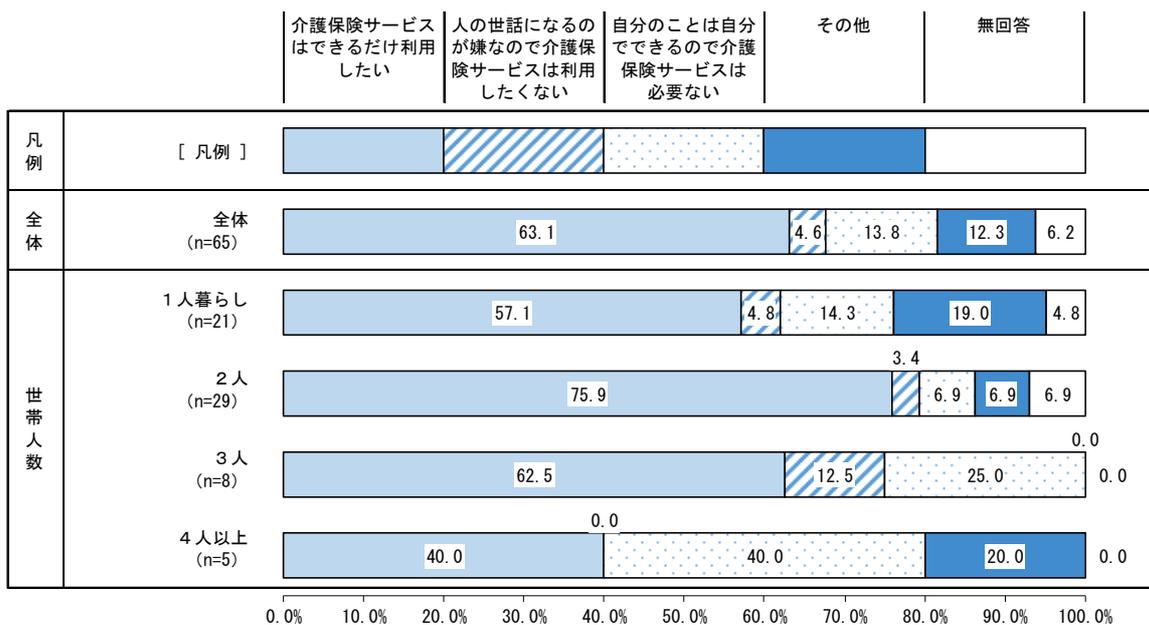
【介護保険サービスの利用についての考え・年齢別】



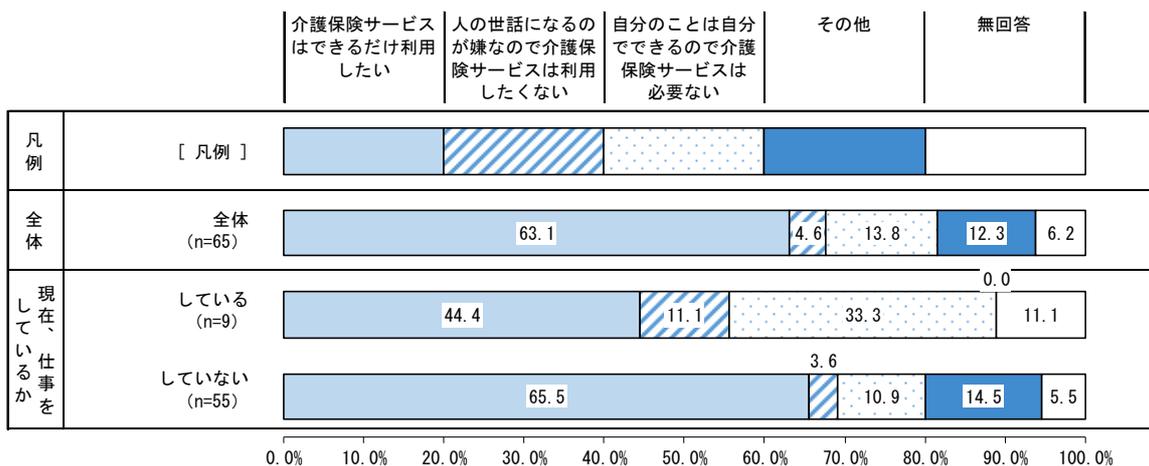
【介護保険サービスの利用についての考え・性別】



【介護保険サービスの利用についての考え・世帯人数別】



【介護保険サービスの利用についての考え・現在の仕事別】

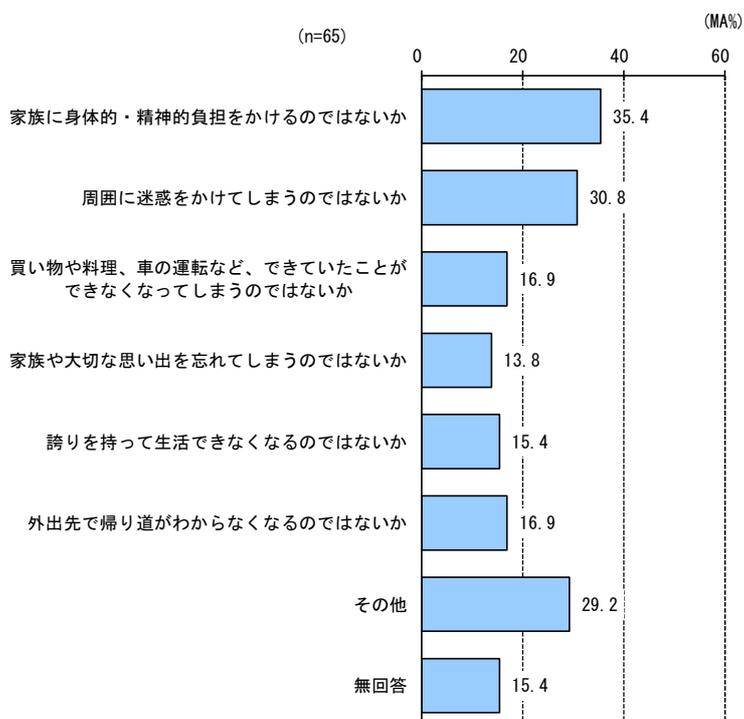


問12 あなたの現在の不安は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

【全体】

- 「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」が 35.4%で最も多く、次いで「周囲に迷惑をかけてしまうのではないか」が 30.8%、「買い物や料理、車の運転など、できていたことができなくなってしまうのではないか」「外出先で帰り道がわからなくなるのではないか」が 16.9%となっています。

【現在の不安（複数回答）】



【現在の不安（複数回答）・年齢別・性別・世帯人数別・現在の仕事別】

単位：％

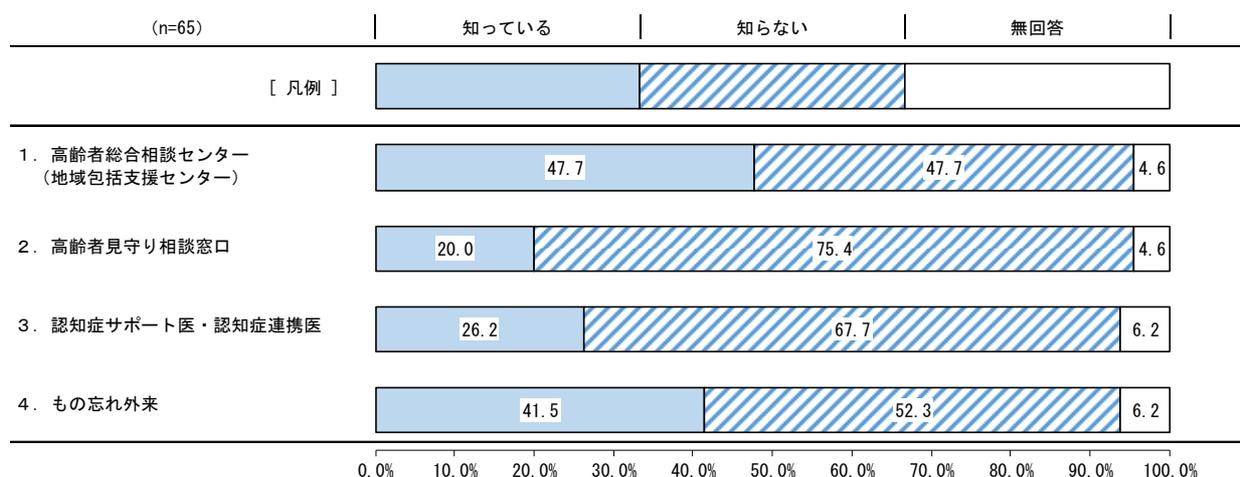
		母数 (n)	現在の不安 (MA)							
			で家族に身体的・精神的負担をかけるのか	周囲に迷惑をかけてしまうのではない	買い物や料理、車の運転などができなくなってしまうのではないか	家族や大切な思い出を忘れてしまうのではない	誇りを持って生活できなくなるのではない	外出先で帰り道がわからなくなるのではない	その他	無回答
全体		65	35.4	30.8	16.9	13.8	15.4	16.9	29.2	15.4
年齢	60～64歳	3	33.3	-	-	△ 33.3	△ 66.7	△ 33.3	33.3	33.3
	65～69歳	2	△ 50.0	△ 50.0	-	△ 50.0	-	-	-	-
	70～74歳	4	▼ 25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-
	75～79歳	14	35.7	35.7	△ 28.6	14.3	7.1	△ 28.6	14.3	7.1
	80～84歳	11	△ 54.5	27.3	9.1	9.1	18.2	9.1	27.3	9.1
	85～89歳	16	43.8	△ 43.8	25.0	△ 25.0	25.0	25.0	31.3	6.3
	90～94歳	6	33.3	△ 50.0	16.7	-	-	16.7	33.3	33.3
	95歳以上	2	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0
性別	男性	29	31.0	24.1	13.8	10.3	13.8	13.8	34.5	17.2
	女性	36	38.9	36.1	19.4	16.7	16.7	19.4	25.0	13.9
世帯人数	1人暮らし	21	28.6	28.6	19.0	14.3	14.3	19.0	28.6	23.8
	2人	29	41.4	37.9	17.2	17.2	10.3	20.7	31.0	6.9
	3人	8	△ 50.0	37.5	25.0	12.5	△ 50.0	12.5	12.5	-
	4人以上	5	▼ 20.0	-	-	-	-	-	40.0	40.0
現在の仕事	している	9	33.3	▼ 11.1	11.1	11.1	△ 33.3	-	22.2	33.3
	していない	55	36.4	34.5	18.2	14.5	12.7	20.0	29.1	12.7

(2) 認知症に関する相談窓口について

問13 認知症に関する相談窓口について、知っているものをご回答ください。

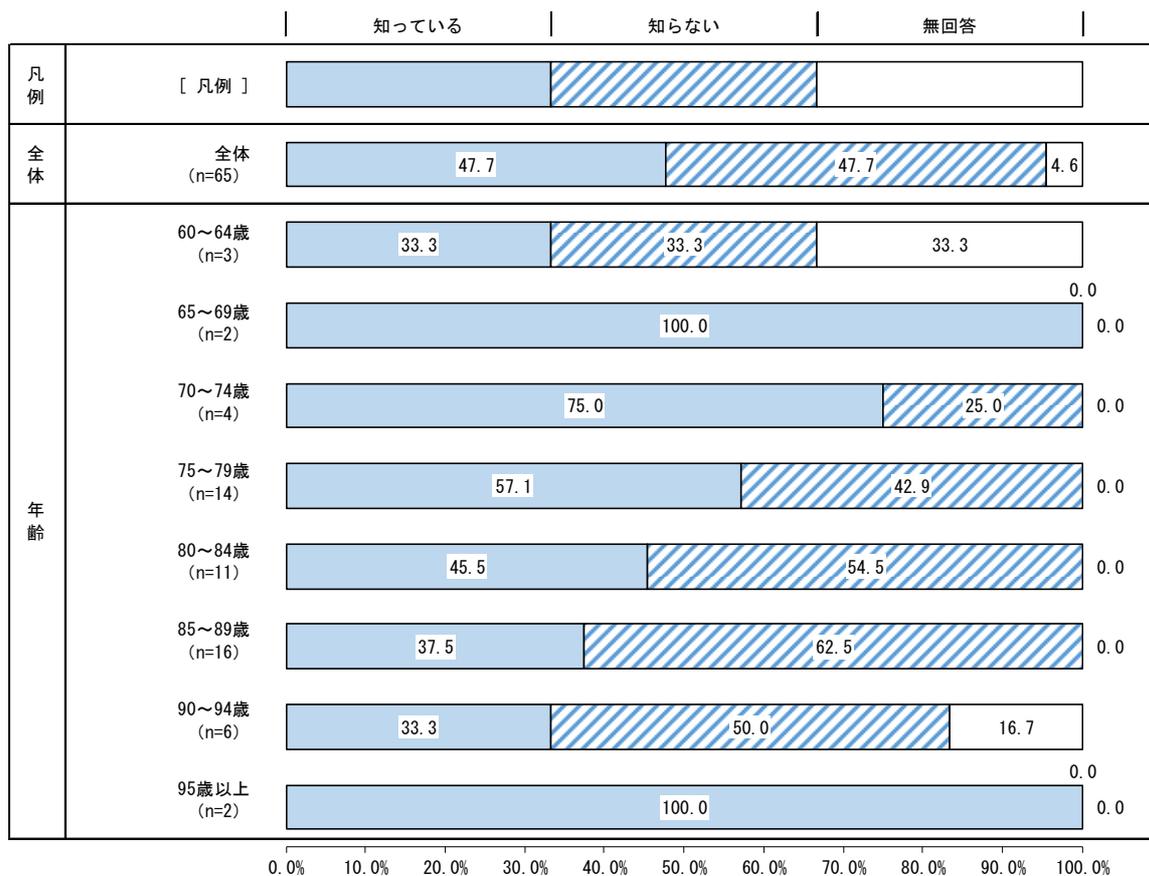
- 【高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）】**
 「知っている」が47.7%、「知らない」が47.7%となっています。
- 【高齢者見守り相談窓口の認知度】**
 「知っている」が20.0%、「知らない」が75.4%となっています。
- 【認知症サポート医・認知症連携医の認知度】**
 「知っている」が26.2%、「知らない」が67.7%となっています。
- 【もの忘れ外来の認知度】**
 「知っている」が41.5%、「知らない」が52.3%となっています。

【認知症に関する相談窓口の認知度】

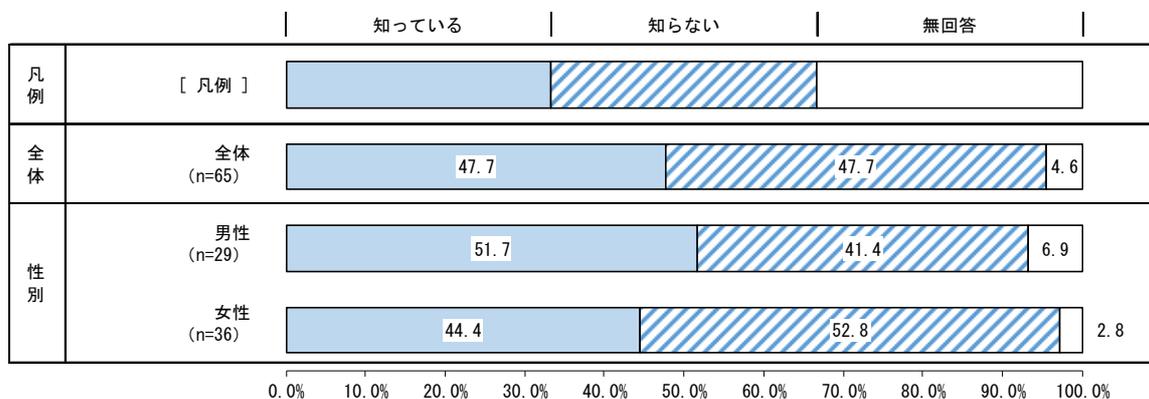


問13-1 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）

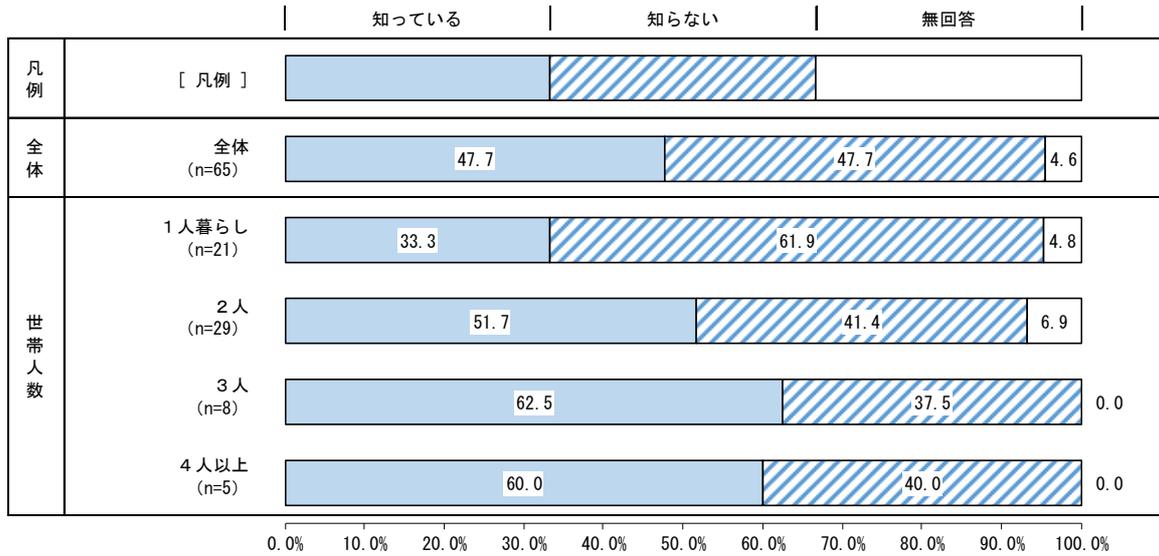
【高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の認知度・年齢別】



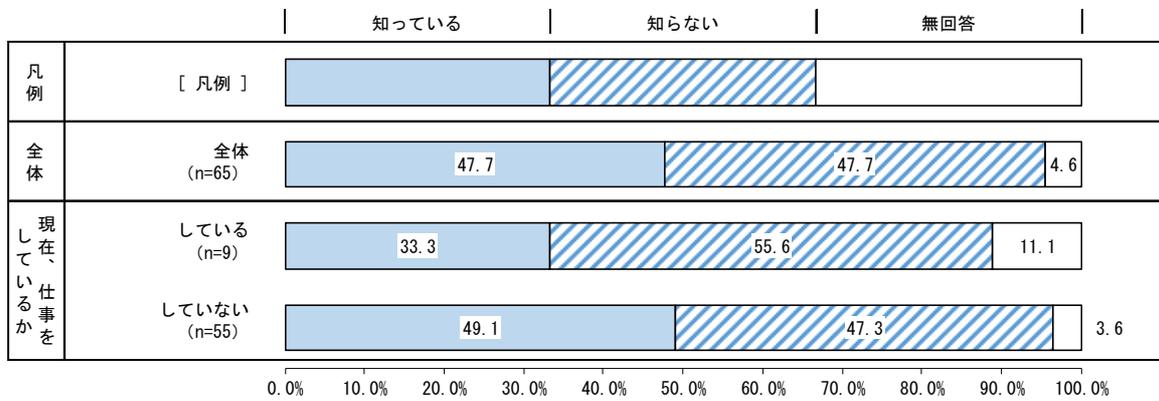
【高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の認知度・性別】



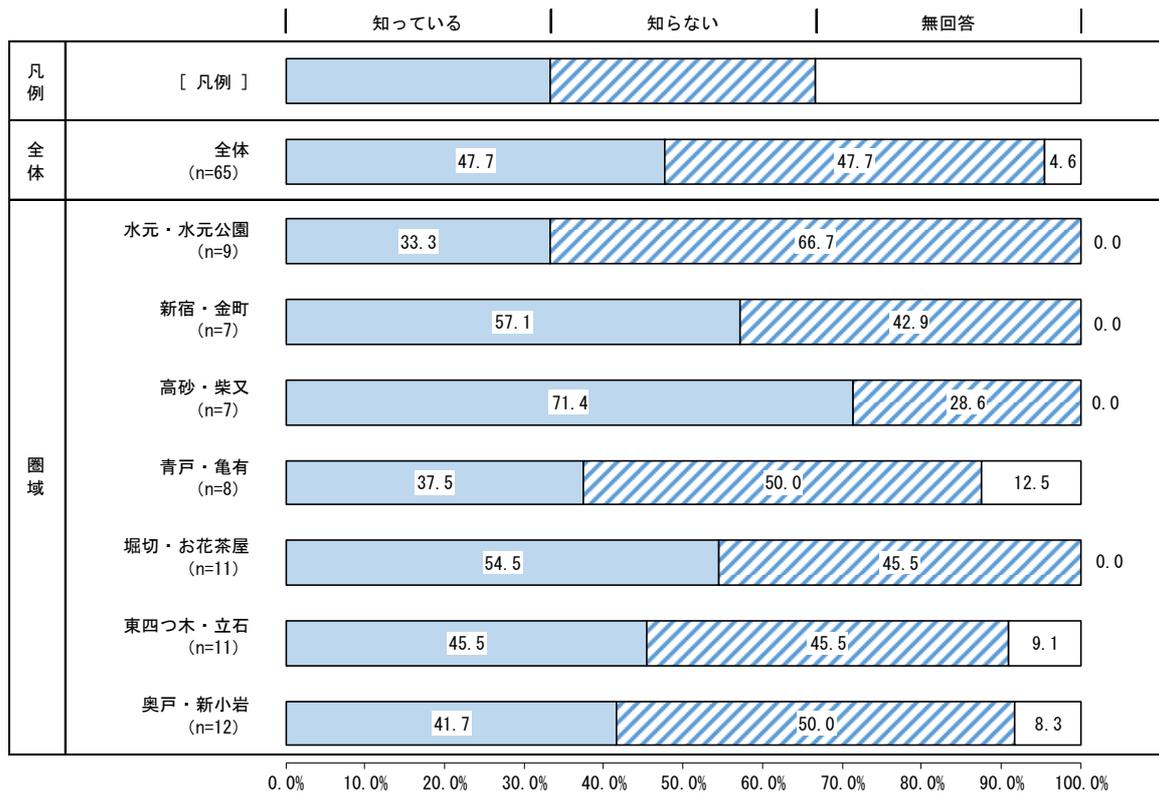
【高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の認知度・世帯人数別】



【高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の認知度・現在の仕事別】

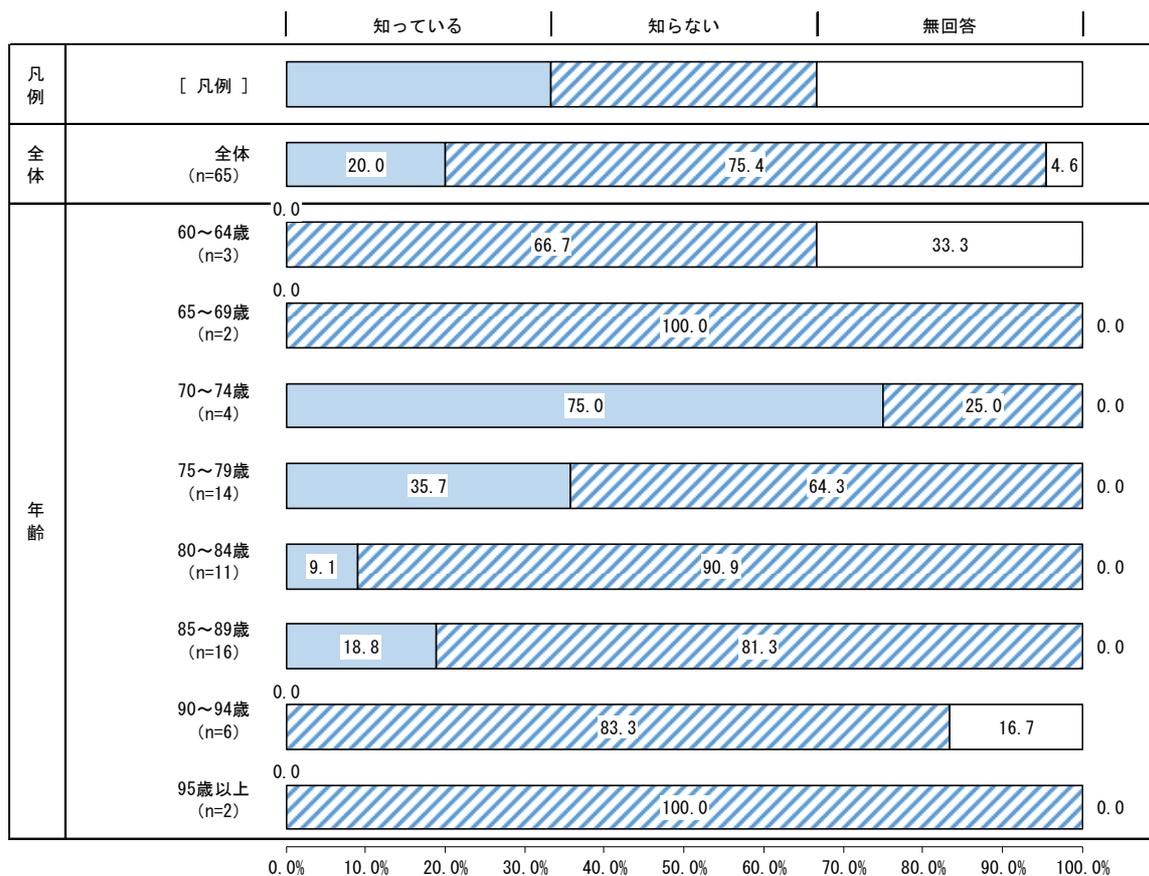


【高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の認知度・圏域別】

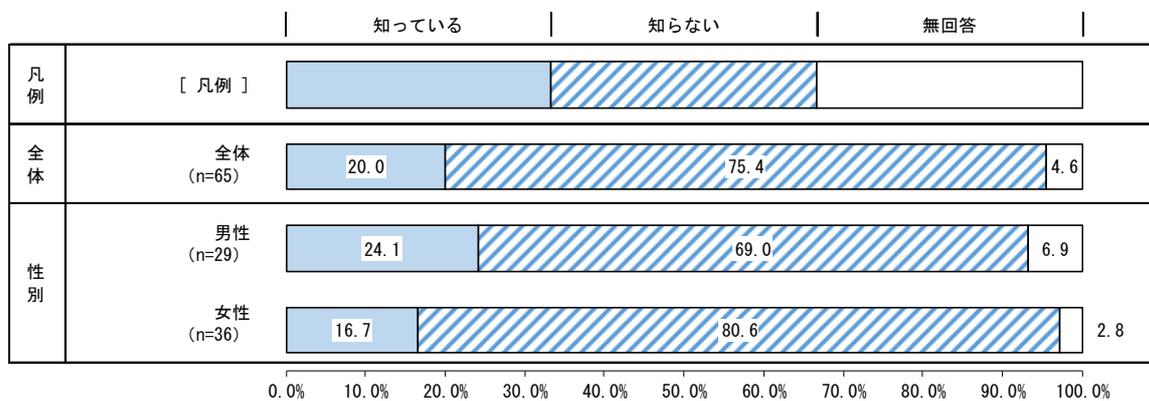


問13-2 高齢者見守り相談窓口

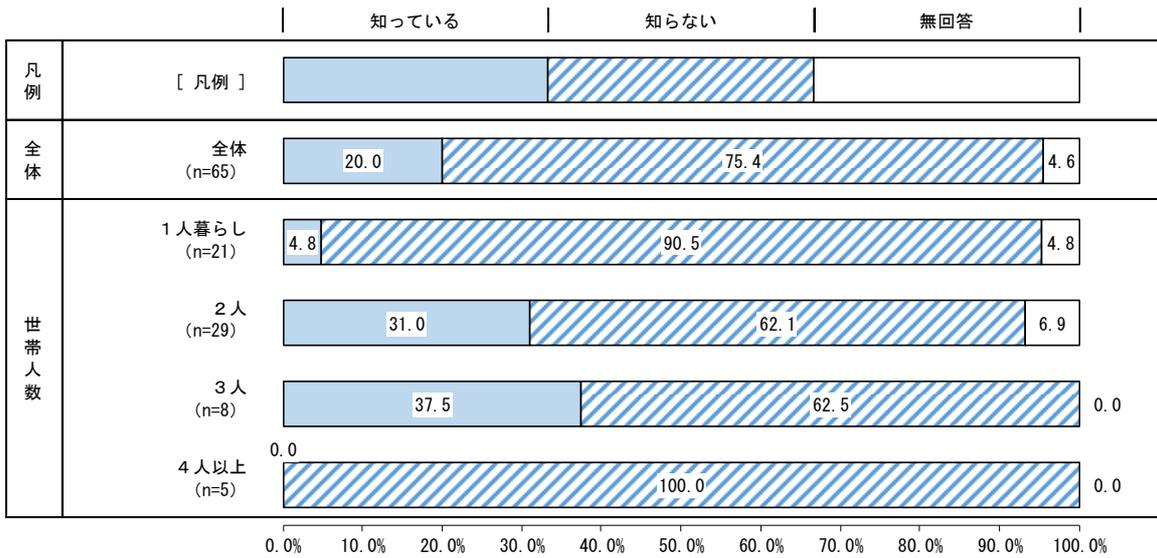
【高齢者見守り相談窓口の認知度・年齢別】



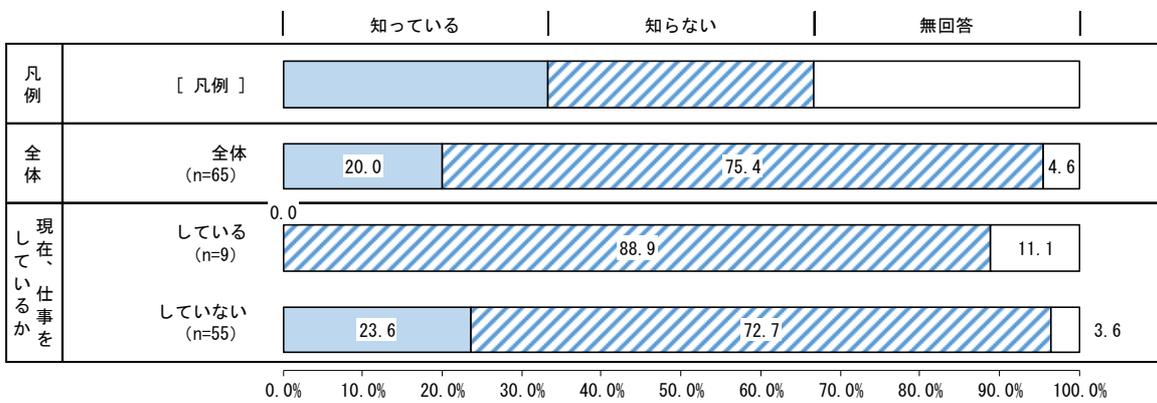
【高齢者見守り相談窓口の認知度・性別】



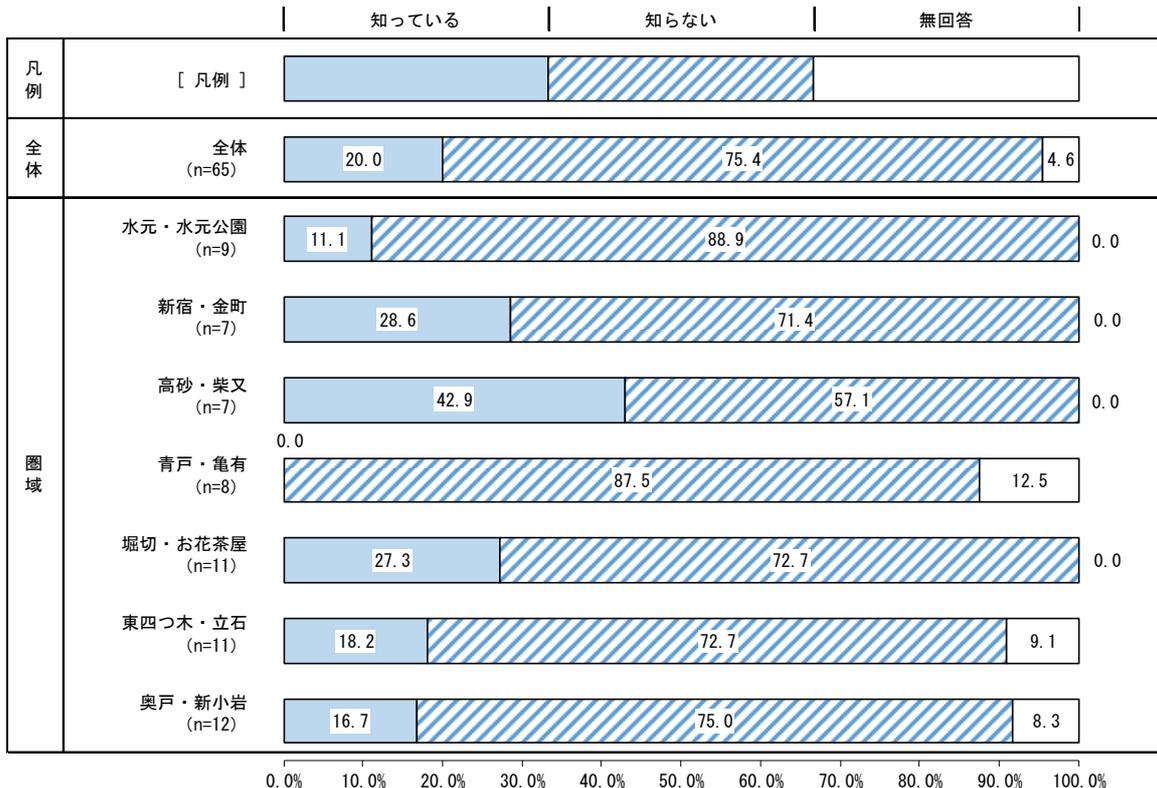
【高齢者見守り相談窓口の認知度・世帯人数別】



【高齢者見守り相談窓口の認知度・現在の仕事別】

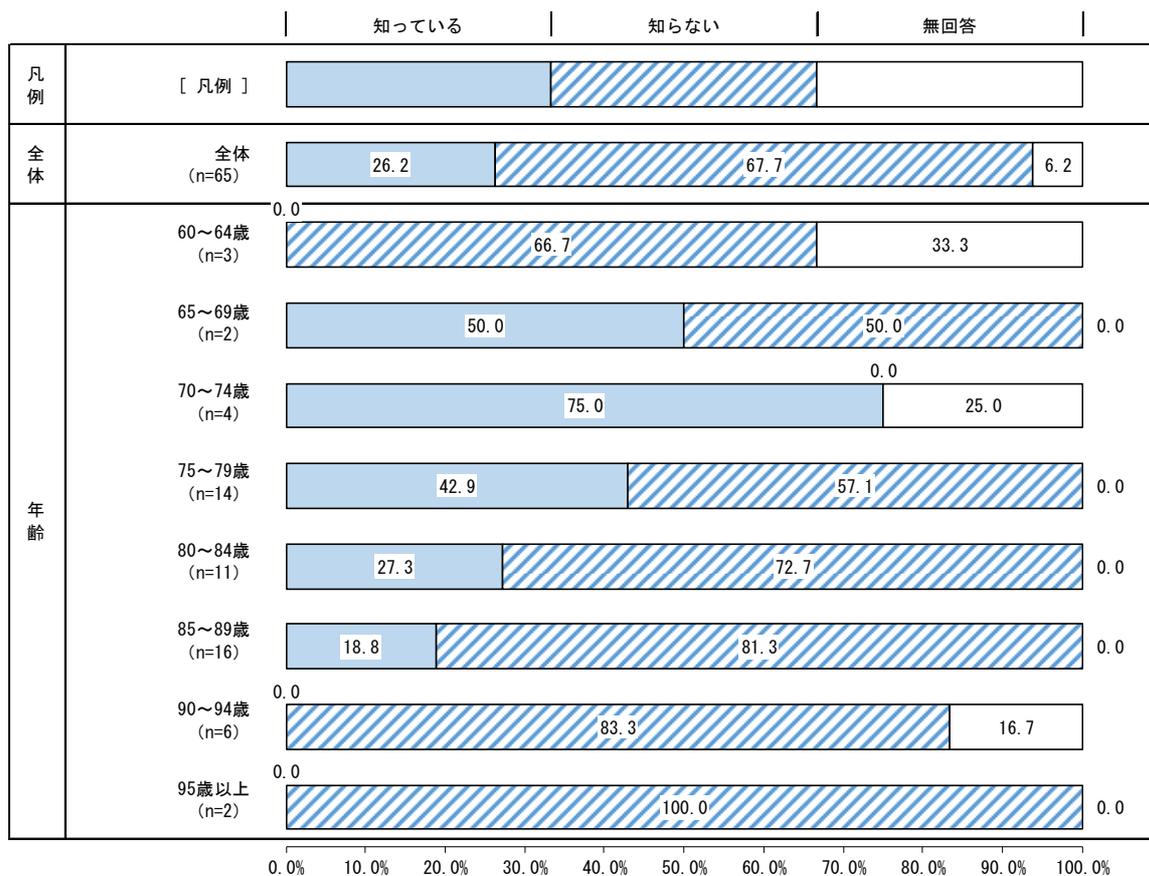


【高齢者見守り相談窓口の認知度・圏域別】

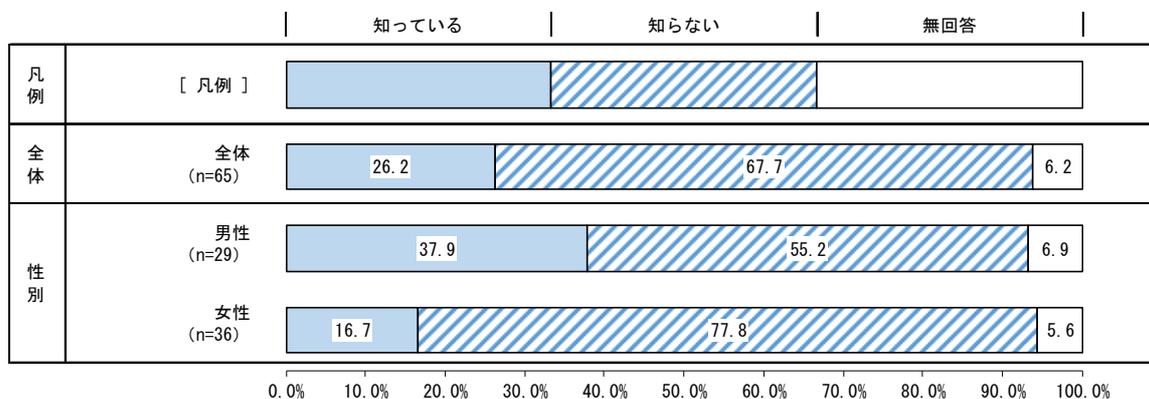


問13-3 認知症サポート医・認知症連携医

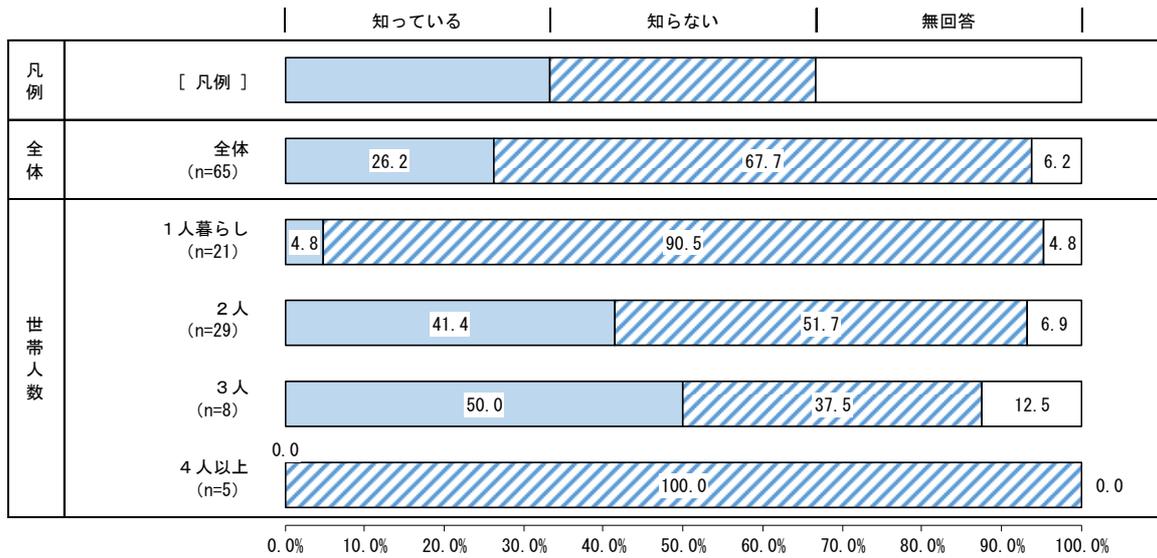
【認知症サポート医・認知症連携医の認知度・年齢別】



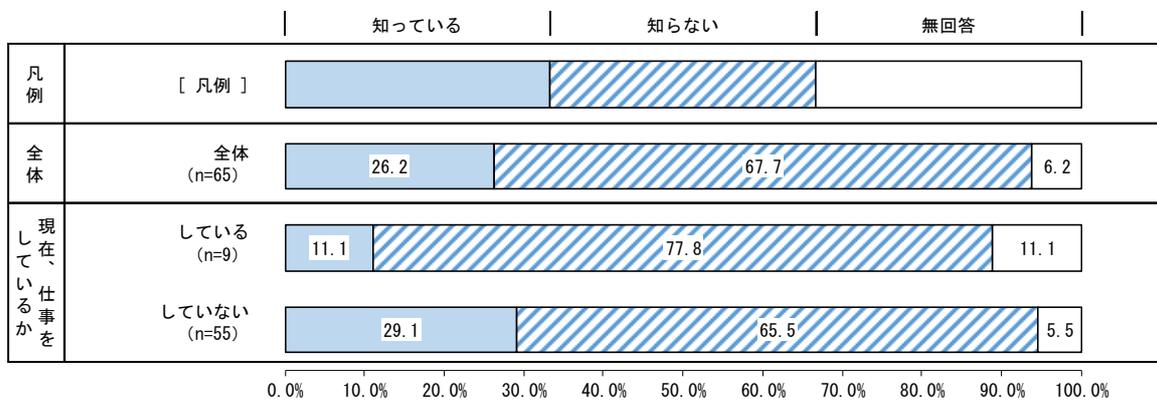
【認知症サポート医・認知症連携医の認知度・性別】



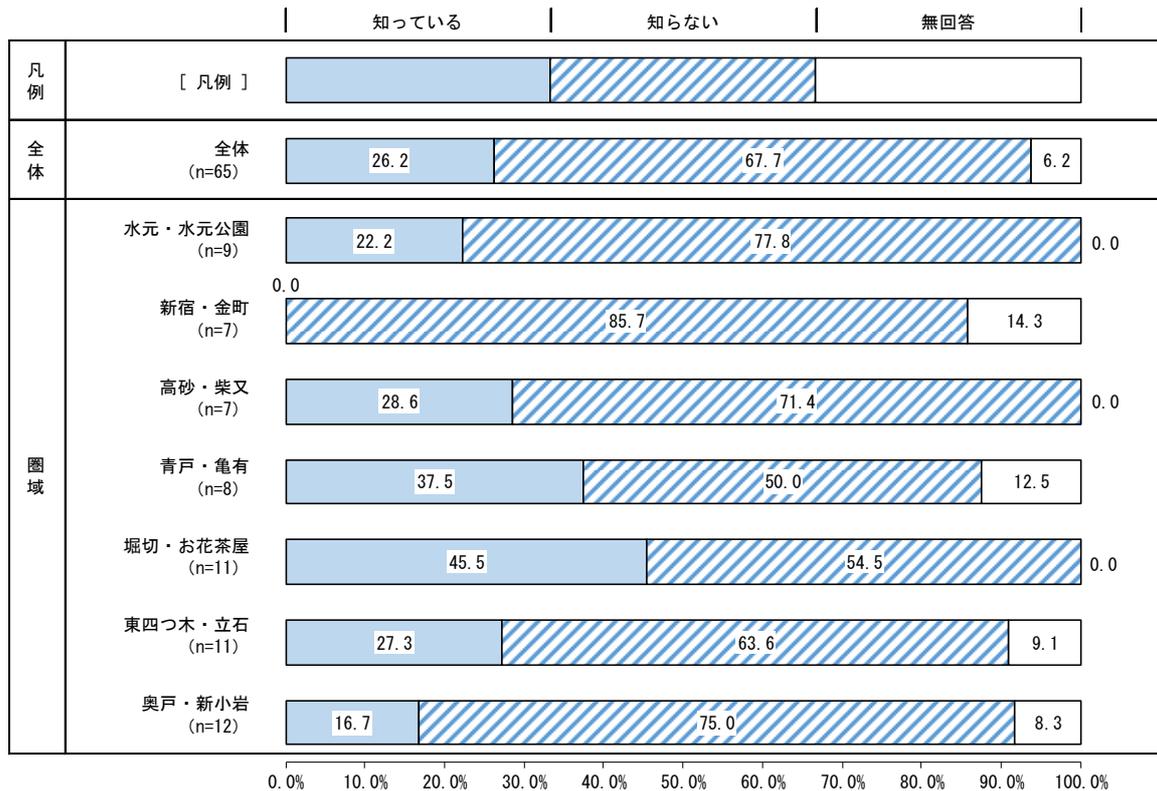
【認知症サポート医・認知症連携医の認知度・世帯人数別】



【認知症サポート医・認知症連携医の認知度・現在の仕事別】

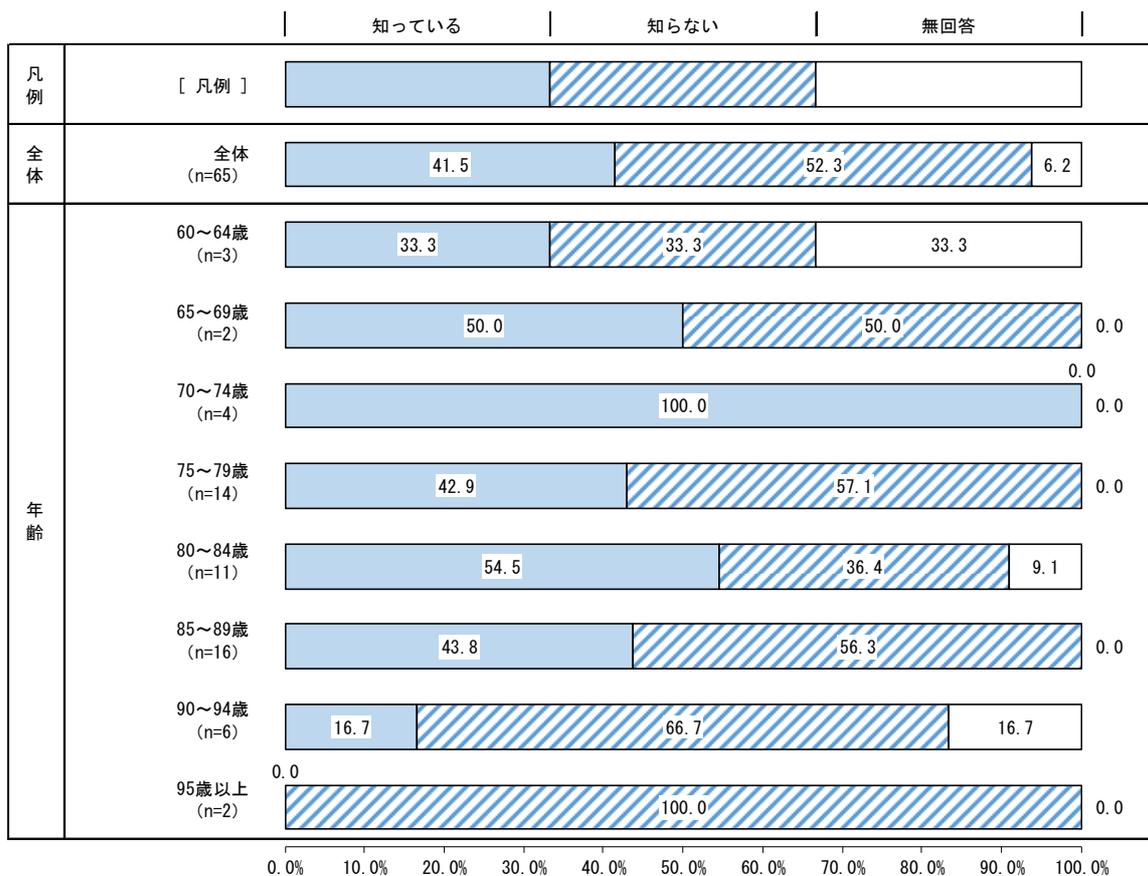


【認知症サポート医・認知症連携医の認知度・圏域別】

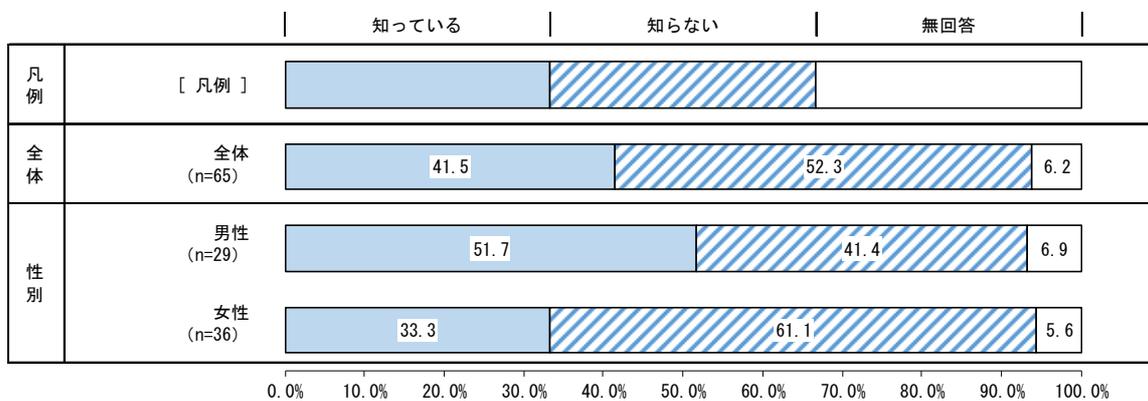


問13-4 もの忘れ外来

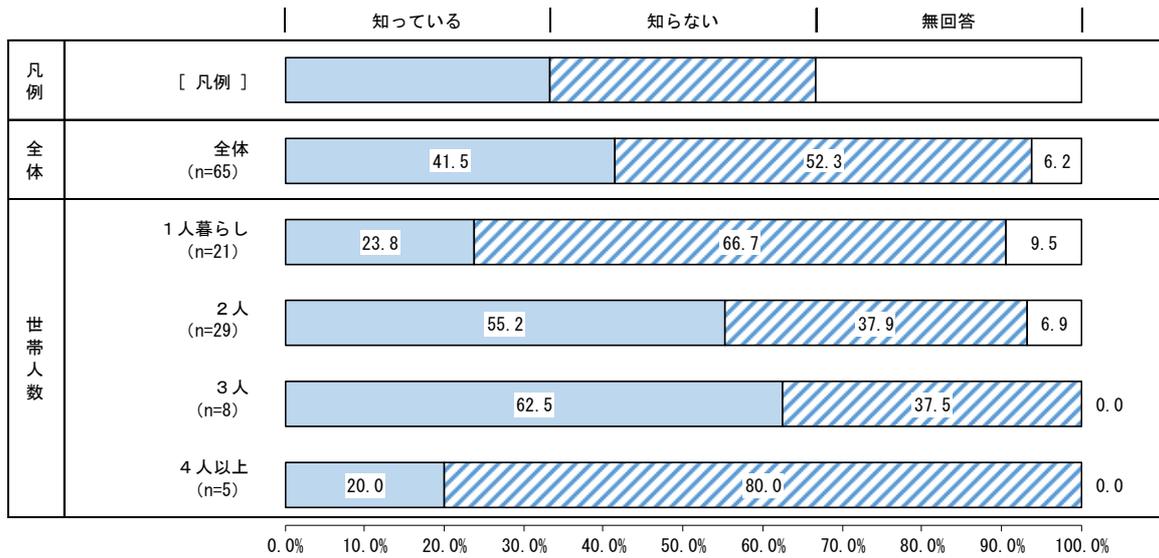
【もの忘れ外来の認知度・年齢別】



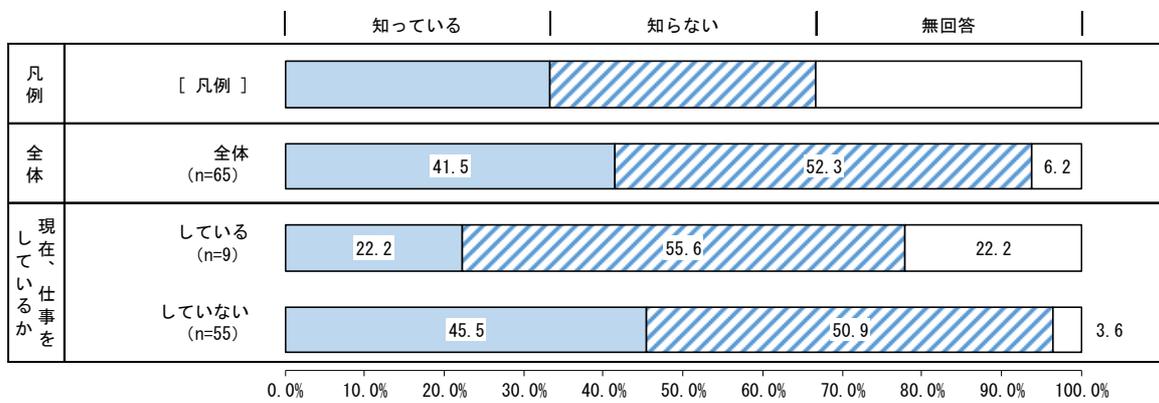
【もの忘れ外来の認知度・性別】



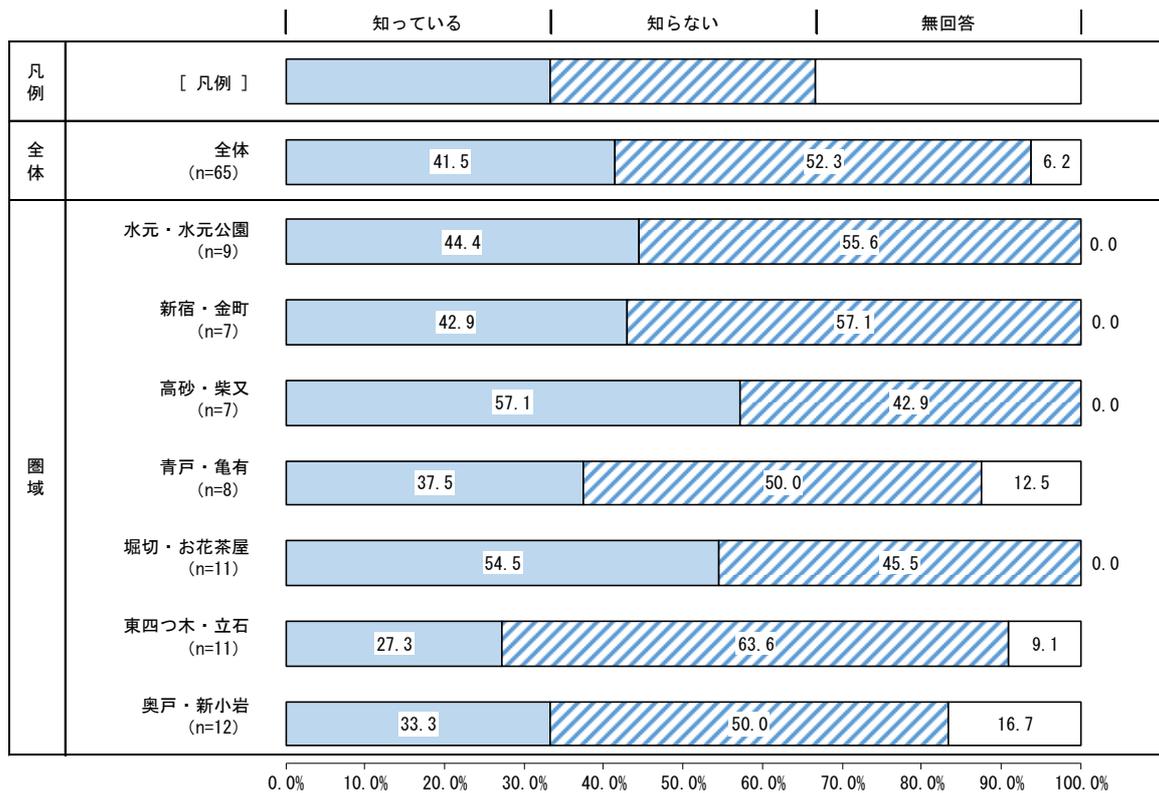
【もの忘れ外来の認知度・世帯人数別】



【もの忘れ外来の認知度・現在の仕事別】



【もの忘れ外来の認知度・圏域別】



3. 認知症に関する知識と認識について

【認知症の診断を受けていない方】

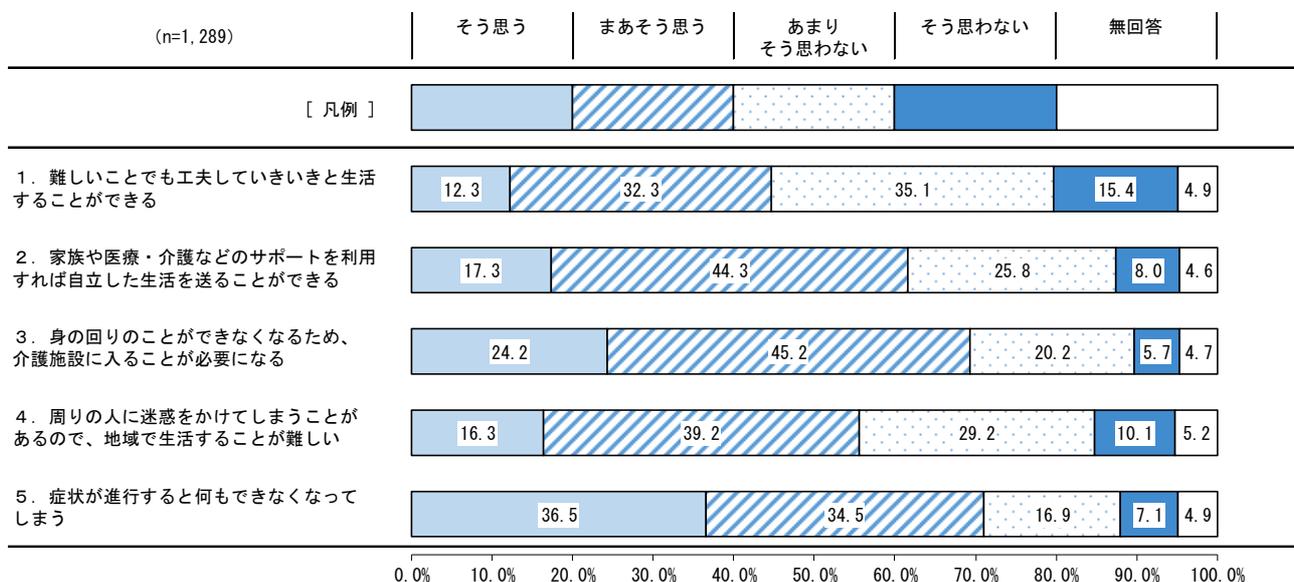
(1) 認知症に対するイメージ、知識について

問14 あなたの認知症に対するイメージは、次のうちどれですか。

(○はそれぞれ1つだけ)

- 【1. 難しいことでも工夫していきいきと生活することができる】**
- 「あまりそう思わない」が35.1%で最も多く、次いで「まあそう思う」が32.3%、「そう思わない」が15.4%となっています。「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“そう思う方”は44.6%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は50.5%となっています。
- 【2. 家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる】**
- 「まあそう思う」が44.3%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が25.8%、「そう思う」が17.3%となっています。「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“そう思う方”は61.6%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は33.8%となっています。
- 【3. 身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる】**
- 「まあそう思う」が45.2%で最も多く、次いで「そう思う」が24.2%、「あまりそう思わない」が20.2%となっています。「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“そう思う方”は69.4%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は25.9%となっています。
- 【4. 周りの人に迷惑をかけてしまうことがあるので、地域で生活することが難しい】**
- 「まあそう思う」が39.2%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が29.2%、「そう思う」が16.3%となっています。「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“そう思う方”は55.5%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は39.3%となっています。
- 【5. 症状が進行すると何もできなくなってしまう】**
- 「そう思う」が36.5%で最も多く、次いで「まあそう思う」が34.5%、「あまりそう思わない」が16.9%となっています。「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“そう思う方”は71.0%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は24.0%となっています。

【認知症に対するイメージ】

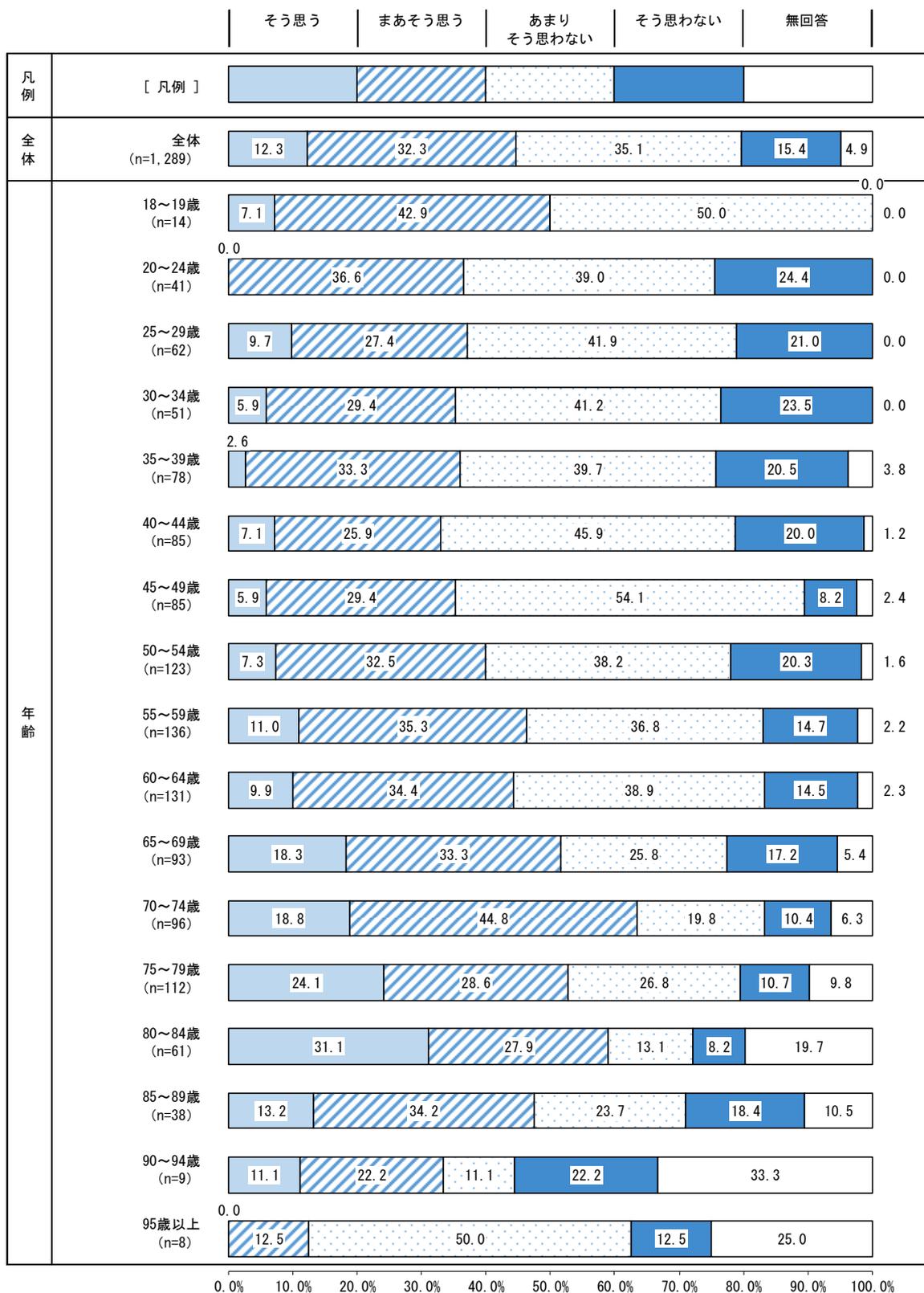


問14-1 難しいことでも工夫していきいきと生活することができる

【年齢別】

- 「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“そう思う方”は70～74歳が63.6%と最も多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は80～84歳が21.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

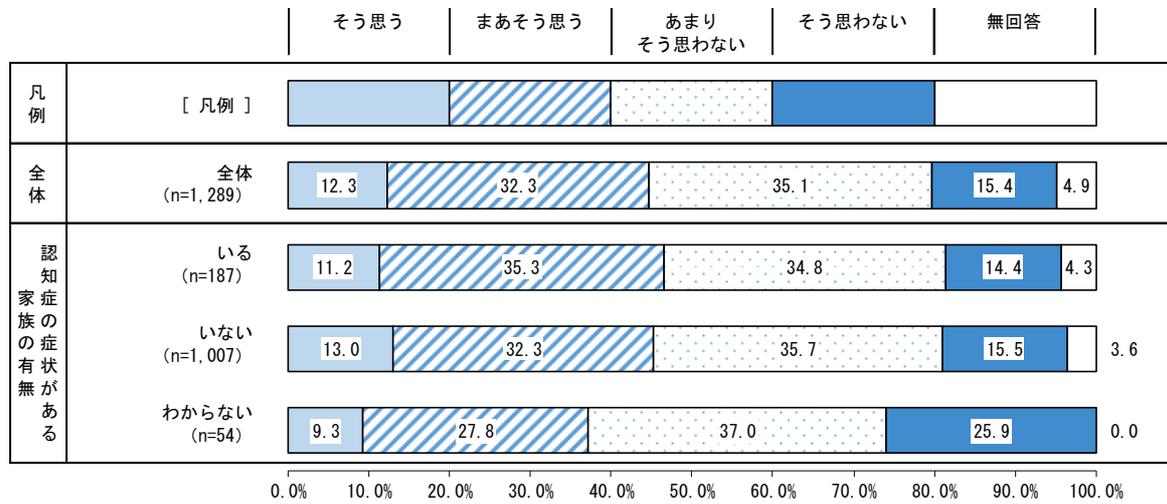
【難しいことでも工夫していきいきと生活することができる・年齢別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「まあそう思う」が 35.3%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が 34.8%、「そう思わない」が 14.4%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方、『わからない』方では、「あまりそう思わない」が最も多く、次いで「まあそう思う」「そう思わない」の順となっています。

【難しいことでも工夫していきいきと生活することができる・認知症の症状がある家族の有無別】

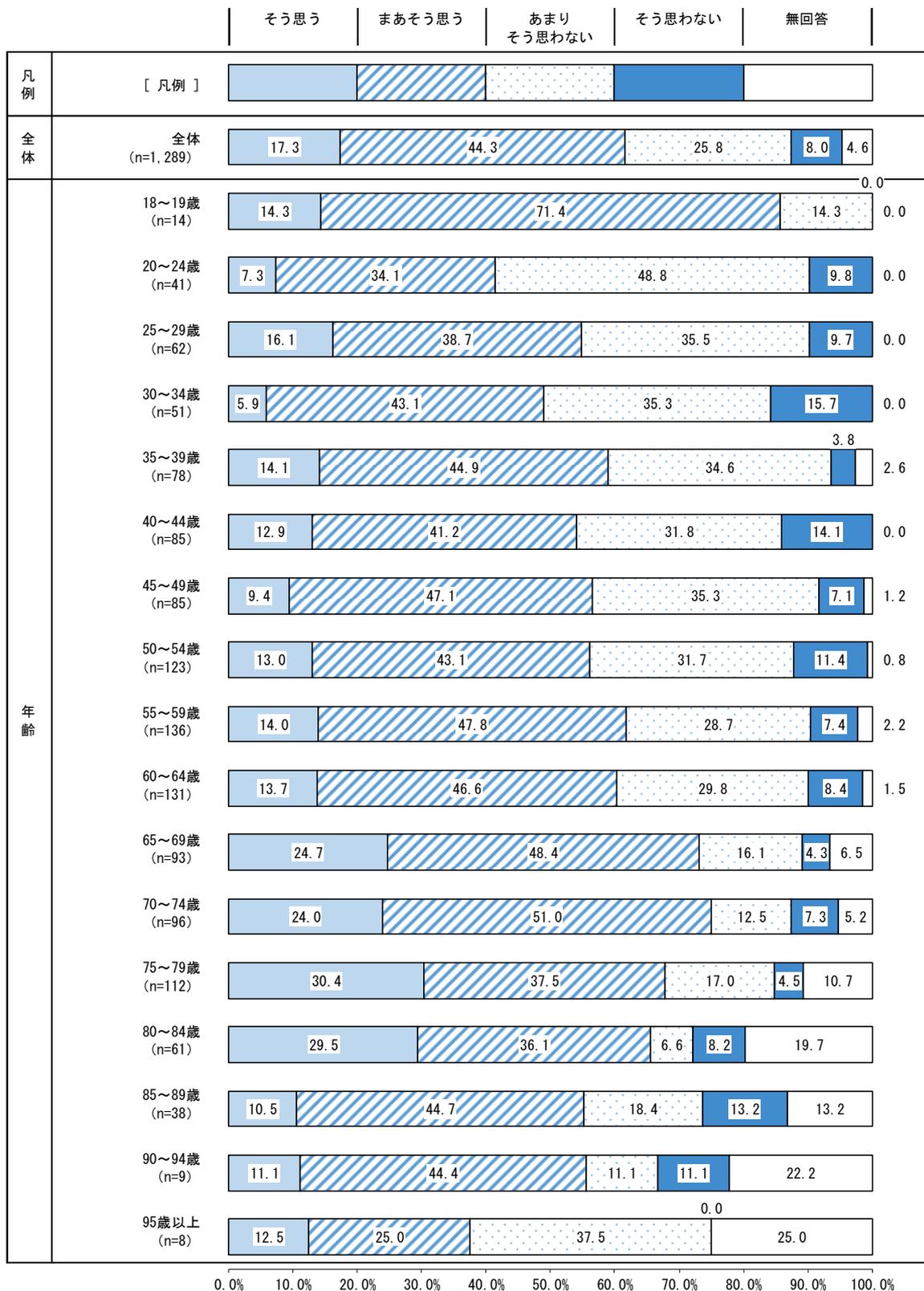


問14-2 家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる

【年齢別】

○ 「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は65～69歳が20.4%、70～74歳が19.8%、75～79歳が21.5%、80～84歳が14.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

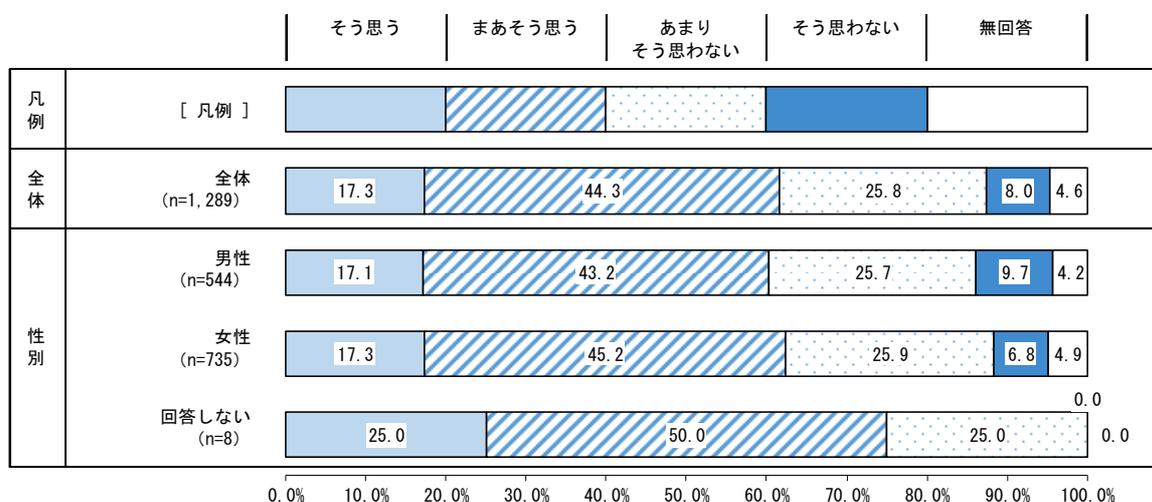
【家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる・年齢別】



【性別】

○ 男女ともに、「まあそう思う」が最も多く、次いで「あまりそう思わない」「そう思う」の順となっています。

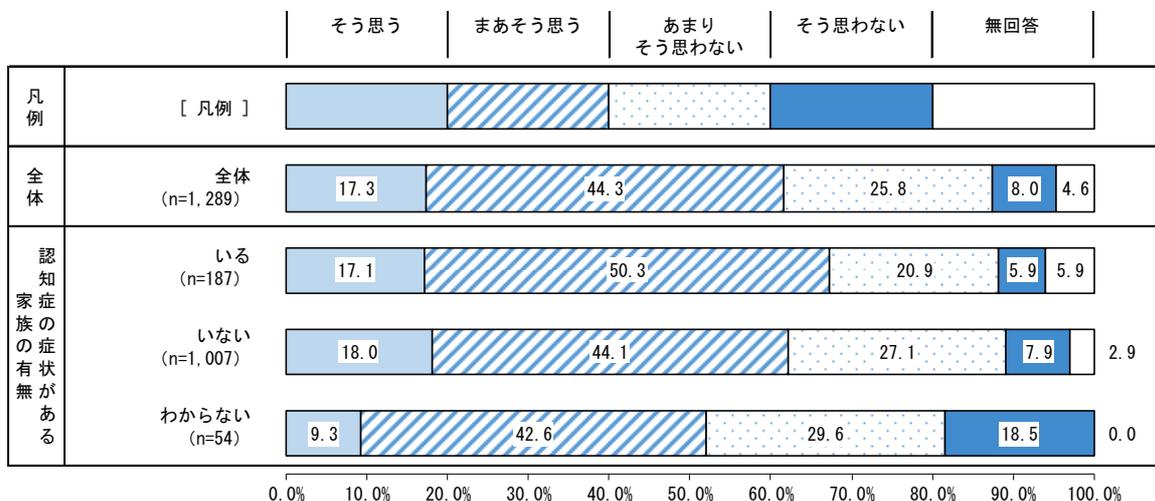
【家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる・性別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

○ 認知症の症状がある家族の有無によらず、「まあそう思う」が最も多く、次いで「あまりそう思わない」「そう思う」の順となっています。

【家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる・認知症の症状がある家族の有無別】

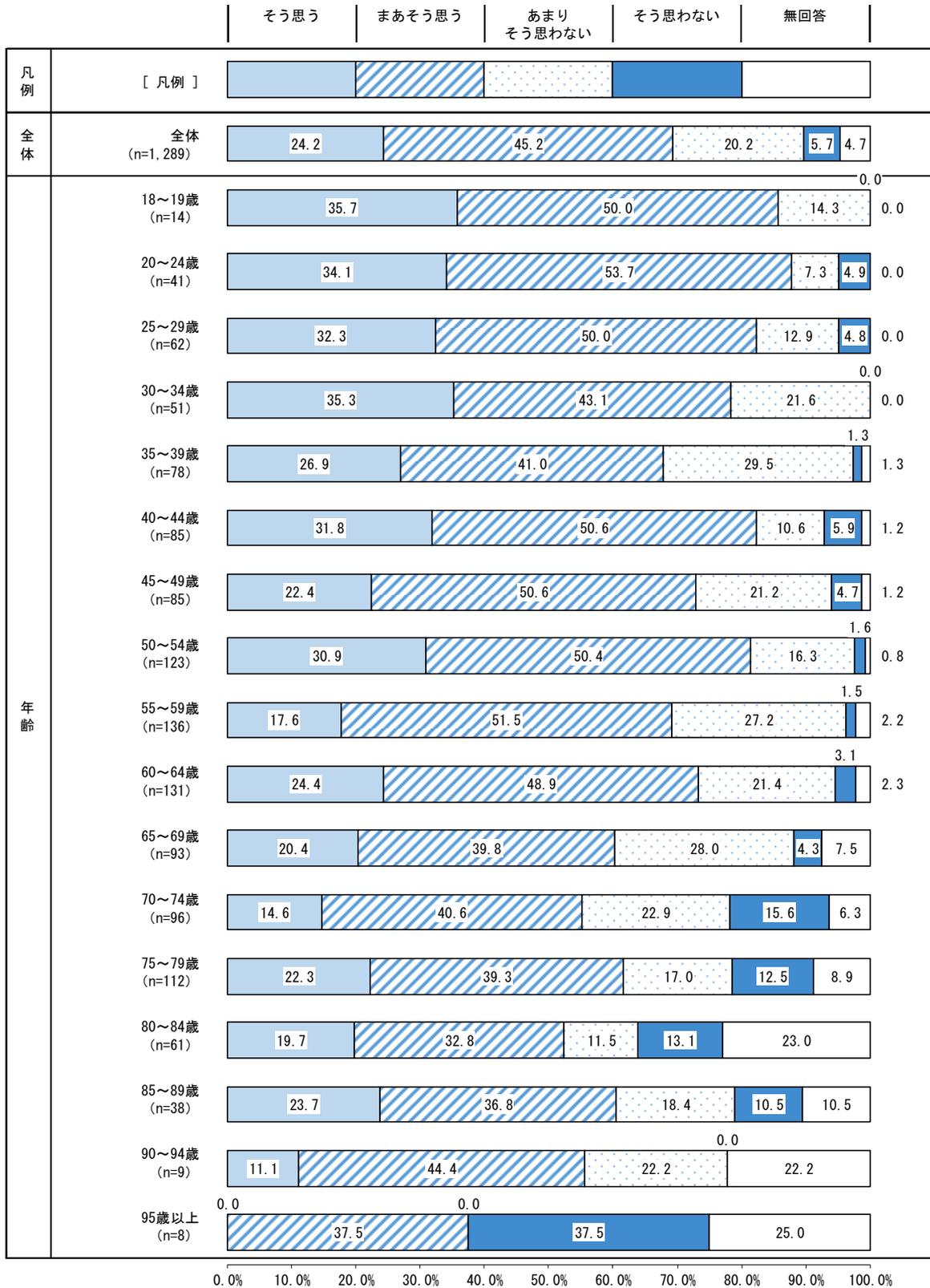


問14-3 身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる

【年齢別】

○ 「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は70～74歳が38.5%と他の区分に比べて多くなっています。

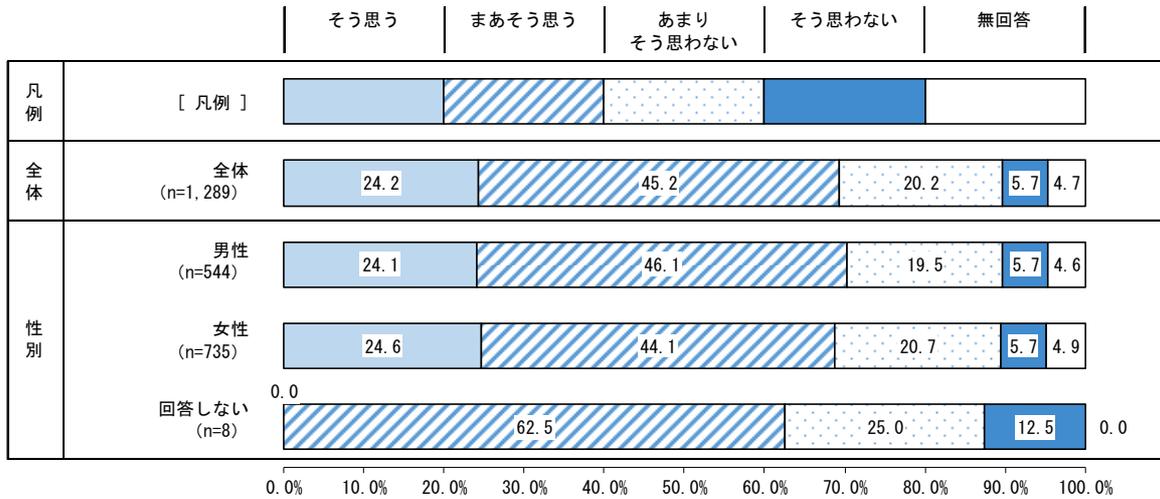
【身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる・年齢別】



【性別】

○ 男女ともに、「まあそう思う」が最も多く、次いで「そう思う」「あまりそう思わない」の順となっています。

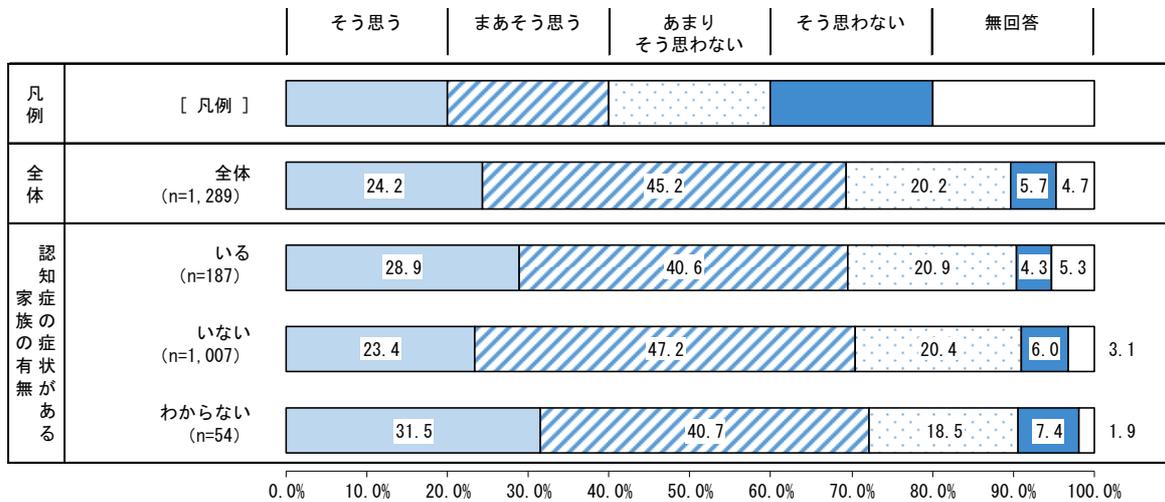
【身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる・性別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

○ 認知症の症状がある家族の有無によらず、「まあそう思う」が最も多く、次いで「そう思う」「あまりそう思わない」の順となっています。

**【身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる
・認知症の症状がある家族の有無別】**

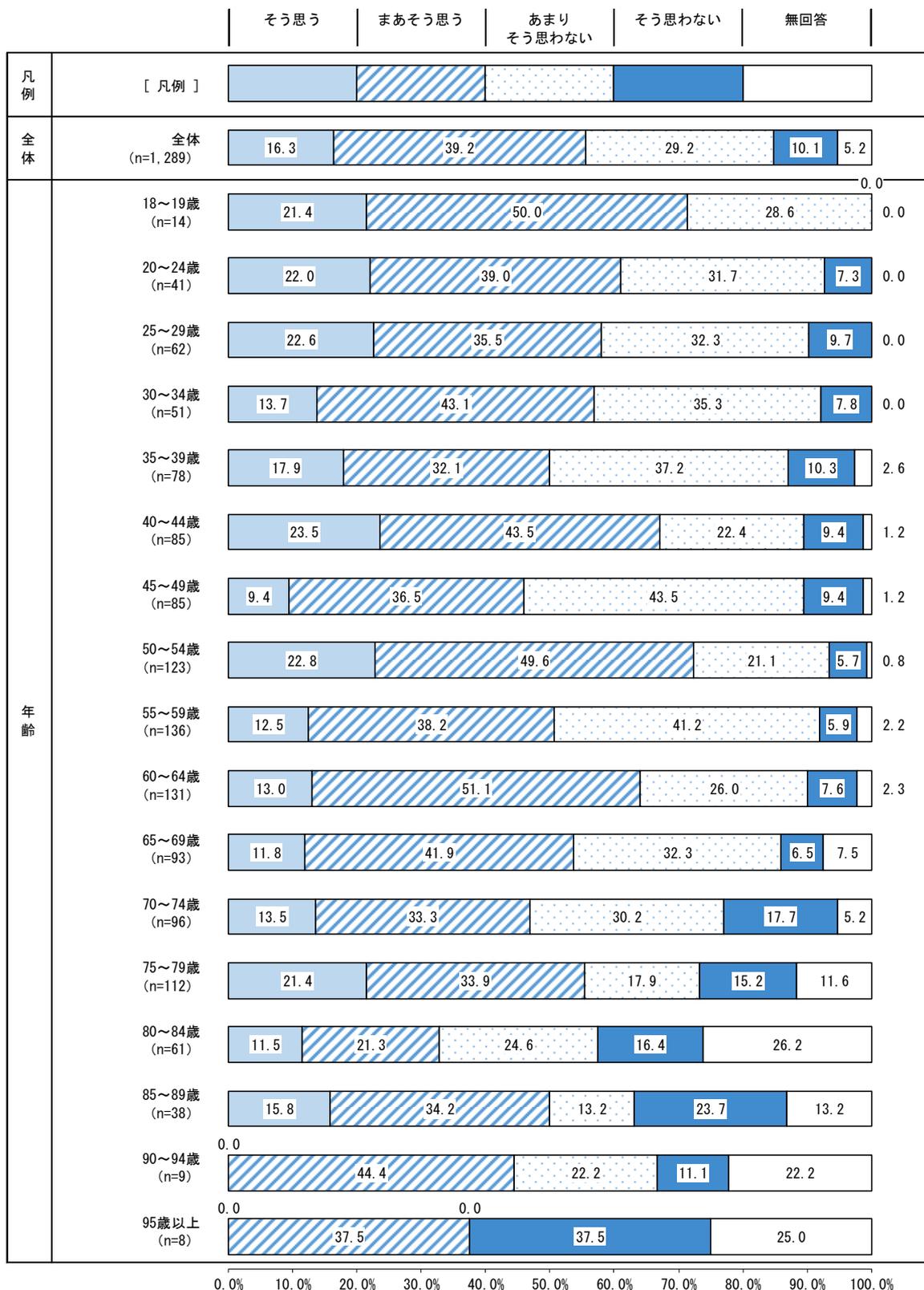


問14-4 周りの人に迷惑をかけてしまうことがあるので、地域で生活することが難しい

【年齢別】

- 「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“そう思う方”は80～84歳が32.8%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は45～49歳が52.9%と他の区分に比べて多くなっています。

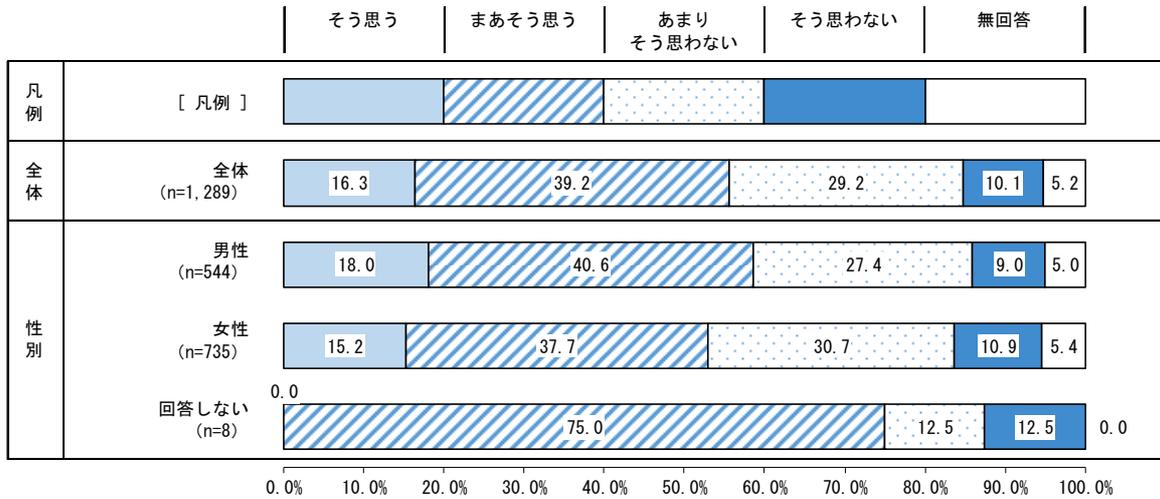
【周りの人に迷惑をかけてしまうことがあるので、地域で生活することが難しい・年齢別】



【性別】

○ 男女ともに、「まあそう思う」が最も多く、次いで「あまりそう思わない」「そう思う」の順となっています。

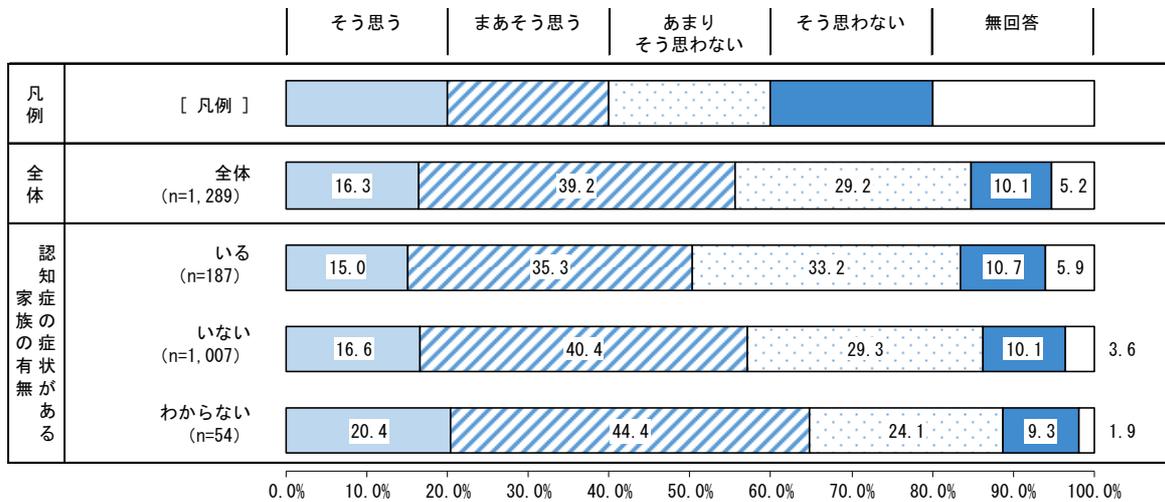
【周りの人に迷惑をかけてしまうことがあるので、地域で生活することが難しい・性別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

○ 認知症の症状がある家族の有無によらず、「まあそう思う」が最も多く、次いで「あまりそう思わない」「そう思う」の順となっています。

【周りの人に迷惑をかけてしまうことがあるので、地域で生活することが難しい・認知症の症状がある家族の有無別】

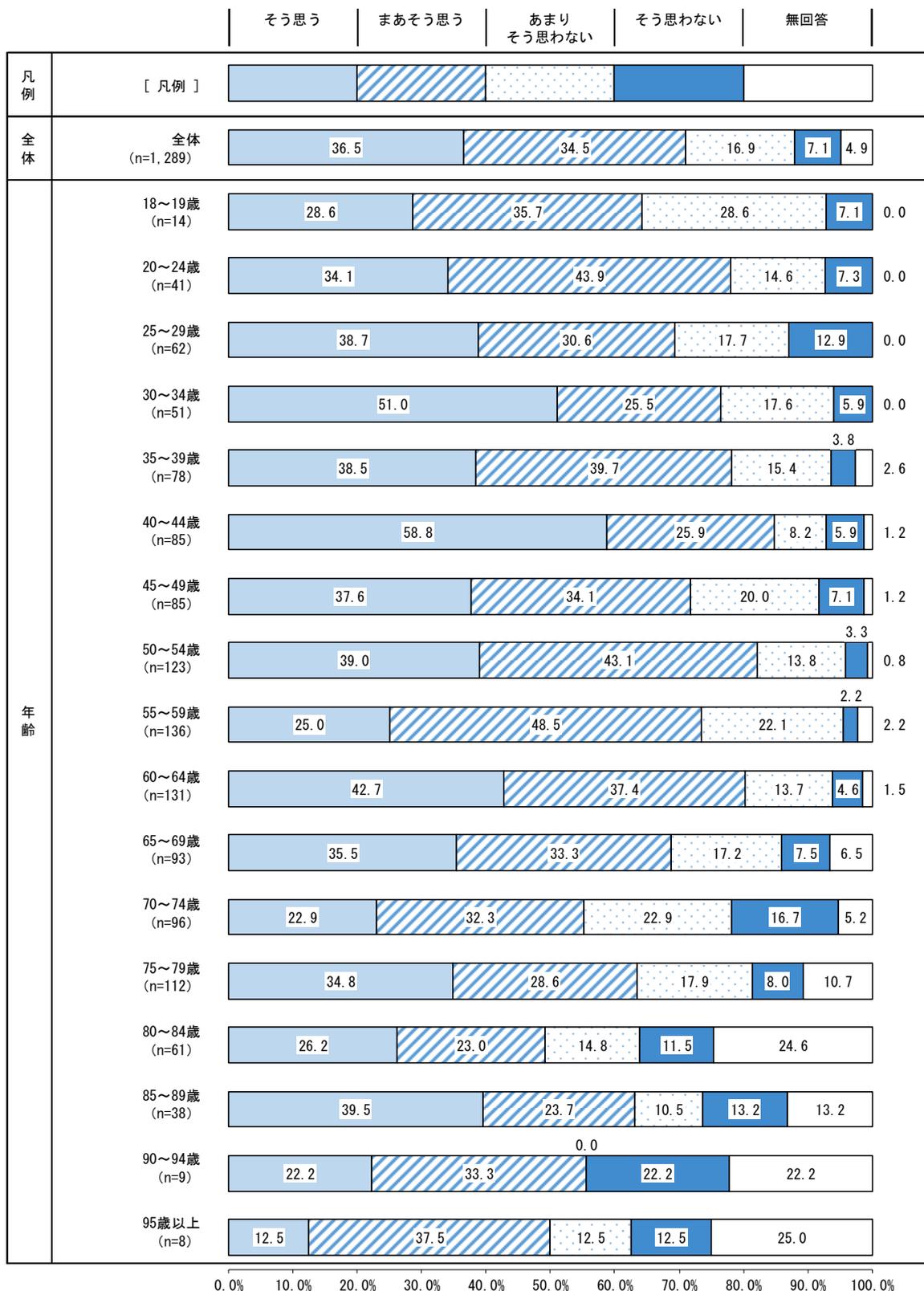


問14-5 症状が進行すると何もできなくなってしまう

【年齢別】

- 「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“そう思う方”は70～74歳が55.2%、80～84歳が49.2%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は70～74歳が39.6%と他の区分に比べて多くなっています。

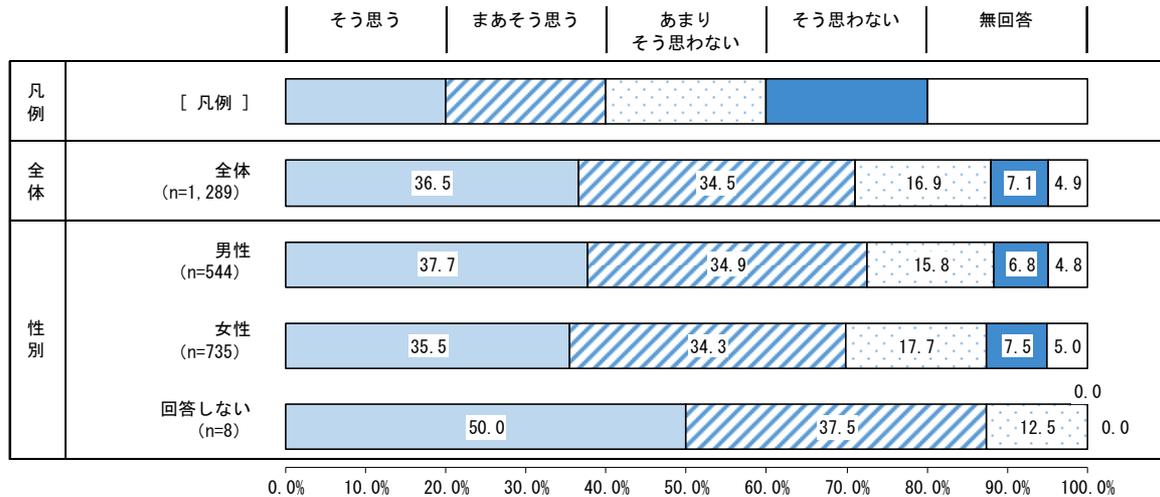
【症状が進行すると何もできなくなってしまう・年齢別】



【性別】

○ 男女ともに、「そう思う」が最も多く、次いで「まあそう思う」「あまりそう思わない」の順となっています。

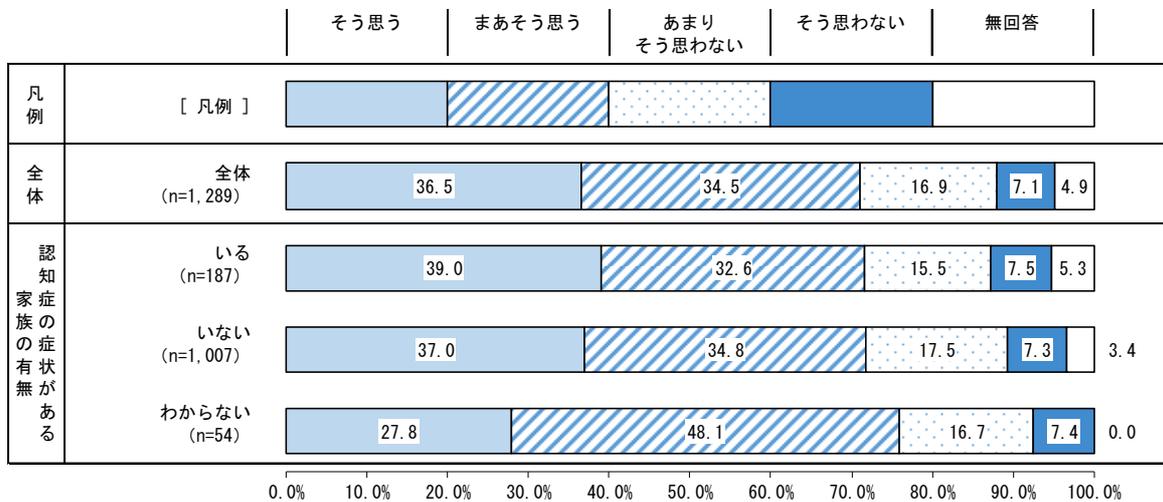
【症状が進行すると何もできなくなってしまう・性別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方、『いない』方では、「そう思う」が最も多く、次いで「まあそう思う」「あまりそう思わない」の順となっています。
- 『わからない』方では、「まあそう思う」が48.1%で最も多く、次いで「そう思う」が27.8%、「あまりそう思わない」が16.7%となっています。

【症状が進行すると何もできなくなってしまう・認知症の症状がある家族の有無別】



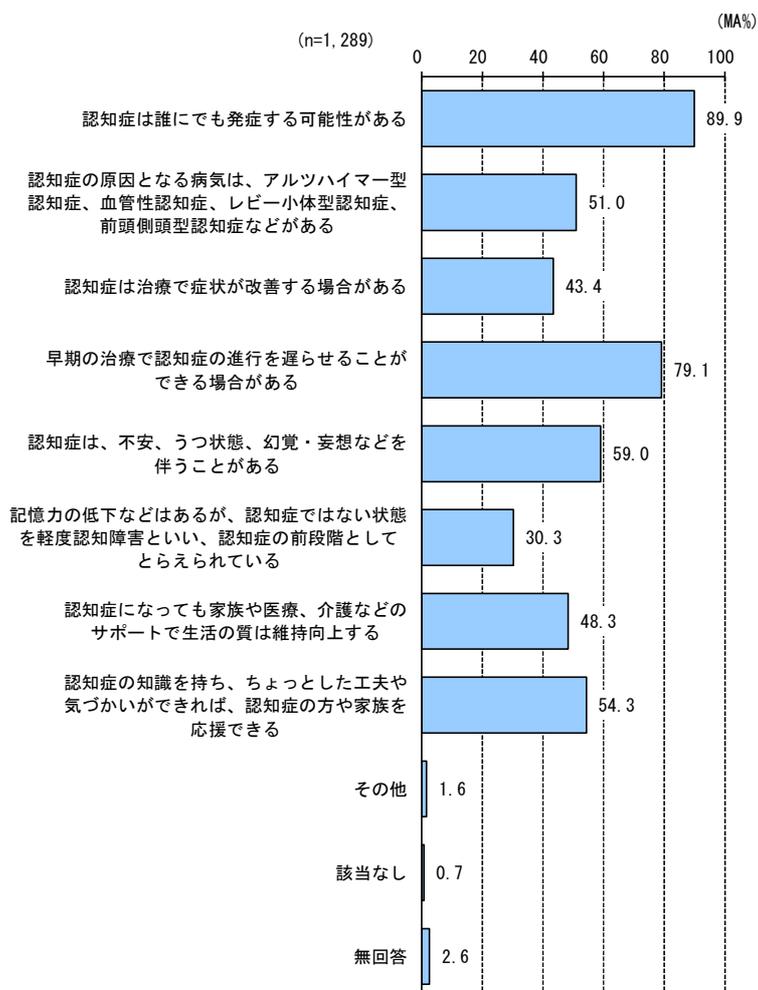
問15 認知症について、あなたが知っていることを選んでください。

(○はいくつでも)

【全体】

○ 「認知症は誰にでも発症する可能性がある」が89.9%で最も多く、次いで「早期の治療で認知症の進行を遅らせることができる場合がある」が79.1%、「認知症は、不安、うつ状態、幻覚・妄想などを伴うことがある」が59.0%となっています。

【認知症について知っていること（複数回答）】



【年齢別】

- 「認知症は誰にでも発症する可能性がある」は 80～84 歳が 73.8%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「記憶力の低下などはあるが、認知症ではない状態を軽度認知障害といい、認知症の前段階としてとらえられている」は 30～34 歳が 17.6%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「認知症になっても家族や医療、介護などのサポートで生活の質は維持向上する」は 80～84 歳が 34.4%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「該当なし」は 25～29 歳が 1.6%、30～34 歳が 2.0%、75～79 歳が 1.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【性別】

- 男女ともに、「認知症は誰にでも発症する可能性がある」が最も多く、次いで「早期の治療で認知症の進行を遅らせることができる場合がある」となっています。

【世帯人数別】

- 「認知症は治療で症状が改善する場合がある」は 3 人が 36.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「記憶力の低下などはあるが、認知症ではない状態を軽度認知障害といい、認知症の前段階としてとらえられている」は 3 人が 36.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【認知症について知っていること（複数回答）・年齢別・性別・世帯人数別・現在の仕事別】

単位：%

	母数 (n)	認知症について知っていること (MA)											
		可能性は誰にでも発症する	アルツハイマー型認知症、前頭側頭型認知症、レビー小体型認知症などがある	認知症の原因となる病気は、血管性認知症、	認知症は治療で症状が改善する	早期の治療で認知症の進行を遅らせることができる場合がある	認知症は、不安、うつ状態、幻覚・妄想などを伴うことがある	認知症の軽度認知障害としてとらえられている	記憶力の低下などはあるが、認知症ではない状態を軽度認知障害としてとらえられている	認知症になっても家族や医療、介護などのサポートで生活の質は維持向上する	認知症の知識を持ち、ちよつとした方や家族を応援できる	その他	該当なし
全体	1,289	89.9	51.0	43.4	79.1	59.0	30.3	48.3	54.3	1.6	0.7	2.6	
年齢	18～19歳	14	85.7	42.9	35.7	85.7	50.0	28.6	50.0	50.0	-	-	-
	20～24歳	41	97.6	△ 63.4	34.1	▼ 68.3	▼ 41.5	24.4	▼ 24.4	58.5	4.9	-	-
	25～29歳	62	93.5	56.5	41.9	74.2	△ 72.6	22.6	53.2	58.1	-	1.6	-
	30～34歳	51	94.1	▼ 39.2	51.0	72.5	60.8	▼ 17.6	45.1	51.0	-	2.0	-
	35～39歳	78	97.4	50.0	44.9	75.6	△ 70.5	25.6	△ 59.0	60.3	-	-	-
	40～44歳	85	95.3	45.9	49.4	80.0	67.1	30.6	57.6	56.5	-	-	-
	45～49歳	85	94.1	47.1	36.5	83.5	63.5	23.5	51.8	57.6	2.4	-	2.4
	50～54歳	123	94.3	44.7	43.9	80.5	62.6	28.5	47.2	52.0	2.4	0.8	-
	55～59歳	136	94.9	47.1	41.2	81.6	63.2	28.7	46.3	58.8	0.7	0.7	0.7
	60～64歳	131	91.6	△ 61.1	47.3	86.3	68.7	33.6	56.5	61.8	-	0.8	1.5
	65～69歳	93	88.2	△ 65.6	48.4	84.9	62.4	39.8	55.9	△ 64.5	1.1	1.1	3.2
	70～74歳	96	85.4	59.4	50.0	84.4	51.0	△ 40.6	51.0	56.3	2.1	1.0	3.1
	75～79歳	112	84.8	42.0	44.6	77.7	50.0	27.7	43.8	47.3	2.7	1.8	4.5
	80～84歳	61	▼ 73.8	47.5	37.7	73.8	▼ 34.4	32.8	▼ 34.4	47.5	3.3	-	14.8
85～89歳	38	▼ 73.7	44.7	36.8	▼ 68.4	▼ 42.1	36.8	▼ 31.6	▼ 23.7	5.3	-	7.9	
90～94歳	9	▼ 66.7	▼ 22.2	▼ 11.1	▼ 33.3	▼ 33.3	△ 44.4	▼ 22.2	▼ 11.1	-	-	22.2	
95歳以上	8	▼ 62.5	▼ 37.5	▼ 12.5	▼ 37.5	▼ 12.5	-	▼ 25.0	▼ 12.5	-	-	25.0	
性別	男性	544	89.7	42.8	39.3	74.3	▼ 48.9	25.4	42.3	51.3	1.5	1.1	2.4
	女性	735	90.1	56.7	46.1	82.3	66.3	33.9	52.4	56.1	1.5	0.4	2.9
	回答しない	8	△ 100.0	△ 87.5	△ 62.5	△ 100.0	△ 75.0	25.0	△ 75.0	△ 100.0	△ 25.0	-	-
世帯人数	1人暮らし	255	87.5	52.2	45.1	76.5	57.6	29.4	43.9	51.4	3.9	1.2	2.7
	2人	424	89.2	53.5	46.5	82.3	58.7	27.6	50.9	53.1	1.4	0.5	3.8
	3人	301	91.7	49.5	36.5	80.1	60.8	36.9	46.8	57.1	0.7	0.7	2.0
	4人以上	299	91.3	48.5	44.1	75.9	58.9	28.1	50.2	56.5	1.0	0.7	1.7

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族の有無によらず、「認知症は誰にでも発症する可能性がある」が最も多く、次いで「早期の治療で認知症の進行を遅らせることができる場合がある」「認知症は、不安、うつ状態、幻覚・妄想などを伴うことがある」の順となっています。
- 「認知症は、不安、うつ状態、幻覚・妄想などを伴うことがある」は、認知症の症状がある家族が『いる』方が72.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- また、『わからない』方では「認知症の原因となる病気は、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症などがある」が35.2%、「認知症は、不安、うつ状態、幻覚・妄想などを伴うことがある」が46.3%、「記憶力の低下などはあるが、認知症ではない状態を軽度認知障害といい、認知症の前段階としてとらえられている」が18.5%、「認知症になっても家族や医療、介護などのサポートで生活の質は維持向上する」が25.9%、「認知症の知識を持ち、ちょっとした工夫や気づかひができれば、認知症の方や家族を応援できる」が40.7%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認知症について知っていること（複数回答）・認知症の症状がある家族の有無別】

単位：%

	母数 (n)	認知症について知っていること (MA)											
		可能性は誰にでも発症する	認知症の原因となる病気は、アルツハイマー型認知症、前頭側頭型認知症、レビー小体型認知症などがある	認知症は治療で症状が改善する	早期の治療で認知症の進行を遅らせる	認知症は、不安、うつ状態、幻覚・妄想などを伴うことがある	認知症の低下などはあるが、認知症ではない状態を軽度認知障害としてとらえられている	認知症のサポートでも生活の質は維持向上する	認知症の知識を持ち、ちょっとした工夫や気づかひができれば、認知症の方や家族を応援できる	その他	該当なし	無回答	
全体	1,289	89.9	51.0	43.4	79.1	59.0	30.3	48.3	54.3	1.6	0.7	2.6	
認知症の症状がある家族の有無のあ	いる	187	89.8	56.1	43.3	81.8	△ 72.2	38.0	57.2	59.9	2.1	0.5	3.2
	いない	1,007	91.4	51.6	44.9	80.6	58.7	30.1	48.6	54.8	1.7	0.6	0.8
	わからない	54	92.6	▼ 35.2	35.2	74.1	▼ 46.3	▼ 18.5	▼ 25.9	▼ 40.7	-	3.7	1.9

【圏域別】

- いずれの圏域でも「認知症は誰にでも発症する可能性がある」「早期の治療で認知症の進行を遅らせることができる場合がある」が上位となっています。
- 一方、「該当なし」（知っていることはない）は水元・水元公園が 1.9%で他の圏域に比べて多くなっています。
- 高砂・柴又では「認知症の原因となる病気は、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症などがある」「早期の治療で認知症の進行を遅らせることができる場合がある」「認知症になっても家族や医療、介護などのサポートで生活の質は維持向上する」など、他の圏域に比べて知っている人が少ない傾向がみられます。

【認知症について知っていること（複数回答）・圏域別】

単位：%

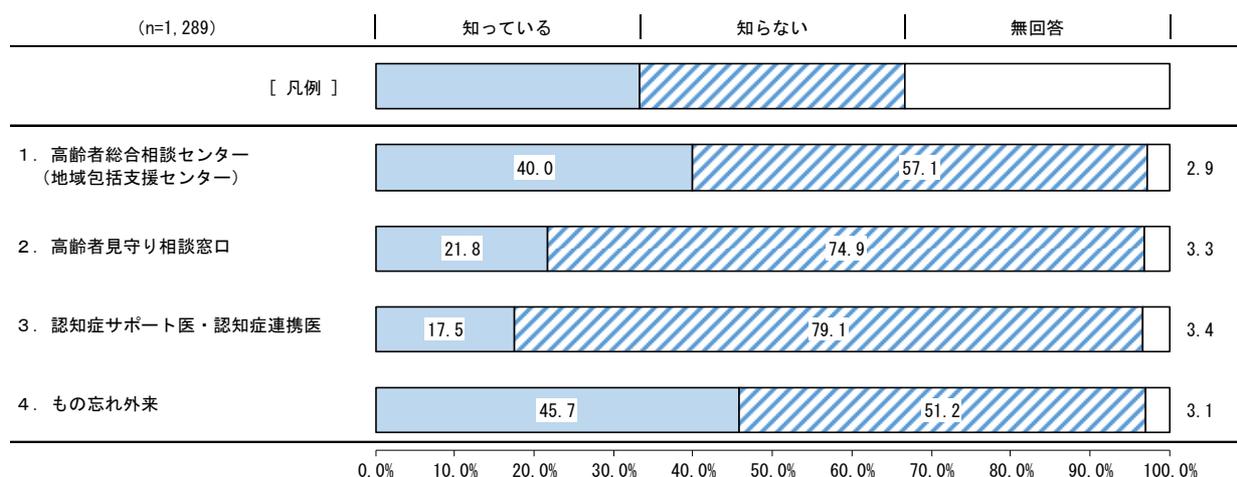
	母数 (n)	認知症について知っていること (MA)													
		可能性は誰にでも発症する	レアルツハイマー型認知症、前頭側頭型認知症、	認知症の原因となる病気は、	認知症は治療で症状が改善する	早期の治療で認知症の進行を遅らせる	認知症は、不安、うつ状態、幻覚・妄想	認知症の軽度認知障害といわれている	記憶力の低下などはあるが、認知症ではない状態を段階としてとらえられている	向上するサポートでも家族や医療、介護	認知症になっても家族や医療、介護	工夫や家族を応援できれば、認知症の	認知症の知識を持ち、ちよつとした	その他	該当なし
全体	1,289	89.9	51.0	43.4	79.1	59.0	30.3	48.3	54.3	1.6	0.7	2.6			
圏域	水元・水元公園	108	89.8	52.8	37.0	84.3	55.6	24.1	47.2	55.6	4.6	1.9	-		
	新宿・金町	170	89.4	48.8	51.8	78.8	54.7	36.5	47.1	53.5	2.4	1.2	2.4		
	高砂・柴又	249	88.4	46.2	40.6	73.5	56.2	26.9	43.8	53.0	0.4	0.8	3.6		
	青戸・亀有	179	92.2	57.0	46.4	82.7	62.6	33.0	50.8	54.2	0.6	-	2.2		
	堀切・お花茶屋	183	92.9	54.1	42.6	75.4	62.8	30.6	53.0	55.2	1.6	1.1	1.6		
	東四つ木・立石	205	87.3	46.8	43.9	83.4	57.6	30.7	47.8	56.1	1.5	-	3.9		
	奥戸・新小岩	193	90.2	54.4	40.4	79.3	62.7	29.0	49.2	52.8	2.1	0.5	3.1		

(2) 認知症に関する相談窓口について

問16 認知症に関する相談窓口について、知っているものをご回答ください。

- 【高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）】**
 「知っている」が40.0%、「知らない」が57.1%となっています。
- 【高齢者見守り相談窓口の認知度】**
 「知っている」が21.8%、「知らない」が74.9%となっています。
- 【認知症サポート医・認知症連携医の認知度】**
 「知っている」が17.5%、「知らない」が79.1%となっています。
- 【もの忘れ外来の認知度】**
 「知っている」が45.7%、「知らない」が51.2%となっています。

【認知症に関する相談窓口の認知度】

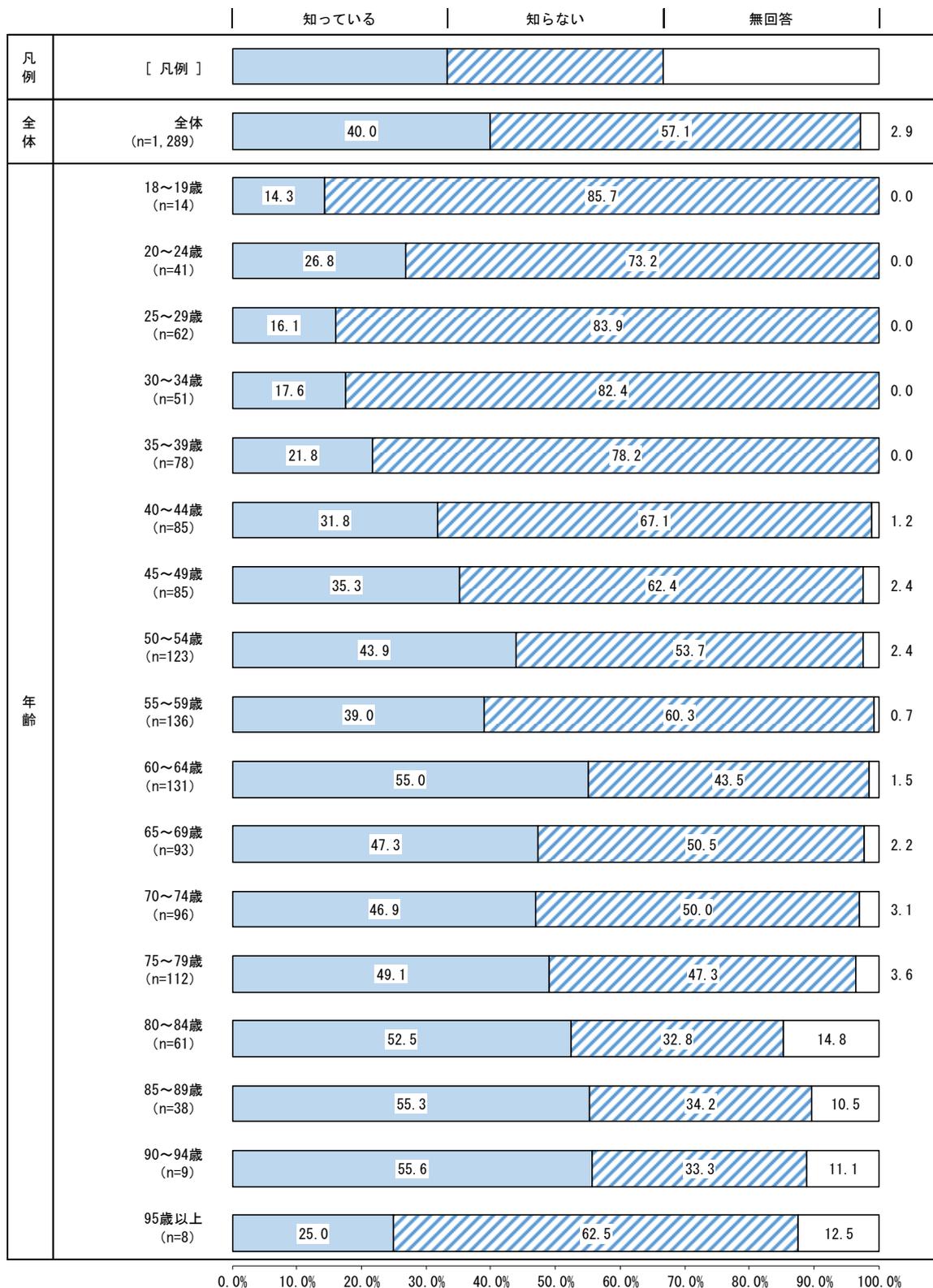


問16-1 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）

【年齢別】

○ 「知っている」は、85～89歳が55.3%、60～64歳が55.0%、80～84歳が52.5%となっています。

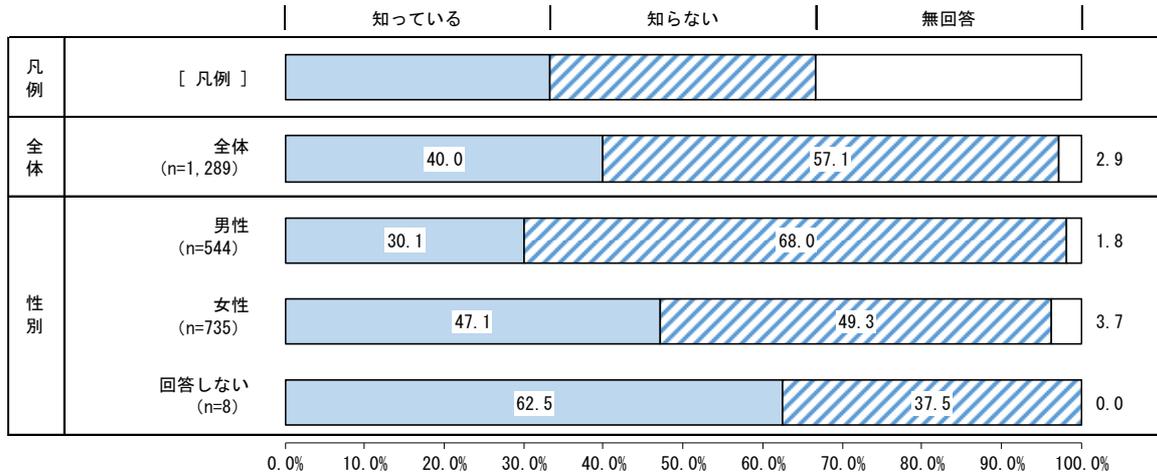
【高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の認知度・年齢別】



【性別】

- 男性では、「知っている」が 30.1%、「知らない」が 68.0%となっています。
- 女性では、「知っている」が 47.1%、「知らない」が 49.3%となっています。

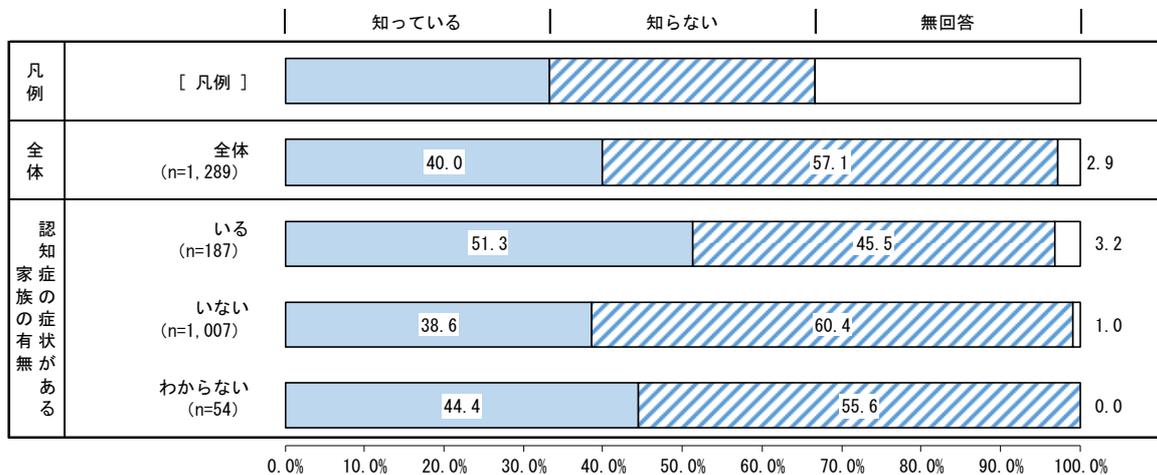
【高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の認知度・性別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知っている」が 51.3%、「知らない」が 45.5%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知っている」が 38.6%、「知らない」が 60.4%となっています。
- 『わからない』方では、「知っている」が 44.4%、「知らない」が 55.6%となっています。

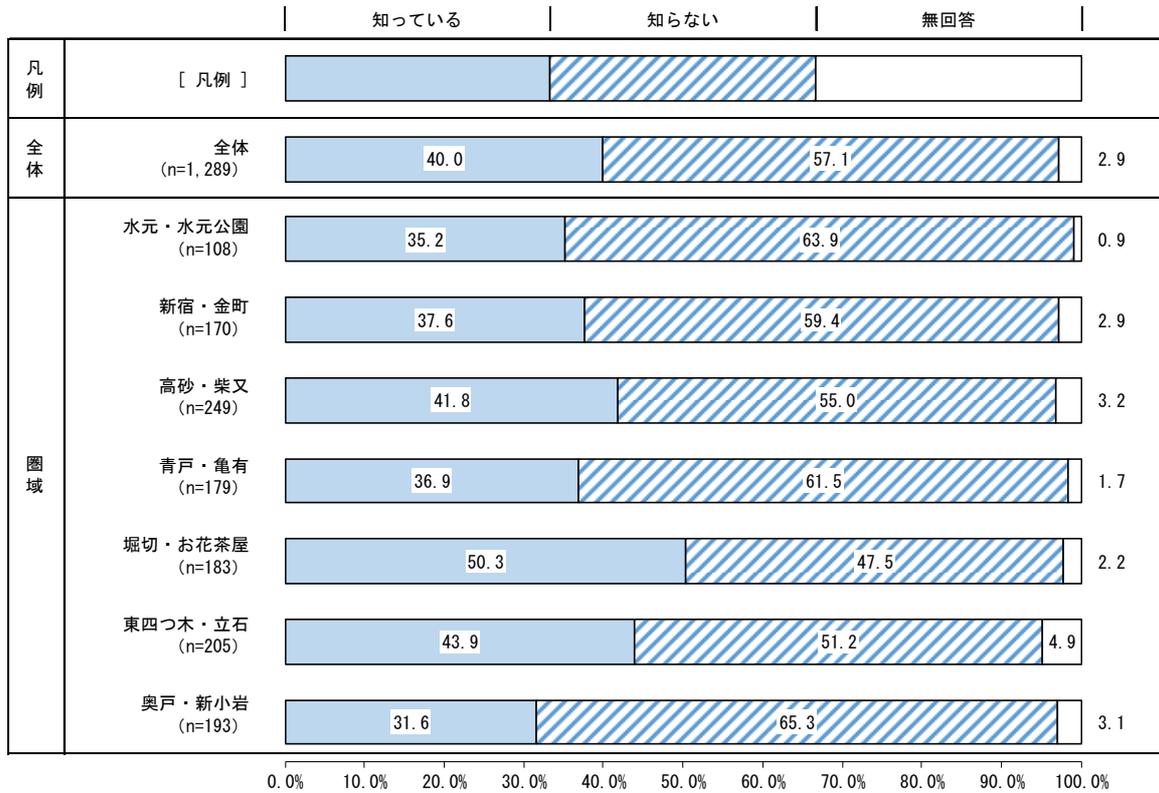
【高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の認知度・認知症の症状がある家族の有無別】



【圏域別】

○ 「知っている」は堀切・お花茶屋が50.3%と他の圏域に比べて多くなっています。

【高齢者総合相談センターの認知度・圏域別】

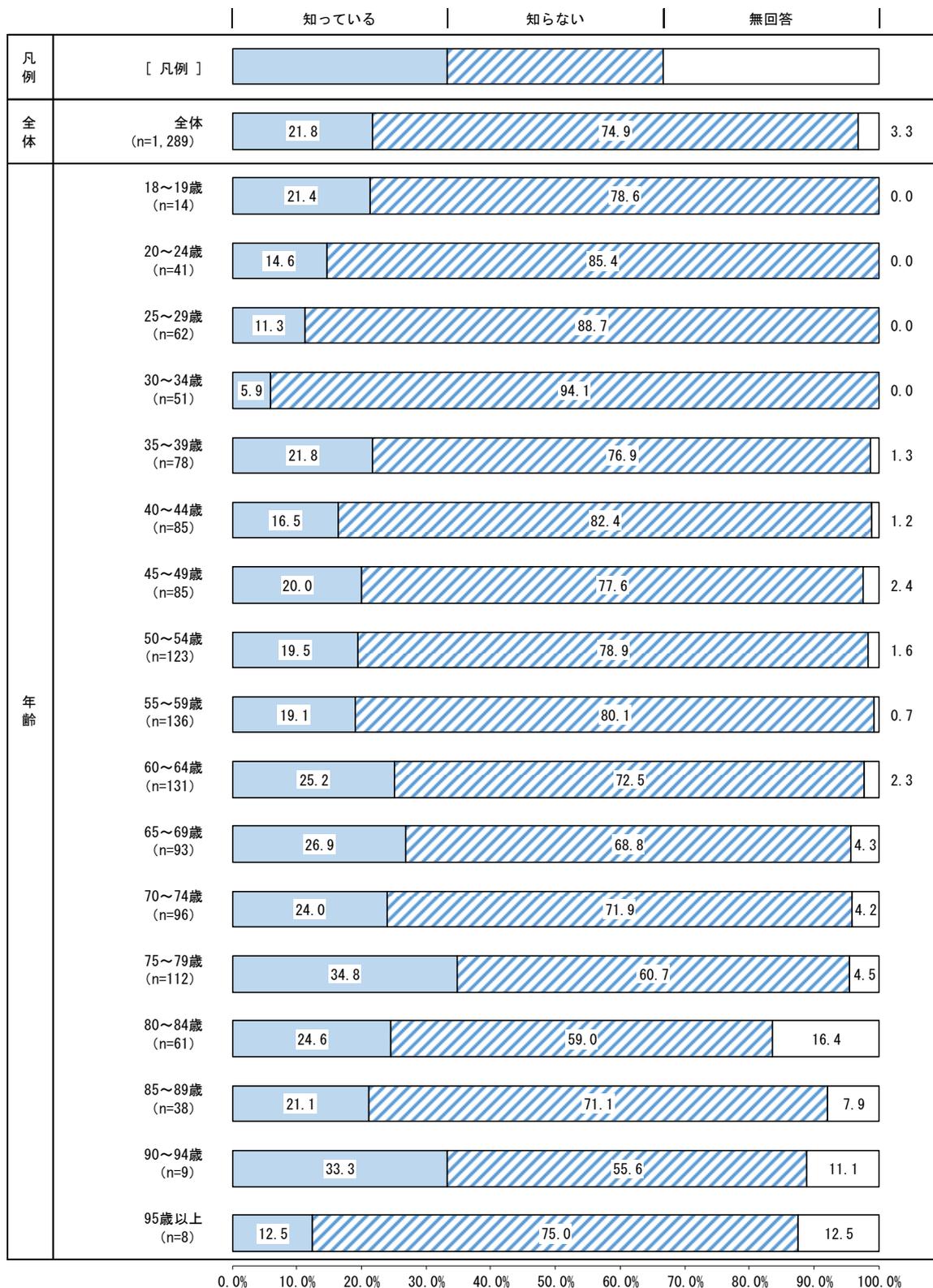


問16-2 高齢者見守り相談窓口

【年齢別】

○ 「知っている」は、75～79歳が34.8%、65～69歳が26.9%、60～64歳が25.2%となっています。

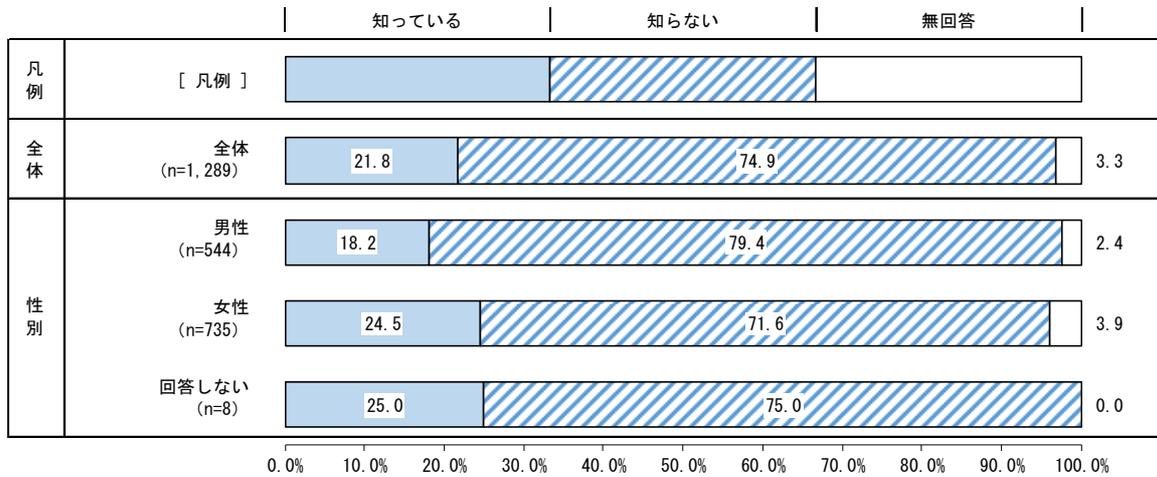
【高齢者見守り相談窓口の認知度・年齢別】



【性別】

- 男性では、「知っている」が18.2%、「知らない」が79.4%となっています。
- 女性では、「知っている」が24.5%、「知らない」が71.6%となっています。

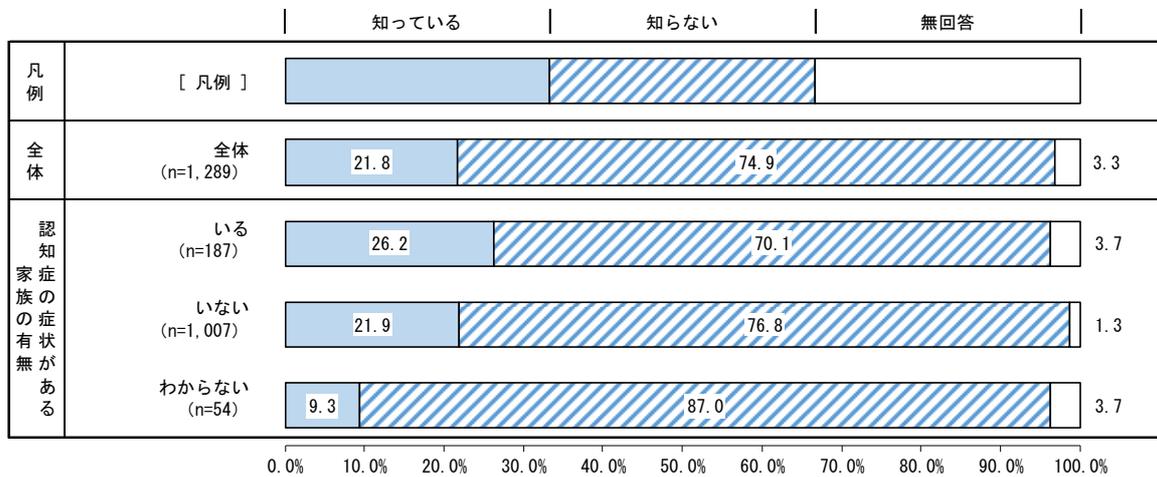
【高齢者見守り相談窓口の認知度・性別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知っている」が26.2%、「知らない」が70.1%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知っている」が21.9%、「知らない」が76.8%となっています。
- 『わからない』方では、「知っている」が9.3%、「知らない」が87.0%となっています。

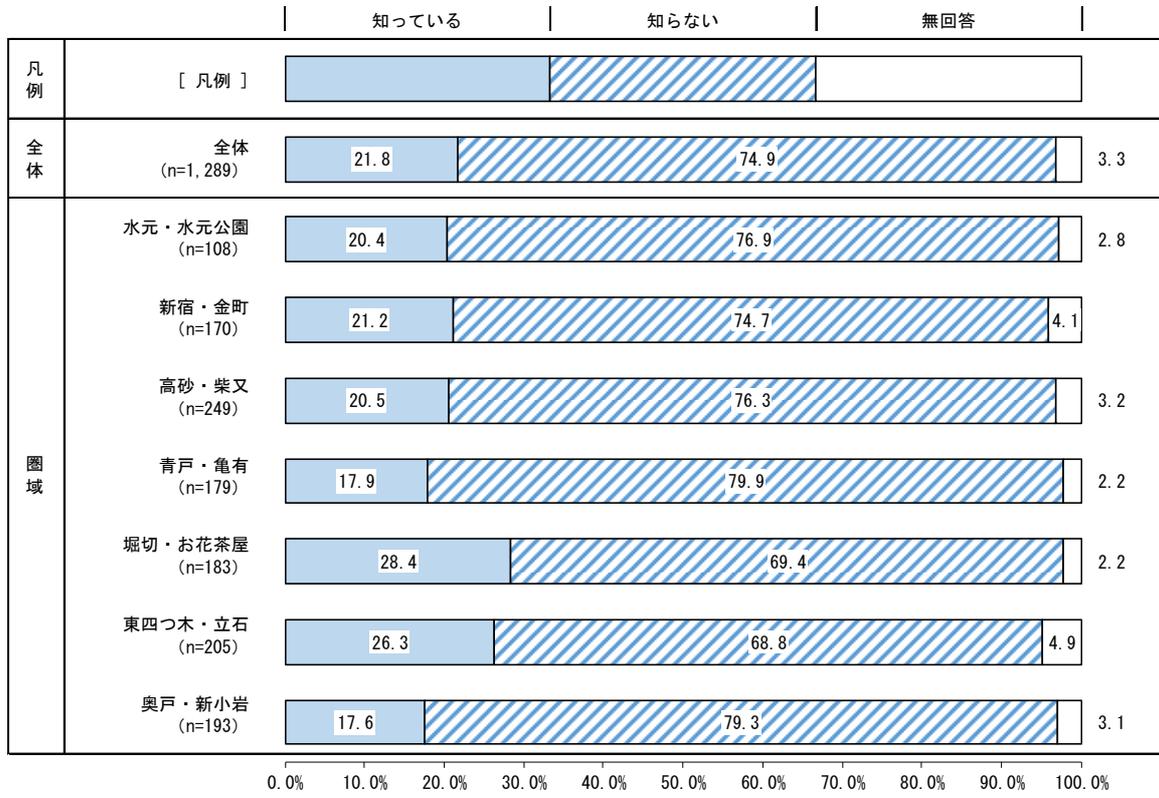
【高齢者見守り相談窓口の認知度・認知症の症状がある家族の有無別】



【圏域別】

○ 「知っている」は堀切・お花茶屋が 28.4%、東四つ木・立石が 26.3%と他の圏域に比べて多くなっています。

【高齢者見守り相談窓口の認知度・圏域別】

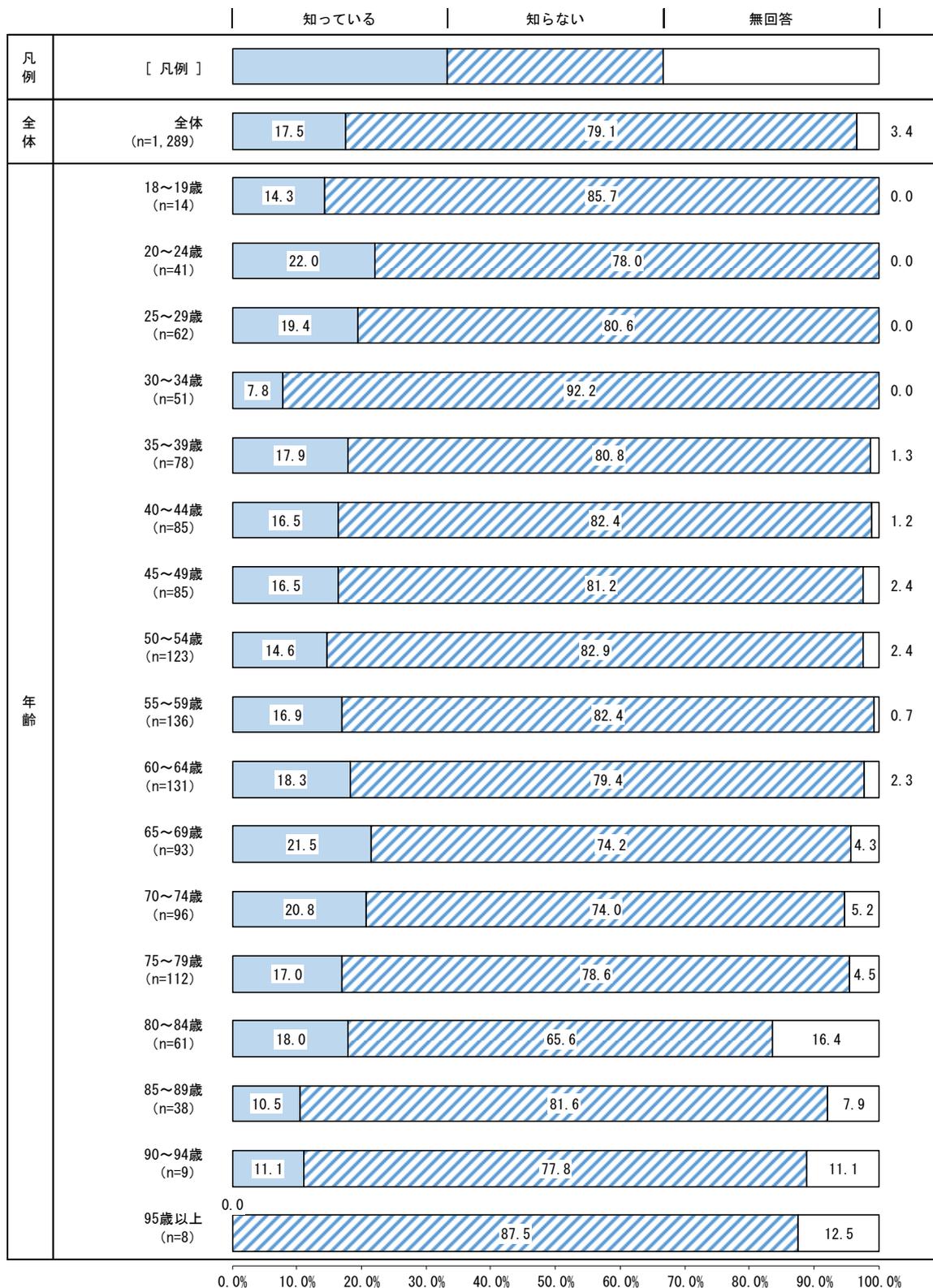


問16-3 認知症サポート医・認知症連携医

【年齢別】

○ 「知っている」は、65～69歳が21.5%、70～74歳が20.8%、25～29歳が19.4%となっています。

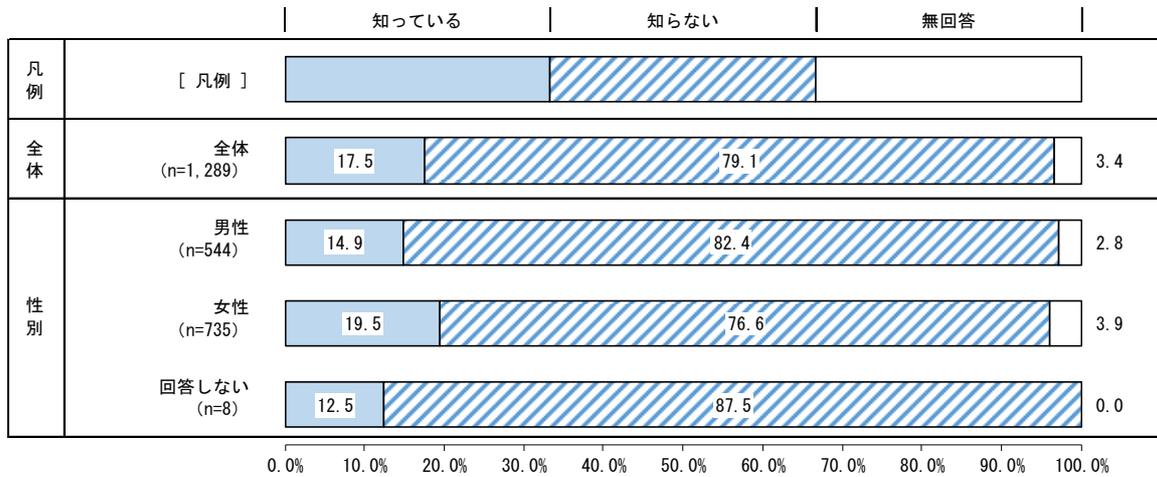
【認知症サポート医・認知症連携医の認知度・年齢別】



【性別】

- 男性では、「知っている」が14.9%、「知らない」が82.4%となっています。
- 女性では、「知っている」が19.5%、「知らない」が76.6%となっています。

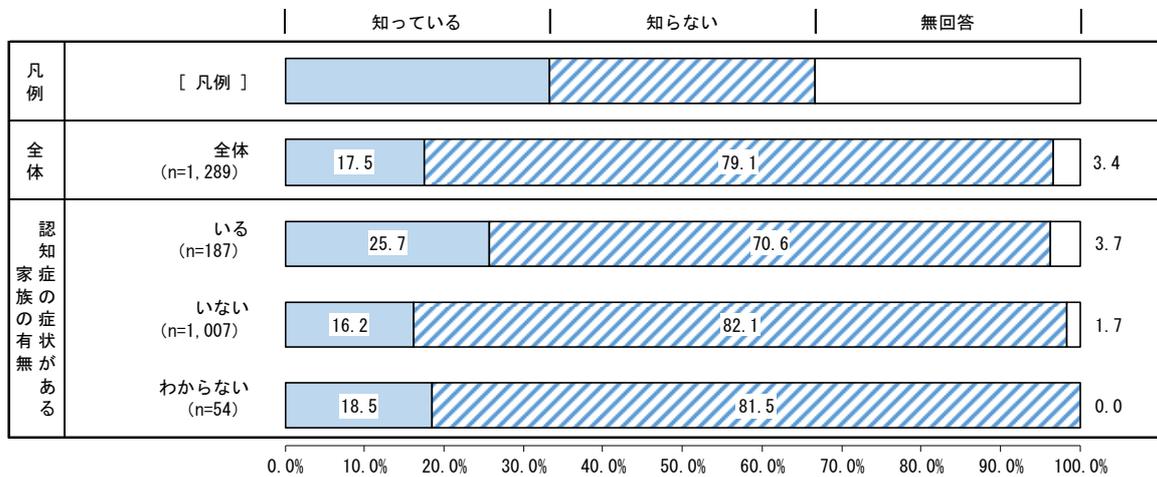
【認知症サポート医・認知症連携医の認知度・性別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知っている」が25.7%、「知らない」が70.6%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知っている」が16.2%、「知らない」が82.1%となっています。
- 『わからない』方では、「知っている」が18.5%、「知らない」が81.5%となっています。

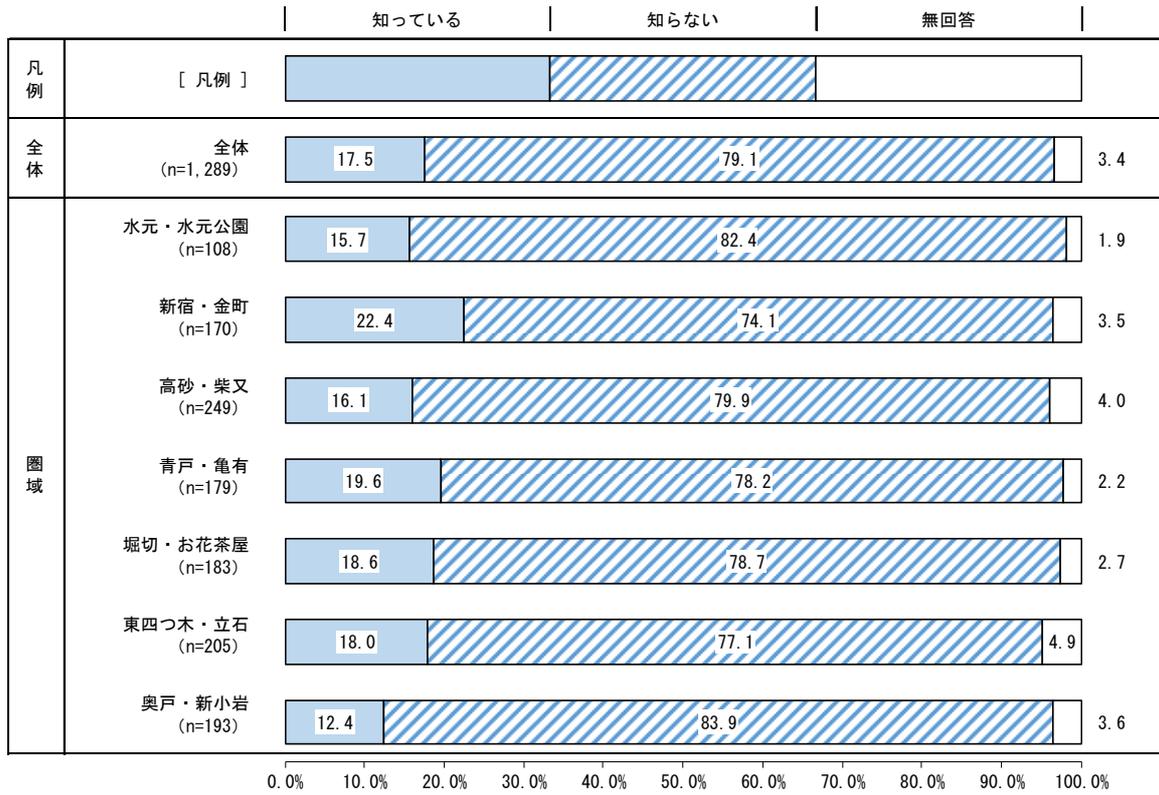
【認知症サポート医・認知症連携医の認知度・認知症の症状がある家族の有無別】



【圏域別】

○ 「知っている」は奥戸・新小岩が12.4%と他の圏域に比べて少なくなっています。

【認知症サポート医・認知症連携医の認知度・圏域別】

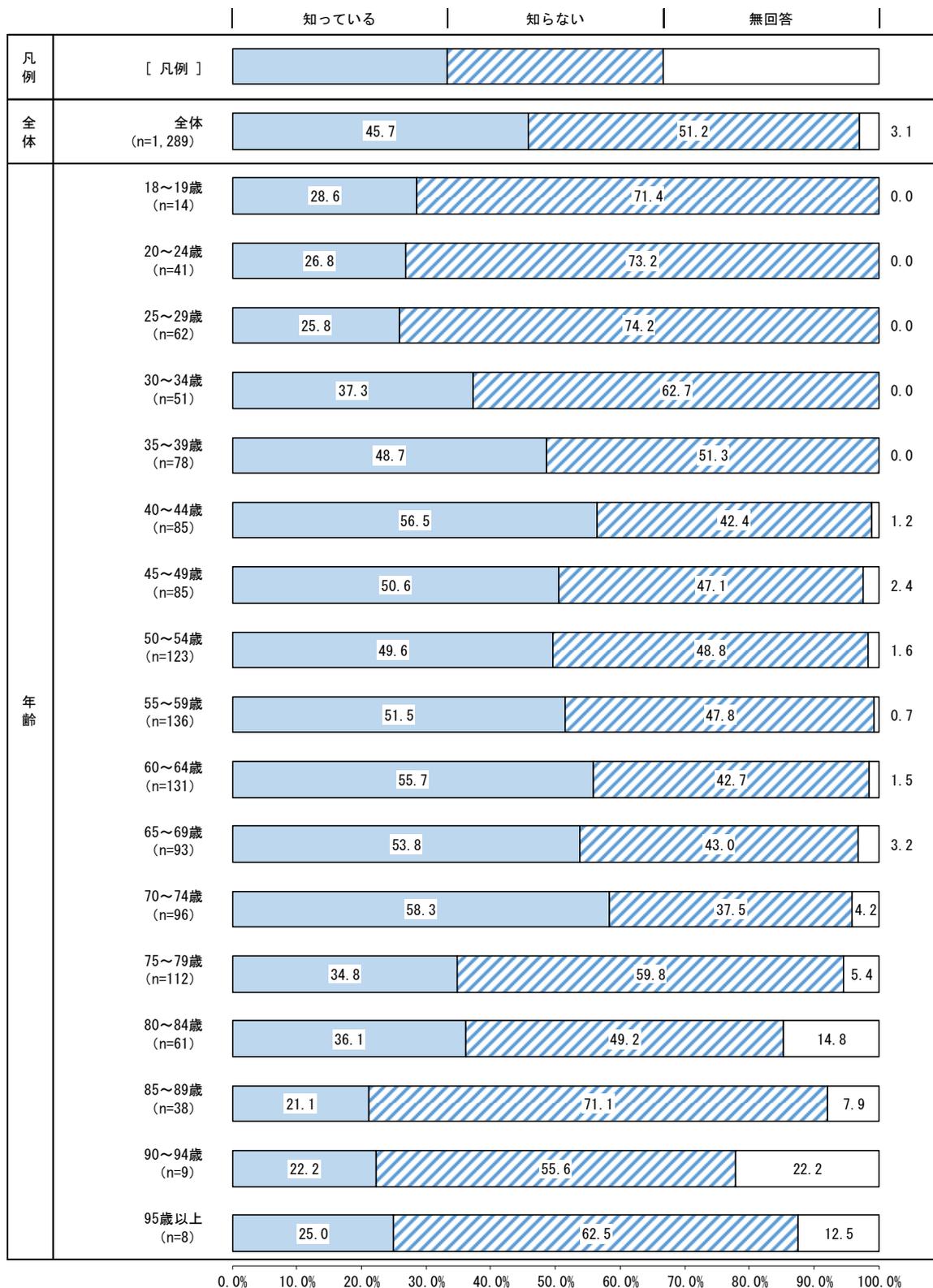


問16-4 もの忘れ外来

【年齢別】

○ 「知っている」は、70～74歳が58.3%、40～44歳が56.5%、60～64歳が55.7%となっています。

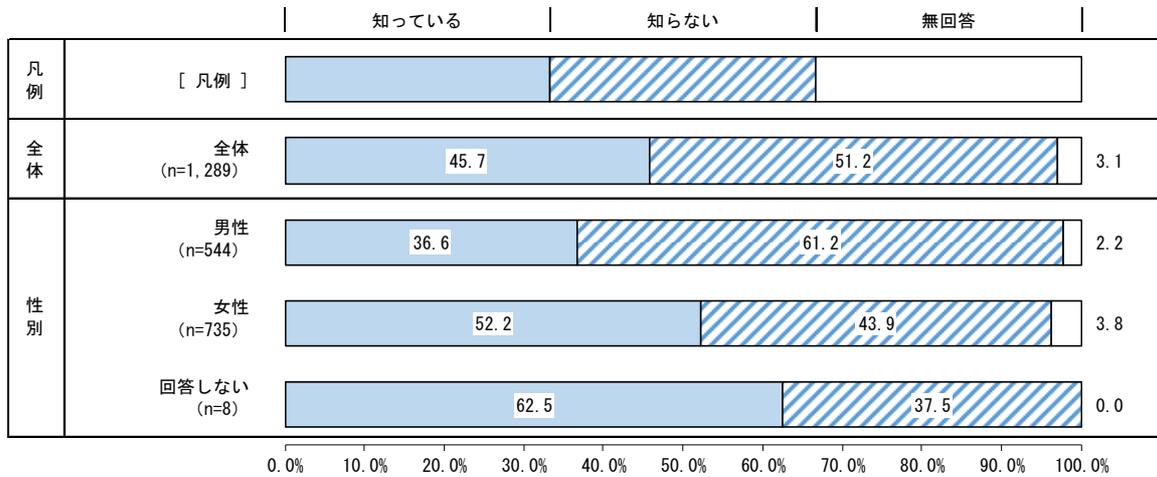
【もの忘れ外来の認知度・年齢別】



【性別】

- 男性では、「知っている」が 36.6%、「知らない」が 61.2%となっています。
- 女性では、「知っている」が 52.2%、「知らない」が 43.9%となっています。

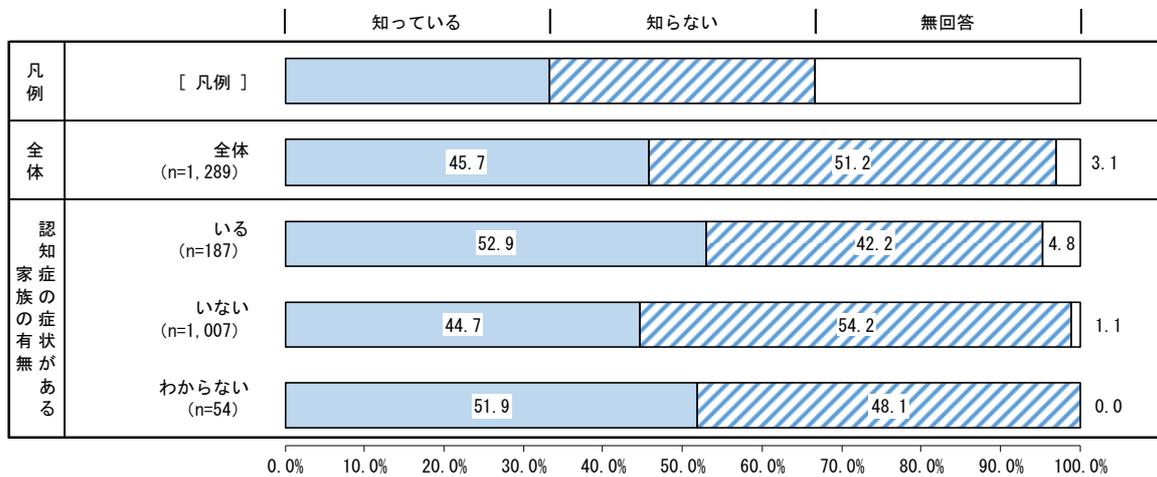
【もの忘れ外来の認知度・性別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知っている」が 52.9%、「知らない」が 42.2%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知っている」が 44.7%、「知らない」が 54.2%となっています。
- 『わからない』方では、「知っている」が 51.9%、「知らない」が 48.1%となっています。

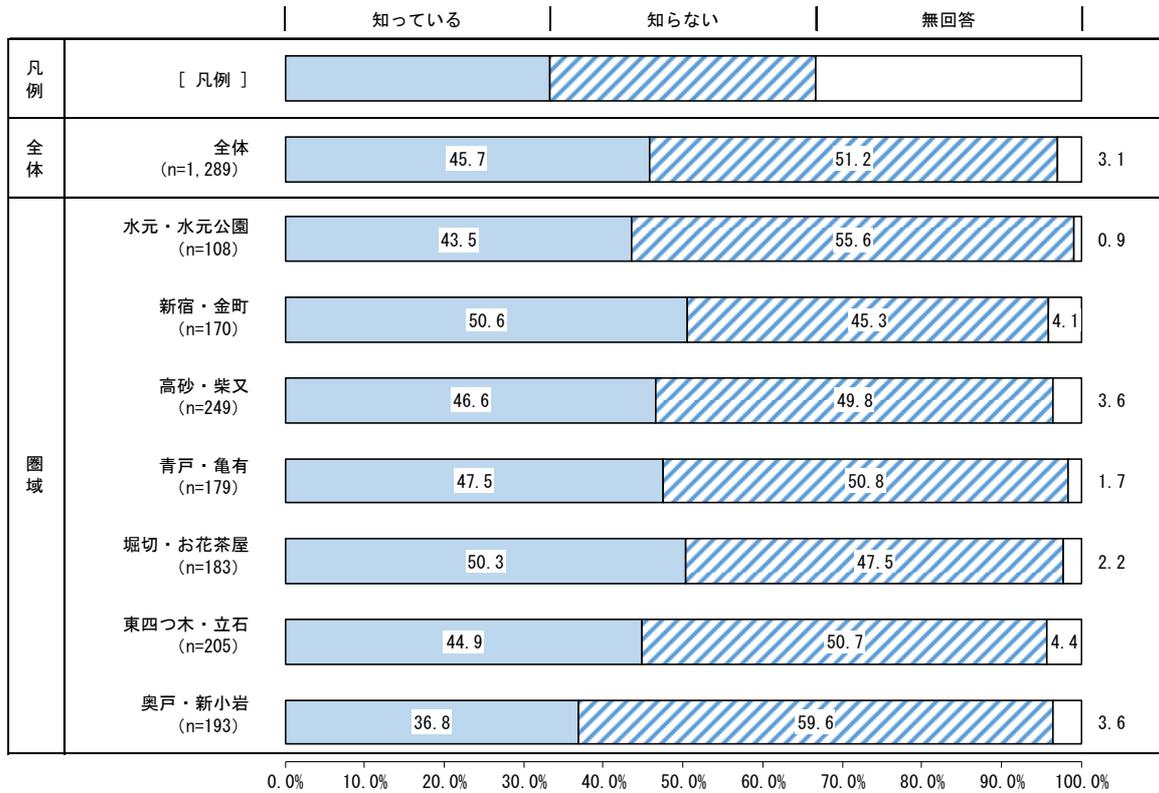
【もの忘れ外来の認知度・認知症の症状がある家族の有無別】



【圏域別】

○ 「知っている」は奥戸・新小岩が36.8%と他の圏域に比べて少なくなっています。

【もの忘れ外来の認知度・圏域別】



(3) 認知症の予防について

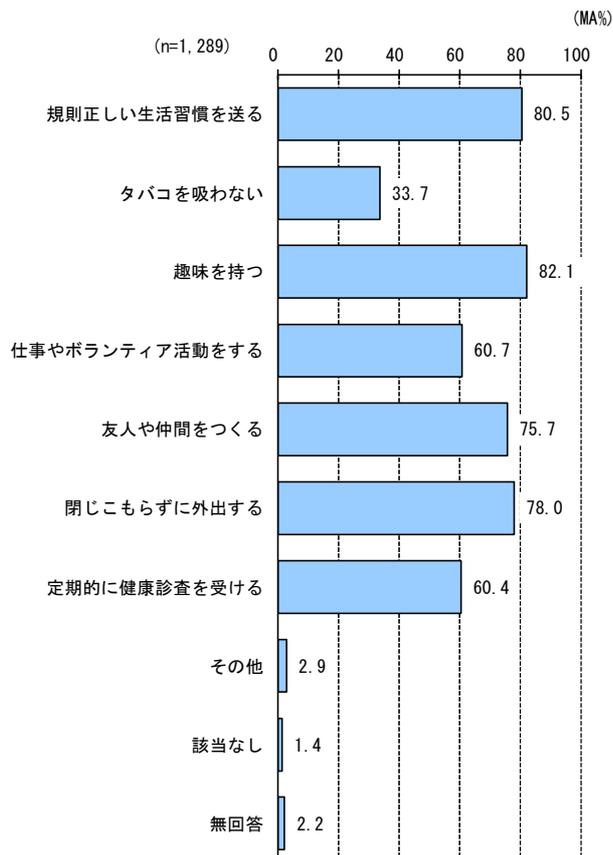
問17 あなたは、認知症を予防するために、効果があると思うものは何ですか。

(〇はいくつでも)

【全体】

○ 「趣味を持つ」が82.1%で最も多く、次いで「規則正しい生活習慣を送る」が80.5%、「閉じこもらずに外出する」が78.0%となっています。

【認知症予防に効果があると思うもの（複数回答）】



【年齢別】

- 25～29 歳では、「趣味を持つ」が 87.1%で最も多く、次いで「閉じこもらずに外出する」が 79.0%、「友人や仲間をつくる」が 77.4%となっています。
- 30～34 歳では、「閉じこもらずに外出する」が 86.3%で最も多く、次いで「友人や仲間をつくる」が 80.4%、「趣味を持つ」が 78.4%となっています。
- 35～39 歳では、「友人や仲間をつくる」が 87.2%で最も多く、次いで「趣味を持つ」「閉じこもらずに外出する」が 84.6%、「規則正しい生活習慣を送る」が 78.2%となっています。
- 40～84 歳では、「趣味を持つ」が最も多くなっています。
- 65 歳以上では、「規則正しい生活習慣を送る」が最も多くなっています。

【性別】

- 男性では、「趣味を持つ」が 80.3%で最も多く、次いで「規則正しい生活習慣を送る」が 76.3%、「閉じこもらずに外出する」が 73.5%となっています。
- 女性では、「規則正しい生活習慣を送る」が 83.7%で最も多く、次いで「趣味を持つ」が 83.3%、「閉じこもらずに外出する」が 81.4%となっています。

【世帯人数別】

- 1 人暮らしでは、「規則正しい生活習慣を送る」が 79.6%で最も多く、次いで「趣味を持つ」が 78.8%、「閉じこもらずに外出する」が 76.9%となっています。
- 世帯人数 2 人以上では、「趣味を持つ」が最も多く、次いで「規則正しい生活習慣を送る」となっています。

【認知症予防に効果があると思うもの（複数回答）・年齢別・性別・世帯人数別】

単位：%

		認知症予防に効果があると思うもの (MA)										
		母数 (n)	規則正しい生活習慣を送る	タバコを吸わない	趣味を持つ	仕事やボランティア活動をする	友人や仲間をつくる	閉じこもらずに外出する	定期的に健康診査を受ける	その他	該当なし	無回答
全体		1,289	80.5	33.7	82.1	60.7	75.7	78.0	60.4	2.9	1.4	2.2
年齢	18～19歳	14	85.7	28.6	▼ 71.4	▼ 42.9	78.6	△ 92.9	△ 71.4	-	-	-
	20～24歳	41	78.0	36.6	78.0	61.0	82.9	82.9	65.9	2.4	-	-
	25～29歳	62	74.2	24.2	87.1	67.7	77.4	79.0	66.1	1.6	3.2	-
	30～34歳	51	70.6	29.4	78.4	66.7	80.4	86.3	54.9	-	3.9	-
	35～39歳	78	78.2	35.9	84.6	69.2	△ 87.2	84.6	67.9	1.3	-	-
	40～44歳	85	80.0	△ 47.1	91.8	△ 71.8	△ 88.2	△ 88.2	△ 71.8	2.4	-	-
	45～49歳	85	81.2	41.2	89.4	67.1	80.0	80.0	67.1	2.4	-	2.4
	50～54歳	123	79.7	32.5	87.0	61.0	77.2	75.6	65.0	4.1	2.4	0.8
	55～59歳	136	85.3	38.2	89.0	69.1	77.2	77.9	66.9	1.5	1.5	0.7
	60～64歳	131	75.6	35.9	87.0	67.2	80.9	81.7	58.0	3.8	0.8	0.8
	65～69歳	93	90.3	32.3	82.8	65.6	74.2	78.5	△ 73.1	3.2	1.1	1.1
	70～74歳	96	87.5	39.6	75.0	57.3	▼ 65.6	69.8	58.3	1.0	1.0	3.1
	75～79歳	112	81.3	30.4	73.2	▼ 50.0	66.1	75.0	▼ 42.0	3.6	3.6	3.6
	80～84歳	61	80.3	27.9	75.4	▼ 27.9	72.1	72.1	▼ 44.3	8.2	-	13.1
85～89歳	38	78.9	▼ 23.7	▼ 71.1	▼ 34.2	65.8	71.1	▼ 47.4	5.3	-	5.3	
90～94歳	9	▼ 55.6	▼ 11.1	▼ 22.2	▼ 22.2	▼ 22.2	▼ 33.3	▼ 11.1	11.1	11.1	11.1	
95歳以上	8	87.5	▼ 12.5	▼ 37.5	▼ 12.5	▼ 25.0	▼ 50.0	▼ 12.5	-	-	12.5	
性別	男性	544	76.3	30.1	80.3	59.7	70.8	73.5	56.1	2.6	2.2	1.7
	女性	735	83.7	36.2	83.3	61.6	79.5	81.4	63.4	3.1	0.8	2.7
	回答しない	8	75.0	37.5	87.5	62.5	△ 87.5	75.0	△ 75.0	12.5	-	-
世帯人数	1人暮らし	255	79.6	33.3	78.8	52.9	68.6	76.9	61.2	4.7	2.0	2.4
	2人	424	81.8	33.7	84.0	60.8	76.7	78.1	57.5	2.8	0.9	3.1
	3人	301	80.7	36.9	83.4	61.5	80.4	79.1	62.5	2.7	2.0	1.7
	4人以上	299	79.3	30.4	81.6	67.6	76.9	78.6	61.9	2.0	1.0	1.7

問18 あなたは、認知症を予防するために、取組んでいるものは何ですか。

(〇はいくつでも)

【全体】

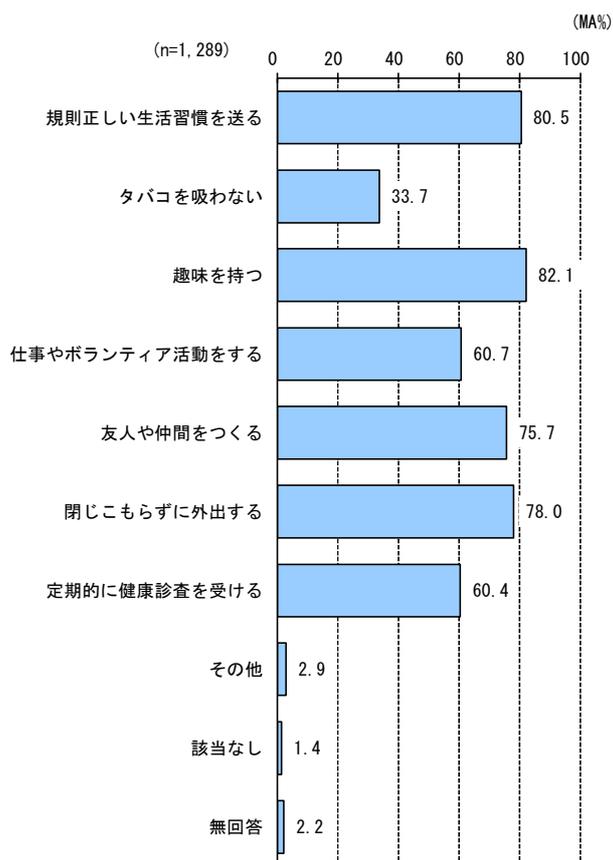
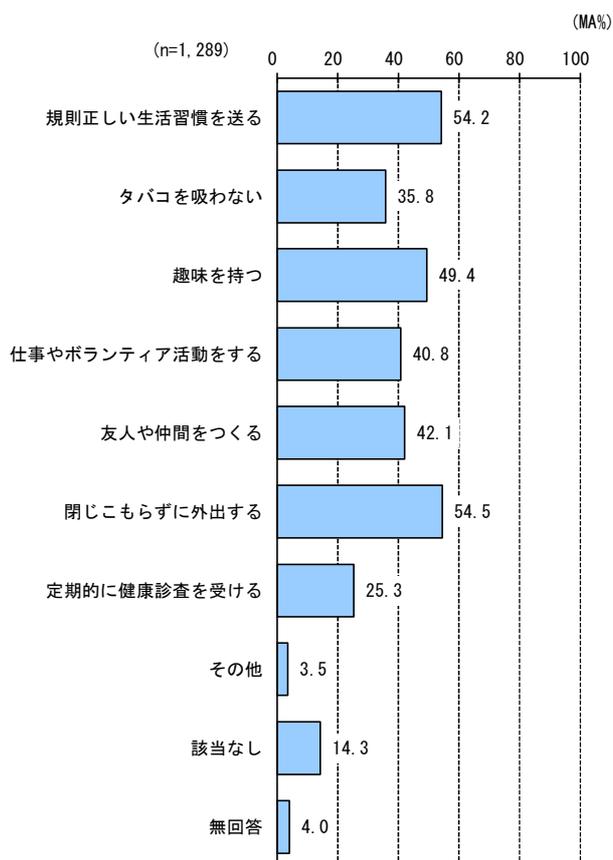
- 「閉じこもらずに外出する」が 54.5%で最も多く、次いで「規則正しい生活習慣を送る」が 54.2%、「趣味を持つ」が 49.4%となっています。
- 認知症予防に効果があると思っているが、実際には取組んでいないものが多く、「定期的に健康診査を受ける」「友人や仲間をつくる」「趣味を持つ」は 30 ポイント以上の差があります。

【認知症予防のために取組んでいるもの】

(複数回答)

【(問 17 再掲) 認知症予防に効果があると思うもの】

(複数回答)



【年齢別】

- 25～29 歳では、「友人や仲間をつくる」が 45.2%で最も多く、次いで「規則正しい生活習慣を送る」「趣味を持つ」「閉じこもらずに外出する」が 38.7%、「仕事やボランティア活動をする」「該当なし」が 35.5%となっています。
- 30～34 歳では、「仕事やボランティア活動をする」が 52.9%で最も多く、次いで「友人や仲間をつくる」が 49.0%、「閉じこもらずに外出する」が 43.1%となっています。
- 35～39 歳では、「仕事やボランティア活動をする」が 46.2%で最も多く、次いで「閉じこもらずに外出する」が 44.9%、「趣味を持つ」が 43.6%となっています。
- 40～44 歳では、「規則正しい生活習慣を送る」が 52.9%で最も多く、次いで「趣味を持つ」「仕事やボランティア活動をする」が 47.1%、「閉じこもらずに外出する」が 44.7%となっています。
- 45～64 歳では、「閉じこもらずに外出する」が最も多くなっています。
- 65～84 歳では、「規則正しい生活習慣を送る」が最も多くなっています。

【性別】

- 男性では、「趣味を持つ」が 50.6%で最も多く、次いで「規則正しい生活習慣を送る」が 50.2%、「閉じこもらずに外出する」が 49.3%となっています。
- 女性では、「閉じこもらずに外出する」が 58.5%で最も多く、次いで「規則正しい生活習慣を送る」が 57.6%、「趣味を持つ」が 49.0%となっています。

【世帯人数別】

- 1人暮らし、3人、4人以上では、「閉じこもらずに外出する」が最も多く、次いで「規則正しい生活習慣を送る」「趣味を持つ」の順となっています。
- 2人では、「規則正しい生活習慣を送る」が 57.1%で最も多く、次いで「閉じこもらずに外出する」が 55.0%、「趣味を持つ」が 51.9%となっています。

【認知症予防のために取組んでいるもの（複数回答）・年齢別・性別・世帯人数別】

単位：%

		母数 (n)	認知症予防のために取組んでいるもの (MA)									
			規則正しい生活習慣を送る	タバコを吸わない	趣味を持つ	仕事やボランティア活動をする	友人や仲間をつくる	閉じこもらずに外出する	定期的に健康診査を受ける	その他	該当なし	無回答
全体		1,289	54.2	35.8	49.4	40.8	42.1	54.5	25.3	3.5	14.3	4.0
年齢	18～19歳	14	△ 64.3	▼ 21.4	42.9	▼ 14.3	42.9	▼ 42.9	-	-	△ 28.6	-
	20～24歳	41	▼ 39.0	36.6	△ 61.0	41.5	△ 58.5	▼ 43.9	19.5	4.9	△ 26.8	2.4
	25～29歳	62	▼ 38.7	30.6	▼ 38.7	35.5	45.2	▼ 38.7	16.1	3.2	△ 35.5	-
	30～34歳	51	▼ 37.3	▼ 23.5	41.2	△ 52.9	49.0	▼ 43.1	15.7	2.0	△ 33.3	-
	35～39歳	78	▼ 37.2	34.6	43.6	46.2	35.9	44.9	16.7	-	△ 32.1	-
	40～44歳	85	52.9	43.5	47.1	47.1	37.6	44.7	27.1	5.9	17.6	2.4
	45～49歳	85	▼ 42.4	31.8	40.0	40.0	▼ 27.1	44.7	18.8	4.7	22.4	4.7
	50～54歳	123	48.0	39.0	46.3	48.8	32.5	54.5	22.8	3.3	13.8	1.6
	55～59歳	136	52.9	39.0	52.9	50.7	39.7	53.7	21.3	2.2	10.3	0.7
	60～64歳	131	55.7	39.7	46.6	48.9	47.3	61.1	30.5	3.8	10.7	3.8
	65～69歳	93	63.4	40.9	59.1	45.2	48.4	63.4	△ 39.8	1.1	7.5	2.2
	70～74歳	96	△ 69.8	38.5	△ 62.5	37.5	46.9	△ 69.8	△ 36.5	2.1	▼ 2.1	5.2
	75～79歳	112	△ 68.8	32.1	54.5	33.9	44.6	64.3	26.8	3.6	5.4	8.0
	80～84歳	61	△ 67.2	29.5	55.7	▼ 11.5	△ 52.5	57.4	24.6	6.6	▼ 3.3	16.4
85～89歳	38	△ 68.4	31.6	57.9	▼ 10.5	42.1	60.5	31.6	5.3	▼ 2.6	7.9	
90～94歳	9	44.4	▼ 11.1	▼ 22.2	-	33.3	▼ 22.2	▼ 11.1	11.1	11.1	22.2	
95歳以上	8	▼ 37.5	▼ 12.5	-	-	-	▼ 25.0	▼ 12.5	-	12.5	37.5	
性別	男性	544	50.2	31.3	50.6	39.0	37.1	49.3	24.6	3.3	18.6	4.0
	女性	735	57.6	39.2	49.0	42.3	46.0	58.5	25.9	3.4	10.9	4.1
	回答しない	8	▼ 12.5	37.5	▼ 25.0	37.5	37.5	▼ 37.5	▼ 12.5	△ 25.0	△ 37.5	-
世帯人数	1人暮らし	255	52.2	30.6	50.6	33.7	40.8	53.7	28.6	6.3	13.7	6.7
	2人	424	57.1	37.0	51.9	41.5	40.3	55.0	25.7	1.7	11.3	4.2
	3人	301	55.5	39.2	49.5	43.9	47.8	56.1	24.6	5.3	15.3	2.3
	4人以上	299	49.5	35.1	45.2	43.8	40.8	52.8	22.1	2.0	18.4	3.3

【圏域別】

- 「規則正しい生活習慣を送る」は水元・水元公園が 51.9%、新宿・金町が 51.2%、堀切・お花茶屋が 50.8%と他の圏域に比べて少なくなっています。
- 「タバコを吸わない」は水元・水元公園が 25.9%と他の圏域に比べて少なくなっています。
- 「趣味を持つ」は水元・水元公園が 51.9%、堀切・お花茶屋が 50.8%、東四つ木・立石が 51.2%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 「仕事やボランティア活動をする」は堀切・お花茶屋が 35.5%と他の圏域に比べて少なくなっています。
- 「友人や仲間をつくる」は青戸・亀有が 33.0%と他の圏域に比べて少なくなっています。
- 「閉じこもらずに外出する」は水元・水元公園が 55.6%、高砂・柴又が 56.2%、堀切・お花茶屋が 55.2%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 「定期的に健康診査を受ける」は奥戸・新小岩が 30.1%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 「該当なし」は水元・水元公園が 16.7%、青戸・亀有が 17.3%と他の圏域に比べて多くなっています。

【認知症予防のために取組んでいるもの（複数回答）・圏域別】

単位：%

		母数 (n)	認知症予防のために取組んでいるもの (MA)									
			規則正しい生活習慣を送る	タバコを吸わない	趣味を持つ	仕事やボランティア活動をする	友人や仲間をつくる	閉じこもらずに外出する	定期的に健康診査を受ける	その他	該当なし	無回答
全体		1,289	54.2	35.8	49.4	40.8	42.1	54.5	25.3	3.5	14.3	4.0
圏域	水元・水元公園	108	51.9	25.9	51.9	43.5	38.9	55.6	23.1	3.7	16.7	2.8
	新宿・金町	170	51.2	40.6	48.8	39.4	46.5	53.5	24.1	4.7	12.9	3.5
	高砂・柴又	249	54.2	35.7	47.8	41.8	42.6	56.2	26.9	3.2	11.6	5.6
	青戸・亀有	179	58.1	30.7	47.5	40.2	33.0	54.2	23.5	2.8	17.3	2.2
	堀切・お花茶屋	183	50.8	38.3	50.8	35.5	42.6	55.2	24.0	3.3	14.8	2.7
	東四つ木・立石	205	57.1	39.5	51.2	39.5	45.4	53.2	23.4	2.9	14.1	6.8
	奥戸・新小岩	193	54.9	35.2	49.2	46.1	44.0	53.4	30.1	4.1	14.0	3.1

(4) 若年性認知症について

問19 若年性認知症とは65歳未満で認知症状が発症するものです。発症する年齢が平均54.4歳と若いことから、高齢期の認知症との違いを知ることが大切とされています。

【若年性認知症に関する認知度】

【若年性認知症のことについて】

○ 「知っている」が70.3%、「知らない」が26.5%となっています。

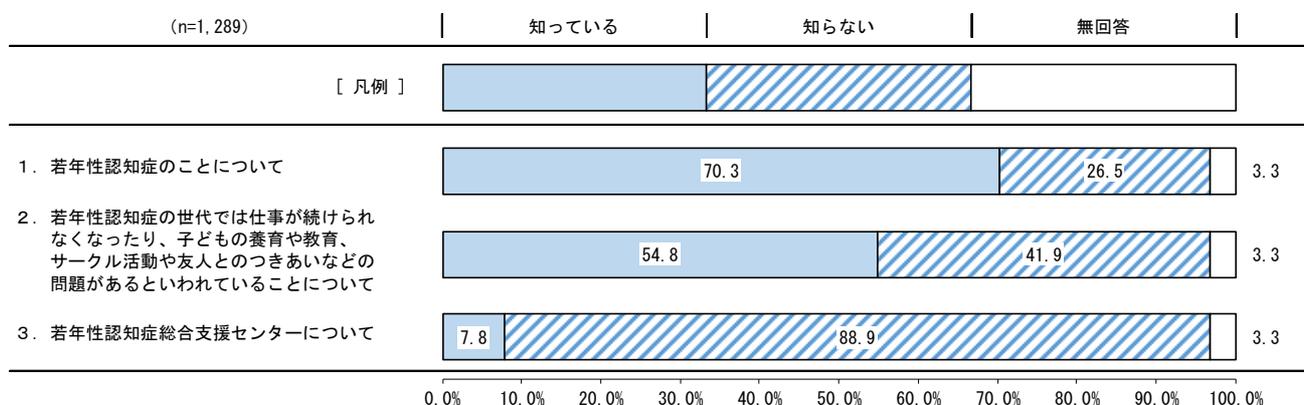
【若年性認知症の世代では仕事が続けられなくなったり、子どもの養育や教育、サークル活動や友人とのつきあいなどの問題があるといわれていることについて】

○ 「知っている」が54.8%、「知らない」が41.9%となっています。

【若年性認知症総合支援センター】

○ 「知っている」が7.8%、「知らない」が88.9%となっています。

【若年性認知症に関する認知度】

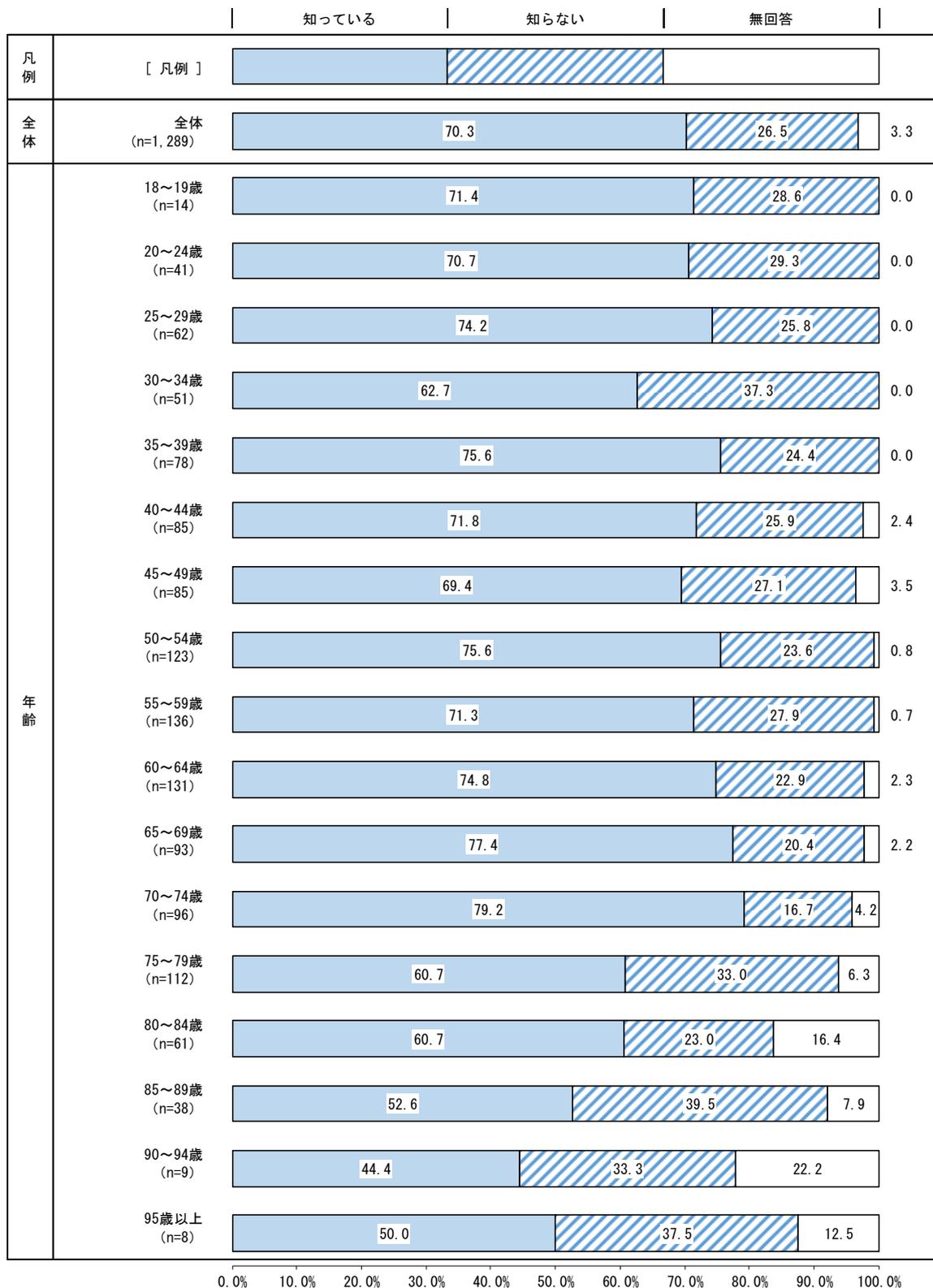


問19-1 若年性認知症のことについてあなたは知っていますか。

【年齢別】

○ 「知っている」は、70～74歳が79.2%、65～69歳が77.4%、35～39歳と50～54歳が75.6%となっています。

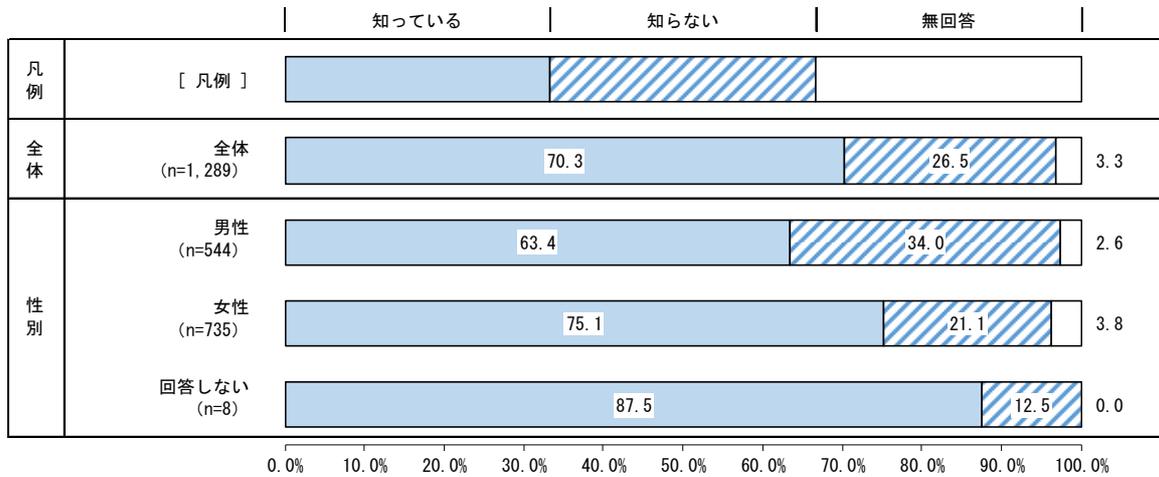
【若年性認知症の認知度・年齢別】



【性別】

- 男性では、「知っている」が63.4%、「知らない」が34.0%となっています。
- 女性では、「知っている」が75.1%、「知らない」が21.1%となっています。

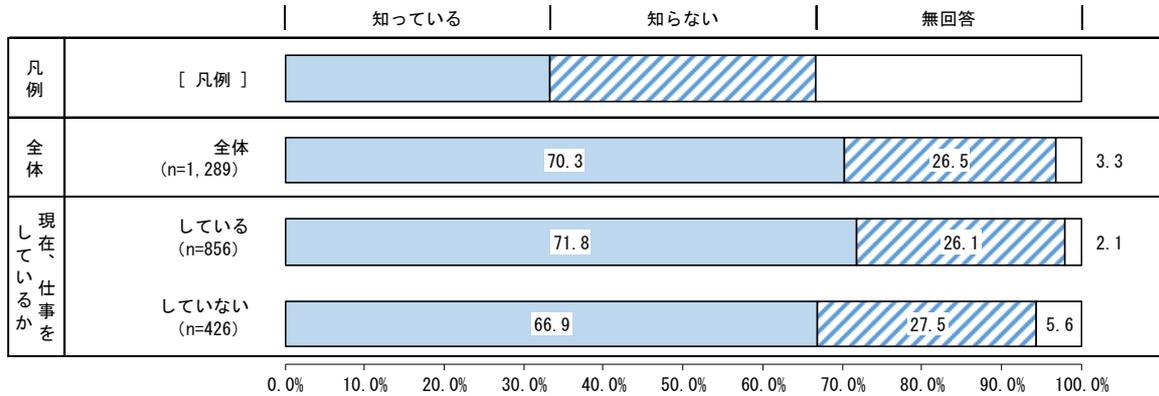
【若年性認知症の認知度・性別】



【現在の仕事別】

- 仕事を『している』では、「知っている」が71.8%、「知らない」が26.1%となっています。
- 仕事を『していない』では、「知っている」が66.9%、「知らない」が27.5%となっています。

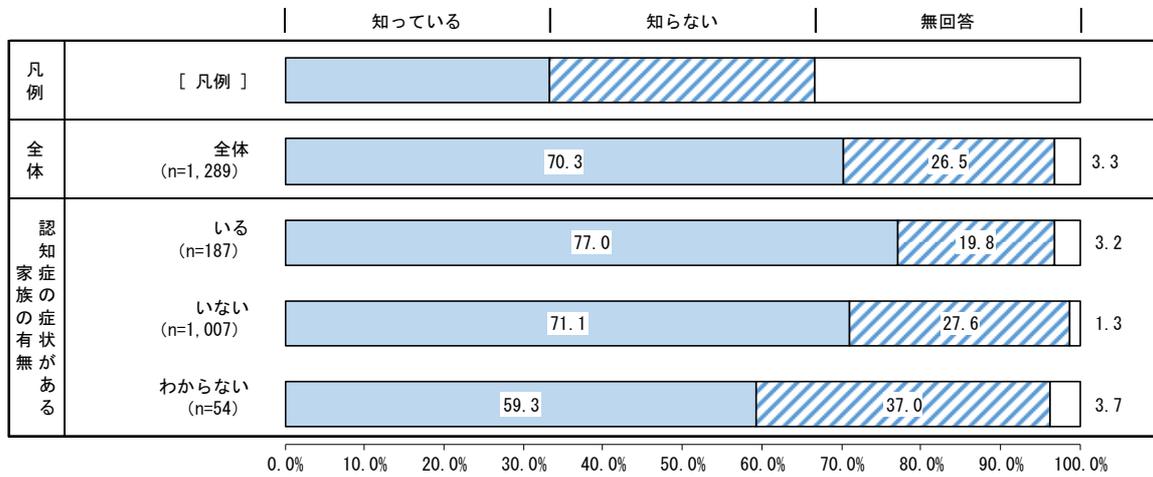
【若年性認知症の認知度・現在の仕事別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知っている」が 77.0%、「知らない」が 19.8%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知っている」が 71.1%、「知らない」が 27.6%となっています。
- 『わからない』方では、「知っている」が 59.3%、「知らない」が 37.0%となっています。

【若年性認知症の認知度・認知症の症状がある家族の有無別】

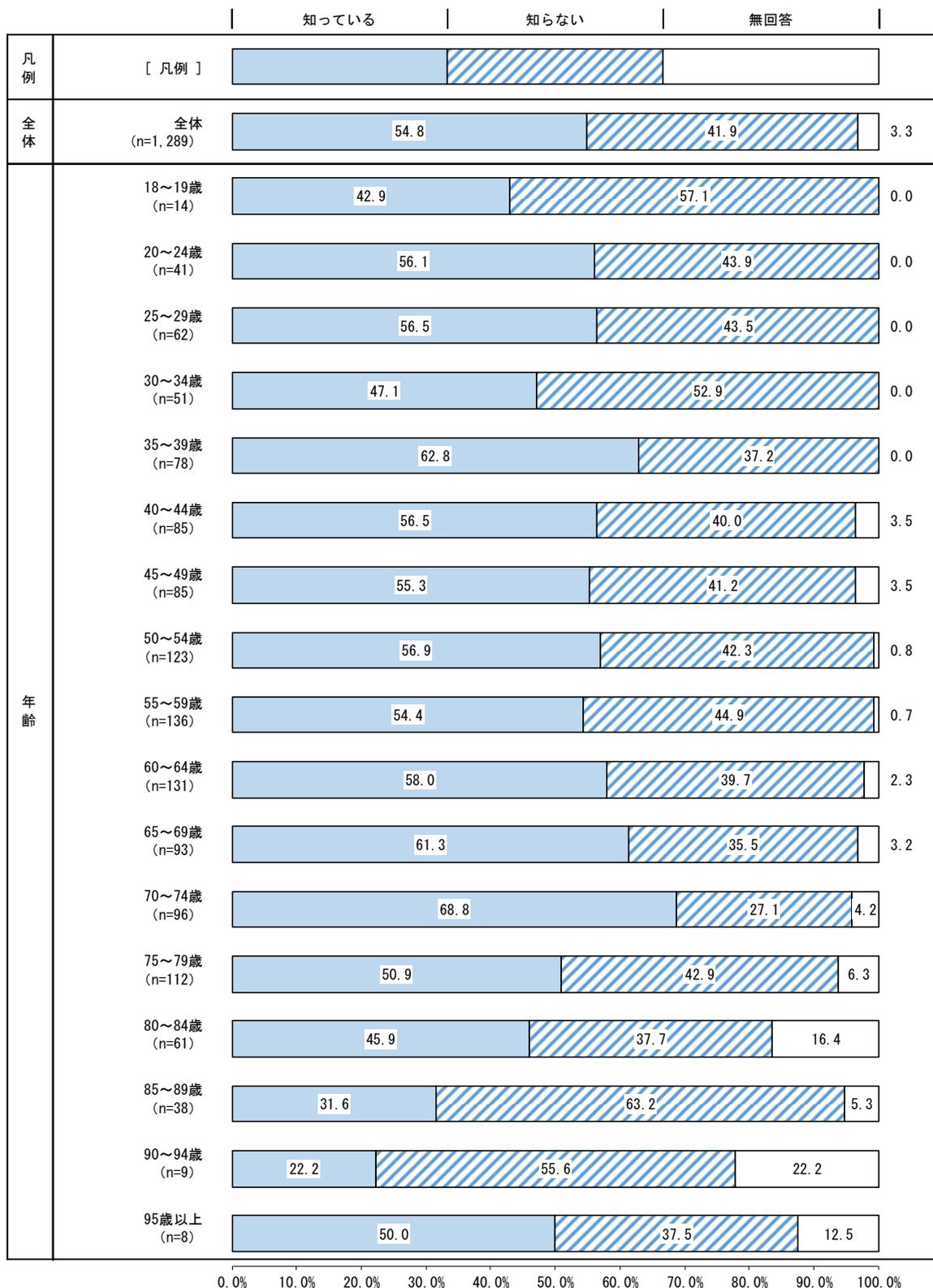


問19-2 若年性認知症の世代では仕事が続けられなくなったり、子どもの養育や教育、サークル活動や友人とのつきあいなどの問題があるといわれています。このことについてあなたは知っていますか。

【年齢別】

○ 「知っている」は、70～74歳が68.8%、35～39歳が62.8%、65～69歳が61.3%となっています。

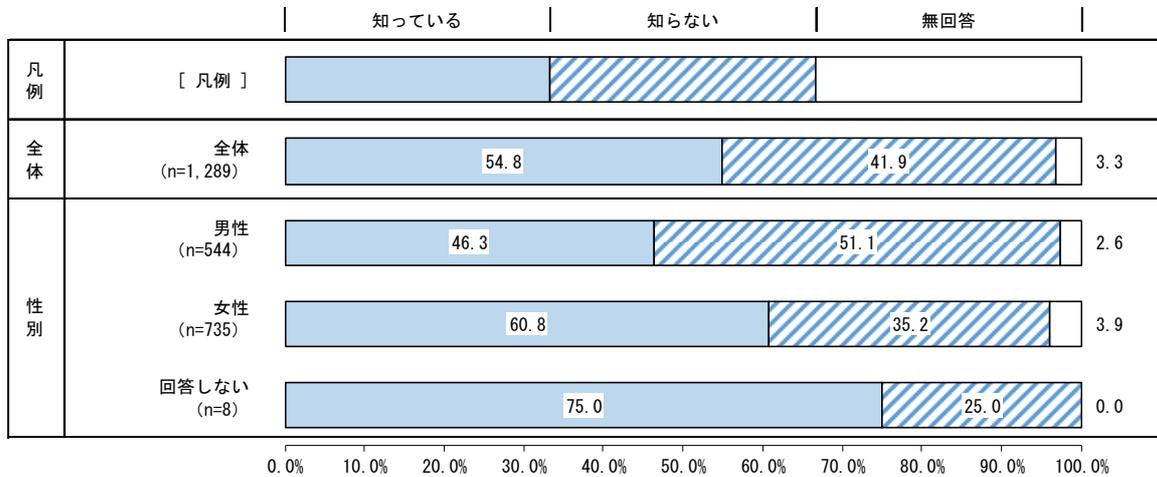
【若年性認知症の世代では仕事が続けられなくなったり、子どもの養育や教育、サークル活動や友人とのつきあいなどの問題があるといわれていることについての認知度・年齢別】



【性別】

- 男性では、「知っている」が46.3%、「知らない」が51.1%となっています。
- 女性では、「知っている」が60.8%、「知らない」が35.2%となっています。

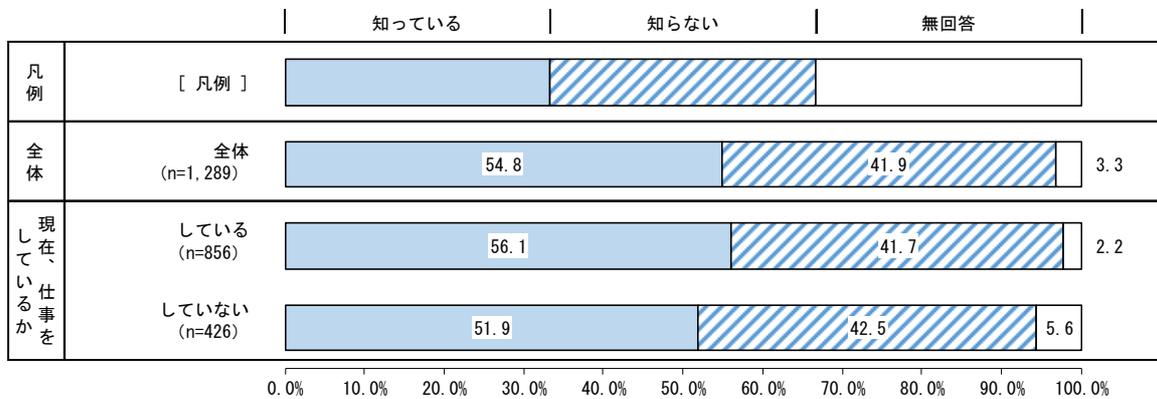
【若年性認知症の世代では仕事が続けられなくなったり、子どもの養育や教育、サークル活動や友人とのつきあいなどの問題があるといわれていることについての認知度・性別】



【現在の仕事別】

- 仕事を『している』では、「知っている」が56.1%、「知らない」が41.7%となっています。
- 仕事を『していない』では、「知っている」が51.9%、「知らない」が42.5%となっています。

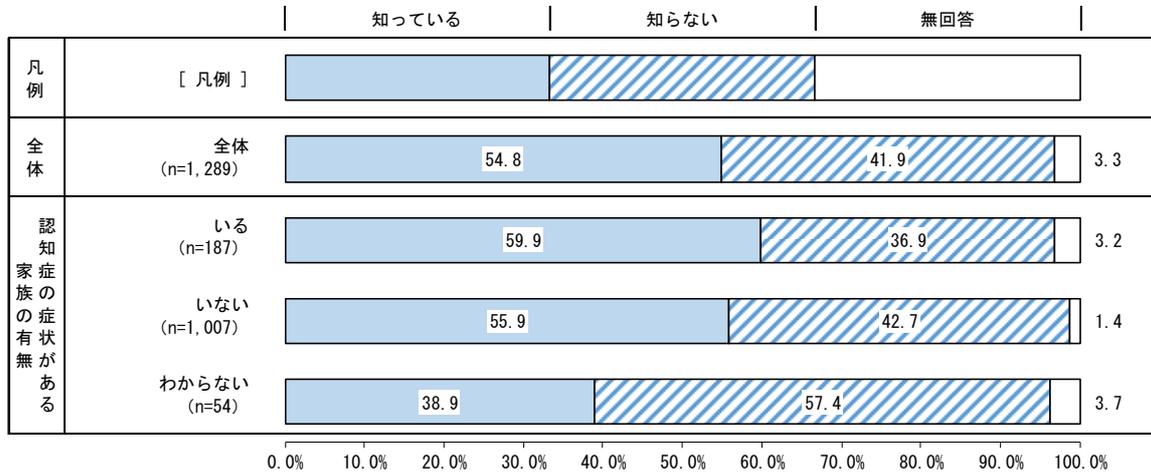
【若年性認知症の世代では仕事が続けられなくなったり、子どもの養育や教育、サークル活動や友人とのつきあいなどの問題があるといわれていることについての認知度・現在の仕事別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知っている」が 59.9%、「知らない」が 36.9%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知っている」が 55.9%、「知らない」が 42.7%となっています。
- 『わからない』方では、「知っている」が 38.9%、「知らない」が 57.4%となっています。

【若年性認知症の世代では仕事が続けられなくなったり、子どもの養育や教育、サークル活動や友人とのつきあいなどの問題があるといわれていることについての認知度・認知症の症状がある家族の有無別】

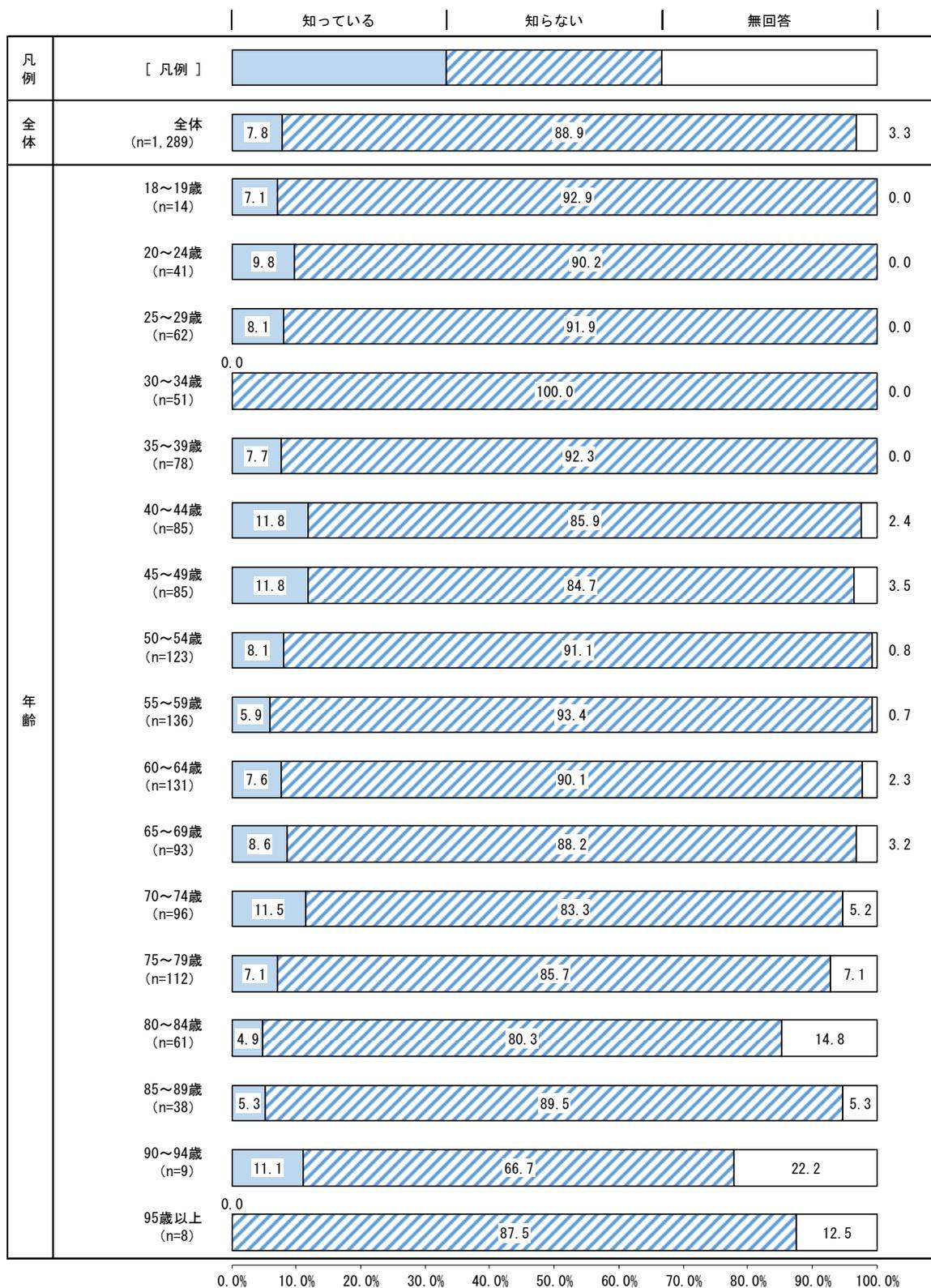


問19-3 若年性認知症総合支援センターについてあなたは知っていますか。

【年齢別】

○ 「知っている」は、40～44歳と45～49歳が11.8%、70～74歳が11.5%となっています。

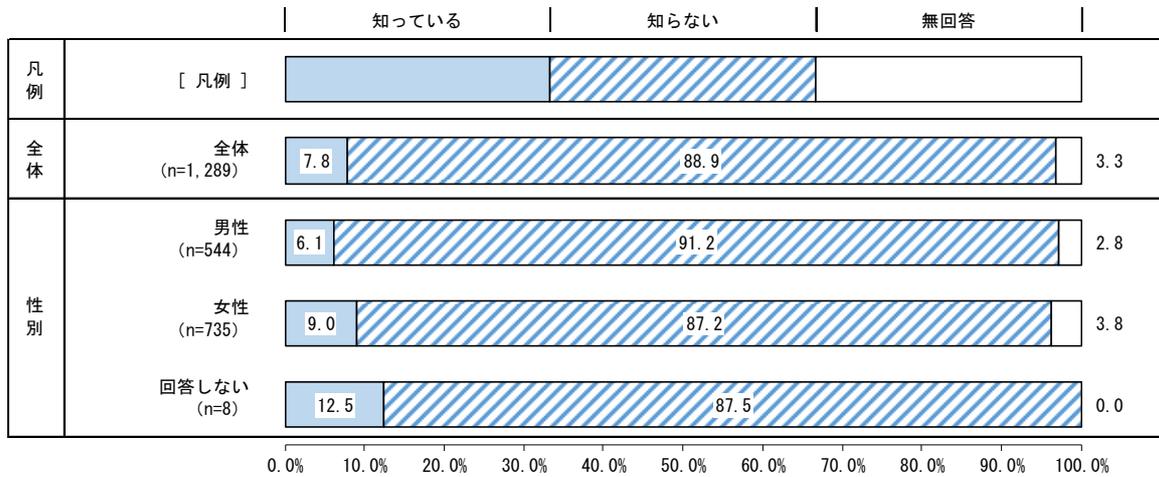
【若年性認知症総合支援センターの認知度・年齢別】



【性別】

- 男性では、「知っている」が6.1%、「知らない」が91.2%となっています。
- 女性では、「知っている」が9.0%、「知らない」が87.2%となっています。

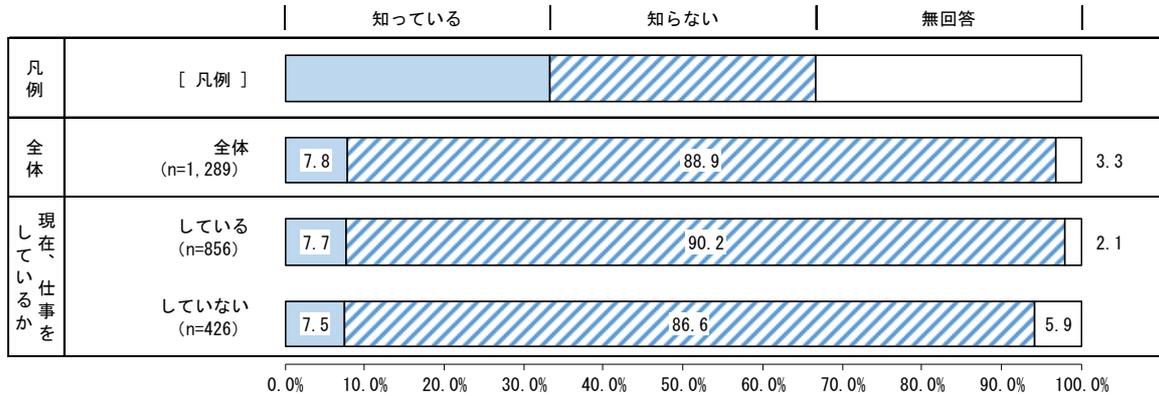
【若年性認知症総合支援センターの認知度・性別】



【現在の仕事別】

- 仕事を『している』では、「知っている」が7.7%、「知らない」が90.2%となっています。
- 仕事を『していない』では、「知っている」が7.5%、「知らない」が86.6%となっています。

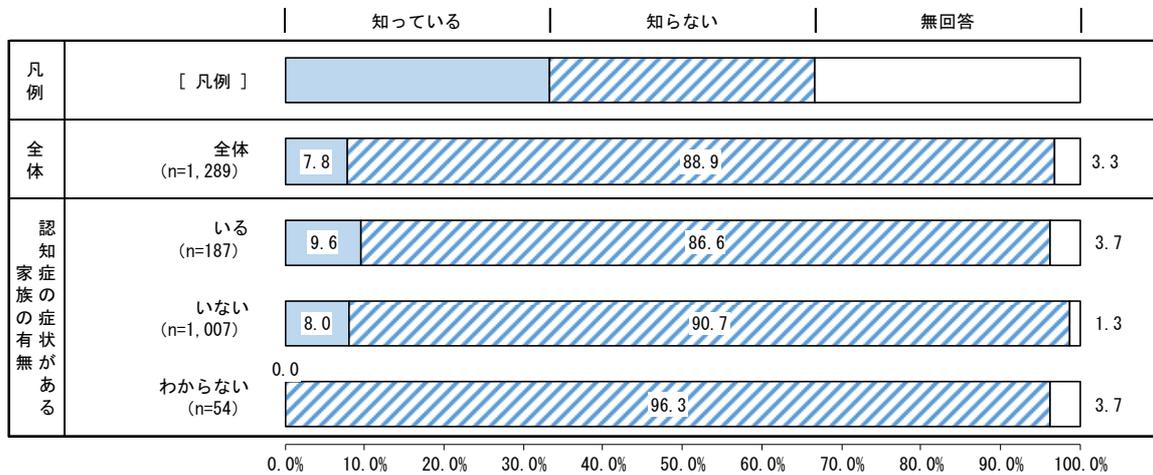
【若年性認知症総合支援センターの認知度・現在の仕事別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知っている」が 9.6%、「知らない」が 86.6%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知っている」が 8.0%、「知らない」が 90.7%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 96.3%となっています。

【若年性認知症総合支援センターの認知度・認知症の症状がある家族の有無別】



4. 認知症の方との関わりについて

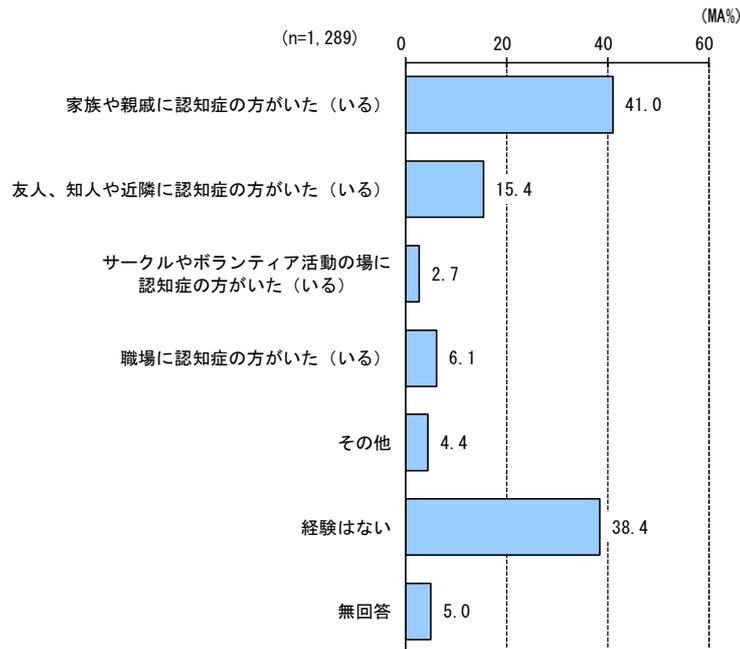
【認知症の診断を受けていない方】

問20 あなたは、今までに認知症の方と接した経験がありますか。(〇はいくつでも)

【全体】

- 認知症の方と接した「経験はない」が 38.4%となっています。接した経験があるなかでは、「家族や親戚に認知症の方がいた (いる)」が 41.0%で最も多く、次いで「友人、知人や近隣に認知症の方がいた (いる)」が 15.4%、「職場に認知症の方がいた (いる)」が 6.1%となっています。

【認知症の方と接した経験 (複数回答)】



【年齢別】

- 「家族や親戚に認知症の方がいた（いる）」は、60～64歳が52.7%と他の年齢区分に比べて多くなっています。
- 「経験はない」は、25～29歳が46.8%、70～74歳が42.7%、30～34歳が41.2%となっています。

【性別】

- 男性では、「経験はない」が43.8%で最も多く、次いで「家族や親戚に認知症の方がいた（いる）」が39.0%、「友人、知人や近隣に認知症の方がいた（いる）」が12.7%となっています。
- 女性では、「家族や親戚に認知症の方がいた（いる）」が42.7%で最も多く、次いで「経験はない」が34.1%、「友人、知人や近隣に認知症の方がいた（いる）」が17.4%となっています。

【世帯人数別】

- 1人暮らし、3人、4人以上では、「家族や親戚に認知症の方がいた（いる）」が最も多く、次いで「経験はない」「友人、知人や近隣に認知症の方がいた（いる）」の順となっています。
- 2人では、「経験はない」が38.9%で最も多く、次いで「家族や親戚に認知症の方がいた（いる）」が38.4%、「友人、知人や近隣に認知症の方がいた（いる）」が15.3%となっています。

【認知症の方と接した経験（複数回答）・年齢別・性別・世帯人数別】

単位：%

	母数 (n)	認知症の方と接した経験 (MA)							
		家族や親戚に認知症の方がいた (いる)	友人、知人や近隣に認知症の方が (いる)	サークルやボランティア活動の場 に 認知症の方がいた(いる)	職場に認知症の方がいた (いる)	その他	経験はない	無回答	
全体	1,289	41.0	15.4	2.7	6.1	4.4	38.4	5.0	
年齢	18～19歳	14	▼ 21.4	-	7.1	-	7.1	△ 64.3	-
	20～24歳	41	31.7	▼ 4.9	-	4.9	2.4	△ 63.4	-
	25～29歳	62	37.1	8.1	1.6	6.5	6.5	46.8	1.6
	30～34歳	51	45.1	5.9	5.9	5.9	5.9	41.2	-
	35～39歳	78	48.7	▼ 5.1	1.3	10.3	9.0	39.7	-
	40～44歳	85	42.4	9.4	3.5	10.6	10.6	35.3	2.4
	45～49歳	85	42.4	12.9	2.4	10.6	4.7	40.0	3.5
	50～54歳	123	43.9	17.9	-	8.9	3.3	40.7	1.6
	55～59歳	136	49.3	10.3	0.7	5.1	1.5	40.4	0.7
	60～64歳	131	△ 52.7	16.0	3.1	5.3	9.9	29.8	3.1
	65～69歳	93	45.2	22.6	1.1	6.5	1.1	32.3	5.4
	70～74歳	96	33.3	15.6	4.2	2.1	-	42.7	9.4
	75～79歳	112	34.8	△ 25.9	6.3	4.5	1.8	30.4	11.6
	80～84歳	61	▼ 29.5	△ 29.5	1.6	1.6	3.3	29.5	16.4
	85～89歳	38	▼ 26.3	18.4	10.5	-	-	47.4	13.2
90～94歳	9	33.3	△ 33.3	-	-	-	33.3	11.1	
95歳以上	8	-	12.5	-	-	12.5	37.5	37.5	
性別	男性	544	39.0	12.7	1.5	4.0	2.8	43.8	4.4
	女性	735	42.7	17.4	3.7	7.6	5.7	34.1	5.4
	回答しない	8	37.5	12.5	-	-	-	△ 50.0	-
世帯人数	1人暮らし	255	38.0	20.8	5.9	7.1	3.1	34.5	6.7
	2人	424	38.4	15.3	2.6	6.8	4.5	38.9	5.9
	3人	301	42.5	13.0	0.7	5.0	5.3	40.5	4.0
	4人以上	299	45.5	13.4	2.0	5.4	4.7	39.1	3.3

問21 認知症の方への対応に困ったことはありますか。(自由回答)

- 認知症のご本人について困ったことは、「同じことを何度も言う、何度も聞く」「意思疎通が困難」「徘徊、道に迷う」などが多くなっています。
- 支援していて困ったことは、「家族や人の顔を忘れる」「世話をしている人の負担が大きい、ストレスが溜まる」などが多くなっています。
- また、認知症の方へ「どのように接してよいかわからない、対応の仕方がわからない」という回答が多くなっています。

【認知症のご本人について困ったこと】

回答内容	件数
同じことを何度も言う、何度も聞く	33
意思疎通が困難	33
徘徊、道に迷う	30
数分前、数時間前のことをすぐ忘れる（食事したのに忘れるなど）	22
妄想（ものを盗られたなど）	22
身の回りのことができなくなる（ガスコンロ、入浴、トイレなど）	21
怒りっぽくなる、暴言をはく	20
言ったことを理解してくれない、薬や食事の量が管理できない	17
しまい忘れや置き忘れが多い	9
感情のコントロールができない、起伏が激しい	8
介護、介助を拒否する（嫌がる）	6
思い込みが強い	6
通院、治療を拒否する（嫌がる）	5
うつ症状、無気力	4
幻視、幻覚	4

【支援していて困ったこと】

回答内容	件数
家族や人の顔を忘れる（自分のことを忘れていてつらかったなど）	10
世話をしている人の負担が大きい、ストレスが溜まる	9
介護と仕事の両立	5
行政の支援の手続きに時間がかかる	4

【認知症の方への対応について、その他】

回答内容	件数
どのように接してよいかわからない、対応の仕方がわからない	32
友人がおかしなことを言っていたので認知症かなと思ったが、家族に伝えることができなかった	1
自尊心を傷つけないように、できないことや分からなくなっていることをフォローすること	1

問22 あなたは、近所に認知症の方がいたら、どのように接しますか。現在のお気持ちに最も近いものをご回答ください。(○は1つだけ)

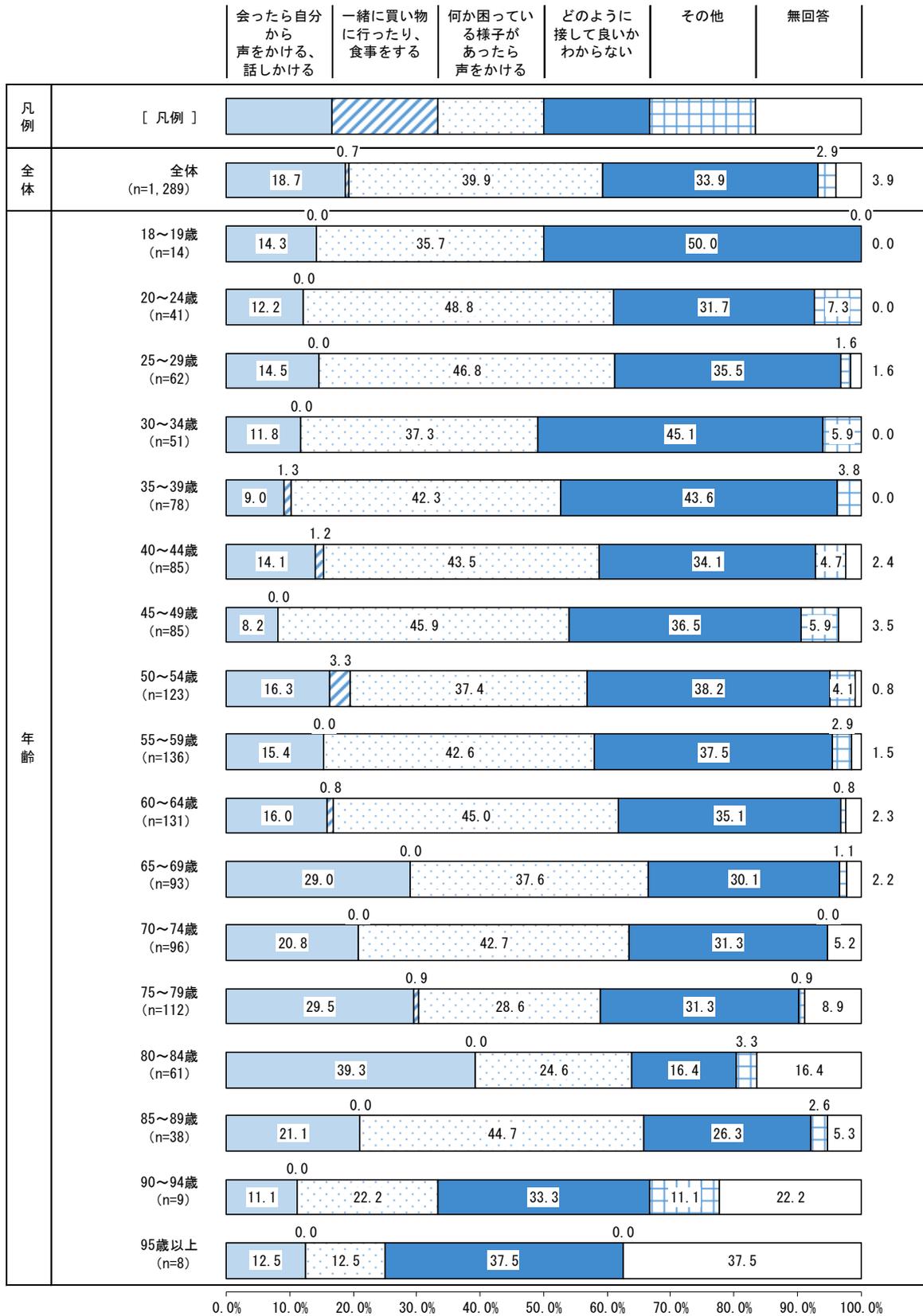
【全体】

- 「何か困っている様子があったら声をかける」が39.9%で最も多く、次いで「どのように接して良いかわからない」が33.9%、「会ったら自分から声をかける、話しかける」が18.7%となっています。

【年齢別】

- 30～34歳、35～39歳では、「どのように接して良いかわからない」が4割を超えています。
- 80～84歳では、「会ったら自分から声をかける、話しかける」が39.3%と他の年齢区分に比べて多くなっています。

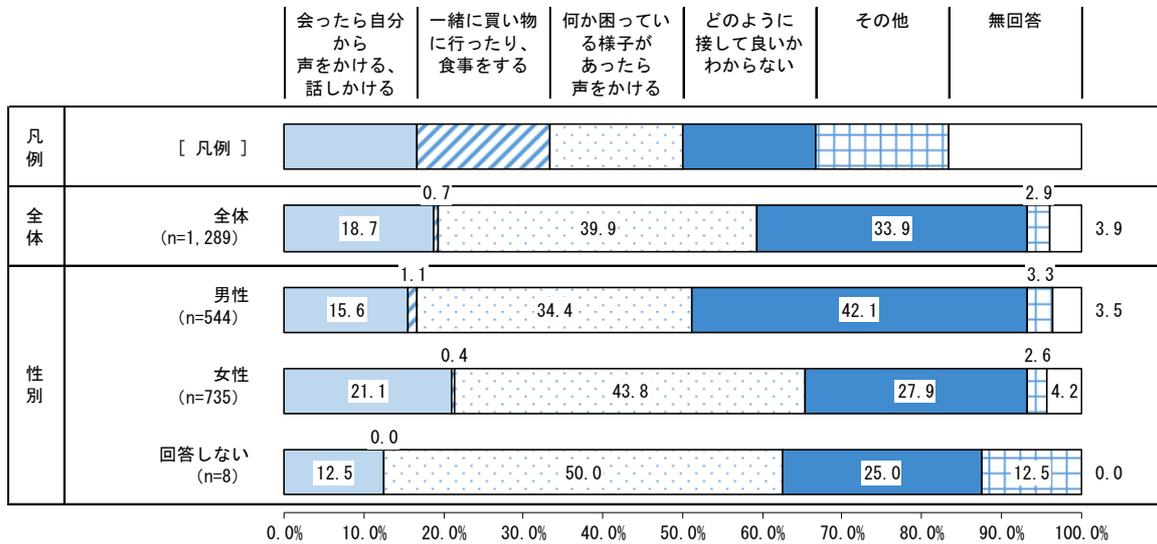
【認知症の方への接し方・年齢別】



【性別】

- 男性では、「どのように接して良いかわからない」が 42.1%で最も多く、次いで「何か困っている様子があったら声をかける」が 34.4%、「会ったら自分から声をかける、話しかける」が 15.6%となっています。
- 女性では、「何か困っている様子があったら声をかける」が 43.8%で最も多く、次いで「どのように接して良いかわからない」が 27.9%、「会ったら自分から声をかける、話しかける」が 21.1%となっています。

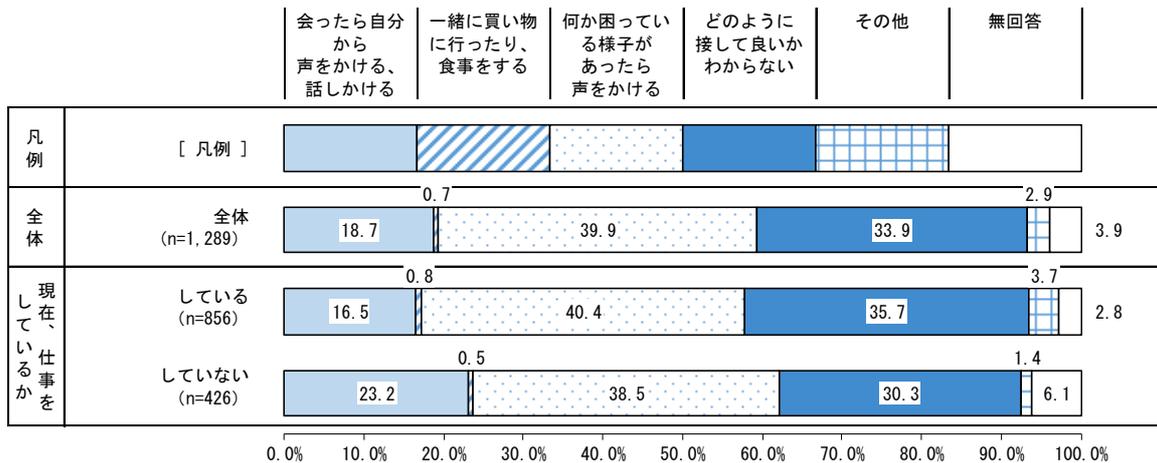
【認知症の方への接し方・性別】



【現在の仕事別】

- 現在の仕事の有無によらず、「何か困っている様子があったら声をかける」が最も多く、次いで「どのように接して良いかわからない」「会ったら自分から声をかける、話しかける」の順となっています。

【認知症の方への接し方・現在の仕事別】



5. 認知症への不安や生活について

【認知症の診断を受けていない方】

問23 あなたは認知症になることに対して、不安がありますか。

【全体】

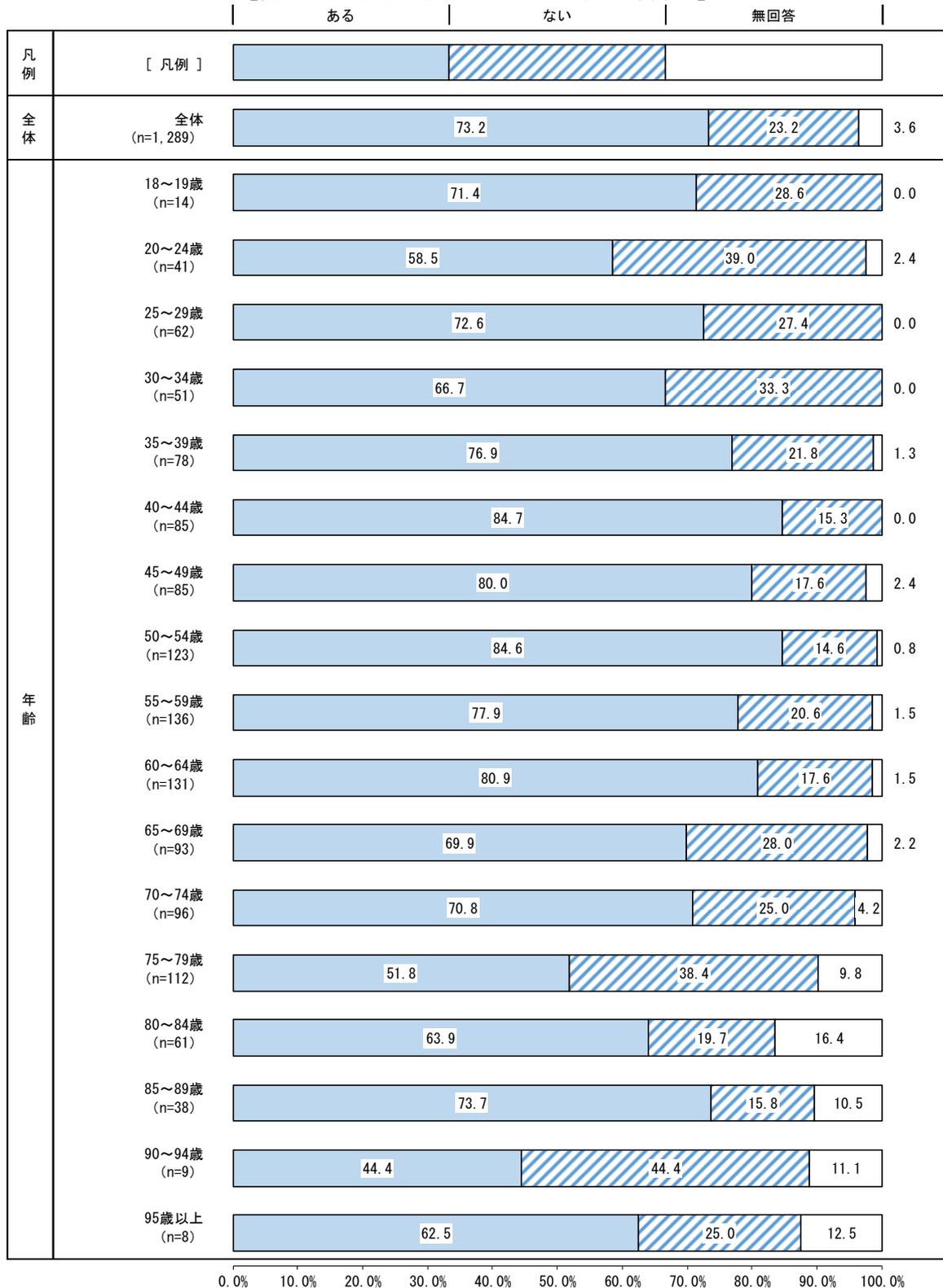
○ 不安が「ある」が73.2%、「ない」が23.2%となっています。

【年齢別】

○ 「ある」は、40～44歳が84.7%、50～54歳が84.6%、60～64歳が80.9%となっています。

○ 「ない」は、75～79歳が38.4%、30～34歳が33.3%、65～69歳が28.0%となっています。

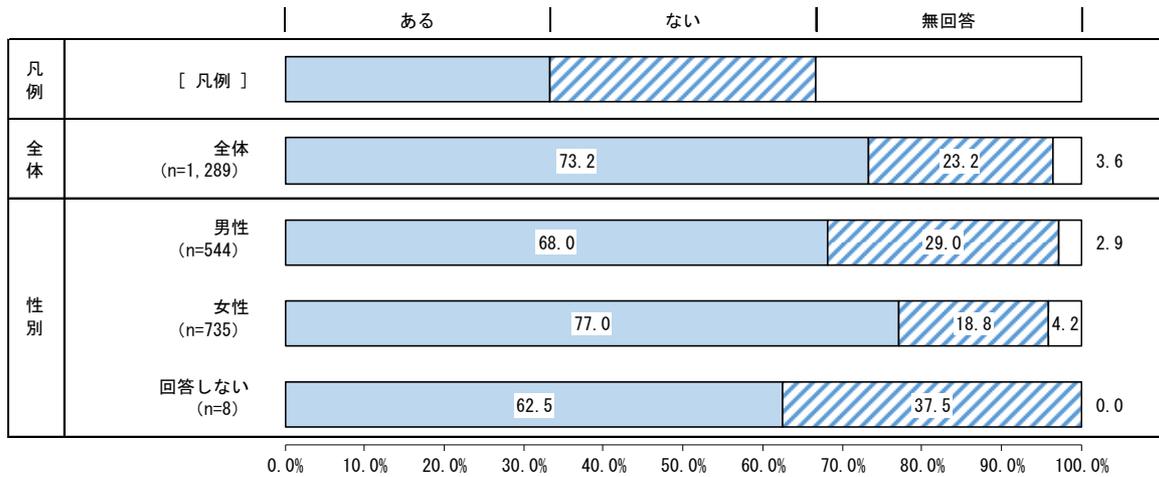
【認知症になることについての不安・年齢別】



【性別】

- 男性では、「ある」が68.0%、「ない」が29.0%となっています。
- 女性では、「ある」が77.0%、「ない」が18.8%となっています。

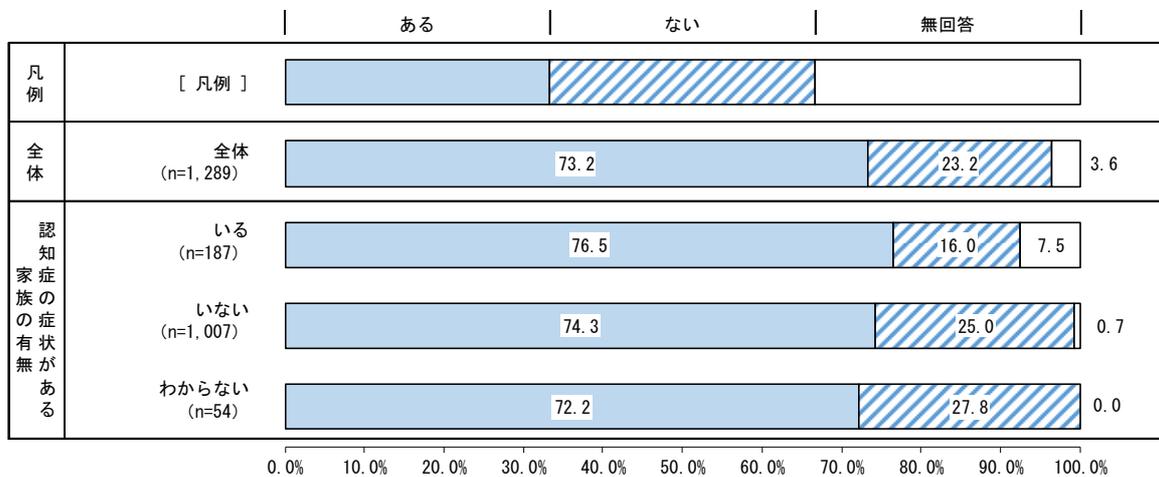
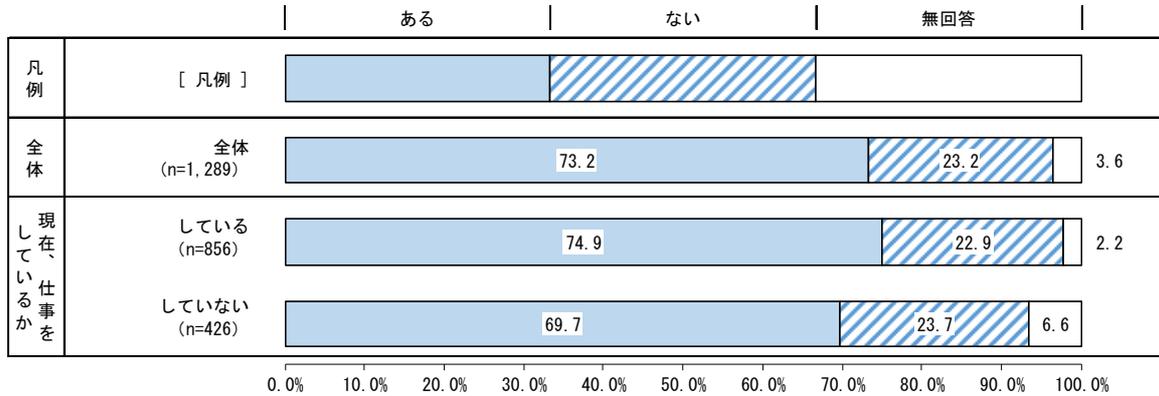
【認知症になることについての不安・性別】



【現在の仕事別】

- 仕事を『している』では、「ある」が74.9%、「ない」が22.9%となっています。
- 仕事を『していない』では、「ある」が69.7%、「ない」が23.7%となっています。

【認知症になることについての不安・現在の仕事別】



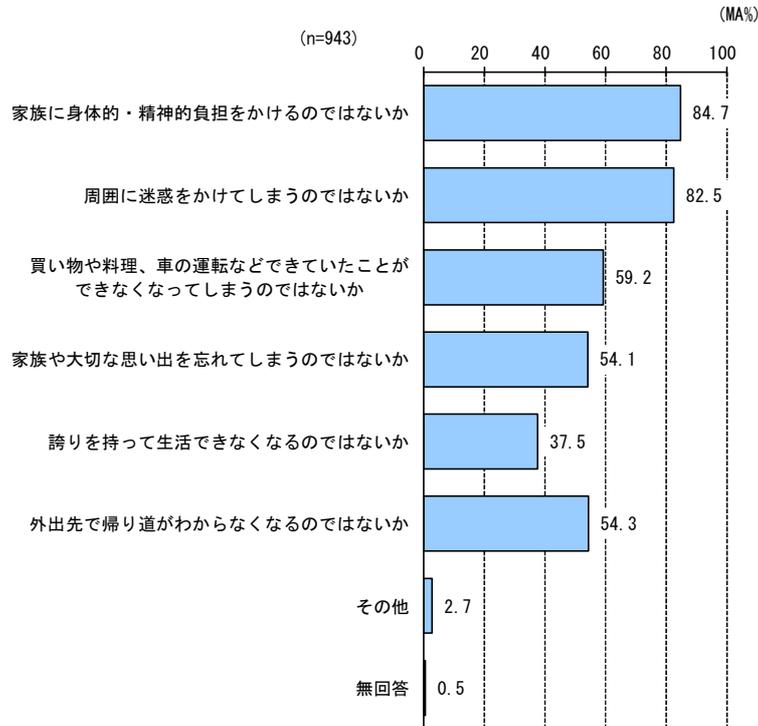
【問23で「ある」を選択した方のみ】

問24 あなたの認知症に対する不安は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

【全体】

○ 「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないかと」が84.7%で最も多く、次いで「周囲に迷惑をかけてしまうのではないかと」が82.5%、「買い物や料理、車の運転などできていたことができなくなってしまうのではないかと」が59.2%となっています。

【認知症に対する不安の内容（複数回答）】



【年齢別】

- 35～49 歳、65～79 歳では「家族に体的・精神的負担をかけるのではないか」が最も多く、特に 35～39 歳が 96.7%と他の年齢区分に比べて多くなっています。
- 50～64 歳では「周囲に迷惑をかけてしまうのではないか」が最も多くなっています。

【性別】

- 男女ともに、「家族に体的・精神的負担をかけるのではないか」が最も多く、次いで「周囲に迷惑をかけてしまうのではないか」「買い物や料理、車の運転などできていたことができなくなってしまうのではないか」の順となっています。

【世帯人数別】

- 1 人暮らしでは、「周囲に迷惑をかけてしまうのではないか」が 80.7%で最も多く、次いで「家族に体的・精神的負担をかけるのではないか」が 63.3%、「外出先で帰り道がわからなくなるのではないか」が 48.2%となっています。
- 世帯人数 2 人以上では、「家族に体的・精神的負担をかけるのではないか」が最も多く、次いで「周囲に迷惑をかけてしまうのではないか」「買い物や料理、車の運転などできていたことができなくなってしまうのではないか」の順となっています。
- 「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」は、4 人以上が 64.4%と他の年齢区分に比べて多く、1 人暮らしが 39.2%と他の年齢区分に比べて少なくなっています。

【認知症に対する不安の内容（複数回答）年齢別・性別・世帯人数別】

単位：%

	母数 (n)	認知症に対する不安の内容 (MA)							
		の家族には身体的・精神的負担をかける	の周囲には迷惑をかけてしまう	してきいていたのはたがで	買い物や料理、車の運転など	の家族や大切な思い出を忘れてしまう	の誇りを持って生活できなくなる	の外出先で帰り道がわからなくなる	その他
全体	943	84.7	82.5	59.2	54.1	37.5	54.3	2.7	0.5
年齢	18～19歳	▼ 70.0	80.0	▼ 30.0	60.0	▼ 20.0	▼ 30.0	-	-
	20～24歳	75.0	91.7	▼ 45.8	△ 66.7	29.2	54.2	4.2	-
	25～29歳	45	88.9	84.4	55.6	△ 75.6	40.0	53.3	4.4
	30～34歳	34	88.2	85.3	61.8	55.9	35.3	47.1	2.9
	35～39歳	60	△ 96.7	90.0	61.7	△ 75.0	43.3	60.0	5.0
	40～44歳	72	88.9	87.5	65.3	△ 69.4	47.2	56.9	2.8
	45～49歳	68	92.6	89.7	63.2	58.8	36.8	58.8	4.4
	50～54歳	104	83.7	87.5	65.4	59.6	37.5	60.6	2.9
	55～59歳	106	84.9	86.8	67.9	55.7	43.4	54.7	-
	60～64歳	106	84.9	86.8	58.5	50.0	39.6	55.7	6.6
	65～69歳	65	▼ 73.8	▼ 70.8	58.5	▼ 36.9	27.7	46.2	-
	70～74歳	68	79.4	76.5	55.9	45.6	35.3	54.4	-
	75～79歳	58	▼ 72.4	▼ 60.3	▼ 48.3	▼ 32.8	34.5	46.6	1.7
	80～84歳	39	△ 94.9	▼ 69.2	56.4	▼ 33.3	33.3	48.7	2.6
85～89歳	28	89.3	85.7	53.6	46.4	32.1	57.1	-	
90～94歳	4	75.0	△ 100.0	-	▼ 25.0	△ 75.0	50.0	-	
95歳以上	5	80.0	▼ 60.0	-	-	-	▼ 20.0	-	
性別	男性	370	83.5	81.6	57.8	53.5	40.8	54.3	2.7
	女性	566	85.7	83.0	60.1	54.2	35.3	54.1	2.5
	回答しない	5	80.0	△ 100.0	60.0	△ 80.0	△ 60.0	△ 80.0	20.0
世帯人数	1 人暮らし	166	▼ 63.3	80.7	▼ 45.8	▼ 39.2	35.5	48.2	3.0
	2 人	322	87.0	81.4	63.4	53.4	34.8	54.3	1.9
	3 人	224	91.5	81.3	61.6	55.8	42.0	57.6	3.6
	4 人以上	225	91.1	87.1	60.4	△ 64.4	39.1	55.1	2.7

単位：％

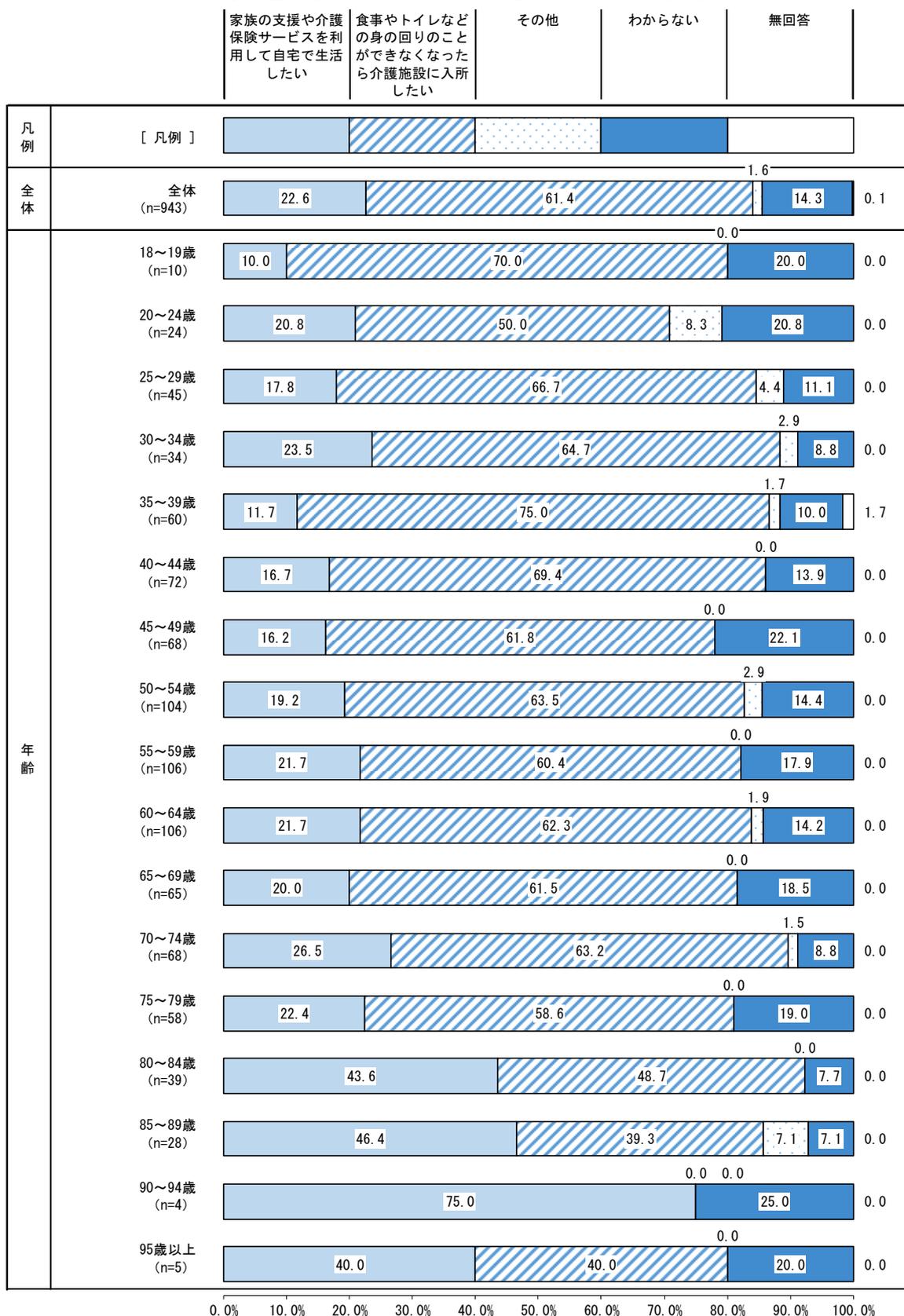
		母数 (n)	認知症に対する不安の内容 (MA)							無回答
			の家族にはない身体的・精神的負担をかける	の周囲に迷惑をかけてしまう	できなくていたことができなくなってしまう	買い物や料理、車の運転など	の家族や大切な思い出を忘れてしまう	の誇りを持って生活できなくなる	の外先で帰り道がわからなくなる	
全体		943	84.7	82.5	59.2	54.1	37.5	54.3	2.7	0.5
認知症の有無がわからない	いる	143	89.5	78.3	58.7	53.8	37.8	56.6	4.9	-
	いない	748	84.5	83.0	59.5	54.7	37.6	54.0	2.1	0.7
	わからない	39	▼ 71.8	84.6	59.0	48.7	38.5	59.0	2.6	-

問25 あなたは、認知症になった場合、どこで生活したいですか。(〇は1つだけ)

【全体】

○ 「食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら介護施設に入所したい」が61.4%で最も多く、次いで「家族の支援や介護保険サービスを利用して自宅で生活したい」が22.6%、「わからない」が14.3%となっています。

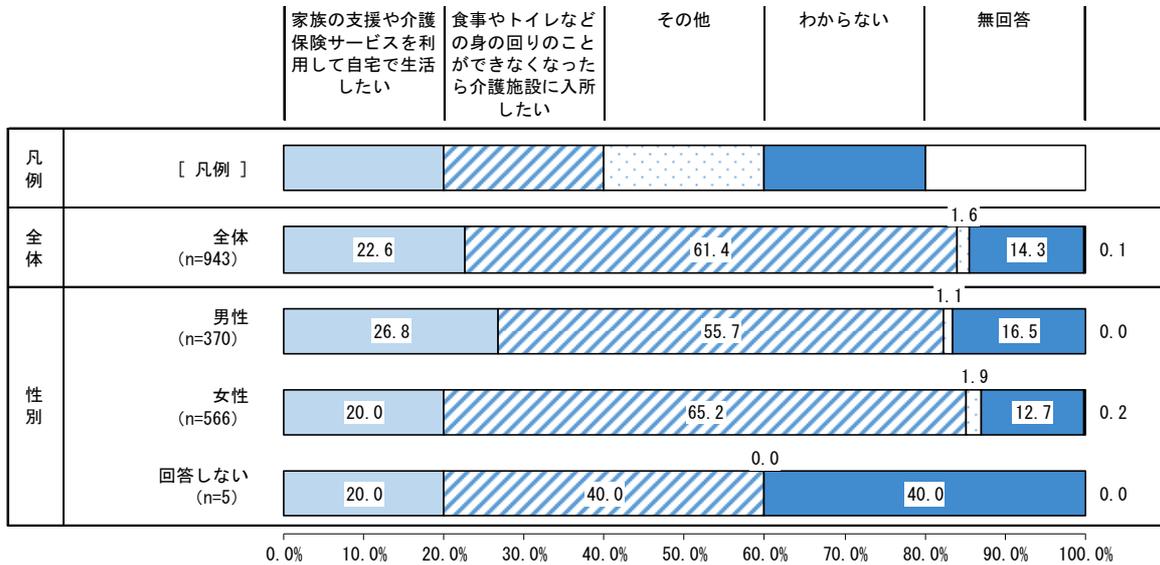
【認知症になった場合に希望する生活場所・年齢別】



【性別】

○ 男女ともに、「食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら介護施設に入所したい」が最も多く、次いで「家族の支援や介護保険サービスを利用して自宅で生活したい」「わからない」の順となっています。

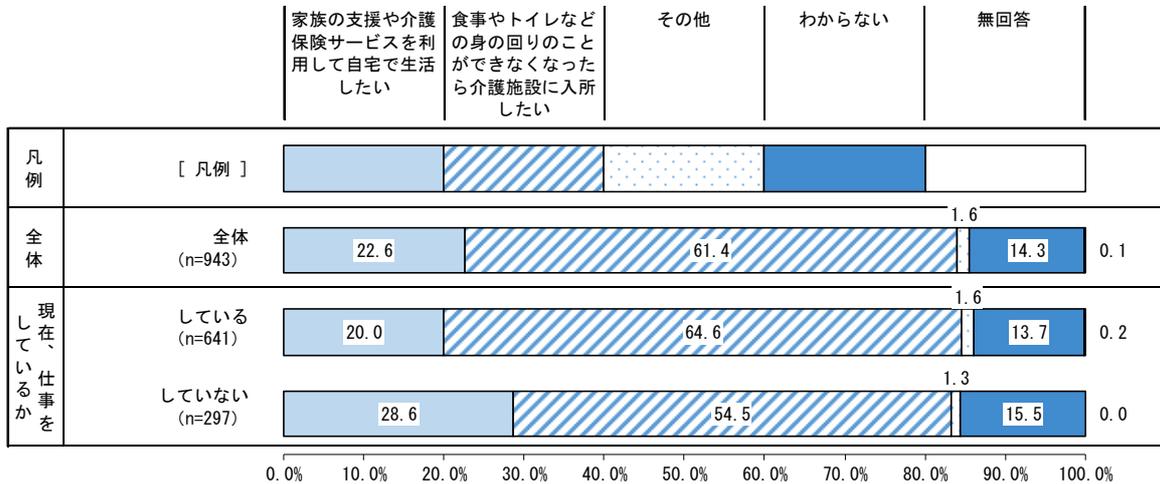
【認知症になった場合に希望する生活場所・性別】



【現在の仕事別】

○ 現在の仕事の有無によらず、「食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら介護施設に入所したい」が最も多く、次いで「家族の支援や介護保険サービスを利用して自宅で生活したい」「わからない」の順となっています。

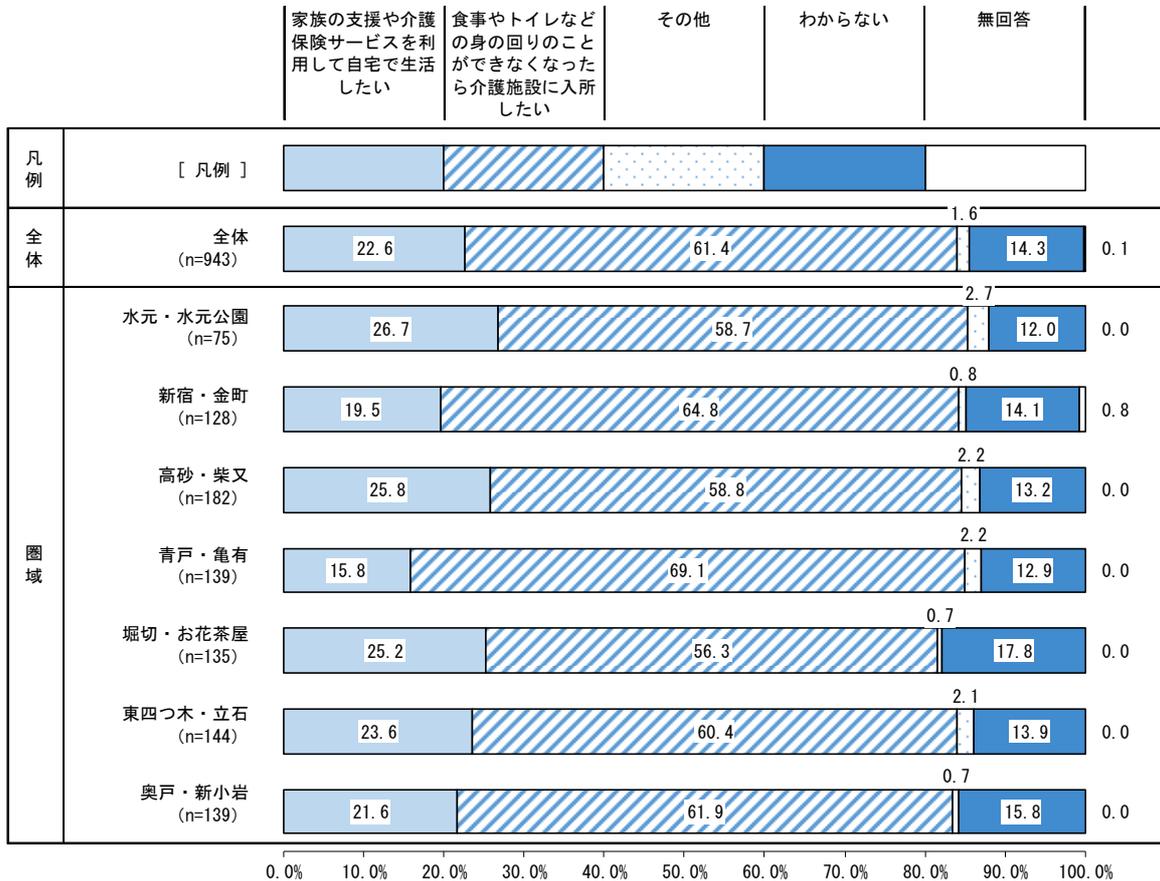
【認知症になった場合に希望する生活場所・現在の仕事別】



【圏域別】

- いずれの圏域も「食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら介護施設に入所したい」が最も多く、次いで「家族の支援や介護保険サービスを利用して自宅で生活したい」「わからない」の順となっています。
- 「家族の支援や介護保険サービスを利用して自宅で生活したい」は、水元・水元公園が26.7%で最も多く、次いで高砂・柴又が25.8%、堀切・お花茶屋が25.2%となっています。
- 「食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら介護施設に入所したい」は、青戸・亀有が69.1%で最も多く、次いで新宿・金町が64.8%、奥戸・新小岩が61.9%となっています。

【認知症になった場合に希望する生活場所・圏域別】



6. 認知症の症状がある方の支援について

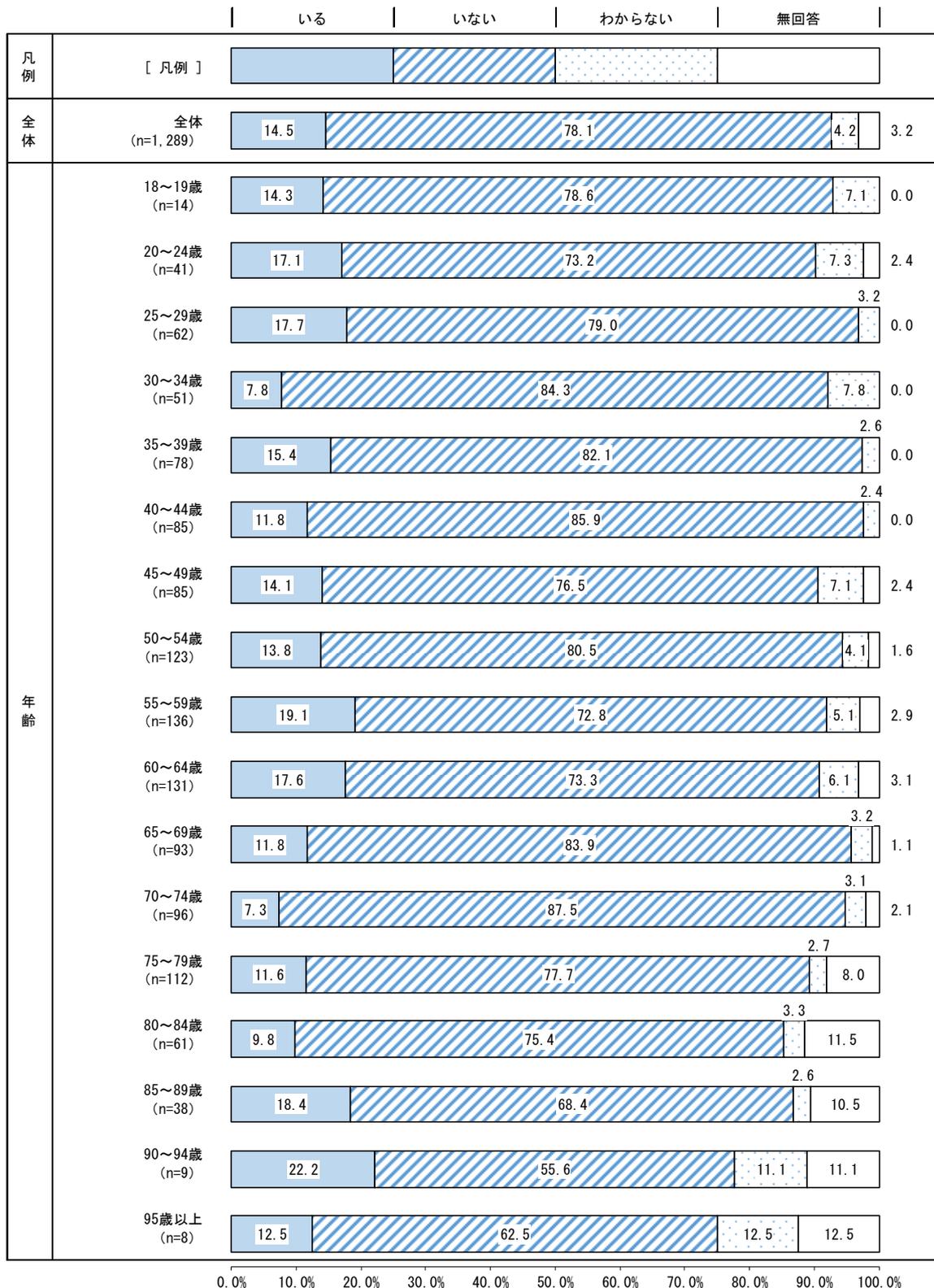
【認知症の診断を受けていない方】

問26 あなたの家族に認知症の症状がある方はいますか。(○は1つだけ)

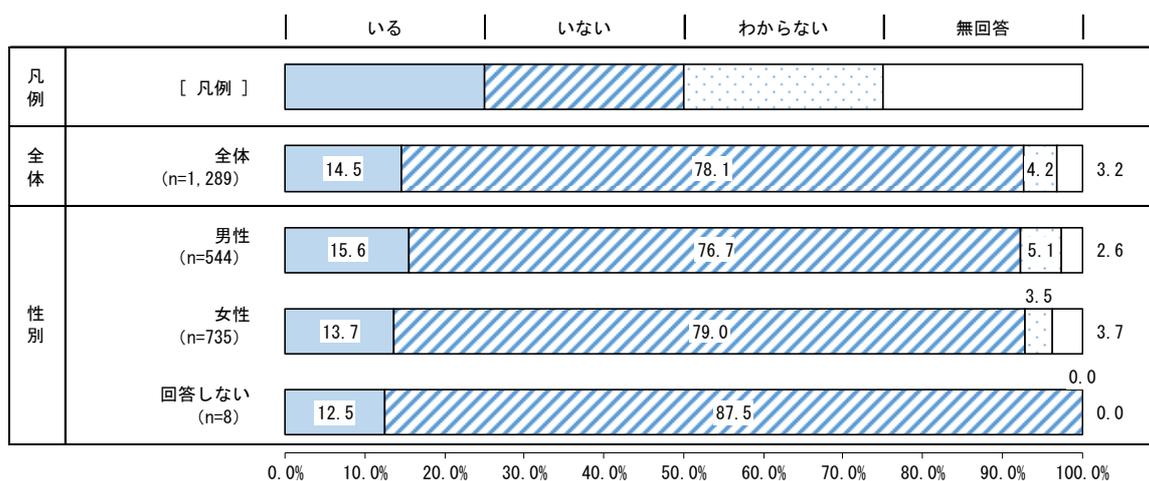
【全体】

○ 「いない」が78.1%で最も多く、次いで「いる」が14.5%、「わからない」が4.2%となっています。

【家族に認知症の症状がある方の有無・年齢別】



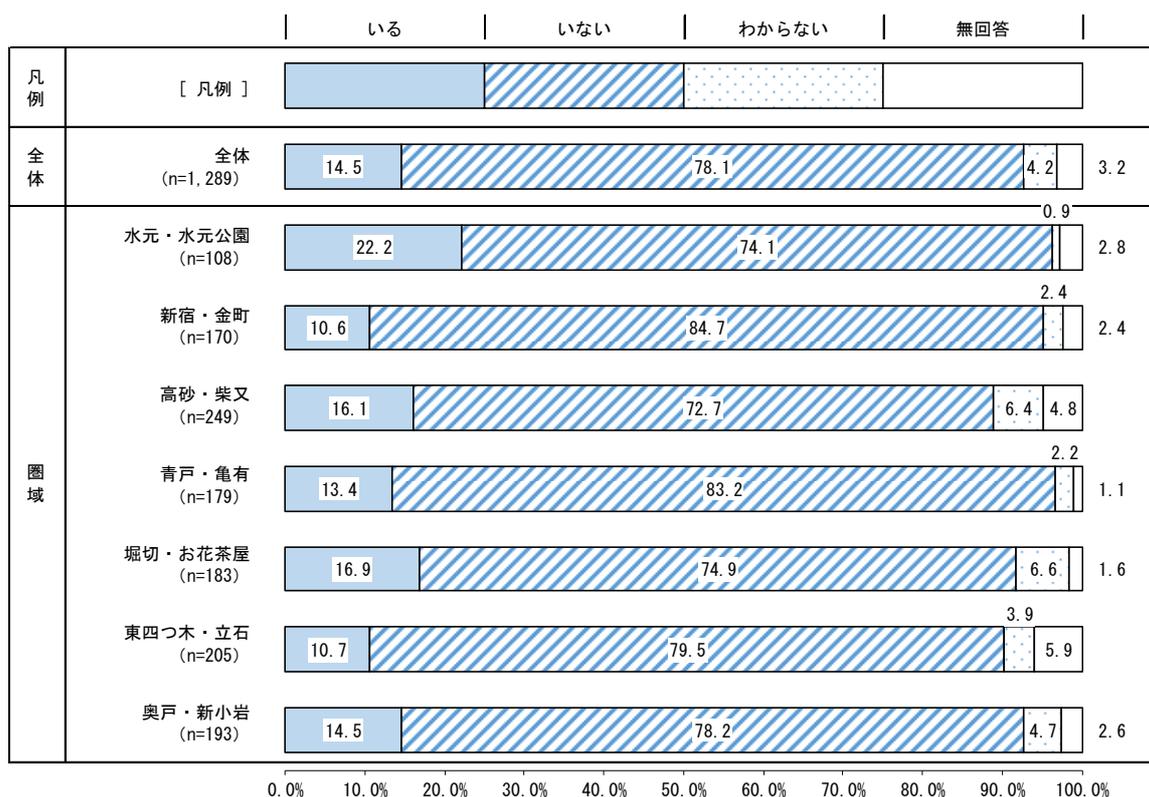
【家族に認知症の症状がある方の有無・性別】



【圏域別】

○ 「いる」は、水元・水元公園が 22.2%で最も多く、次いで堀切・お花茶屋が 16.9%、高砂・柴又が 16.1%となっています。

【家族に認知症の症状がある方の有無・圏域別】



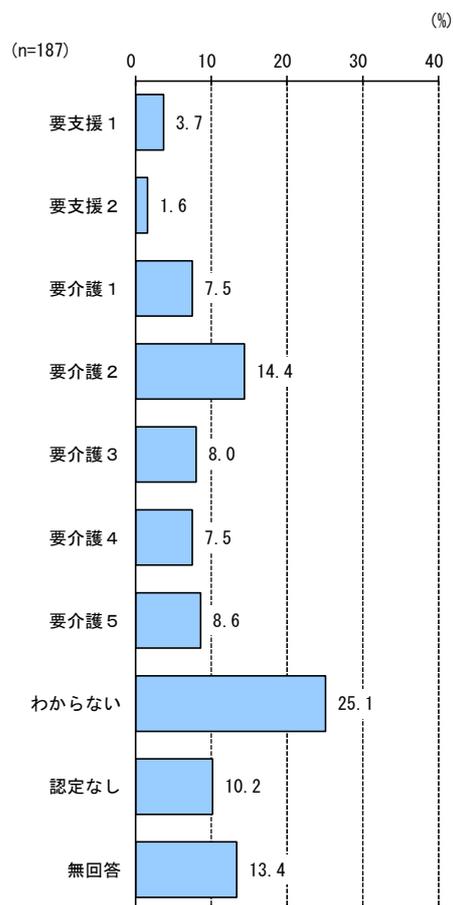
【問27から問29は、問26で「いる」を選択した方のみ】

問27 認知症の症状がある方の要介護度は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

【全体】

- 「要介護2」が14.4%、「要介護5」が8.6%、「要介護3」が8.0%となっています。
- 一方、「わからない」が25.1%「認定なし」が10.2%となっています。

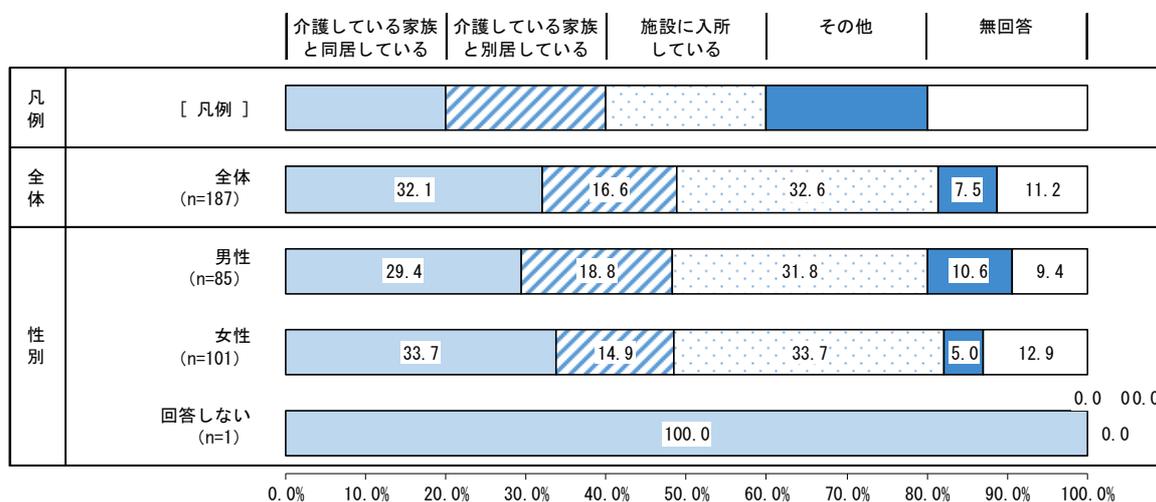
【認知症の症状がある方の要介護度】



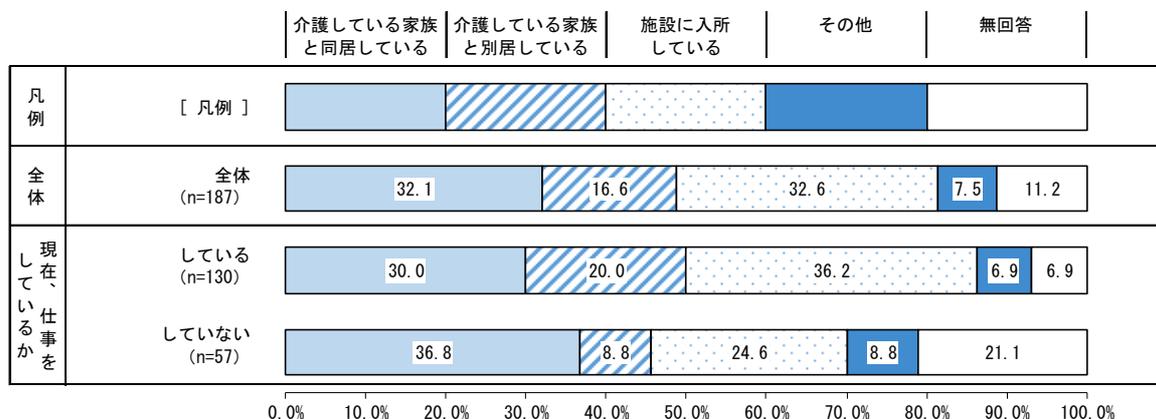
問28 認知症の症状がある方の暮らしの状況は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 「施設に入所している」が 32.6%で最も多く、次いで「介護している家族と同居している」が 32.1%、「介護している家族と別居している」が 16.6%となっています。
- 【性別】**
 ○ 男性では、「施設に入所している」が 31.8%で最も多く、次いで「介護している家族と同居している」が 29.4%、「介護している家族と別居している」が 18.8%となっています。
 ○ 女性では、「介護している家族と同居している」「施設に入所している」が 33.7%で最も多く、次いで「介護している家族と別居している」が 14.9%となっています。
- 【現在の仕事別】**
 ○ 仕事を『している』では、「施設に入所している」が 36.2%で最も多く、次いで「介護している家族と同居している」が 30.0%、「介護している家族と別居している」が 20.0%となっています。
 ○ 仕事を『していない』では、「介護している家族と同居している」が 36.8%で最も多く、次いで「施設に入所している」が 24.6%、「介護している家族と別居している」が 8.8%となっています。

【認知症の症状がある方の暮らしの状況・性別】



【認知症の症状がある方の暮らしの状況・現在の仕事別】



問29 主にどなたが認知症の症状がある方の介護を行っていますか。(〇は1つだけ)

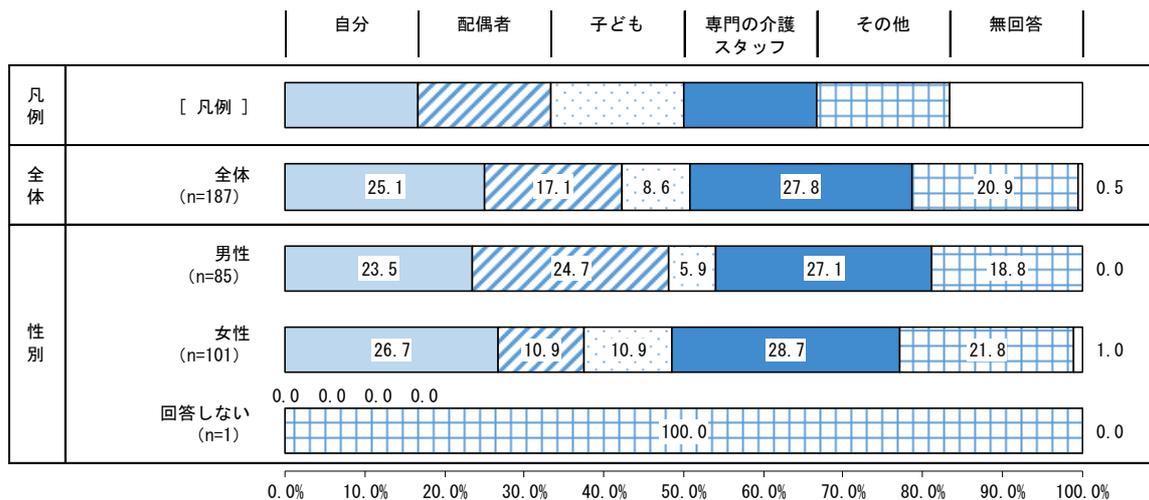
【全体】

- 「専門の介護スタッフ」が27.8%で最も多く、次いで「自分」が25.1%、「配偶者」が17.1%となっています。

【性別】

- 男性では、「専門の介護スタッフ」が27.1%で最も多く、次いで「配偶者」が24.7%、「自分」が23.5%となっています。
- 女性では、「専門の介護スタッフ」が28.7%で最も多く、次いで「自分」が26.7%、「配偶者」が10.9%、「子ども」が10.9%となっています。

【認知症の症状がある方を主に介護している人】



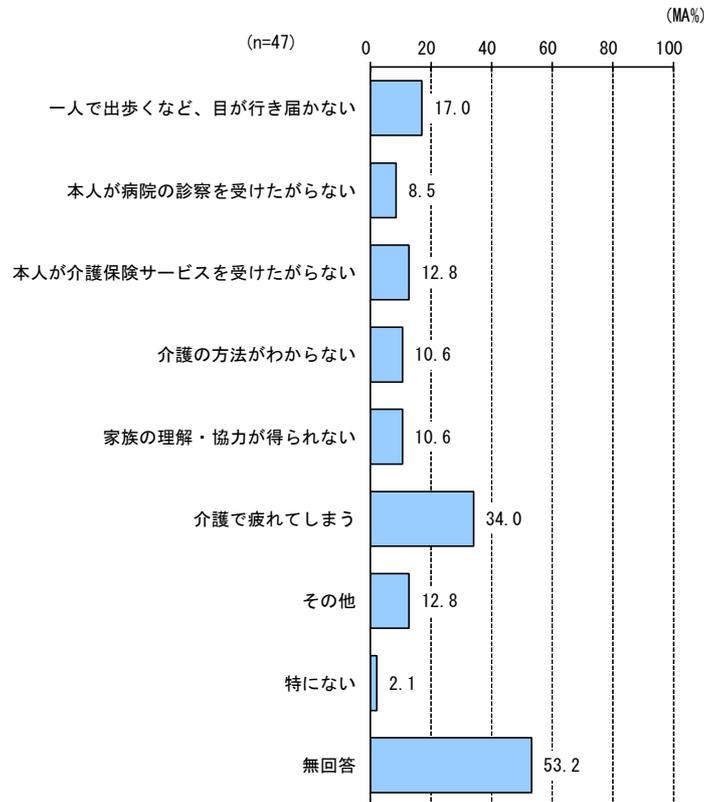
【問30から問33は、問29で「自分（回答者）」を選択した方のみ】

問30 認知症の症状がある方の介護で、困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

【全体】

○ 「介護で疲れてしまう」が34.0%で最も多く、次いで「一人で出歩くなど、目が行き届かない」が17.0%、「本人が介護保険サービスを受けたがらない」が12.8%となっています。

【認知症の症状がある方の介護で困っていること（複数回答）】



単位：%

		母数 (n)	認知症の症状がある方の介護で困っていること (MA)								
			目 一 人 で 出 歩 く な ど、 目 が 行 き 届 か な い	受 本 人 が 病 院 の 診 察 を 受 け た が ら な い	受 本 人 が 介 護 保 険 サ ー ビ ス を 受 け た が ら な い	介 護 の 方 法 が わ か ら な い	得 家 族 の 理 解 ・ 協 力 が 得 ら れ な い	介 護 で 疲 れ て し ま う	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体		47	17.0	8.5	12.8	10.6	10.6	34.0	12.8	2.1	53.2
性別	男性	20	10.0	10.0	20.0	5.0	-	30.0	10.0	5.0	55.0
	女性	27	22.2	7.4	7.4	14.8	18.5	37.0	14.8	-	51.9
	回答しない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問31 認知症の症状がある方の介護について、ご回答ください。

1. あなたが感じる負担はどのくらいですか。(○はそれぞれ1つだけ)

【全体】

- 「非常に大きい」「やや大きい」を合わせた“負担が大きい方”は「伝えたいことを理解すること」が 40.4%で最も多く、次いで「移動の介助」が 27.6%、「食事の介助」「不安やうつ症状への対応」「歩き回る、道に迷う」がいずれも 21.3%となっています。

【1. 食事の介助】

- 「あまりない」が 21.3%で最も多く、次いで「やや大きい」が 17.0%、「ない」が 8.5%となっています。「非常に大きい」「やや大きい」を合わせた“負担が大きい方”は 21.3%となっています。「あまりない」「ない」を合わせた“負担がない方”は 29.8%となっています。

【2. 移動の介助】

- 「やや大きい」が 17.0%で最も多く、次いで「あまりない」が 12.8%、「非常に大きい」「ない」が 10.6%となっています。「非常に大きい」「やや大きい」を合わせた“負担が大きい方”は 27.6%となっています。「あまりない」「ない」を合わせた“負担がない方”は 23.4%となっています。

【3. トイレの介助】

- 「あまりない」が 19.1%で最も多く、次いで「ない」が 12.8%、「やや大きい」が 10.6%となっています。「非常に大きい」「やや大きい」を合わせた“負担が大きい方”は 17.0%となっています。「あまりない」「ない」を合わせた“負担がない方”は 31.9%となっています。

【4. 入浴の介助】

- 「ない」が 17.0%で最も多く、次いで「あまりない」が 12.8%、「非常に大きい」が 10.6%となっています。「非常に大きい」「やや大きい」を合わせた“負担が大きい方”は 19.1%となっています。「あまりない」「ない」を合わせた“負担がない方”は 29.8%となっています。

【5. 伝えたいことを理解すること】

- 「やや大きい」が 31.9%で最も多く、次いで「あまりない」が 10.6%、「非常に大きい」が 8.5%となっています。「非常に大きい」「やや大きい」を合わせた“負担が大きい方”は 40.4%となっています。「あまりない」「ない」を合わせた“負担がない方”は 12.7%となっています。

【6. 不安やうつ症状への対応】

- 「あまりない」が 19.1%で最も多く、次いで「やや大きい」が 14.9%、「ない」が 10.6%となっています。「非常に大きい」「やや大きい」を合わせた“負担が大きい方”は 21.3%となっています。「あまりない」「ない」を合わせた“負担がない方”は 29.7%となっています。

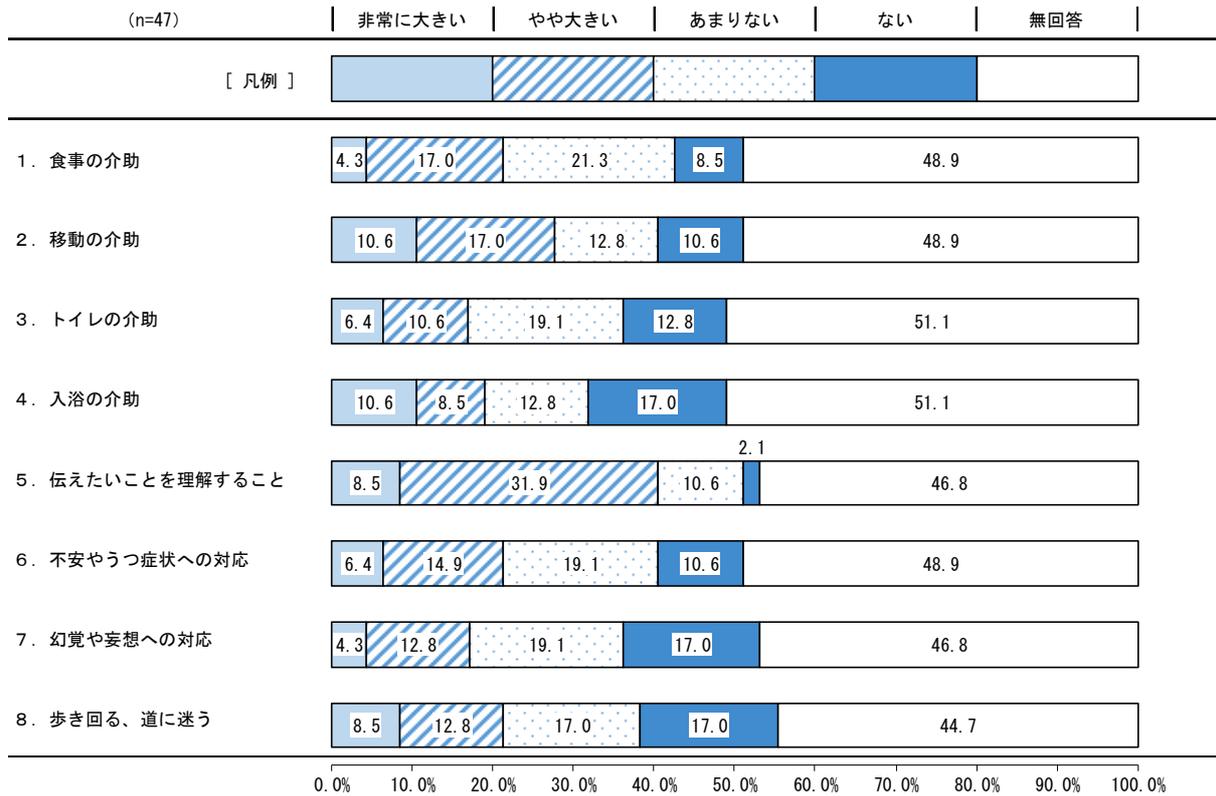
【7. 幻覚や妄想への対応】

- 「あまりない」が 19.1%で最も多く、次いで「ない」が 17.0%、「やや大きい」が 12.8%となっています。「非常に大きい」「やや大きい」を合わせた“負担が大きい方”は 17.1%となっています。「あまりない」「ない」を合わせた“負担がない方”は 36.1%となっています。

【8. 歩き回る、道に迷う】

- 「あまりない」「ない」が 17.0%で最も多く、次いで「やや大きい」が 12.8%、「非常に大きい」が 8.5%となっています。「非常に大きい」「やや大きい」を合わせた“負担が大きい方”は 21.3%となっています。「あまりない」「ない」を合わせた“負担がない方”は 34.0%となっています。

【認知症の症状がある方の介護についての負担感】



2. その他、介護で感じる負担があればご記入ください。(自由回答)

○ 介護をしている方は、その他に「金銭面の負担」「介護疲れ」などの負担を感じています。

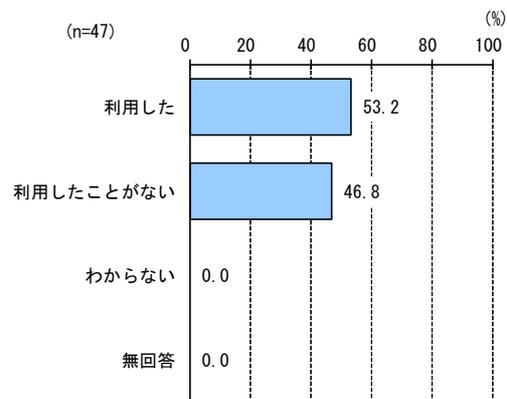
回答内容	件数
金銭面の負担	6
介護疲れ	4
先が見えない	2
介護者が外出できない	2
介護者の高齢化	2
介護、介助の拒否	2

問32 今まで介護保険サービスを利用したことがありますか。(○は1つだけ)

【全体】

○ 介護保険サービスの利用経験について、「利用した」が 53.2%、「利用したことがない」が 46.8%となっています。

【介護保険サービスの利用経験】



【問33は、問32で「利用した」を選択した方のみ】

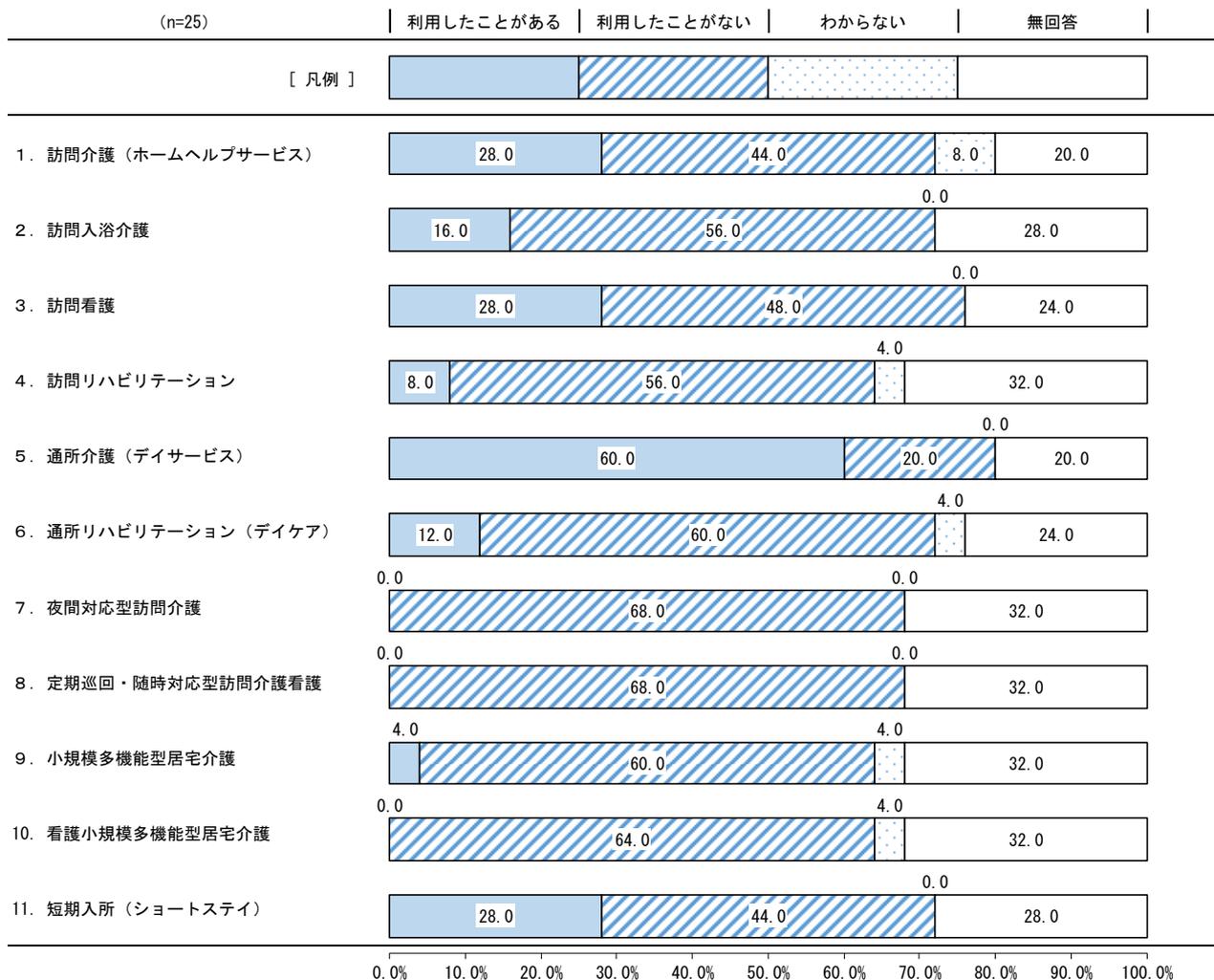
問33 以下の介護保険サービスについて、利用状況をご回答ください。

(○はそれぞれ1つだけ)

【全体】

○ 「利用したことがある」介護保険サービスは「通所介護（デイサービス）」が 60.0%で最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」「訪問看護」「短期入所（ショートステイ）」がいずれも 28.0%となっています。

【介護保険サービスの利用状況】



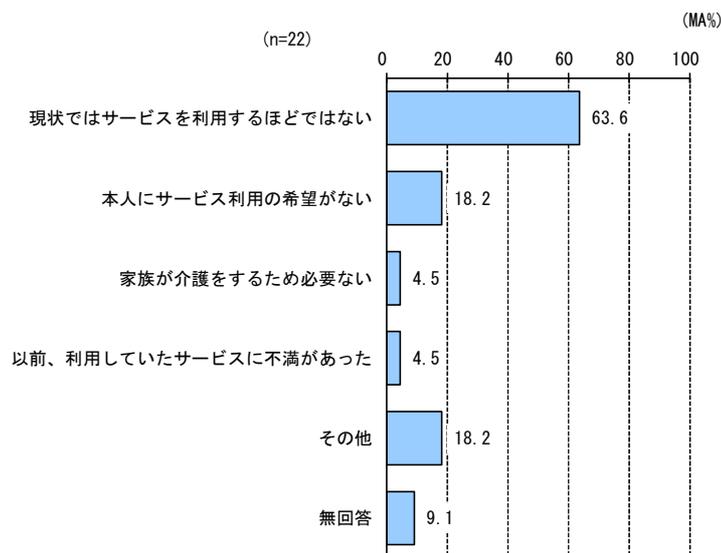
【問34は、問32で「利用したことがない」を選択した方のみ】

問34 介護保険サービスを利用していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

【全体】

○ 「現状ではサービスを利用するほどではない」が63.6%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が18.2%、「家族が介護をするため必要ない」「以前、利用していたサービスに不満があった」が4.5%となっています。

【介護保険サービスを利用していない理由（複数回答）】



7. 地域や周囲の理解について

【認知症の診断を受けていない方】

問35 あなたや家族、身近な人が認知症になった場合、そのことを周囲に伝えてもよいと思いますか。(○は1つだけ)

【全体】

- 「そう思う」が47.9%で最も多く、次いで「ややそう思う」が30.3%、「あまりそう思わない」が13.7%となっています。「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う方”は78.2%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は17.0%となっています。

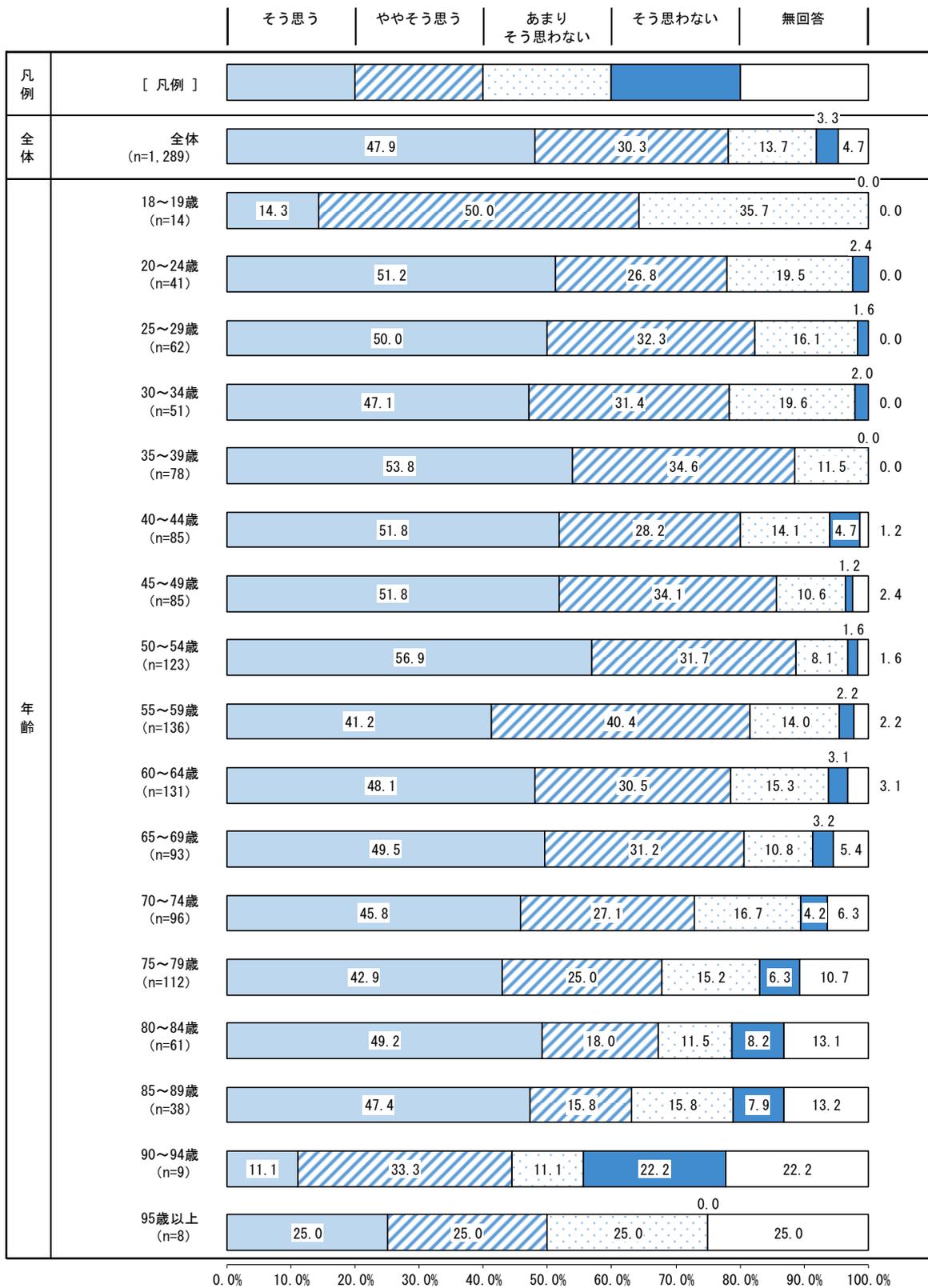
【年齢別】

- 「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う方”は、50～54歳が88.6%、35～39歳が88.4%、45～49歳が85.9%となっています。
- 「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は、30～34歳が21.6%、75～79歳が21.5%、70～74歳が20.9%となっています。

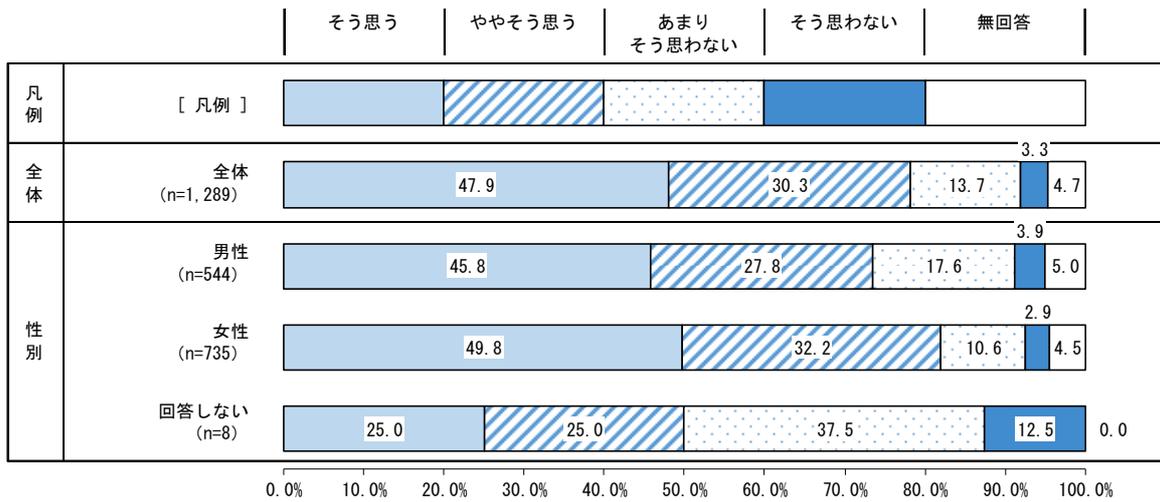
【性別】

- 男女ともに、「そう思う」が最も多く、次いで「ややそう思う」「あまりそう思わない」の順となっています。
- “そう思う方”は男性が73.6%、女性が82.0%と女性の方が多くなっています。

【あなたや家族、身近な人が認知症になった場合、周囲に伝えてもよいと思うか・年齢別】



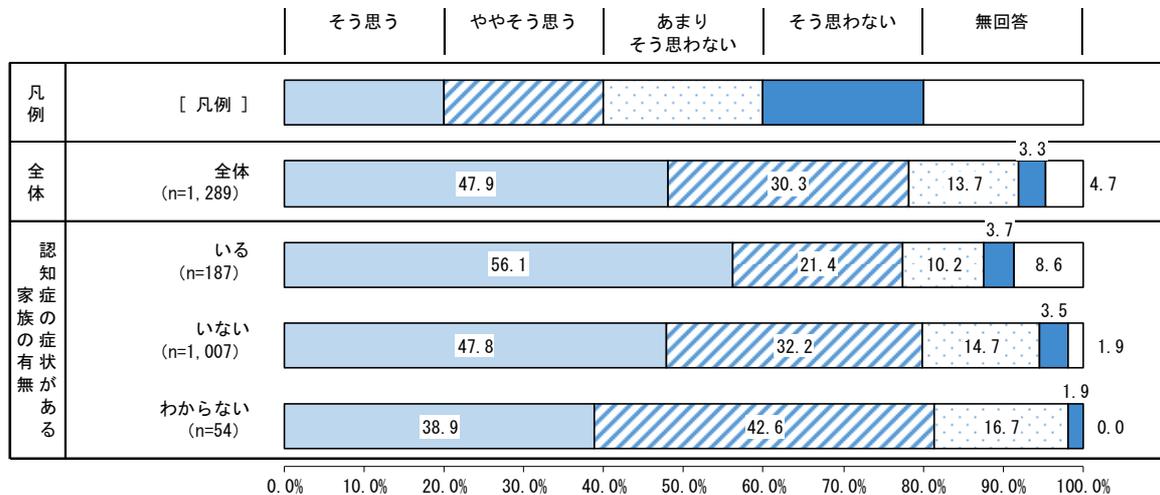
【あなたや家族、身近な人が認知症になった場合、周囲に伝えてもよいと思うか・性別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「そう思う」が 56.1%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 21.4%、「あまりそう思わない」が 10.2%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「そう思う」が 47.8%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 32.2%、「あまりそう思わない」が 14.7%となっています。
- 『わからない』方では、「ややそう思う」が 42.6%で最も多く、次いで「そう思う」が 38.9%、「あまりそう思わない」が 16.7%となっています。

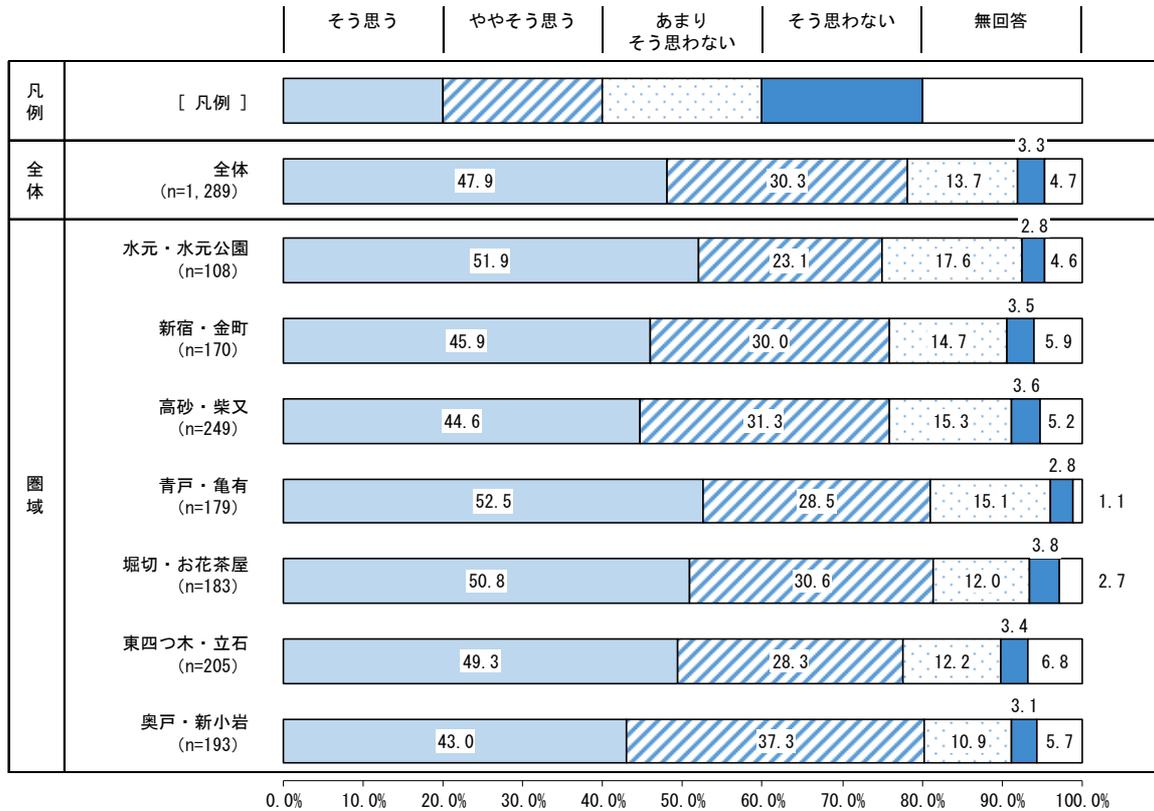
【あなたや家族、身近な人が認知症になった場合、周囲に伝えてもよいと思うか
・ 認知症の症状がある家族の有無別】



【圏域別】

○ “そう思う方”は青戸・亀有が81.0%、堀切・お花茶屋が81.4%、奥戸・新小岩が80.3%と他の圏域に比べて多くなっています。

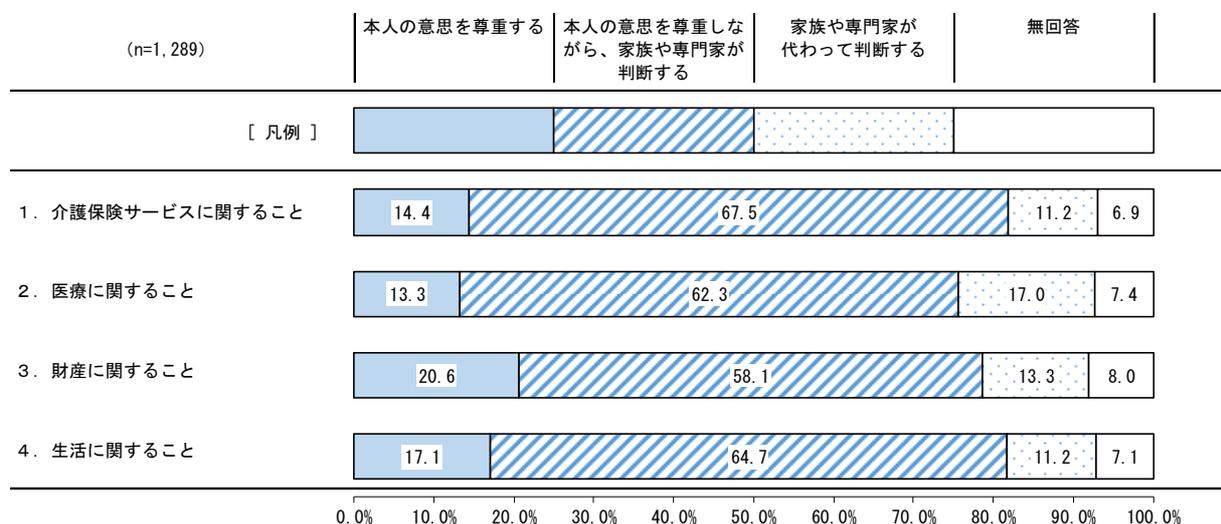
【あなたや家族、身近な人が認知症になった場合、周囲に伝えてもよいと思うか・圏域別】



問36 認知症の方の意思の尊重についてあなたの考え方にもっとも近いものをお答えください。(○はそれぞれ1つだけ)

- 【1. 介護保険サービスに関すること】**
 ○ 「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が67.5%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」が14.4%、「家族や専門家が代わって判断する」が11.2%となっています。
- 【2. 医療に関すること】**
 ○ 「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が62.3%で最も多く、次いで「家族や専門家が代わって判断する」が17.0%、「本人の意思を尊重する」が13.3%となっています。
- 【3. 財産に関すること】**
 ○ 「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が58.1%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」が20.6%、「家族や専門家が代わって判断する」が13.3%となっています。
- 【4. 生活に関すること】**
 ○ 「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が64.7%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」が17.1%、「家族や専門家が代わって判断する」が11.2%となっています。

【認知症の方の意思の尊重について】

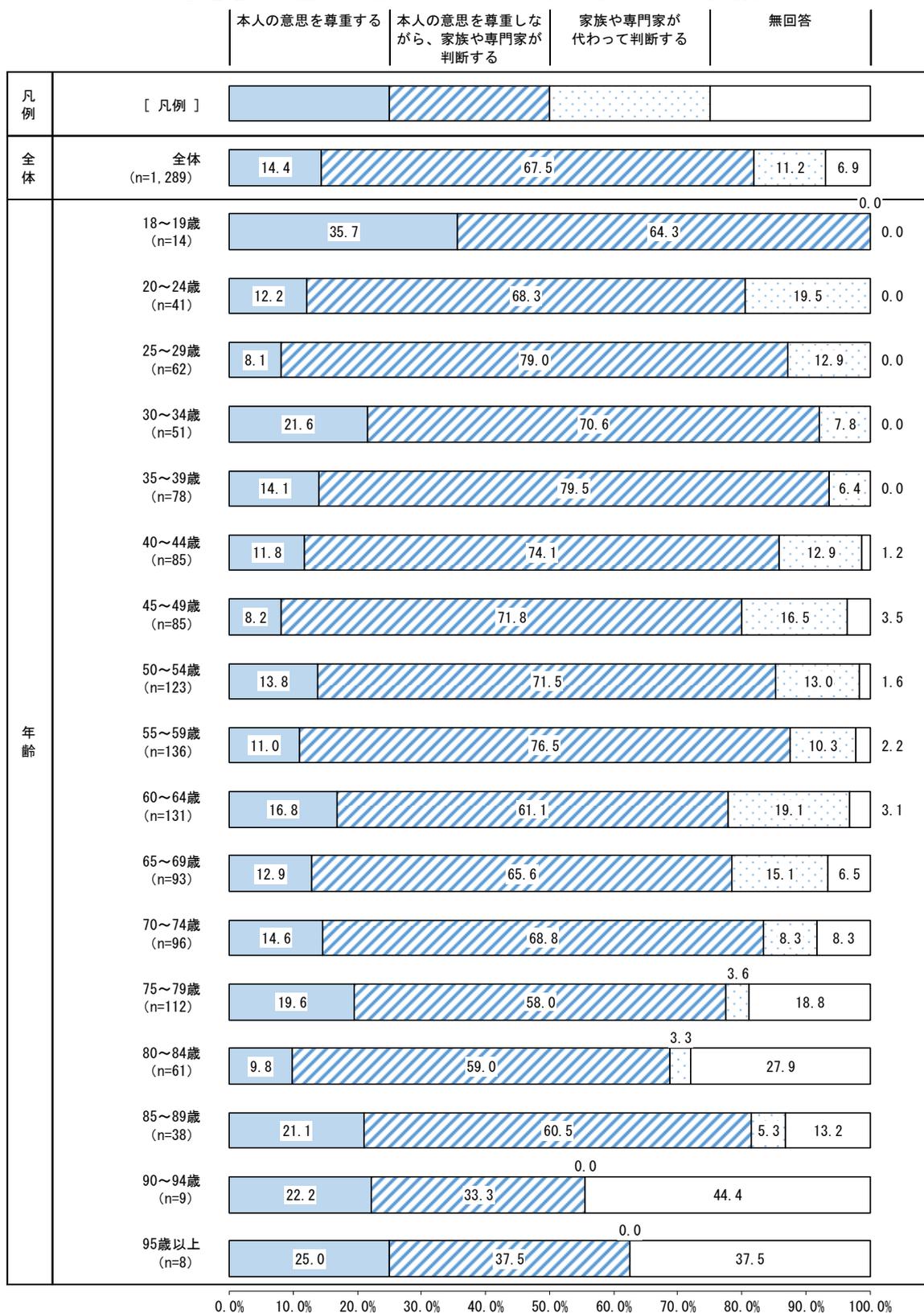


問36-1 介護保険サービスに関すること

【年齢別】

- 「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」は、35～39歳が79.5%、25～29歳が79.0%、55～59歳が76.5%となっています。
- 「本人の意思を尊重する」は、30～34歳が21.6%、75～79歳が19.6%、60～64歳が16.8%となっています。

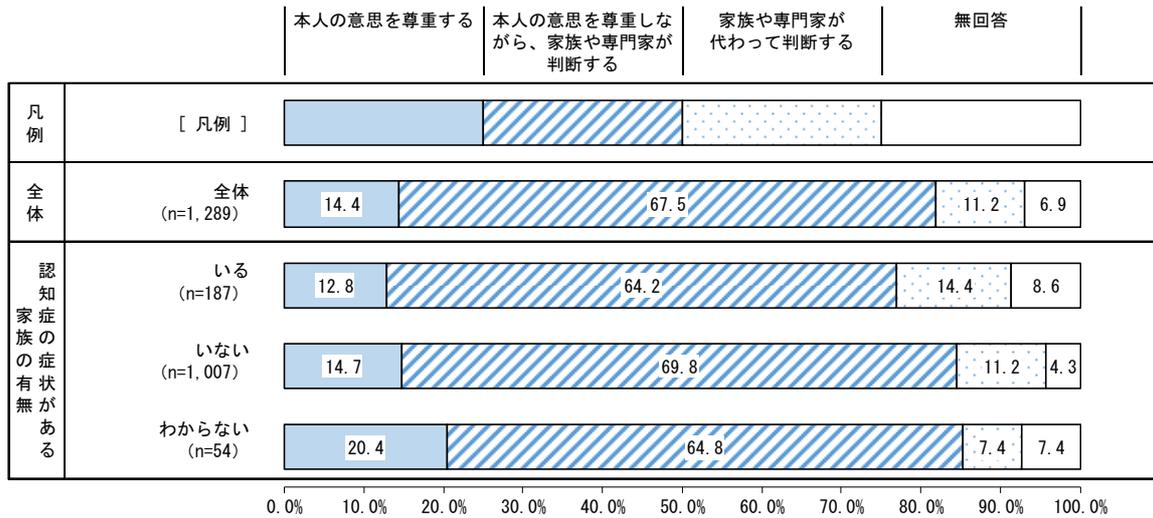
【(意思の尊重) 介護保険サービスに関すること・年齢別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 64.2%で最も多く、次いで「家族や専門家が代わって判断する」が 14.4%、「本人の意思を尊重する」が 12.8%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 69.8%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」が 14.7%、「家族や専門家が代わって判断する」が 11.2%となっています。
- 『わからない』方では、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 64.8%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」が 20.4%、「家族や専門家が代わって判断する」が 7.4%となっています。

【(意思の尊重) 介護保険サービスに関すること・認知症の症状がある家族の有無別】

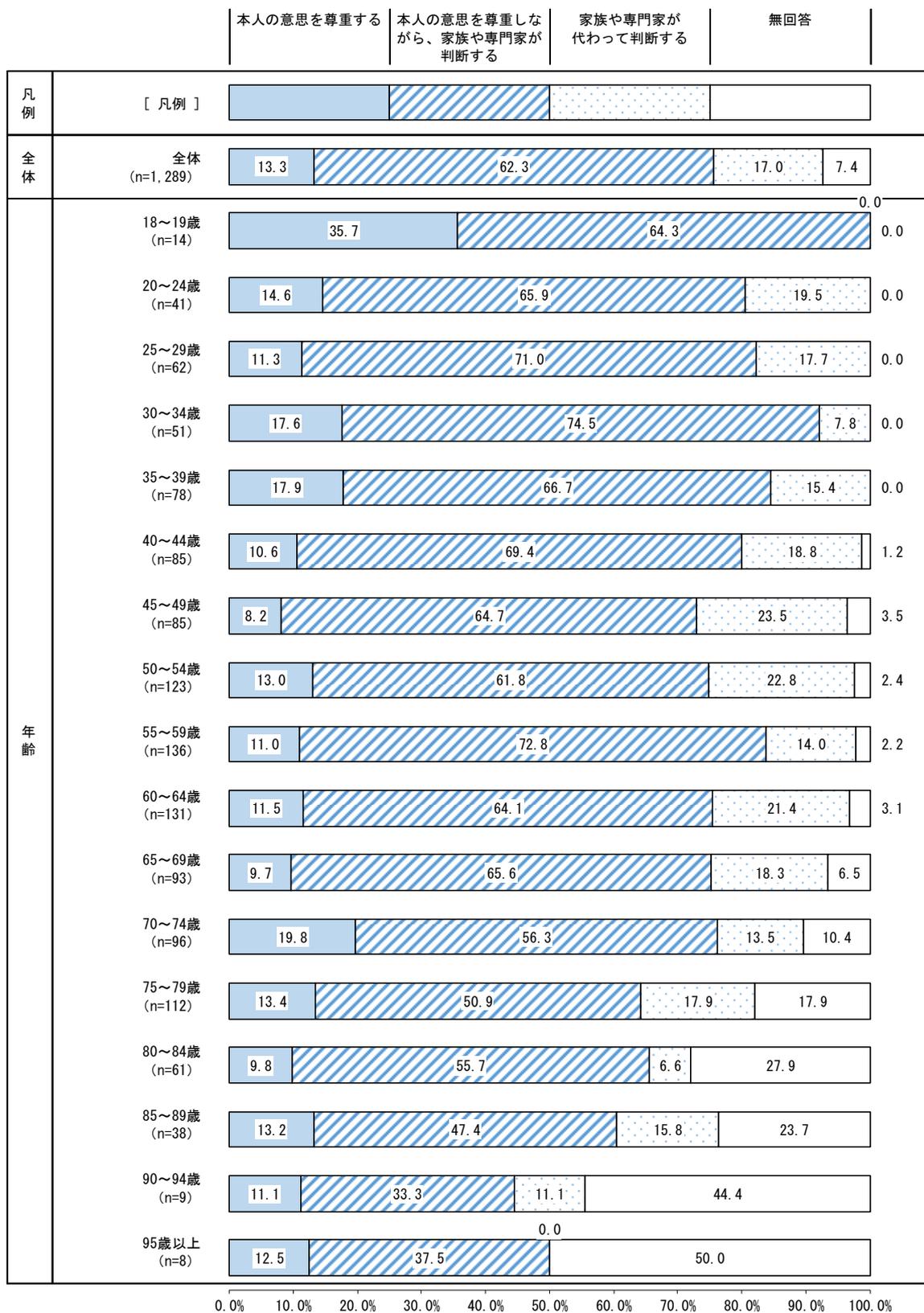


問36-2 医療に関すること

【年齢別】

- 「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」は、30～34歳が74.5%、55～59歳が72.8%、25～29歳が71.0%となっています。
- 「本人の意思を尊重する」は、70～74歳が19.8%、35～39歳が17.9%、30～34歳が17.6%となっています。

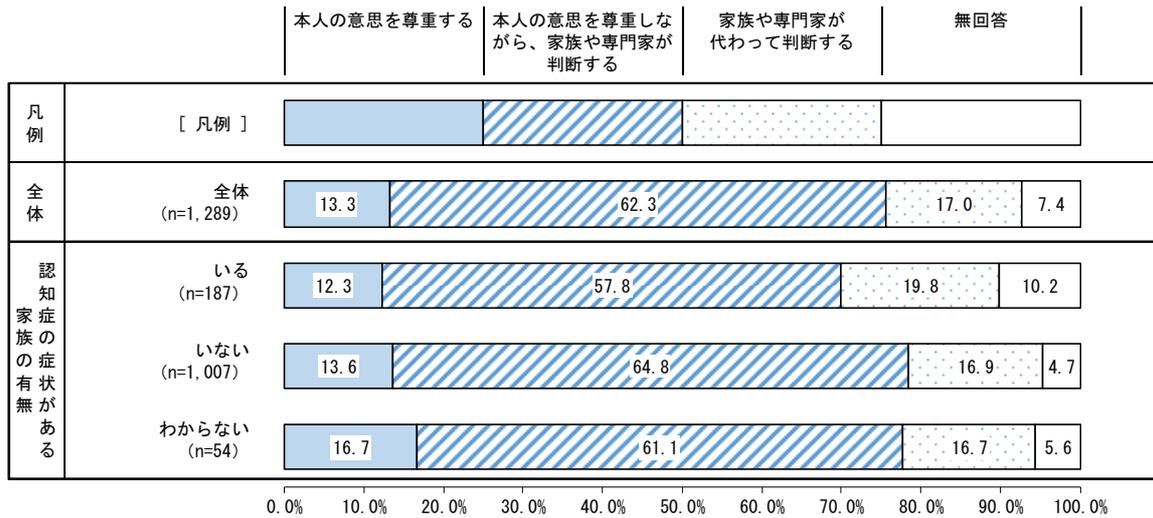
【(意思の尊重) 医療に関すること・年齢別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 57.8%で最も多く、次いで「家族や専門家が代わって判断する」が 19.8%、「本人の意思を尊重する」が 12.3%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 64.8%で最も多く、次いで「家族や専門家が代わって判断する」が 16.9%、「本人の意思を尊重する」が 13.6%となっています。
- 『わからない』方では、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 61.1%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」「家族や専門家が代わって判断する」が 16.7%となっています。

【(意思の尊重) 医療に関すること・認知症の症状がある家族の有無別】

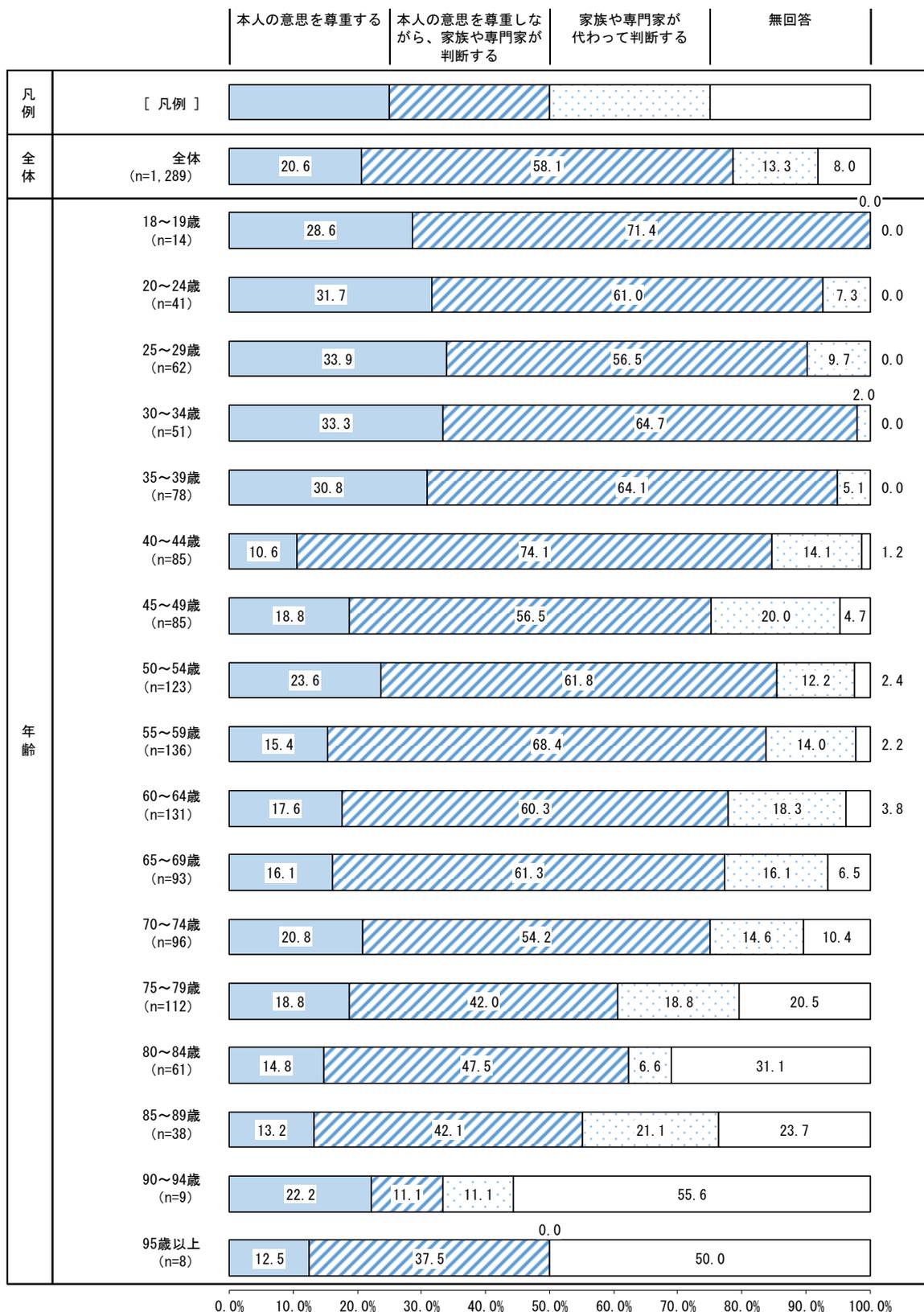


問36-3 財産に関すること

【年齢別】

- 「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」は、40～44歳が74.1%、55～59歳が68.4%、30～34歳が64.7%となっています。
- 「本人の意思を尊重する」は、25～29歳が33.9%、30～34歳が33.3%、35～39歳が30.8%となっています。

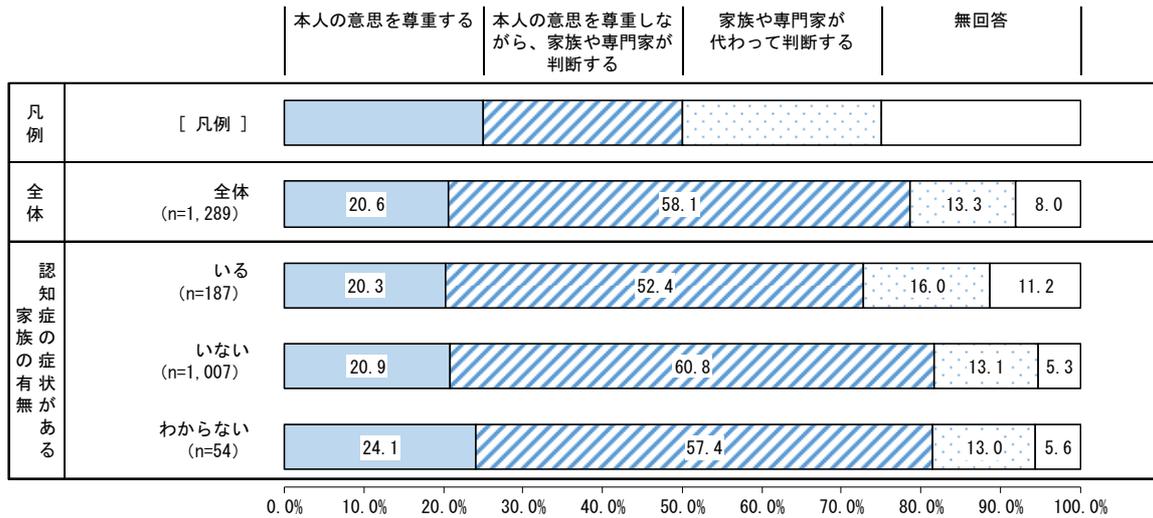
【(意思の尊重) 財産に関すること・年齢別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 52.4%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」が 20.3%、「家族や専門家が代わって判断する」が 16.0%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 60.8%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」が 20.9%、「家族や専門家が代わって判断する」が 13.1%となっています。
- 『わからない』方では、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 57.4%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」が 24.1%、「家族や専門家が代わって判断する」が 13.0%となっています。

【(意思の尊重) 財産に関すること・認知症の症状がある家族の有無別】

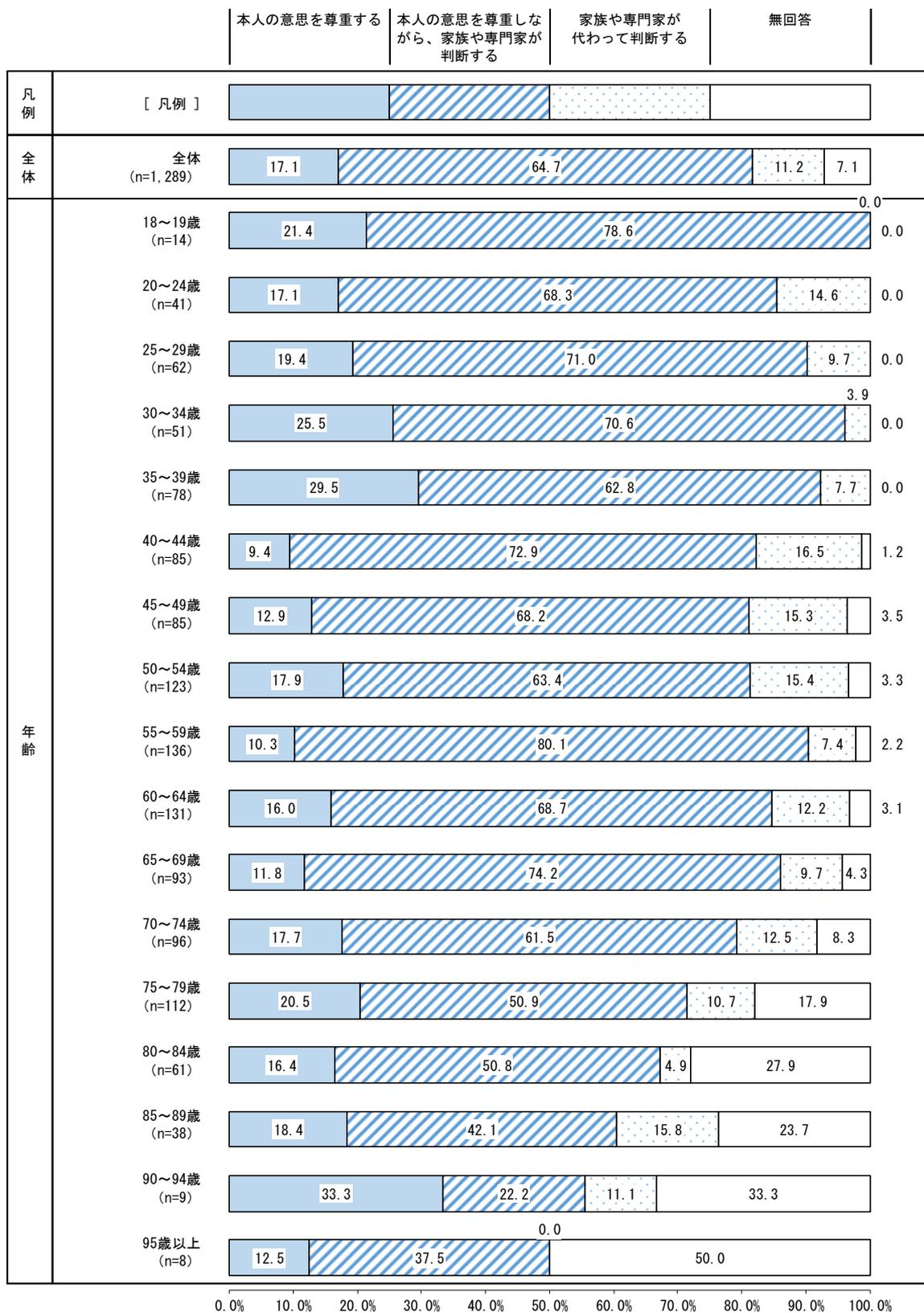


問36-4 生活に関すること

【年齢別】

- 「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」は、55～59歳が80.1%、65～69歳が74.2%、40～44歳が72.9%となっています。
- 「本人の意思を尊重する」は、35～39歳が29.5%、30～34歳が25.5%、75～79歳が20.5%となっています。

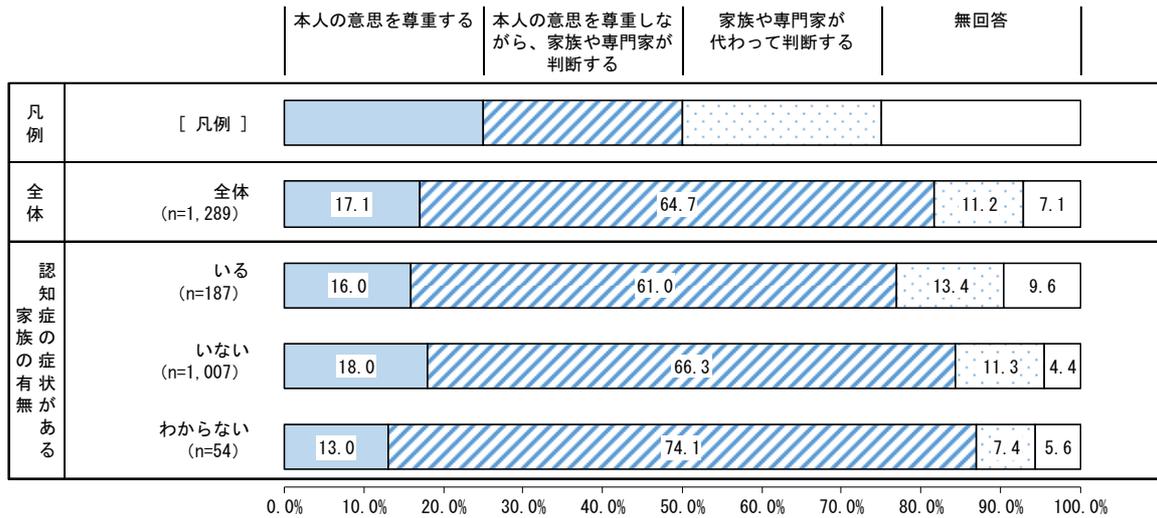
【(意思の尊重) 生活に関すること・年齢別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 61.0%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」が 16.0%、「家族や専門家が代わって判断する」が 13.4%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 66.3%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」が 18.0%、「家族や専門家が代わって判断する」が 11.3%となっています。
- 『わからない』方では、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 74.1%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」が 13.0%、「家族や専門家が代わって判断する」が 7.4%となっています。

【(意思の尊重) 生活に関すること・認知症の症状がある家族の有無別】



問37 あなたは、認知症の方が地域社会のなかで、人格を持った一人の人間として尊重されていると思いますか。(○は1つだけ)

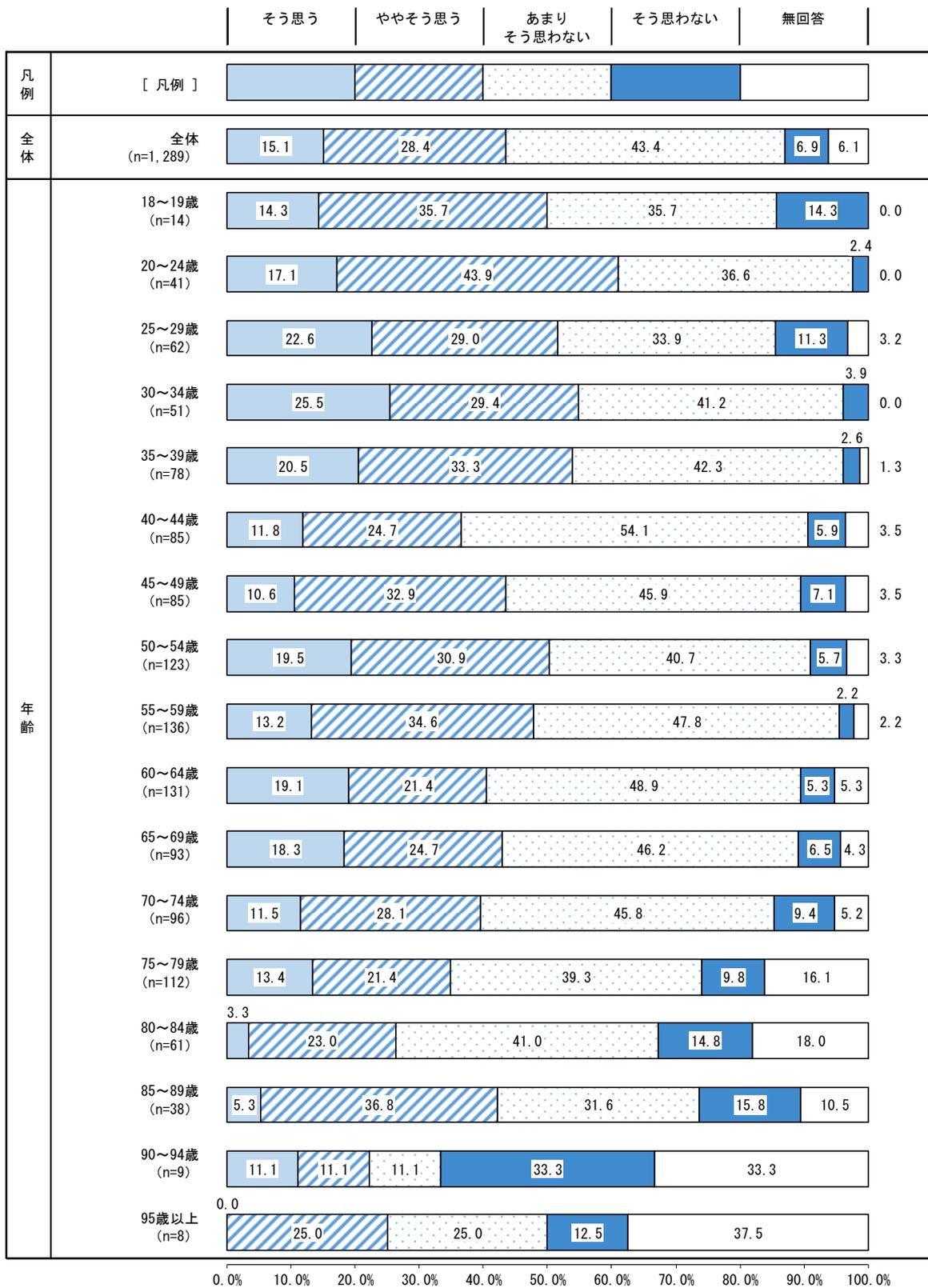
【全体】

- 「あまりそう思わない」が43.4%で最も多く、次いで「ややそう思う」が28.4%、「そう思う」が15.1%となっています。「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う方”は43.5%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は50.3%となっています。

【年齢別】

- 「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う方”は、30～34歳が54.9%、35～39歳が53.8%、25～29歳が51.6%となっています。
- 「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は、40～44歳が60.0%、80～84歳が55.8%、70～74歳が55.2%となっています。

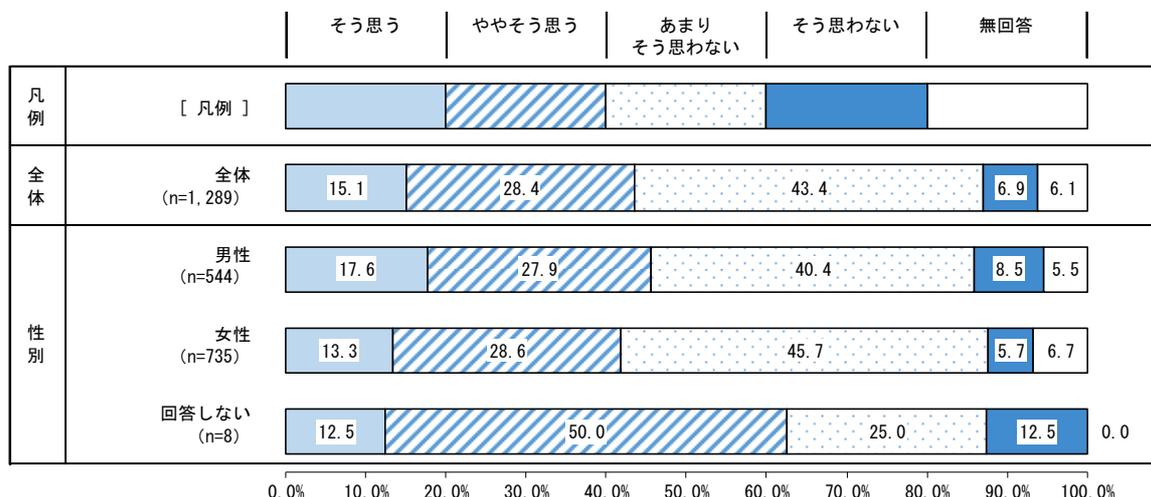
【認知症の方が地域社会のなかで、人格を持った一人の人間として尊重されていると思うか・年齢別】



【性別】

- 男性では、「あまりそう思わない」が 40.4%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 27.9%、「そう思う」が 17.6%となっています。“そう思う方”は 45.5%となっています。“そう思わない方”は 48.9%となっています。
- 女性では、「あまりそう思わない」が 45.7%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 28.6%、「そう思う」が 13.3%となっています。“そう思う方”は 41.9%となっています。“そう思わない方”は 51.4%となっています。

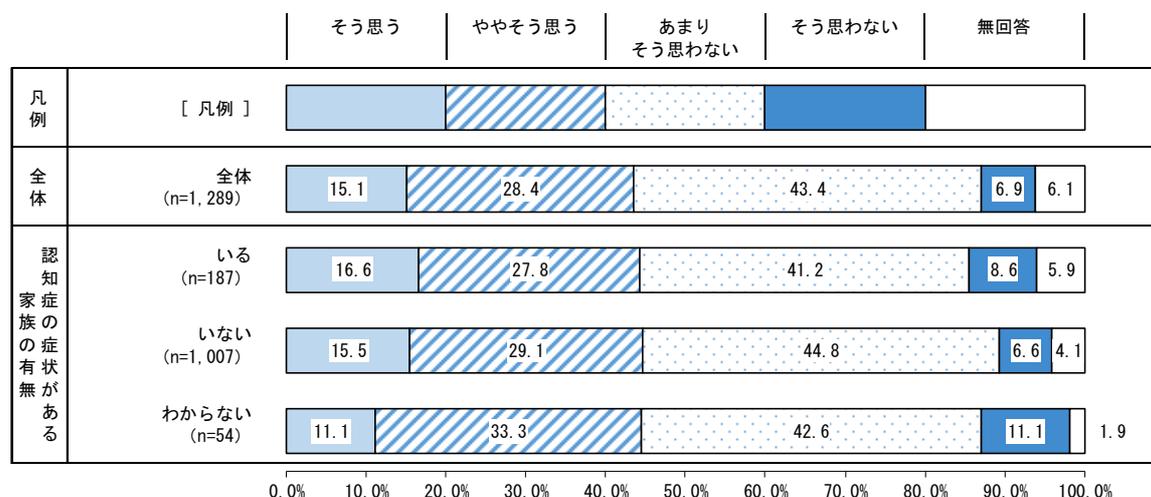
【認知症の方が地域社会のなかで、人格を持った一人の人間として尊重されていると思うか・性別】



【認知症の症状がある家族の有無別】

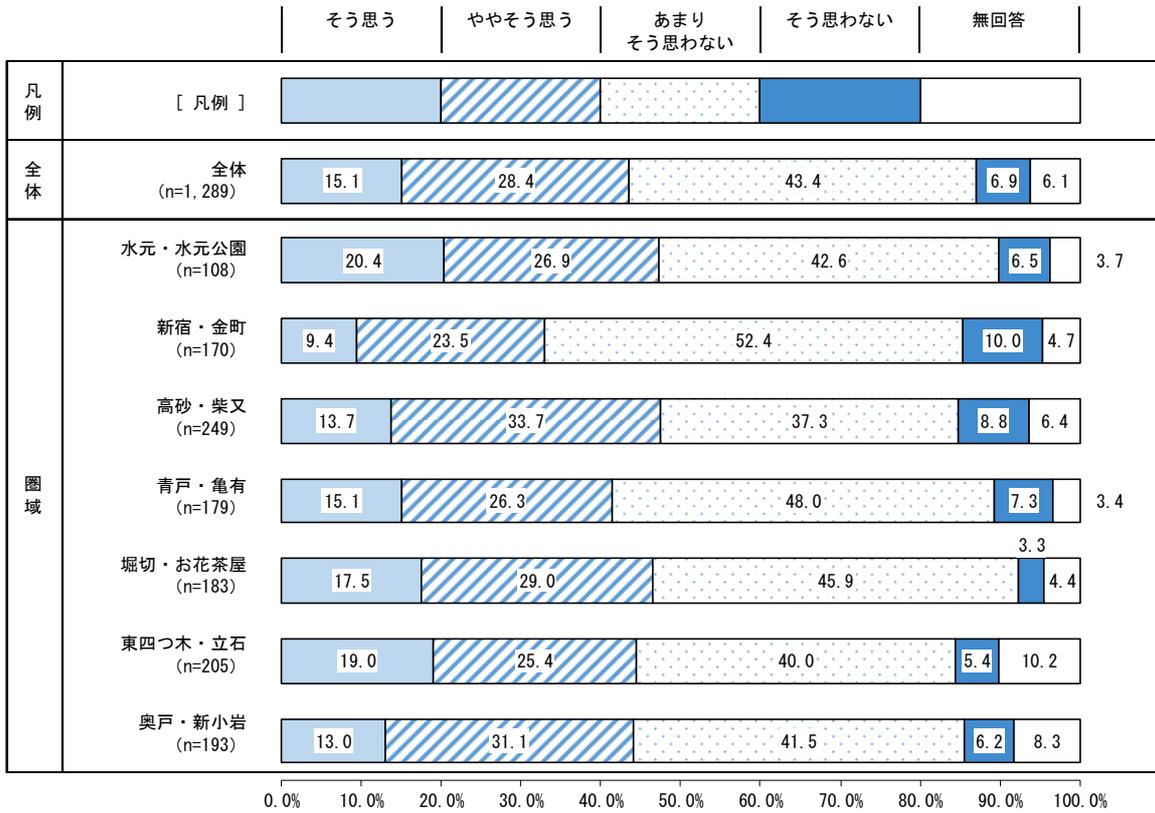
- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「あまりそう思わない」が 41.2%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 27.8%、「そう思う」が 16.6%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「あまりそう思わない」が 44.8%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 29.1%、「そう思う」が 15.5%となっています。
- 『わからない』方では、「あまりそう思わない」が 42.6%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 33.3%、「そう思う」「そう思わない」が 11.1%となっています。

【認知症の方が地域社会のなかで、人格を持った一人の人間として尊重されていると思うか・認知症の症状がある家族の有無別】



○ 新宿・金町では“そう思う方”が32.9%と他の圏域に比べて少なく、“そう思わない方”が62.4%と他の圏域に比べて多くなっています。

【認知症の方が地域社会のなかで、人格を持った一人の人間として尊重されていると思うか・圏域別】



問38 その理由をご記入ください。

- 「そう思う」「ややそう思う」理由は、「一人の人間だから。人格がある。人権がある」「専門機関、相談窓口などの支援がある」という内容が多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「そう思わない」理由は、認知症の方は「意思疎通が困難、本人が判断できないと思う、又はそのイメージがある」「尊重されていない場面を目にすることがある」という内容が多くなっています。

【「そう思う」理由】

回答内容	件数
一人の人間だから。人格がある。人権がある	29
専門機関、相談窓口などの支援がある	6
尊重されていない場面を見たことがない、されたことがない	5
よくわからない、なんとなく	3

【「ややそう思う」理由】

回答内容	件数
専門機関、相談窓口などの支援がある	22
一人の人間だから。人格がある。人権がある	15
認知症の程度により、尊重されないこともある	13
よくわからない、なんとなく	11
家族や地域が支援している	7
認知症の理解が進んできている	7
理想として、そうあってほしい	6
認知症の人も地域で生活している、活動していると思う	5
尊重されていない場面を見たことがない	4
意思疎通が困難、本人が判断できないと思う、又はそのイメージがある	4

【「あまりそう思わない」理由】

回答内容	件数
意思疎通が困難、本人が判断できないと思う、又はそのイメージがある	44
尊重されていない場面を目にすることがある	36
よくわからない、なんとなく	28
認知症の方と接することがない（地域社会との関わりが薄い）	25
ニュース、テレビ等で見聞きするイメージ、伝聞などから	21
認知症の理解や情報が不十分	20
関わりたくない、避けている	15
認知症の程度により、尊重されないことがある	11
家族の負担が大きいから	10
支援や見守りが十分ではない	7
施設に入居している	4

【「そう思わない」理由】

回答内容	件数
尊重されていない場面を目にすることがある	9
意思疎通が困難、本人が判断できないと思う、又はそのイメージがある	8
よくわからない、なんとなく	3
認知症の理解や情報が不十分	3
関わりたくない、避けている	3

8. 区の実施について

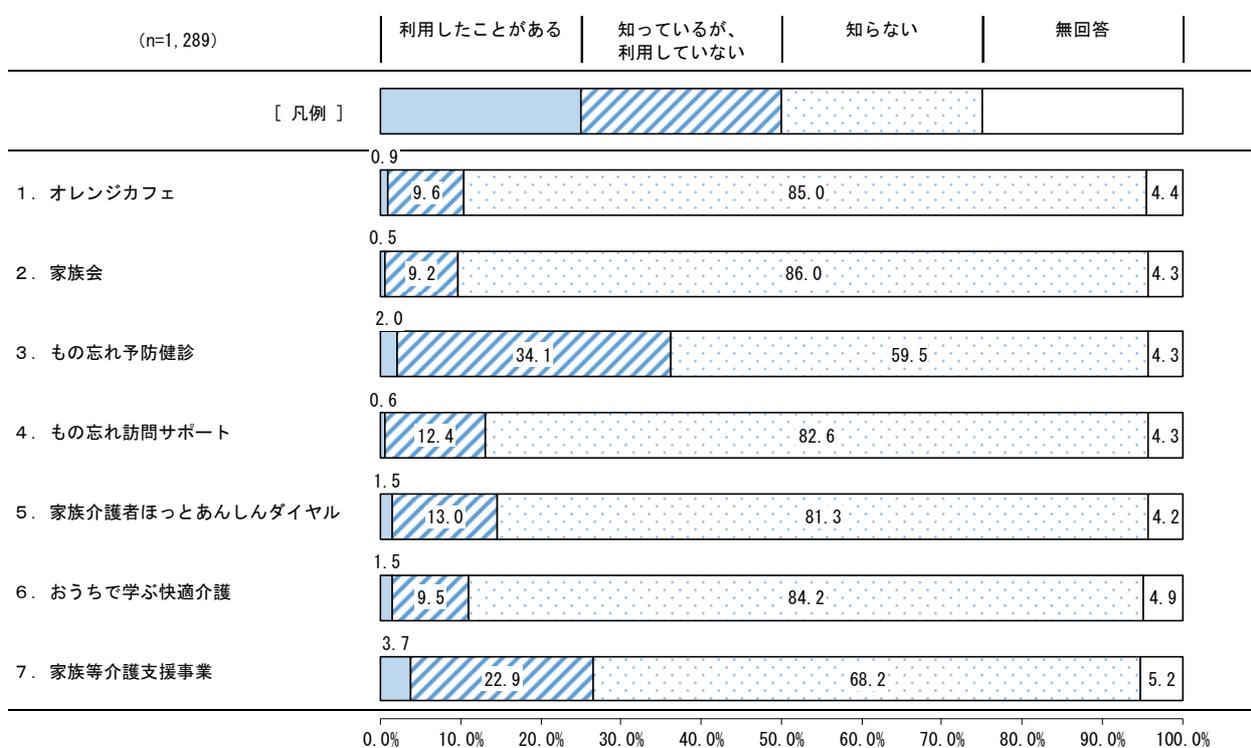
【認知症の診断を受けていない方】

問39 葛飾区が取り組む以下の認知症施策（関連するものを含む）について、ご回答ください。（○はそれぞれ1つだけ）

【全体】

- 「利用したことがある」認知症施策は、「家族等介護支援事業」が3.7%で最も多く、次いで「もの忘れ予防健診」が2.0%、「家族介護者ほっとあんしんダイヤル」「おうちで学ぶ快適介護」がいずれも1.5%となっています。
- 「知っているが、利用していない」は、「もの忘れ予防健診」が34.1%、「家族等介護支援事業」が22.9%、「家族介護者ほっとあんしんダイヤル」が13.0%、「もの忘れ訪問サポート」が12.4%となっています。
- 「知らない」は、「家族会」が86.0%で最も多く、次いで「オレンジカフェ」が85.0%、「おうちで学ぶ快適介護」が84.2%、「もの忘れ訪問サポート」が82.6%となっています。

【葛飾区の認知症施策の利用・認知状況】

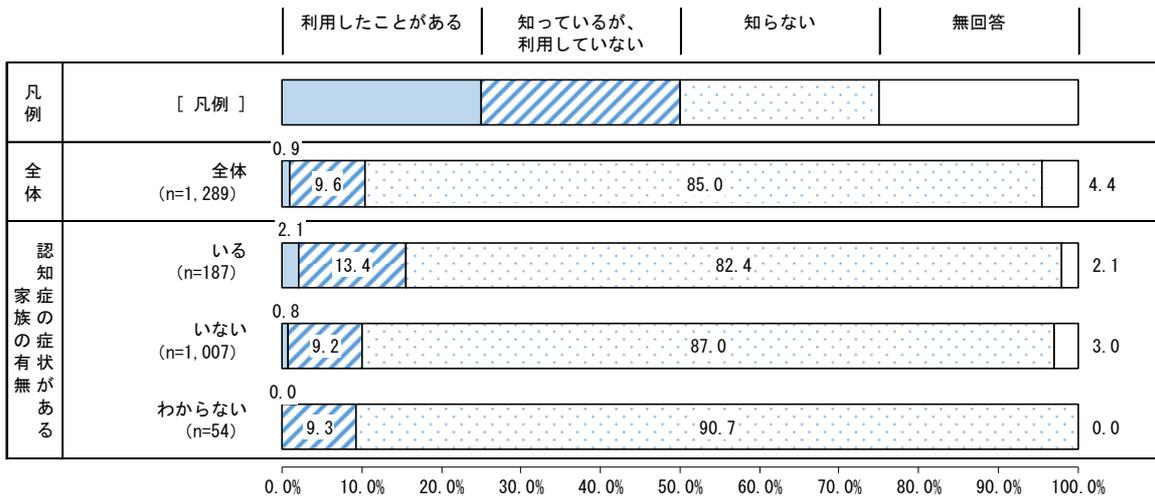


問39-1 オレンジカフェ

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 82.4%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 13.4%、「利用したことがある」が 2.1%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 87.0%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 9.2%、「利用したことがある」が 0.8%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 90.7%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 9.3%となっています。

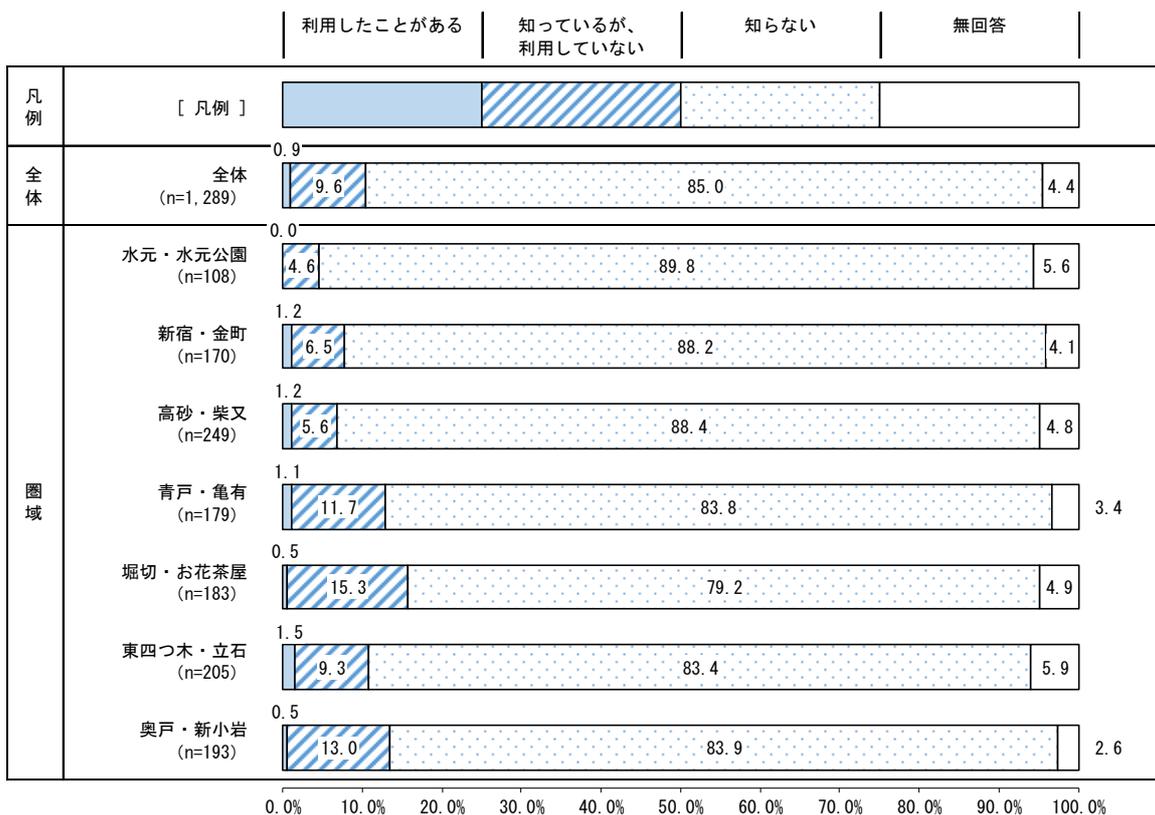
【(利用・認知状況) オレンジカフェ・認知症の症状がある家族の有無別】



【圏域別】

- 「知らない」は水元・水元公園が 89.8%、新宿・金町が 88.2%、高砂・柴又が 88.4%と他の圏域に比べて多くなっています。

【(利用・認知状況) オレンジカフェ・圏域別】

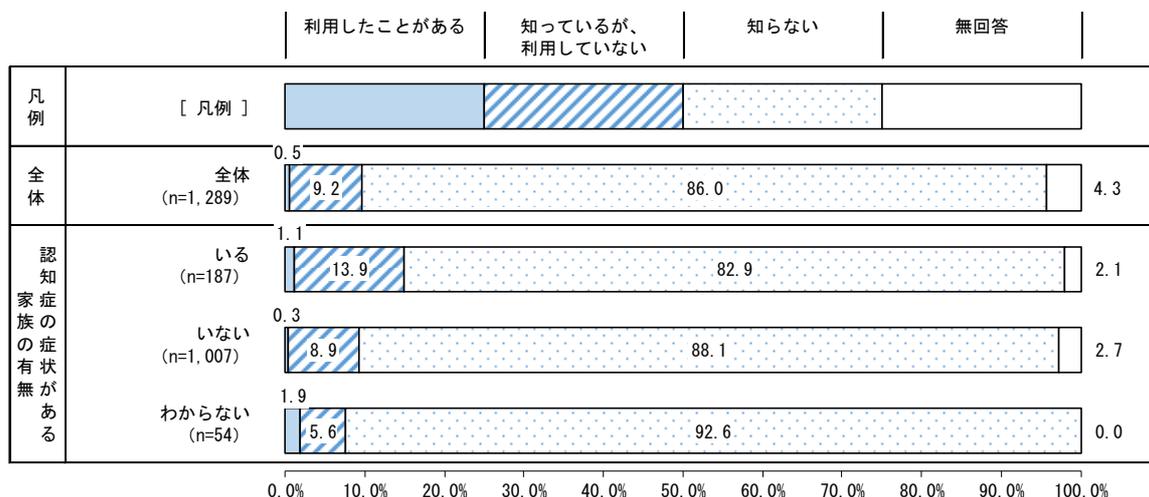


問39-2 家族会

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 82.9%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 13.9%、「利用したことがある」が 1.1%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 88.1%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 8.9%、「利用したことがある」が 0.3%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 92.6%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 5.6%、「利用したことがある」が 1.9%となっています。

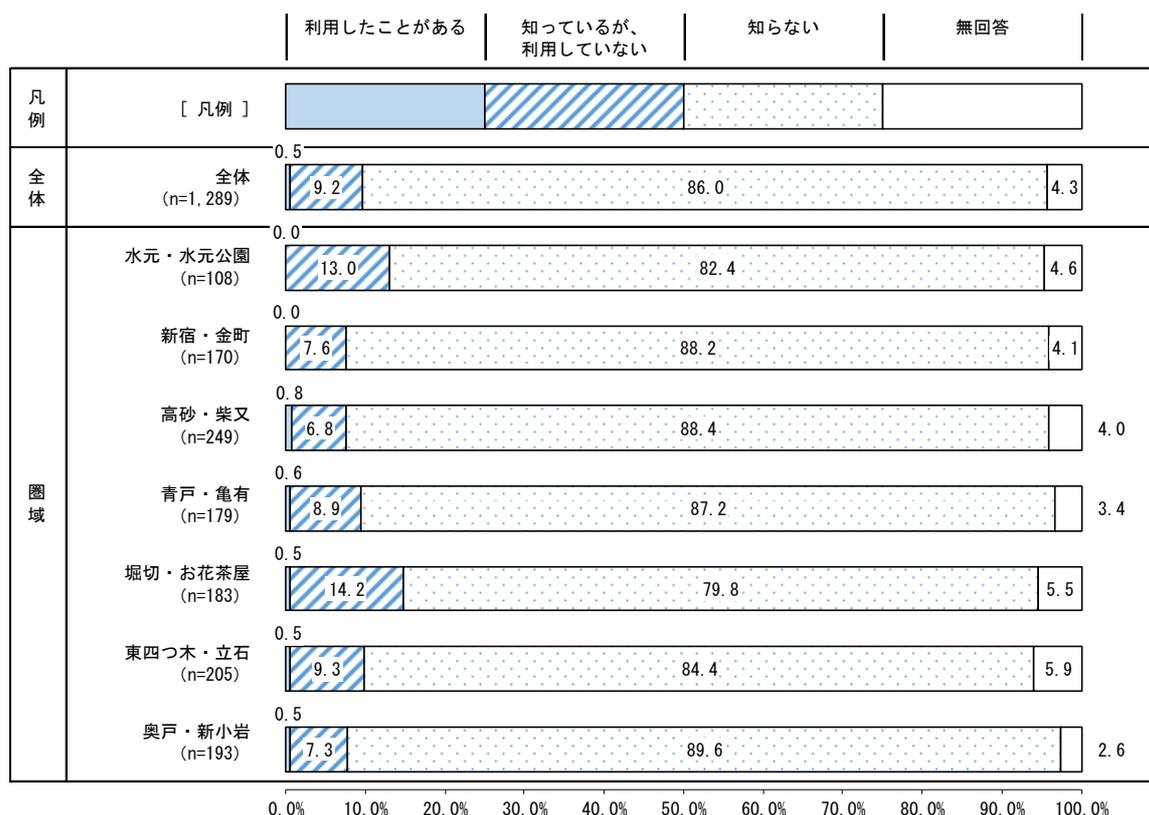
【(利用・認知状況) 家族会・認知症の症状がある家族の有無別】



【圏域別】

- 「知っているが、利用していない」は水元・水元公園が 13.0%、堀切・お花茶屋が 14.2%と他の圏域に比べて多くなっています。

【(利用・認知状況) 家族会・圏域別】

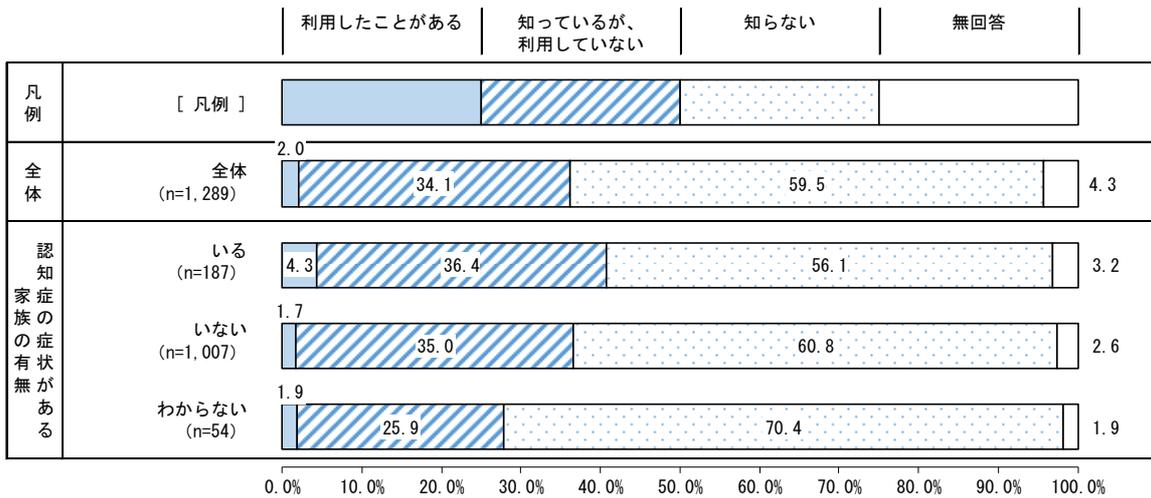


問39-3 もの忘れ予防健診

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 56.1%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 36.4%、「利用したことがある」が 4.3%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 60.8%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 35.0%、「利用したことがある」が 1.7%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 70.4%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 25.9%、「利用したことがある」が 1.9%となっています。

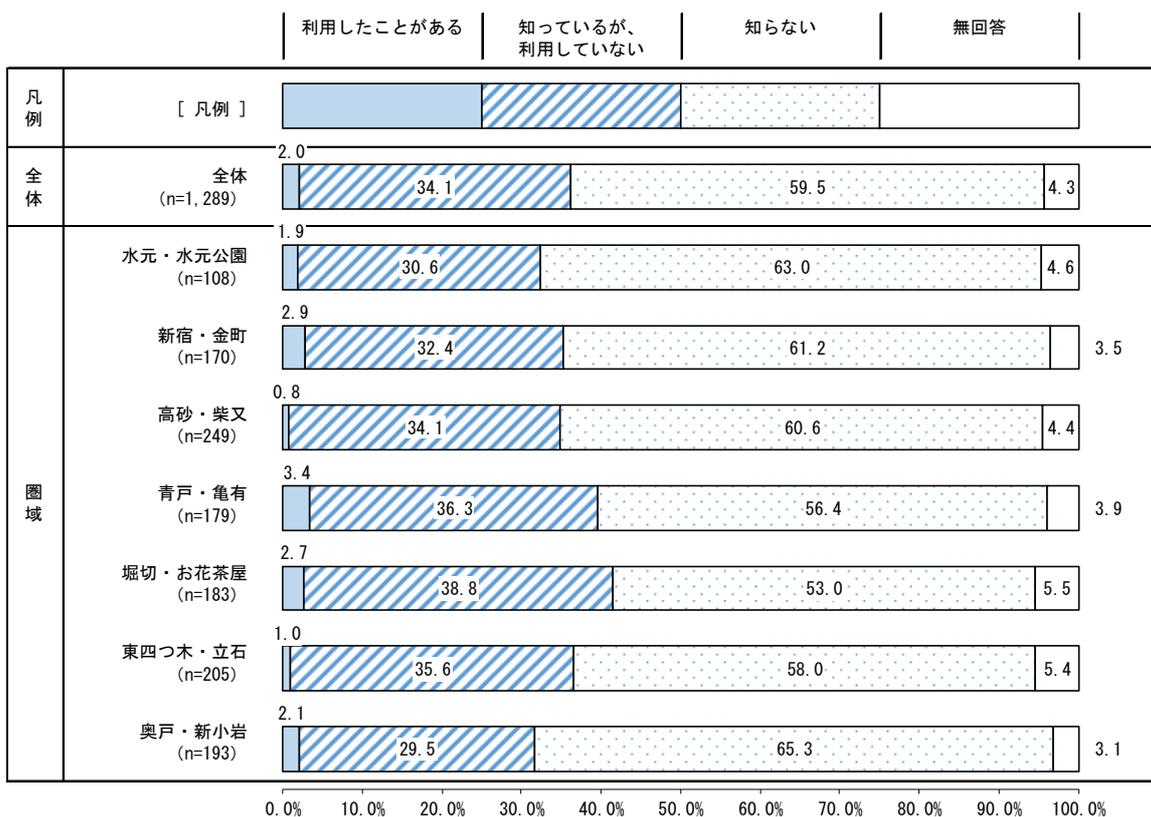
【(利用・認知状況) もの忘れ予防健診・認知症の症状がある家族の有無別】



【圏域別】

- 「知っているが、利用していない」は堀切・お花茶屋が 38.8%と他の圏域に比べて多くなっています。

【(利用・認知状況) もの忘れ予防健診・圏域別】

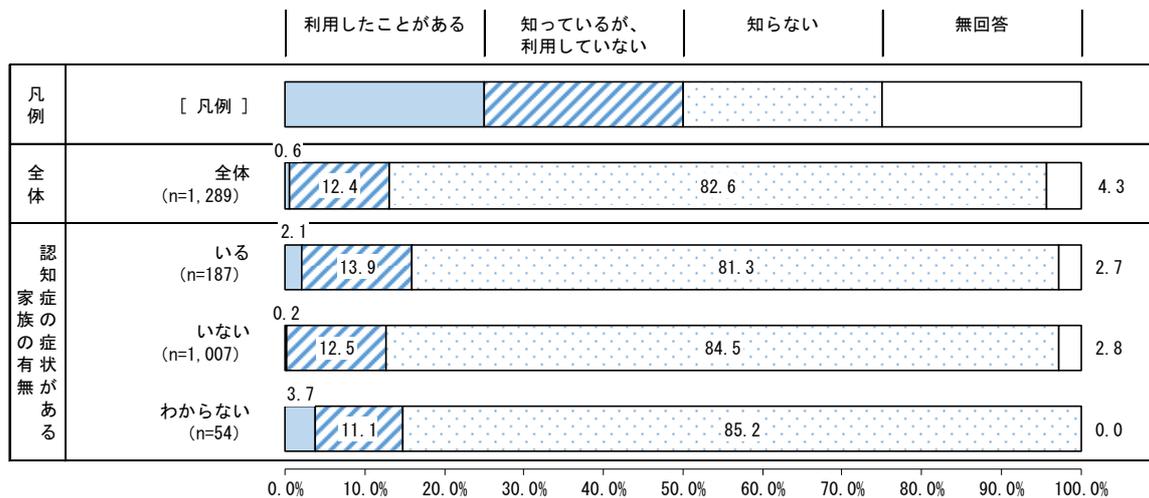


問39-4 もの忘れ訪問サポート

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 81.3%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 13.9%、「利用したことがある」が 2.1%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 84.5%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 12.5%、「利用したことがある」が 0.2%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 85.2%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 11.1%、「利用したことがある」が 3.7%となっています。

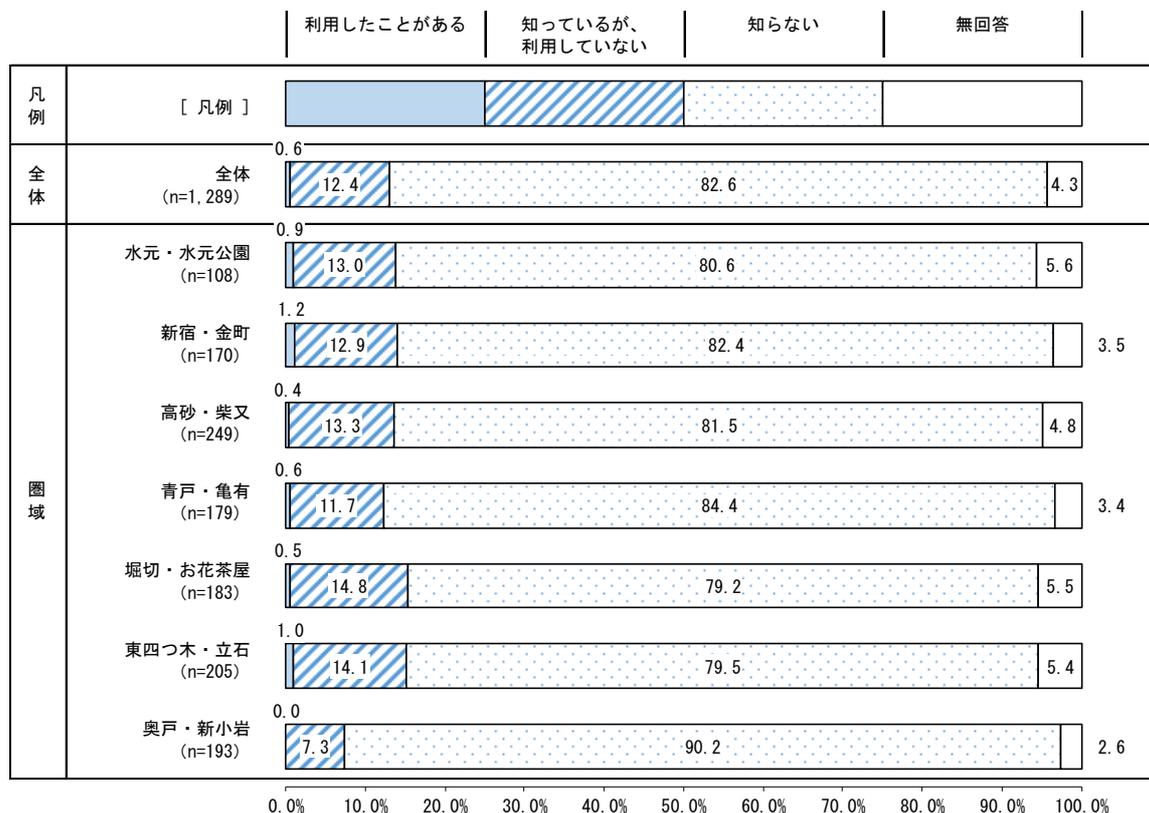
【(利用・認知状況) もの忘れ訪問サポート・認知症の症状がある家族の有無別】



【圏域別】

- 「知らない」は奥戸・新小岩が 90.2%と他の圏域に比べて多くなっています。

【(利用・認知状況) もの忘れ訪問サポート・圏域別】

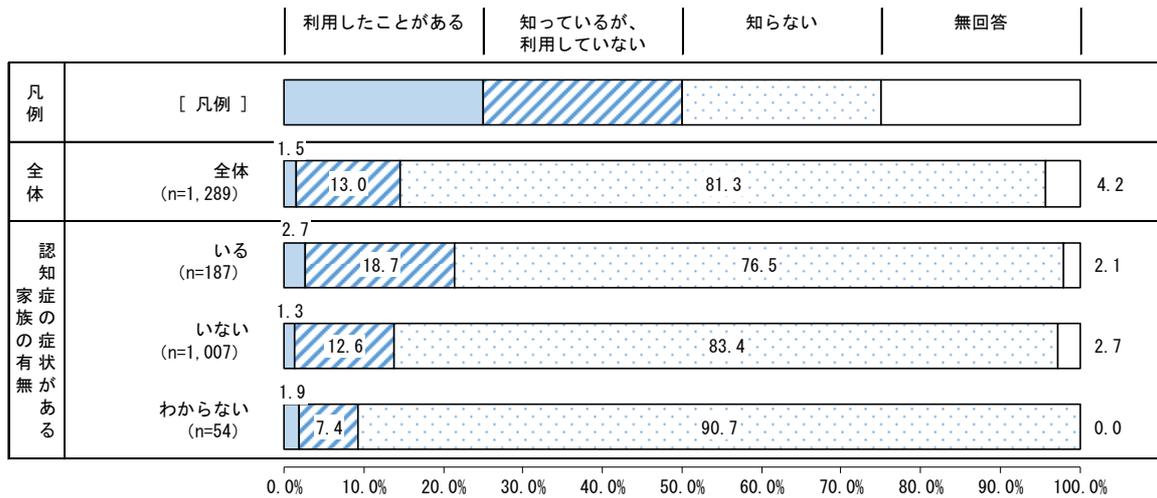


問39-5 家族介護者ほっとあんしんダイヤル

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 76.5%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 18.7%、「利用したことがある」が 2.7%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 83.4%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 12.6%、「利用したことがある」が 1.3%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 90.7%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 7.4%、「利用したことがある」が 1.9%となっています。

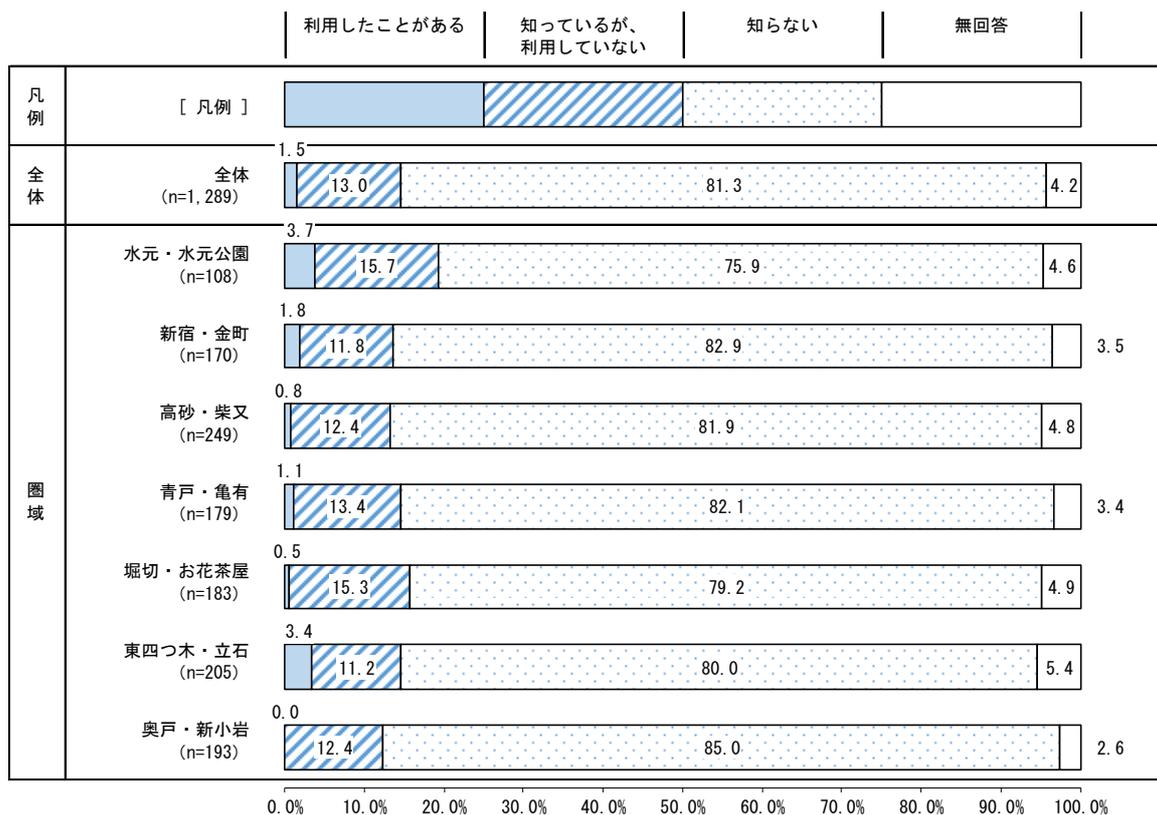
【(利用・認知状況) 家族介護者ほっとあんしんダイヤル・認知症の症状がある家族の有無別】



【圏域別】

- 水元・水元公園では「利用したことがある」が 3.7%、「知っているが、利用していない」が 15.7%と他の圏域に比べて多くなっています。

【(利用・認知状況) 家族介護者ほっとあんしんダイヤル・圏域別】

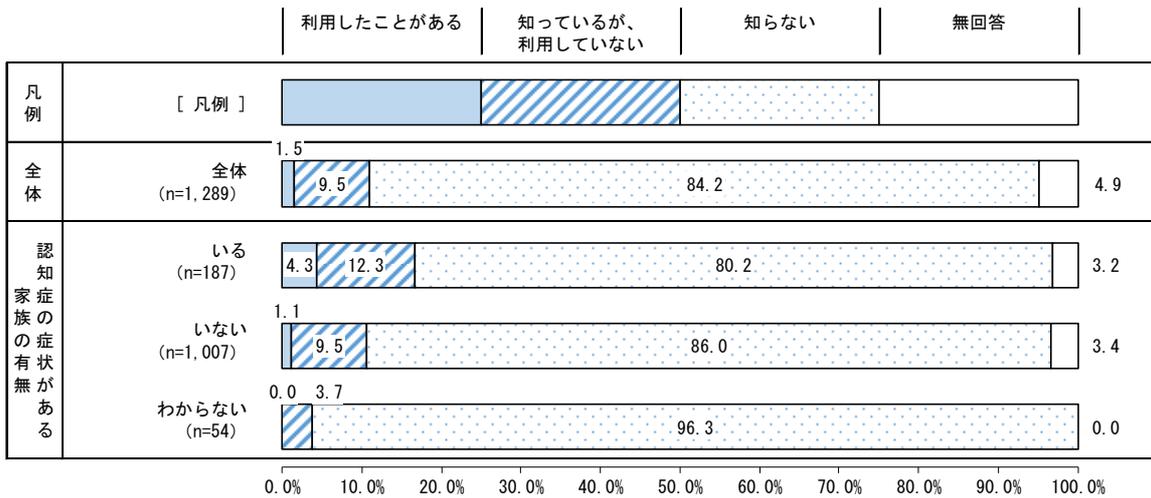


問39-6 おうちで学ぶ快適介護

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 80.2%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 12.3%、「利用したことがある」が 4.3%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 86.0%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 9.5%、「利用したことがある」が 1.1%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 96.3%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 3.7%となっています。

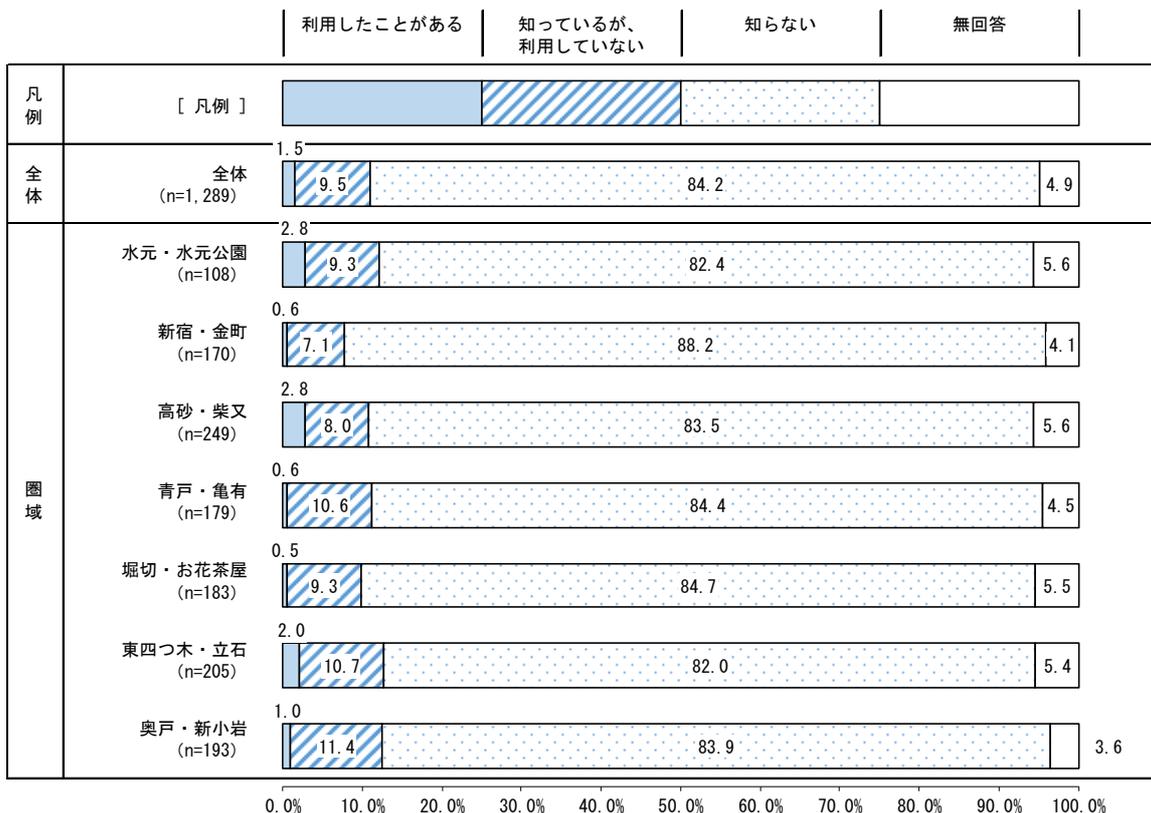
【(利用・認知状況) おうちで学ぶ快適介護・認知症の症状がある家族の有無別】



【圏域別】

- 「利用したことがある」は水元・水元公園が 2.8%、高砂・柴又が 2.8%、東四つ木・立石が 2.0%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 「知らない」は新宿・金町が 88.2%と他の圏域に比べて多くなっています。

【(利用・認知状況) おうちで学ぶ快適介護・圏域別】

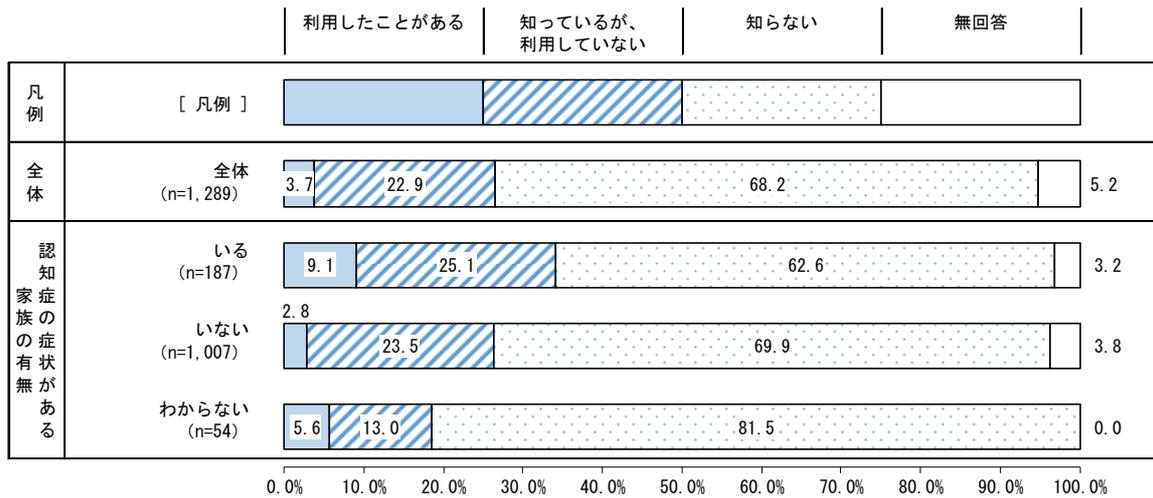


問39-7 家族等介護支援事業

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 62.6%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 25.1%、「利用したことがある」が 9.1%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 69.9%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 23.5%、「利用したことがある」が 2.8%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 81.5%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 13.0%、「利用したことがある」が 5.6%となっています。

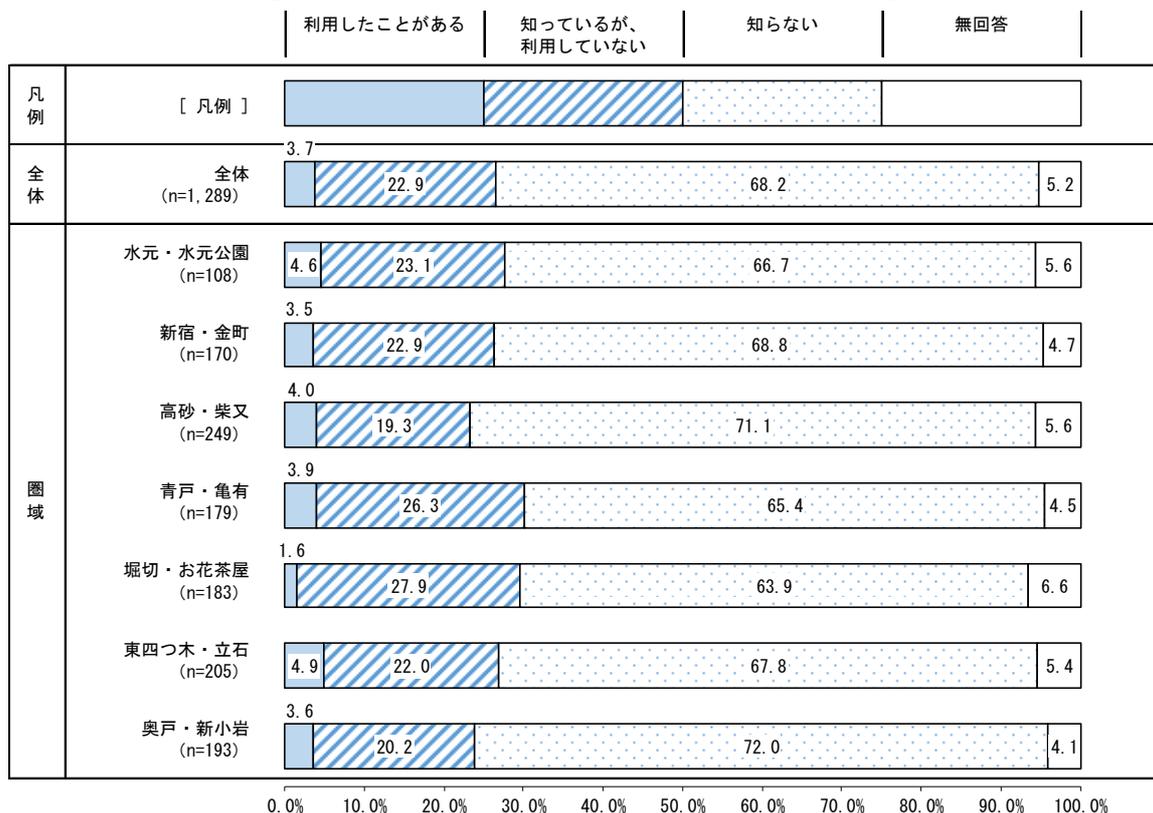
【(利用・認知状況) 家族等介護支援事業・認知症の症状がある家族の有無別】



【圏域別】

- 「知っているが、利用していない」は青戸・亀有が 26.3%、堀切・お花茶屋が 27.9%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 「知らない」は高砂・柴又が 71.1%、奥戸・新小岩が 72.0%と他の圏域に比べて多くなっています。

【(利用・認知状況) 家族等介護支援事業・圏域別】



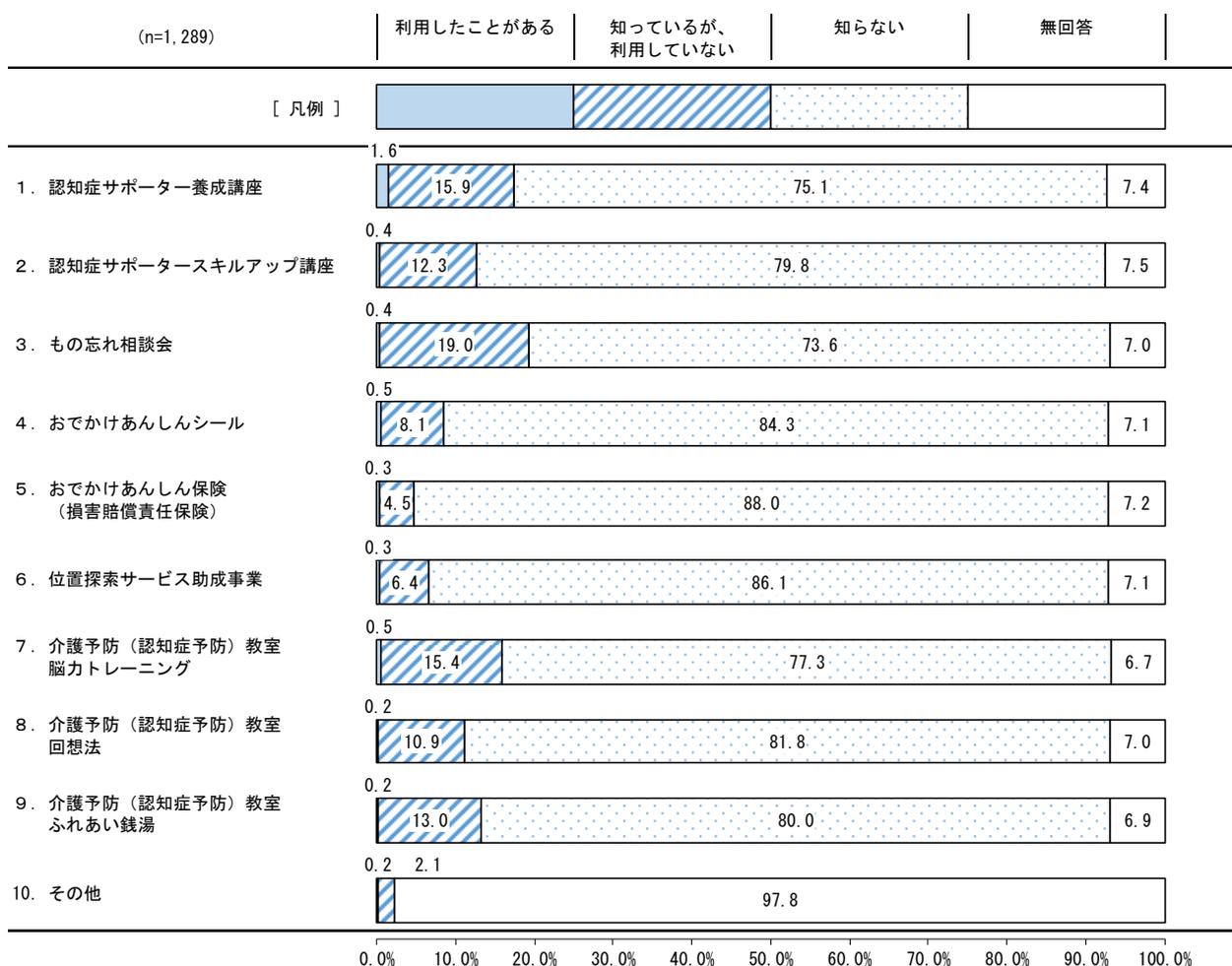
問40 葛飾区の実施について、あなたが知っているものはありますか。

(○はそれぞれ1つだけ)

【全体】

- 「利用したことがある」取組は、「認知症サポーター養成講座」が1.6%で最も多く、次いで「おでかけあんしんシール」「介護予防（認知症予防）教室 脳力トレーニング」が0.5%となっています。
- 「知っているが、利用していない」取組は、「もの忘れ相談会」が19.0%で最も多く、次いで「認知症サポーター養成講座」が15.9%、「介護予防（認知症予防）教室 脳力トレーニング」が15.4%、「介護予防（認知症予防）教室 ふれあい銭湯」が13.0%となっています。
- 「知らない」取組は、「おでかけあんしん保険（損害賠償責任保険）」が88.0%で最も多く、次いで「位置探索サービス助成事業」が86.1%、「おでかけあんしんシール」が84.3%、「介護予防（認知症予防）教室 回想法」が81.8%となっています。

【葛飾区の実施の利用・認知状況】

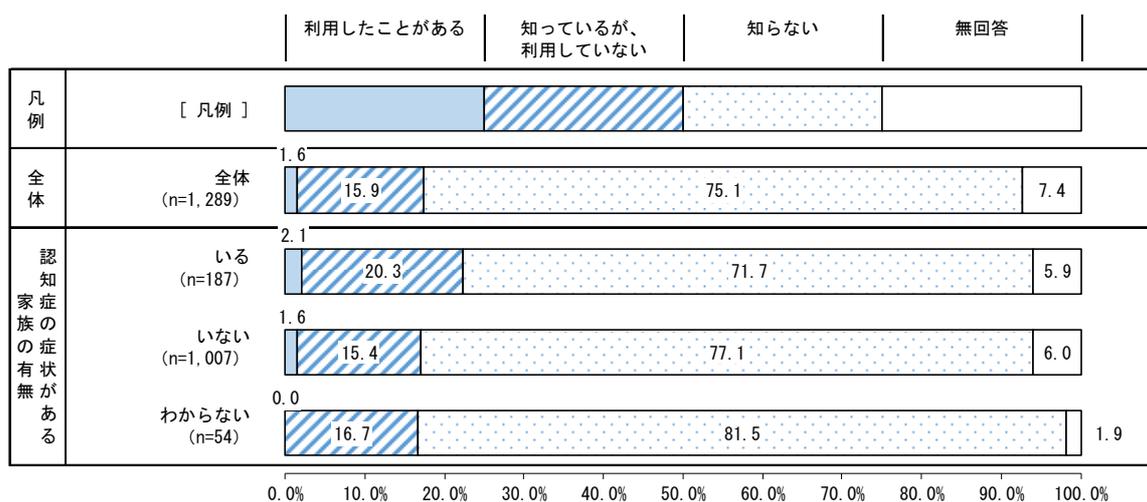


問40-1 認知症サポーター養成講座

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 71.7%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 20.3%、「利用したことがある」が 2.1%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 77.1%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 15.4%、「利用したことがある」が 1.6%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 81.5%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 16.7%となっています。

【(利用・認知状況) 認知症サポーター養成講座・認知症の症状がある家族の有無別】

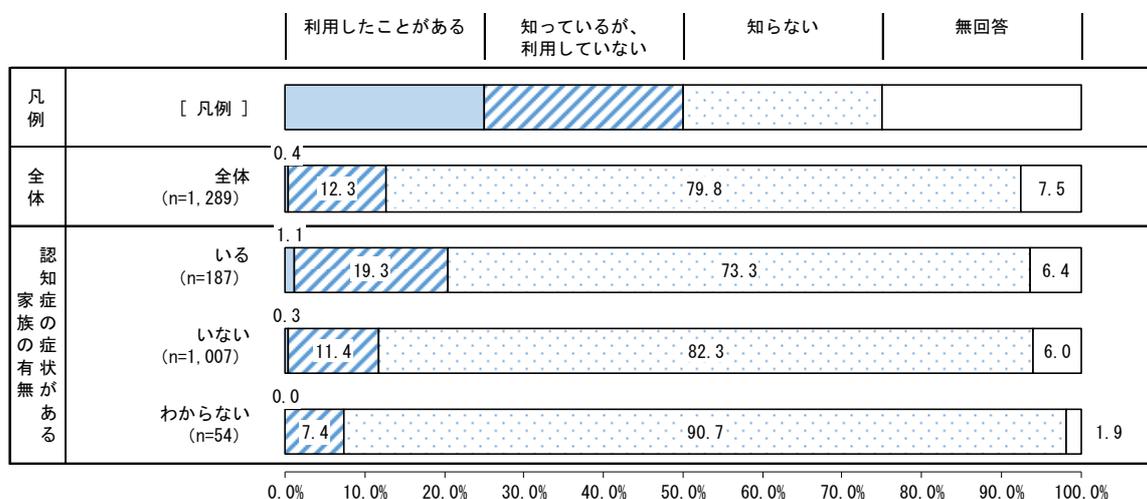


問40-2 認知症サポータースキルアップ講座

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 73.3%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 19.3%、「利用したことがある」が 1.1%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 82.3%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 11.4%、「利用したことがある」が 0.3%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 90.7%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 7.4%となっています。

【(利用・認知状況) 認知症サポータースキルアップ講座・認知症の症状がある家族の有無別】

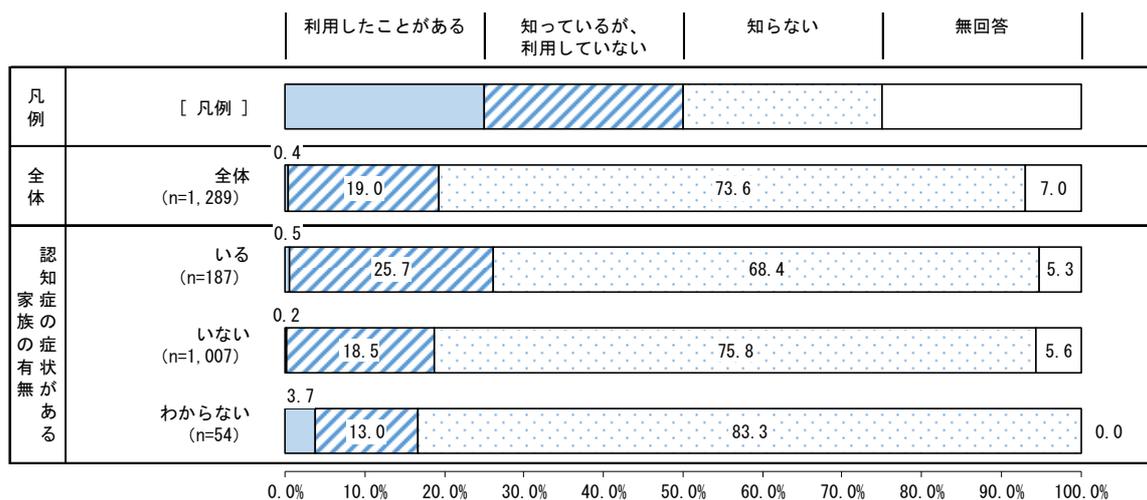


問40-3 もの忘れ相談会

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 68.4%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 25.7%、「利用したことがある」が 0.5%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 75.8%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 18.5%、「利用したことがある」が 0.2%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 83.3%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 13.0%、「利用したことがある」が 3.7%となっています。

【(利用・認知状況) もの忘れ相談会・認知症の症状がある家族の有無別】

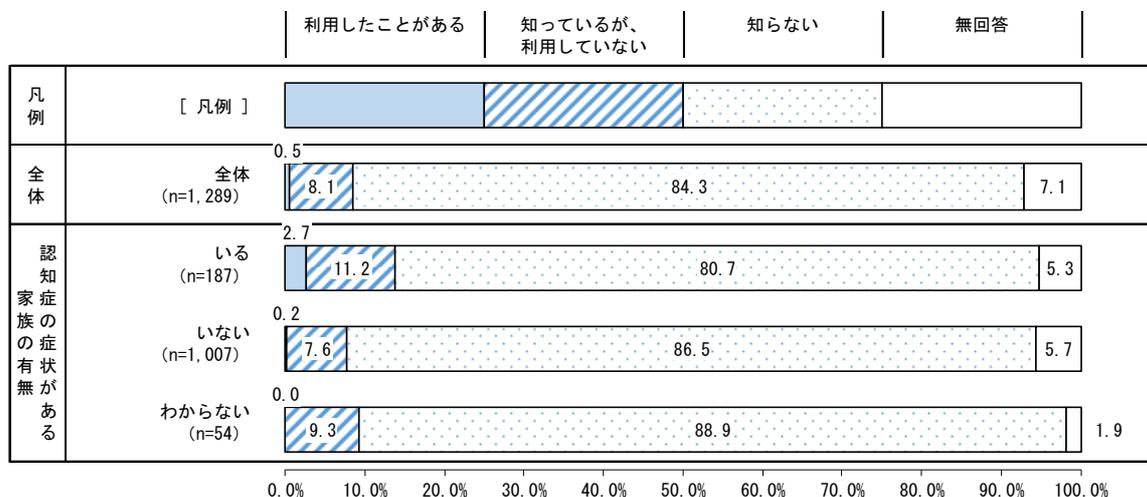


問40-4 おでかけあんしんシール

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 80.7%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 11.2%、「利用したことがある」が 2.7%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 86.5%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 7.6%、「利用したことがある」が 0.2%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 88.9%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 9.3%となっています。

【(利用・認知状況) おでかけあんしんシール・認知症の症状がある家族の有無別】

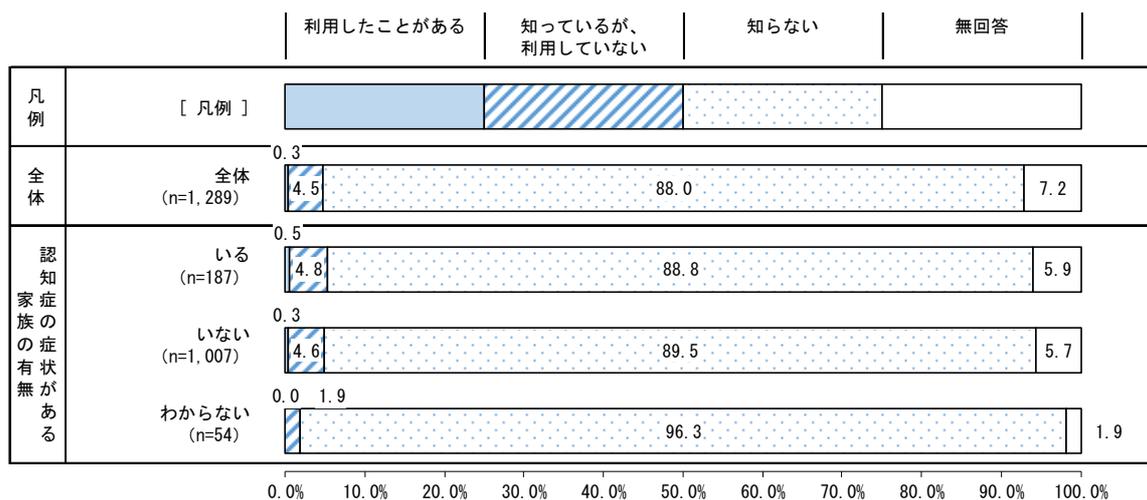


問40-5 おでかけあんしん保険（損害賠償責任保険）

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 88.8%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 4.8%、「利用したことがある」が 0.5%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 89.5%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 4.6%、「利用したことがある」が 0.3%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 96.3%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 1.9%となっています。

【(利用・認知状況) おでかけあんしん保険・認知症の症状がある家族の有無別】

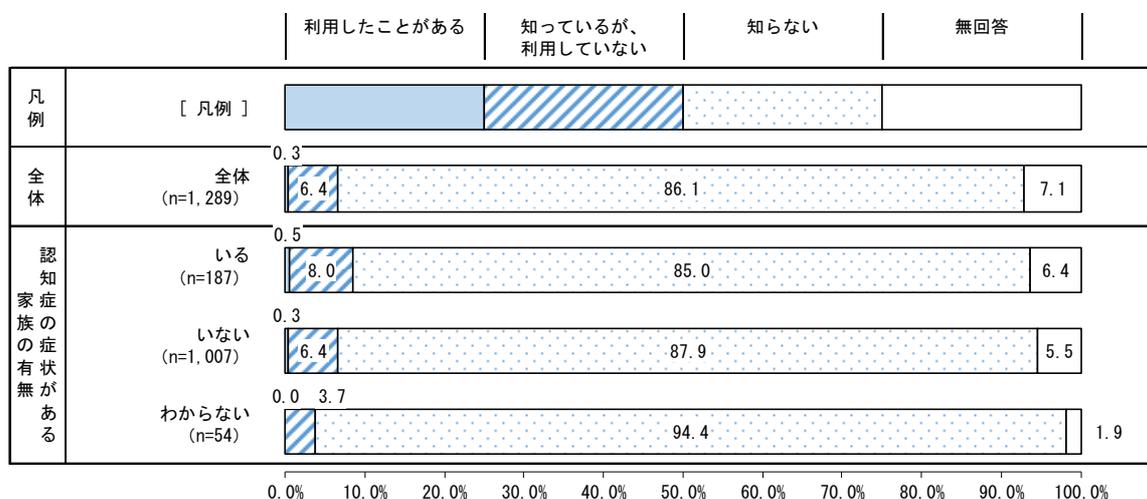


問40-6 位置探索サービス助成事業

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 85.0%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 8.0%、「利用したことがある」が 0.5%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 87.9%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 6.4%、「利用したことがある」が 0.3%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 94.4%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 3.7%となっています。

【(利用・認知状況) 位置探索サービス助成事業・認知症の症状がある家族の有無別】

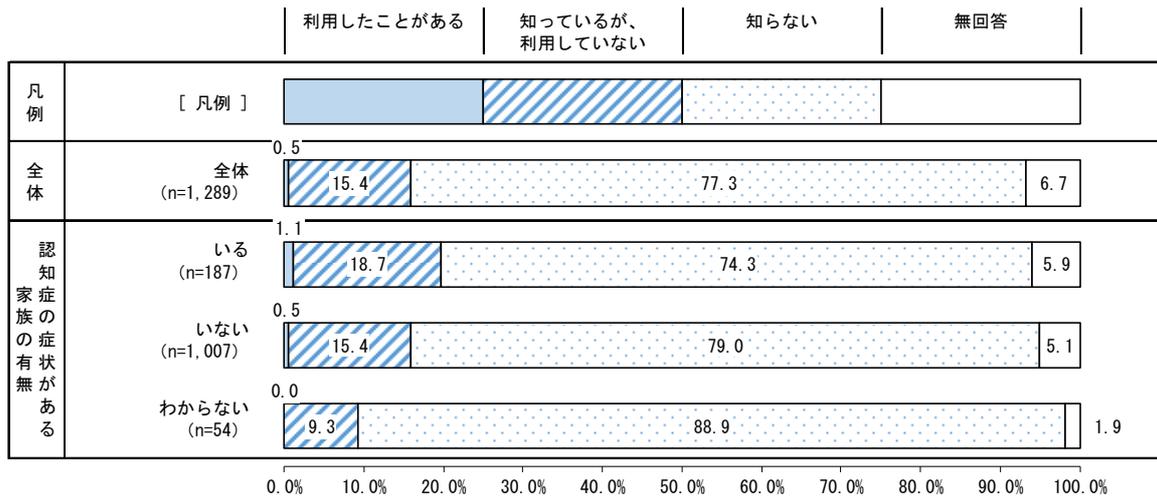


問40-7 介護予防（認知症予防）教室 能力トレーニング

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 74.3%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 18.7%、「利用したことがある」が 1.1%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 79.0%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 15.4%、「利用したことがある」が 0.5%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 88.9%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 9.3%となっています。

【（利用・認知状況）介護予防教室脳カトレーニング・認知症の症状がある家族の有無別】

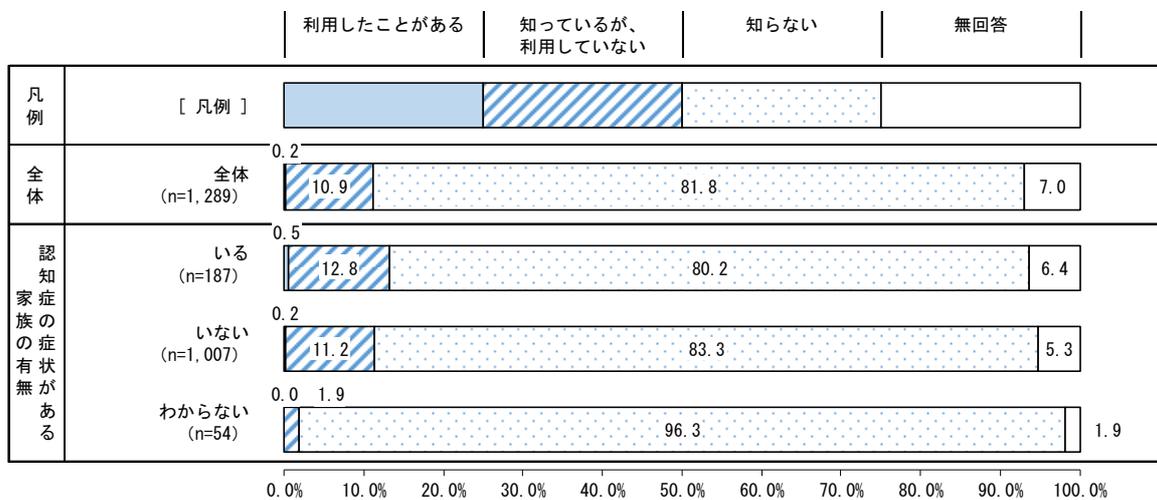


問40-8 介護予防（認知症予防）教室 回想法

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 80.2%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 12.8%、「利用したことがある」が 0.5%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 83.3%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 11.2%、「利用したことがある」が 0.2%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 96.3%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 1.9%となっています。

【（利用・認知状況）介護予防教室回想法・認知症の症状がある家族の有無別】

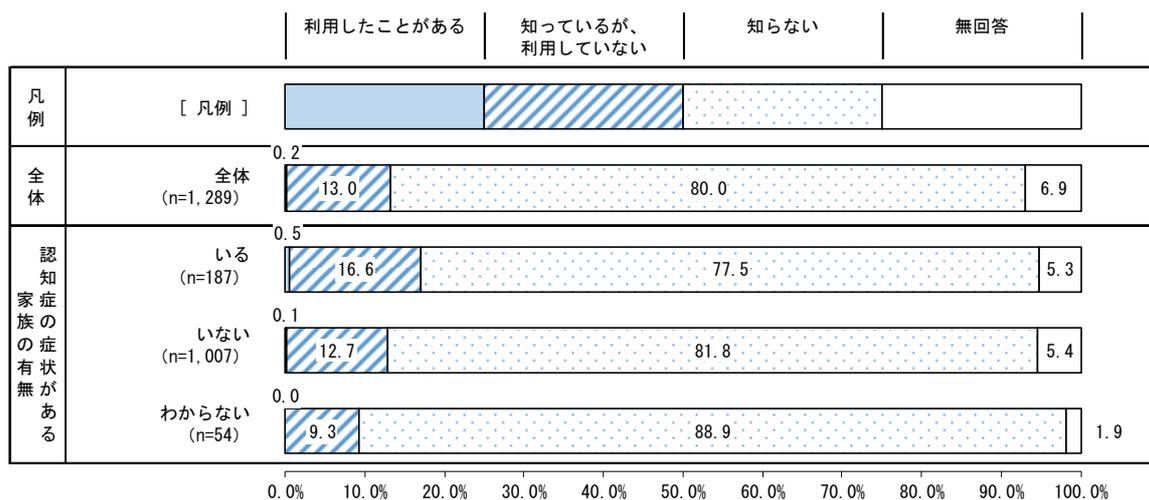


問40-9 介護予防（認知症予防）教室 ふれあい銭湯

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方では、「知らない」が 77.5%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 16.6%、「利用したことがある」が 0.5%となっています。
- 認知症の症状がある家族が『いない』方では、「知らない」が 81.8%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 12.7%、「利用したことがある」が 0.1%となっています。
- 『わからない』方では、「知らない」が 88.9%で最も多く、次いで「知っているが、利用していない」が 9.3%となっています。

【(利用・認知状況) 介護予防教室ふれあい銭湯・認知症の症状がある家族の有無別】

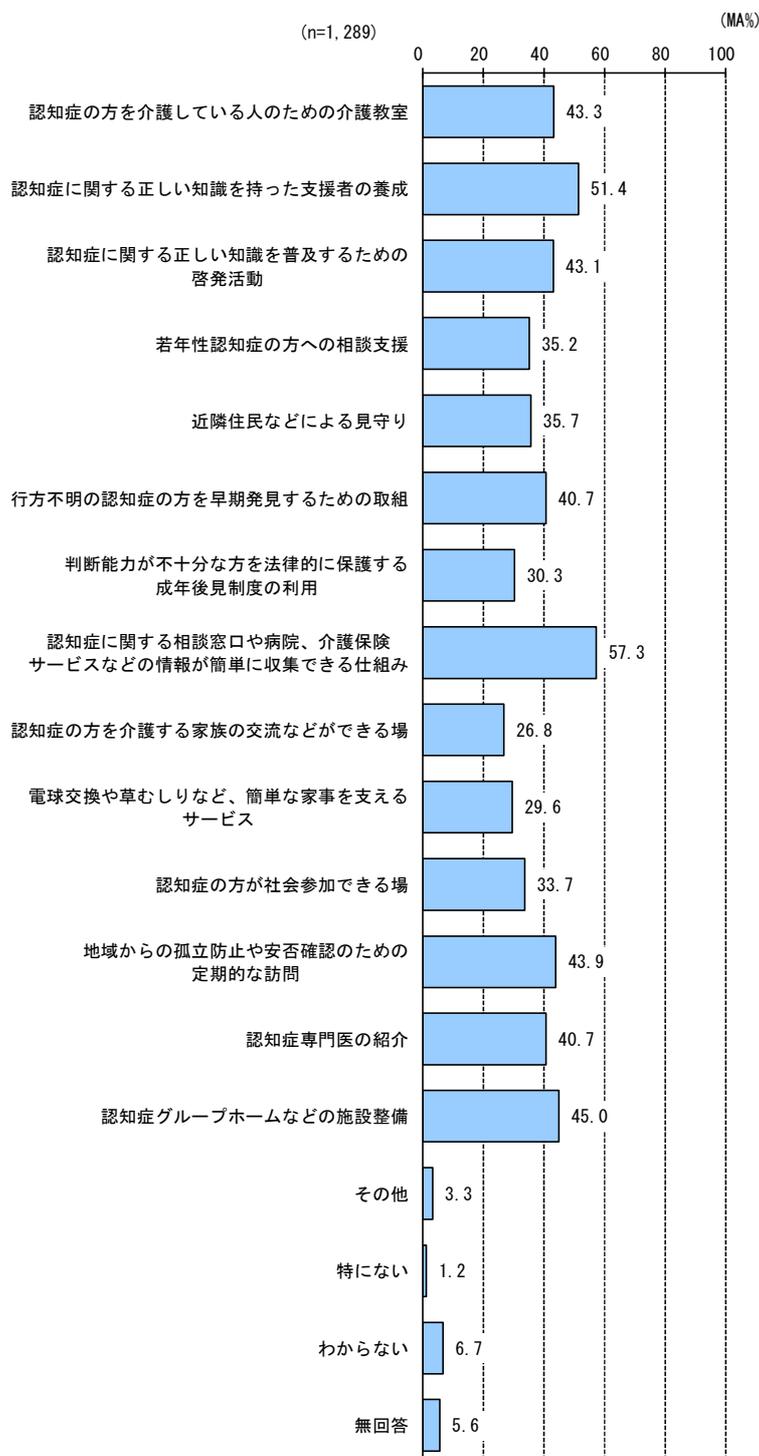


問41 あなたは、認知症の方やご家族への支援で今後充実していかなければならないものは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

【全体】

○ 「認知症に関する相談窓口や病院、介護保険サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が57.3%で最も多く、次いで「認知症に関する正しい知識を持った支援者の養成」が51.4%、「認知症グループホームなどの施設整備」が45.0%となっています。

【認知症の方やご家族への支援で今後充実していかなければならないもの（複数回答）】



【年齢別】

- 44歳までの年代では、「認知症に関する正しい知識を持った支援者の養成」が最も多く、45歳から80歳代の年代では「認知症に関する相談窓口や病院、介護保険サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が最も多くなっています。

【認知症の方やご家族への支援で今後充実していかなければならないもの（複数回答）・年齢別】

単位：%

	母数 (n)	認知症の方やご家族への支援で今後充実していかなければならないもの (MA)									
		認知症の方を介護している人のための介護教室	認知症に関する正しい知識を保持した支援者の養成	認知症に関する正しい知識を普及するための啓発活動	若年性認知症の方への相談支援	近隣住民などによる見守り	早期発見するための認知症の方組	行方不明の認知症の方の早期発見	判断能力が不十分の方を法的に保護する仕組み	介護保険に加入する仕組み	認知症に関する相談窓口や病院、などが
全体	1,289	43.3	51.4	43.1	35.2	35.7	40.7	30.3	57.3	26.8	
年齢	18~19歳	14	△ 64.3	△ 64.3	50.0	△ 57.1	35.7	35.7	21.4	▼ 42.9	21.4
	20~24歳	41	34.1	46.3	▼ 31.7	39.0	34.1	43.9	26.8	▼ 43.9	29.3
	25~29歳	62	33.9	41.9	40.3	32.3	35.5	35.5	32.3	▼ 35.5	17.7
	30~34歳	51	45.1	52.9	45.1	39.2	▼ 25.5	49.0	35.3	▼ 47.1	△ 37.3
	35~39歳	78	38.5	52.6	44.9	42.3	39.7	42.3	29.5	50.0	26.9
	40~44歳	85	51.8	61.2	△ 55.3	△ 48.2	40.0	42.4	△ 50.6	56.5	30.6
	45~49歳	85	47.1	55.3	45.9	△ 45.9	29.4	41.2	37.6	63.5	28.2
	50~54歳	123	47.2	54.5	52.0	43.9	37.4	41.5	36.6	65.0	29.3
	55~59歳	136	46.3	55.1	47.1	41.2	33.1	46.3	27.2	60.3	26.5
	60~64歳	131	43.5	58.8	47.3	36.6	39.7	42.7	36.6	65.6	28.2
	65~69歳	93	40.9	48.4	47.3	▼ 23.7	40.9	33.3	30.1	△ 67.7	24.7
	70~74歳	96	45.8	55.2	40.6	27.1	40.6	47.9	24.0	63.5	30.2
	75~79歳	112	33.9	42.0	▼ 29.5	▼ 21.4	30.4	39.3	▼ 17.9	54.5	22.3
80~84歳	61	44.3	52.5	39.3	▼ 19.7	37.7	37.7	21.3	57.4	24.6	
85~89歳	38	50.0	▼ 36.8	42.1	28.9	△ 50.0	44.7	26.3	65.8	31.6	
90~94歳	9	▼ 22.2	▼ 11.1	▼ 11.1	▼ 11.1	-	-	-	▼ 33.3	▼ 11.1	
95歳以上	8	▼ 25.0	▼ 37.5	▼ 12.5	▼ 12.5	-	-	-	▼ 25.0	-	

単位：%

	母数 (n)	認知症の方やご家族への支援で今後充実していかなければならないもの (MA)									
		電球交換や草むしりなど、簡単な家事を支えるサービス	認知症の方が社会参加できる場	地域からの定期的な訪問や安否確認の	認知症専門医の紹介	施設整備グループホームなどの	その他	特にな	わからない	無回答	
全体	1,289	29.6	33.7	43.9	40.7	45.0	3.3	1.2	6.7	5.6	
年齢	18~19歳	14	▼ 14.3	35.7	35.7	▼ 21.4	35.7	-	-	14.3	-
	20~24歳	41	24.4	34.1	36.6	34.1	36.6	4.9	-	7.3	-
	25~29歳	62	22.6	27.4	▼ 32.3	▼ 30.6	35.5	-	3.2	11.3	3.2
	30~34歳	51	29.4	43.1	35.3	35.3	51.0	5.9	2.0	7.8	2.0
	35~39歳	78	25.6	29.5	38.5	33.3	39.7	2.6	2.6	10.3	-
	40~44歳	85	△ 40.0	40.0	47.1	45.9	△ 57.6	3.5	1.2	2.4	3.5
	45~49歳	85	27.1	43.5	49.4	44.7	54.1	3.5	1.2	1.2	3.5
	50~54歳	123	29.3	35.0	48.8	49.6	53.7	4.9	0.8	7.3	2.4
	55~59歳	136	31.6	33.1	48.5	49.3	47.8	2.9	1.5	4.4	0.7
	60~64歳	131	32.1	40.5	△ 55.0	48.9	54.2	5.3	0.8	7.6	3.1
	65~69歳	93	34.4	30.1	51.6	36.6	45.2	1.1	-	2.2	3.2
	70~74歳	96	38.5	36.5	47.9	47.9	45.8	2.1	1.0	6.3	8.3
	75~79歳	112	24.1	27.7	▼ 29.5	▼ 26.8	▼ 32.1	0.9	1.8	5.4	17.0
80~84歳	61	29.5	▼ 14.8	39.3	39.3	▼ 32.8	1.6	-	4.9	21.3	
85~89歳	38	34.2	31.6	50.0	39.5	36.8	2.6	-	7.9	5.3	
90~94歳	9	▼ 11.1	▼ 22.2	▼ 11.1	▼ 11.1	▼ 33.3	-	-	△ 33.3	33.3	
95歳以上	8	-	-	▼ 12.5	-	▼ 25.0	-	-	△ 37.5	25.0	

【認知症の症状がある家族の有無別】

- 認知症の症状がある家族が『いる』方、『いない』方では、「認知症に関する相談窓口や病院、介護保険サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が最も多く、次いで「認知症に関する正しい知識を持った支援者の養成」「認知症グループホームなどの施設整備」の順となっています。
- 『わからない』方では、「認知症に関する正しい知識を普及するための啓発活動」が 53.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【認知症の方やご家族への支援で今後充実していかなければならないもの（複数回答）】

単位：%

	母数 (n)	認知症の方やご家族への支援で今後充実していかなければならないもの (MA)									
		介護教室	認知症の方を介護している人の方のための支援者の養成	認知症に関する正しい知識を持ったための啓発活動	認知症に関する正しい知識を普及する	若年性認知症の方への相談支援	近隣住民などによる見守り	行方不明の認知症の方を早期発見するための仕組み	判断能力が不十分な方を法的に保護する	介護保険サービスなどの情報収集	認知症に関する相談窓口や病院、介護施設との連携
全体	1,289	43.3	51.4	43.1	35.2	35.7	40.7	30.3	57.3	26.8	
認知症の症状がある家族の有無のわからない	いる	187	41.7	49.2	42.2	35.3	42.2	39.6	57.2	24.1	
	いない	1,007	44.9	53.1	44.0	36.3	35.7	42.4	58.4	27.6	
	わからない	54	37.0	46.3	△ 53.7	27.8	27.8	33.3	55.6	33.3	

単位：%

	母数 (n)	認知症の方やご家族への支援で今後充実していかなければならないもの (MA)									
		電球交換や草むしりなど、簡単な家事を支援するサービス	認知症の方が社会参加できる場	地域からの孤立防止や安否確認のための定期的な訪問	認知症専門医の紹介	認知症グループホームなどの施設整備	その他	特にな	わからない	無回答	
全体	1,289	29.6	33.7	43.9	40.7	45.0	3.3	1.2	6.7	5.6	
認知症の症状がある家族の有無のわからない	いる	187	38.5	33.7	46.5	40.1	48.7	3.7	0.5	5.3	3.2
	いない	1,007	29.1	34.1	44.5	42.0	45.6	3.4	1.3	6.9	3.9
	わからない	54	22.2	38.9	42.6	35.2	38.9	1.9	-	13.0	1.9

【圏域別】

○ 堀切・お花茶屋では「認知症グループホームなどの施設整備」が51.4%と2番目に多くなっています。一方、水元・水元公園では36.1%と他の圏域に比べて少なくなっています。

【認知症の方やご家族への支援で今後充実していかなければならないもの（複数回答）・圏域別】

単位：%

		母数 (n)	認知症の方やご家族への支援で今後充実していかなければならないもの (MA)								
			た 認 知 症 の 介 護 教 室	持 認 知 症 に 関 する 支 援 者 の 養 成	普 及 す る た め の 啓 発 活 動	若 年 性 認 知 症 の 方 へ の 相 談 支 援	近 隣 住 民 な ど に よ る 見 守 り	早 期 発 見 す る た め の 取 組	保 護 す る 成 年 後 見 制 度 の 利 用	簡 単 に 保 険 サ ー ビ ス な ど の 情 報 が 院 、	な 認 知 症 の 方 を 介 護 す る 家 族 の 交 流
全体		1,289	43.3	51.4	43.1	35.2	35.7	40.7	30.3	57.3	26.8
圏 域	水元・水元公園	108	38.9	43.5	40.7	33.3	39.8	39.8	31.5	53.7	24.1
	新宿・金町	170	44.7	53.5	48.2	36.5	34.1	37.1	25.3	56.5	26.5
	高砂・柴又	249	41.8	50.6	43.0	37.3	35.3	37.3	25.7	56.6	24.5
	青戸・亀有	179	49.2	58.1	50.3	39.7	37.4	43.0	36.3	62.6	28.5
	堀切・お花茶屋	183	42.6	50.3	38.8	32.8	35.0	43.7	31.7	59.6	26.2
	東四つ木・立石	205	42.9	49.8	40.0	30.7	34.6	38.0	28.3	55.1	29.3
	奥戸・新小岩	193	42.0	51.3	40.9	35.2	35.2	46.1	35.2	56.0	27.5

単位：%

		母数 (n)	認知症の方やご家族への支援で今後充実していかなければならないもの (MA)								
			家 電 球 を 交 換 や 草 む し り な ど 、 簡 単 な サ ー ビ ス	認 知 症 の 方 が 社 会 参 加 で き る 場	た 地 域 か ら の 定 期 的 な 訪 問	認 知 症 専 門 医 の 紹 介	施 設 認 知 症 グ ル ー プ ホ ー ム な ど の	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		1,289	29.6	33.7	43.9	40.7	45.0	3.3	1.2	6.7	5.6
圏 域	水元・水元公園	108	26.9	34.3	42.6	33.3	36.1	3.7	0.9	6.5	7.4
	新宿・金町	170	30.0	31.8	42.4	42.9	42.4	4.1	-	7.1	4.7
	高砂・柴又	249	28.5	32.9	44.2	39.0	43.4	2.0	1.2	7.6	6.0
	青戸・亀有	179	29.6	34.1	46.9	45.3	46.4	2.2	0.6	5.0	3.4
	堀切・お花茶屋	183	36.6	27.9	43.7	38.3	51.4	4.9	1.1	6.6	4.4
	東四つ木・立石	205	24.9	38.0	43.4	39.5	46.8	3.4	2.0	5.9	7.8
	奥戸・新小岩	193	30.1	36.8	43.5	44.0	45.1	2.6	2.1	7.8	5.7

問42 認知症についてのご意見・ご要望を自由にご記入ください。

- 「認知症の理解を深める、情報が必要、制度や支援の周知が必要」という内容が最も多くなっています。「区に行っているサービスを知らなかったので、いろいろな媒体で取り組み内容について広めてほしい。若い時から知ることによって、対処法や予防対策に努めることができるし安心できる」「孤立させないためにも、知ることがまずは大切だと思った」「認知症の相談窓口やサポートなどについて詳しくまとめた冊子などを各家庭に配るなどしてもっと皆に知らせることが必要」などの意見があります。
- 次いで「行政の支援について」の内容が多くなっています。「区の取り組みについて知らない事ばかりだった」「介護者としても当事者としても、いつそうなるかわからない問題であるため、どちらの立場もサポートできるような仕組み作りをお願いしたい」などの意見があります。
- 次いで「予防が大切である」という内容が多くなっています。「認知症にならない生活の方法等の対策を広める。ならない為の食事法・身体活動等、メディア等で啓蒙活動」「誰しもなり得るものなので、早期発見・予防に努められる意識を持ちたい」などの意見があります。
- 「アンケートについて」では、「区が色々な事業を手掛けていることをこのアンケートで知った」「両親の気持ちをきちんと聞いておき、本人の意志を最後まで尊重できるようにしたいと考える機会をつくってもらった」などの意見があります。
- 「将来が不安」では、「自分もいつなるかわからないし、同世代の家族2人住まいなので、これから不安でもある」「預けるにもお金がかかるし不安である」などの意見があります。
- 「家族会へのサポートが必要」では、「認知症本人だけでなく、家族も支えるシステムができるといいと思う」「認知症を介護する人のメンタルケアも必要になってくると思う」などの意見があります。
- 「接したことがない、関わりがない」では、「認知症について考えたことがなく、質問にうまく答えられなかった」「身近な問題でないので問題意識がない」などの意見があります。
- 「費用がかかる」では、「認知症の両親の介護をしている子供が離職しても収入面で困らない制度がほしい」「認知症の検査をした費用を補助してほしい」などの意見があります。
- 「施設の整備」では、「施設整備と介護人員の確保が急務」「低料金で入所できる施設の充実と、施設で働く人の賃金・待遇UP」などの意見があります。
- 「こうしたらよいと思うこと」は、「認知症の人と家族の会、今2か月に1回であるが、もう少し多くても良いのかと思う。話し合う時間も時によっては延長する事も必要かと思う」「近い症状のレベルの方達で楽しめる様なサークル、例えばマーじゃん、各種運動、映画、コーラス、ゲーム他があれば認知症の進行を遅らせることができるのでは」などの意見があります。

回答内容	件数
認知症の理解を深める、情報が必要、制度や支援の周知が必要	68
行政の支援について	39
予防が大切である	25
アンケートについて	22
将来が不安	17
家族介護者へのサポートが必要	13
接したことがない、関わりがない	12
費用がかかる	8
施設の整備	7
こうしたらよいと思うこと	7
その他（成年後見制度、若年性認知症についてなど）	59